

1620迄 (2404件)

- 1601年-08:00|インドネシア/ポルトガル| |||<就任>モルッカ諸島ポルトガル司令官「Manuel de Melo」(~1603年)
- 1601年-08:00|インドネシア| |||<即位>マタラム王国スルタン「マス・ジ・ヨラン」(~1613年)
- 1601年-05:30|インド| |||<即位>ヒンドール王国シャー「Mirza Ali Barid Shah3世」(~1609年)
- 1601年-03:00|バレーン/イラン| |||サファビ朝がバレーン島を併合
- 1601年-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>アレクサンドリア(総督)「ベニヤール・ハシヤ」(~同年)⇒「シエフ・ハシヤ」(~同年)⇒「ハサン・ハシヤ」(~1602年)
- 1601年-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「ヤブス・アリ・ハシヤ」(~1603年大宰相に任命)
- 1601年-02:00|ギリシャ| |||<就任>カンテリア王国総督「アルヴァイゼ・フリウリ」(~1603年)
- 1601年-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ソファラ・キアプテンズ・メジャ「ハスコ・テ・マスカレニヤス」(~1604年)
- 1601年-01:00|アルジェリア/トルコ| |||<就任>アルジェのハシヤ「スレイマン・ハシヤ」(~1603年)
- 1601年-01:00|ベルギー/オランダ| |||<就任>オランダ総督「チャールズ・ファン・デル・ヌート・フーグ・ウート・アン・アーツウト」(1回目~同年)
- 1601年-01:00|フランス| |||<就任>サンボル伯「フランソワ3世(4世)」マリ2世とロングヴィル公レオナルの子(~1631年)
- 1601年-01:00|ドイツ| |||<就任>ザクセン選帝侯「クリスティアン2世」(~16110623死去)
- 1601年-01:00|ベルギー| |||<就任>リニユ公「ラモル1世」(~1624年)
- 1601年-01:00|オランダ/インドネシア| |||オランダがスマトラ北部のアチェに商館を設置
- 1601年 00:00|イギリス| |||<死去>5代バカン伯「ジェームズ・タゲラス」
- 1601年 00:00|カリヤ諸島| |||<死去>フェルペントウ島主「Fernando Arias de Saavedra」
- 1601年 00:00|イギリス| |||<就任>6代バカン女伯「メアリー・タゲラス」(~1628年死去)、6代バカン伯(妻の権利)「ジェームズ・アースキン」(~1640年死去)
- 1601年 00:00|チャネル諸島| |||<就任>イギリス王領ガーンジー島管理人「Amice de Carteret卿」(~1631年)
- 1601年 00:00|サントメ・プリンシパル/ポルトガル| |||<就任>サントメ植民地総督代理「Antonio Maciel Monteiro」(~1604年)
- 1601年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国植民地ケラン・カリヤ島知事「Jeronimo de Valderrama y Tovar」(~1607年)
- 1601年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国植民地テネリフェ島知事「Luis Manuel Gudiel y Ortiz」(~1603年)
- 1601年 00:00|フェロ諸島| |||<就任>フェロ諸島首席大臣「Thomas Simonsen」(~1607年死去)
- 1601年 00:00|カリヤ諸島| |||<就任>フェルペントウ島主「Andres Lorenzo Arias de Saavedra」(~1624年死去)、「Maria de Muxica Arias de Saavedra」
- 1601年 00:00|イギリス| |||イギリスで救貧法が制定
- 1601年 00:00|イギリス| |||シェイクスピアが戯曲「ハムレット」を完成
- 1601年 01:00|アゾレス諸島/スペイン| |||<死去>サンミゲル島トナリオ長官「Rui Goncalves da Camara3世」
- 1601年 04:00|トミニカ共和国/スペイン| |||<就任>スペイン領サント・ミンゴ 総裁・総司令官「ペドロ・サンス・モルケヨ」(~同年)
- 1601年 06:00|コスタリカ| |||コスタリカでカカオと太平洋岸の刊根間の道路が開通
- 1601年1月-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>モルッカ諸島オランダ総督「Jan Pieterszen Snyder」(~1602年)
- 1601年1月-05:30|インド| |||ムガル帝国のアクバルがカンデーシ地方を併合
- 1601年1月5日-09:00|日本|愛知県稲沢市|慶長5年12月|小沢作左衛門ら、尾張国妙福寺の十羅刹女・鬼子母神像を寄進
- 1601年1月9日-09:00|日本|高知県|慶長5年12月5日|国主交替に反対する長宗我部旧臣らによって起こされた土佐浦戸一揆が平定
- 1601年1月17日-01:00|デンマーク| |||<死去>デンマーク王国執事「クリストファー・ヴァルケントルフ・ティル・ゲローッブ」
- 1601年1月17日-01:00|デンマーク| |||<就任>デンマーク王国執事代行「クリスチャン・フリス・ティル・ホルビー」(~16160729没)
- 1601年1月17日-01:00|イタリア| |||サヴォイア公カルロ・エマヌエーレと仏王アンリ4世との間でリヨン条約/サヴォイア、サルツツ侯国を併合、代わりにロヌ川左岸をフランスに
- 1601年1月17日-09:00|日本|京都府福知山市|慶長5年12月13日|<加増移封>遠江横須賀3万石「有馬豊氏」⇒丹波国福知山藩6万石(⇒慶長7年7月28日(16020913)父・則頼の遺領三田2万石を継承)
- 1601年1月17日-09:00|日本|千葉県君津市|慶長5年12月13日|<加増移封>上総久留里3万石「松平(大須賀)忠政」(榊原康政の長男)⇒遠江横須賀5万5千石(慶長12年9月11日(16071031)死去)
- 1601年1月17日-09:00|日本|長野県上田市|慶長5年12月13日|<加増>沼田2万7千石「真田信之」に上田3万8千石(父昌幸の遺領)とその他3万石→信濃上田9万5千石(~元和8(1622)年信濃松代へ)
- 1601年1月17日-09:00|日本|長野県上田市|慶長5年12月13日|<改易>信濃上田城主3万8千石「真田昌幸」(関ヶ原西軍参加)九度山に幽閉
- 1601年1月19日 00:00|イギリス| |||<死去>ペンブルック伯「ヘンリー・ハーバート」
- 1601年1月19日 00:00|イギリス| |||<就任>ペンブルック伯「ウィリアム・ハーバート」(~16300410死去)
- 1601年1月22日-09:00|日本|岡山県高梁市|慶長5年12月18日|<拝領>備中松山藩14460石「小堀正次」(~慶長9年3月30日(16040429)死去)
- 1601年1月23日-09:00|日本|京都府京都市|慶長5年12月19日|<就任>関白「九条兼孝」(~慶長9年11月10日)
- 1601年1月28日-09:00|日本|宮崎県宮崎市|慶長5年12月24日|日向倉岡城主丹生備前、伊藤家に攻められるも撃つ
- 1601年1月29日-01:00|フランス| |||<死去>ペリー公「ルイ・ジ」
- 1601年1月30日-02:00|エストニア/スウェーデン| |||<就任>スウェーデン・エストニア総督「フリッツ・ステンソン・ライオンフグ・ド・グラーヴ・ラゼ・ボーク」(~1602年10月)
- 1601年2月 04:00|刊/スペイン| |||<就任>刊総督代行「アロンソ・デ・リベラ・デ・パレハ」(1回目~1605年3月)
- 1601年2月1日-09:00|日本|福井県越前市|慶長5年12月28日|<加増移封>下総結城10万1000石「結城秀康」(徳川家

1620迄 (2404件)

康の二男)⇒越前北荘68万石(慶長6年7月28日入封,松平姓を名乗る)  
1601年2月3日-09:00|日本| ||慶長6年|一分判金貨を鑄造  
1601年2月3日-09:00|日本|福井県小浜市|慶長6年|<加増>若狭小浜8万5000石「京極高次」⇒近江国高島郡7100石(⇒慶長14年5月3日(16090604)死去)  
1601年2月3日-08:00|中国| ||明・万曆29年|ヌルハチが八旗制度を創設/女直を統一する過程で女直固有の社会組織を「旗」と呼ばれる軍事集団として編成  
1601年2月3日-09:00|日本| ||慶長6年1月|家康、東海道に伝馬制度を設ける  
1601年2月3日-09:00|日本|岐阜県恵那市|慶長6年1月|<加増移封>上野那波1万石「松平家乗」(徳川譜代)→美濃岩村2万石(〜慶長19年2月29日(16140408)死去)  
1601年2月3日-09:00|日本|群馬県|慶長6年1月|<加増移封>武蔵川越5千石「酒井忠世」⇒上野那波1万石(⇒慶長10(1605)年5000石加増)  
1601年2月3日-09:00|日本|静岡県湖西市|慶長6年1月|遠江新居関所創設  
1601年2月3日-09:00|日本|奈良県生駒郡斑鳩町|慶長6年1月|<加増移封>摂津茨木1万2千石「片桐且元」→大和竜田2万8千石(〜慶長20年5月28日(16150624)死去)  
1601年2月3日-09:00|日本|千葉県夷隅郡大多喜町|慶長6年1月1日|<拝領>上総大多喜5万石「本多忠朝」(徳川譜代、忠勝二男)(〜慶長20年5月7日(16150603)大坂夏の陣で戦死)  
1601年2月3日-09:00|日本|三重県桑名市|慶長6年1月1日|<移封>上総大多喜「本多忠勝」→伊勢桑名10万石(〜慶長15年10月18日(16101203)死去)  
1601年2月4日-09:00|日本| ||慶長6年1月2日|徳川家康が東海道伝馬制を制定  
1601年2月7日-01:00|マルタ| ||<死去>マルタ騎士団総長「マルティン・ガルス」  
1601年2月9日-01:00|マルタ| ||<就任>マルタ騎士団総長「ペール・テスパル・スルツァン」(〜10日)  
1601年2月9日-09:00|日本|宮崎県宮崎市|慶長6年1月7日|日向倉岡城主丹生備前,島津勢を追撃する伊藤勢が大淀川を渡ろうとした時、大砲を撃って撃退  
1601年2月10日-01:00|マルタ| ||<就任>マルタ騎士団総長「アロフ・テ・ウイ・ナール」(〜16220914没)  
1601年2月18日 00:00|イギリス| ||ユリウス暦2月8日|イギリスでエックスの反乱が起こる  
1601年2月20日-09:00|日本|鳥取県八頭郡若桜町|慶長6年1月18日|<加増移封>摂津三田23000石「山崎家盛」⇒因幡若桜3万石(⇒慶長10(1605)年、6014石を実弟「宮城頼久」に分知)  
1601年2月20日-09:00|日本|兵庫県三田市|慶長6年1月18日|<加増移封>播磨三木(淡河城)1万石「有馬則頼」⇒摂津三田2万石(〜慶長7年7月28日(16020913)死去、嫡子豊氏領に吸収)  
1601年2月23日-09:00|日本|秋田県横手市|慶長6年1月21日|<改易>出羽横手城主31600石「小野寺義道」関ヶ原西軍参加,弟康道(大森城主)とともに石州津和野に流罪廃絶  
1601年2月24日-01:00|イタリア| ||<就任>ジエノヴァ共和国「ジョージ・アゴスティーノ・トリ」(〜16030225)  
1601年2月25日 00:00|イギリス| ||<死去>第2代エックス伯「ロバート・デ・ヴァール」(生年1566年)  
1601年3月5日-09:00|日本|愛知県岡崎市|慶長6年2月1日|<加増移封>上野白井2万石「本多康重」(徳川譜代)→三河岡崎5万石(〜慶長16年3月22日(16110504)死去)  
1601年3月5日-09:00|日本|愛知県豊橋市|慶長6年2月1日|<加増移封>武蔵八幡山1万石「松平(竹谷)家清」(徳川譜代)→三河吉田3万石(慶長15年12月21日(16110203)死去)  
1601年3月5日-09:00|日本|愛知県西尾市|慶長6年2月1日|<加増移封>下総小笹5千石「本多康俊」(徳川譜代)⇒三河西尾2万石(⇒元和3(1617)年10月、近江膳所藩に移封)  
1601年3月5日-09:00|日本|愛知県額田郡幸田町|慶長6年2月1日|<移封>下総小見川1万石「松平忠利」⇒三河深溝1万石(〜慶長17(1612)年三河吉田へ)  
1601年3月5日-09:00|日本|茨城県稲敷市|慶長6年2月1日|<加増移封>不明7千石「青山忠成」(徳川譜代)→常陸江戸崎18000石(⇒慶長11(1606)年、1万石加増され2万5000石)  
1601年3月5日-09:00|日本|茨城県牛久市|慶長6年2月1日|<拝領>常陸国牛久藩1万石「山口重政」(徳川譜代)(〜慶長18(1613)年大久保忠隣の失脚に伴って改易)  
1601年3月5日-09:00|日本|茨城県笠間市|慶長6年2月1日|<加増移封>武蔵騎西2万石「松平(松井)康重」→常陸笠間3万石(〜慶長13(1608)年丹波篠山5万石)  
1601年3月5日-09:00|日本|茨城県土浦市|慶長6年2月1日|<加増移封>下総布川5千石「松平(藤井)信一」(徳川譜代)⇒常陸土浦3万5千石(⇒慶長9(1604)年隠居)  
1601年3月5日-09:00|日本|神奈川県横須賀市|慶長6年2月1日|<加増移封>上総久留里30000石「大須賀忠政」(徳川譜代)⇒遠江横須賀60000石  
1601年3月5日-09:00|日本|岐阜県大垣市|慶長6年2月1日|<加増移封>上総鳴戸2万石「石川康通」(徳川譜代)⇒美濃大垣5万石(〜慶長12年7月26日(16070917)死去)  
1601年3月5日-09:00|日本|群馬県伊勢崎市|慶長6年2月1日|<拝領>上野伊勢崎1万石「稲垣長茂」(徳川譜代⇒慶長17年10月22日(16121114)死去)  
1601年3月5日-09:00|日本|群馬県渋川市|慶長6年2月1日|<加増移封>武蔵東方1万石「松平(戸田)康長」(徳川譜代)⇒上野白井2万石(〜翌年下総古河)  
1601年3月5日-09:00|日本|佐賀県唐津市|慶長6年2月1日|<加増>肥前唐津8万3千石「寺沢広高」+肥後天草郡42000石⇒12万5千石(〜寛永10年4月11日(16330518)死去)  
1601年3月5日-09:00|日本|滋賀県大津市|慶長6年2月1日|<加増移封>武蔵国内5千石「戸田一西」(徳川譜代)⇒近江大津3万石(〜翌年近江膳所へ移転)  
1601年3月5日-09:00|日本|滋賀県彦根市|慶長6年2月1日|<加増移封>上野高崎120000石「井伊直政」(徳川譜代)⇒

1620迄 (2404件)

- 近江佐和山180000石(～翌年2月1日(16020324)死去)
- 1601年3月5日-09:00|日本|静岡県掛川市|慶長6年2月1日|<加増移封>伊勢長島2万7千石「松平(久松)定勝」(徳川譜代)⇒遠江掛川3万石(⇒元和3(1617)年、伊勢桑名藩11万石)
- 1601年3月5日-09:00|日本|静岡県静岡市|慶長6年2月1日|<加増移封>伊豆韮山1万石「内藤信成」(徳川譜代)⇒駿河府中4万石(～慶長11(1606)年近江長浜4万石)
- 1601年3月5日-09:00|日本|静岡県沼津市|慶長6年2月1日|<加増移封>上総茂原5千石「大久保忠佐」(徳川譜代)⇒駿河沼津2万石(～慶長18年9月27日(16131109)死去無嗣断絶)
- 1601年3月5日-09:00|日本|静岡県沼津市|慶長6年2月1日|<加増移封>武蔵ノ内5千石「天野康景」(徳川譜代)⇒駿河興国寺1万石(⇒慶長12年3月9日(16070405)領民を殺害したとして蟄居、改易)
- 1601年3月5日-09:00|日本|静岡県浜松市|慶長6年2月1日|<加増移封>美濃金山2万5千石「松平(桜井)忠頼」⇒遠江浜松5万石(～慶長14年9月29日(16091026)殺害される)
- 1601年3月5日-09:00|日本|静岡県浜松市|慶長6年2月1日|<加増移封>武蔵松山2万5千石「松平(桜井)忠頼」(徳川譜代)廃城⇒遠江浜松5万石(～慶長14年9月29日(16091026)死去所領没収)
- 1601年3月5日-09:00|日本|栃木県真岡市|慶長6年2月1日|<拝領>下野真岡(芳賀城)2万石「浅野長重(浅野長政三男)」(～慶長16(1611)年、常陸真壁5万石[父の隠居領]を相続)
- 1601年3月5日-09:00|日本|長野県飯田市|慶長6年2月1日|<加増移封>下総古河2万石「小笠原秀政」(徳川譜代)⇒信濃飯田5万石(～慶長18(1613)年、信濃国松本8万石に加増移封)
- 1601年3月5日-09:00|日本|長野県伊那市|慶長6年2月1日|<立藩>高遠藩(常陸・下総・上総・相模国内)2万1千石「内藤清成」(徳川譜代、常陸・上総・下総国内1万6000石を加増)(～慶長13年10月20日(16081127)死去)
- 1601年3月5日-09:00|日本|長野県上田市|慶長6年2月1日|<移封>沼田藩「真田信之(信幸)」⇒信濃国上田藩
- 1601年3月5日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|慶長6年2月1日|<拝領>大和小泉16490石「片桐貞隆」(⇒慶長19(1614)年6月、5千石を秀頼より加増)
- 1601年3月5日-09:00|日本|山梨県甲府市|慶長6年2月1日|<加増移封>上野厩橋3万3千石「平岩親吉」(徳川譜代)⇒甲斐府中6万3千石(⇒慶長12(1607)年、犬山藩12万3000石)
- 1601年3月5日-09:00|日本|山梨県都留市|慶長6年2月1日|<拝領>甲斐谷村1万8千石「鳥居成次」(徳川譜代、鳥居元忠三男)(⇒寛永元(1624)年、駿河国などで加増されて3万5000石)
- 1601年3月6日 00:00|イギリス| [[ユリウス暦:1601/2/24|英軍人エックス蜂起を企てて失敗し斬首[1566年11月19日生～](享年34)
- 1601年3月11日-09:00|日本|福島県伊達郡|慶長6年2月7日|伊達政宗は伊達郡へ侵攻したが、本庄繁長、宮代岩守将八内図書の厳しい抵抗により撃退された
- 1601年3月21日-09:00|日本|茨城県下妻市|慶長6年2月17日|徳川家康は榊原康政、平岩親吉を派遣し常陸国下妻城主多賀谷重経、家宣父子を攻め破り、多賀谷領の領地没収/豊田城主多賀谷三経は近江国の佐和山に遁れ、間もなく病死/中太田城主多賀谷忠経は結城秀康に仕える⇒常陸下妻城主6万石「多賀谷重経」(西軍に参加、武蔵府中へ逃亡)/子孫は越前松平家に仕官し、前橋藩士となる/二男・吉隆は岩城貞隆養子となり、出羽亀田藩主となる
- 1601年4月-05:30|インド| [[ムガル帝国の皇子シームがアクバルに反抗しはじめる
- 1601年4月-01:00|ハンガリー/トルコ| [[<就任>ブダペストのペレグイニナルクシュ・マメト・パシャ(～10.15)
- 1601年4月-01:00|ポズナニ・ヘルツェゴヴィナ/トルコ| [[<就任>ポズナニ総督「タタル・マメト・パシャ」(～1602年)
- 1601年4月 00:00|イギリス| [[イギリス東インド会社がランカスター艦隊をアジアに派遣
- 1601年4月1日-01:00|サマリヤ| [[<就任>サマリヤ共和国執政「ロレンツォ・マルテリ」「リベリア・ガブリエリ」
- 1601年4月3日-02:00|ルーマニア| [[<即位>トランシルヴァニア大公「ジギスムント・バソリー・ツルヨイ」(3回目～16020726)
- 1601年4月3日-09:00|日本| [[慶長6年3月|東海道五十三駅を設定
- 1601年4月3日-09:00|日本|愛知県田原市|慶長6年3月|<加増移封>伊豆下田5千石「戸田尊次」(徳川譜代)⇒三河田原1万石(～元和元年7月7日(16150830)死去)
- 1601年4月3日-09:00|日本|高知県|慶長6年3月1日|山内一豊が、桂浜で相撲興行を行って観衆の中から長宗我部の遺臣で浦戸一揆の関係者73名を見つけて捕らえ、種崎で磔にする
- 1601年4月5日-09:00|日本|群馬県前橋市|慶長6年3月3日|<加増移封>武蔵川越1万石「酒井重忠」(徳川譜代)⇒上野厩橋3万3千石(～元和3年7月21日(16170822)死去)
- 1601年4月5日-09:00|日本|静岡県藤枝市|慶長6年3月3日|<加増移封>武蔵川越ノ内3千石「酒井忠利」⇒駿河府中1万石(～慶長14(1609)年川越2万石)
- 1601年4月7日-09:00|日本| [[慶長6年3月5日|鳥養道晰が、金春流謡本を朝廷に献上する(仮名まじり国文学書のはじめ)
- 1601年4月7日-09:00|日本|宮城県仙台市|慶長6年3月5日|<加増>陸奥岩出山60万石「伊達政宗」近江国蒲生郡内5000石加増⇒60万5000石(～寛永13年5月24日(16360627)死去)
- 1601年4月8日-09:00|日本|岐阜県岐阜市|慶長6年3月6日|<加増移封>上野小幡3万石「奥平信昌」⇒美濃加納10万石(～慶長7(1602)年隠居、菅沼家に養子に行った忠政が継いだ)
- 1601年4月13日-09:00|日本|大分県大分市|慶長6年3月11日|<加増移封>豊後高田1万石「竹中重利」⇒豊後府内2万石(～元和元年10月16日(16151206)死去)
- 1601年4月19日-09:00|日本|岩手県北上市|慶長6年3月17日|<岩崎一揆>南部軍は岩崎城周辺の七折館に陣を構えて本格的な攻撃を開始/桜庭直綱ら主力が本丸突入を図るも、樹形土塁の防御や城兵の反撃に阻まれた
- 1601年4月21日-09:00|日本|愛知県豊田市|慶長6年3月19日|<死去>三河伊保藩1万石「丹羽氏次」⇒「丹羽氏信」が継ぐ(～寛永15(1638)年4月27日美濃岩村へ)

1620迄 (2404件)

- 1601年4月29日-09:00|日本|岡山県岡山市北区|慶長6年3月27日|<移封>播磨姫路2万5千石「木下家定」→備中足守2万5千石(慶長13年8月26日(16081004)死去)
- 1601年5月1日-01:00|ルウェー/デンマーク|||<就任>ルウェー総督「ヨルゲン・フリイス・テイル・クラストルップ」(~16080430)
- 1601年5月1日-09:00|日本|福島県福島市|慶長6年3月29日|(28日~)伊達政宗は再び福島城に襲来/福島城が容易に落ちないと見た政宗は、梁川城へ矛先を転じようとしたが、梁川城の須田大炊は伏兵をもって迎撃、政宗勢は四方を取り囲まれて大敗し、散々に敗走
- 1601年5月3日-09:00|日本|愛知県知多郡東浦町|慶長6年4月|<拝領>尾張緒川1万石「水野分長」(⇒慶長11(1606)年三河新城へ)
- 1601年5月3日-09:00|日本|大分県速見郡日出町|慶長6年4月|<加増移封>播磨ノ内2万石「木下延俊(家定三男)」⇒豊後日出3万石(寛永19年1月7日(16420206)死去)
- 1601年5月7日-09:00|日本|大分県佐伯市|慶長6年4月5日|<移封>豊後国日田・玖珠2郡(永山城)2万石「毛利高政」⇒豊後佐伯2万石(寛永5年11月16日(16281211)死去)
- 1601年5月11日-09:00|日本|茨城県石岡市|慶長6年4月9日|元新治郡柿岡城主長倉義興が佐竹義宣に毒殺される/佐竹義宣は国分盛重を常陸国新治郡の柿岡城主として入城させる
- 1601年5月26日-09:00|日本|山形県酒田市|慶長6年4月24日|最上義光、上杉方の東禅寺城を攻略
- 1601年5月28日-09:00|日本|岩手県北上市|慶長6年4月26日|<岩崎一揆>南部軍は北信愛の献策で城に火をかけて焼き討ちにし、鉄砲隊による総攻撃で遂に岩崎城を陥落させた
- 1601年5月28日-09:00|日本|福島県福島市|慶長6年4月26日|<松川の戦い(陸奥国)>伊達政宗を松川で福島城の上杉方杉原・甘粕・本庄出羽守・栗生美濃守が迎え撃ち、伊達政宗と岡定俊(左内)が川中で太刀打ちを行うほどの大激戦になったが、上杉方はしだいに追い崩されて敗走、散々になり福島城へ逃げて行った/福島城の城兵が危ういとみた梁川城守須田大炊は、阿武隈川を渡り、遮二無二政宗本陣を目がけて切り掛かった/政宗勢は散々切り立てられ、軍伍散乱して敗走/更に本庄繁長が福島城の西門から打ち出て、伊達政宗の陣屋に火をかけ小荷駄を燃やしたため、政宗はもはや戦場にとどまることができず、大崎へと逃げ帰った
- 1601年6月1日-09:00|日本|香川県高松市|慶長6年5月|<交替>讃岐高松171800石「生駒親正」隠居⇒「生駒一正」が継ぐ(慶長15年3月18日(16100511)死去)
- 1601年6月1日-09:00|日本|京都府京都市伏見区|慶長6年5月|徳川家康、伏見に銀座を置き金銀貨を鑄造する
- 1601年6月24日-01:00|フランス|||<死去>ダニエル女公・ルテル伯「アンリエット」
- 1601年6月24日-09:00|日本|宮城県仙台市|慶長6年5月24日|伊達政宗の支援を受けて領地復興を画策していた和賀忠親が南部利直に敗れて自害
- 1601年6月30日-09:00|日本|高知県四万十市|慶長6年6月|<分封>土佐中村2万石「山内康豊」兄の土佐藩「山内一豊」が分与(寛永2年8月29日(16250930)死去)
- 1601年6月30日-09:00|日本|滋賀県大津市|慶長6年6月|徳川家康が大津城を廃し藤堂高虎に命じ膳所城築城開始
- 1601年6月30日-09:00|日本|三重県桑名市|慶長6年6月|<加増移封>上野国阿保城1万石「菅沼定仍」⇒伊勢長島2万石(慶長10年10月25日(16051205)死去)
- 1601年6月30日-09:00|日本|新潟県佐渡市|慶長6年6月1日|幕府、佐渡の金山を直営にする
- 1601年7月2日-01:00|ドイツ|||<死去>シャウエンブルク伯・ホルシュタイン＝ピンネブルク伯「アドルフ14世」
- 1601年7月2日-01:00|ドイツ|||<就任>シャウエンブルク伯・ホルシュタイン＝ピンネブルク伯「エルスト」(~16220117死去)
- 1601年7月5日-08:00|中国|||明・万暦29年6月6日|蘇州で織工たちが反税闘争に立ち上がる(織傭の変)
- 1601年7月9日-01:00|ベルギー/オランダ|||<就任>オランダ総督「フランス・ヴェル卿」(~16020307)
- 1601年7月13日-09:00|日本|埼玉県東松山市|慶長6年6月14日|<改易>武蔵松山25000石「松平(桜井)家広」(癡狂家老殺害)自刃
- 1601年7月15日 04:00|ポルトガル/スペイン|||<就任>ポルトガル知事兼提督「Sancho Ochoa de Castro」(~1608年死去)
- 1601年7月22日-02:00|トルコ|||<就任>オスマン帝国大宰相「エミヌチ・ハサン・パシャ」(~16031004)
- 1601年7月23日-09:00|日本|東京都千代田区|慶長6年6月24日|家康が江戸城中に富士見亭文庫を設立して金沢文庫の書籍を移し、目録作成を命じる
- 1601年7月28日-09:00|日本/フィリピン|||慶長6年6月29日|マニラ港からポルトガル船によって平戸にバコノの種子が伝わる
- 1601年8月13日-09:00|日本|新潟県佐渡市|慶長6年7月15日|鶴子鉱山の山師たちが佐渡相川金山発見
- 1601年8月26日-09:00|日本|福井県福井市|慶長6年7月28日|<改名>越前北庄68万石「結城秀康」(徳川家康の二男)入封⇒「松平秀康」(⇒慶長11(1606)年福井城が完成し移る)
- 1601年9月-02:00|ルーマニア|||<就任>ワキア総督・領主「ラドゥ・ウ・ミナア」(1回目~1602年3月)
- 1601年9月12日-09:00|日本|茨城県結城市|慶長6年8月16日|<改易>下総山川藩2万石「山川朝信」上杉に内通していたことが発覚
- 1601年9月12日-09:00|日本|山形県山形市|慶長6年8月17日|<加増>出羽山形24万石「最上義光」⇒57万石(庄内・由利33万石を加増~慶長19(1614)年1月18日死去)
- 1601年9月12日-09:00|日本|山形県米沢市|慶長6年8月16日|<改易>出羽米沢24万5700石「直江兼続」(上杉家家臣)西軍参加
- 1601年9月12日-09:00|日本|山形県米沢市|慶長6年8月16日|<減移封>陸奥会津若松120万石「上杉景勝」関ヶ原西軍参加により⇒出羽米沢30万石(元和9年3月20日(16230419)死去)
- 1601年9月16日-01:00|ハンガリー/オーストリア|||<死去>ハンガリー王室総督「ヤノシュ・クアシー」
- 1601年9月16日-01:00|ハンガリー/オーストリア|||<就任>ハンガリー王室総督代行「ミクロシュ・イシュトヴァンフィ・ハラニャウアーリ・エスキアノバルグイ」(4回目~16020208)

1620迄 (2404件)

- 1601年9月19日 04:00|ドミニカ共和国/スペイン| |||<就任>スペイン領サント・ミンゴ 総裁・総司令官「アントニオ・デ・オリオ・イ・ビシエガス」(~16080211没)
- 1601年9月21日-09:00|日本|福島県会津若松市|慶長6年8月25日|<加増移封>下野宇都宮18万石「蒲生秀行」⇒陸奥会津60万石(~慶長17(1612)年5月13日死去)
- 1601年9月22日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル公(王位継承者)「アナ」(~16050408)フランス王妃
- 1601年9月26日-09:00|日本|大分県玖珠郡玖珠町|慶長6年9月|<移封>伊予中予風早郡1万4000石「来島長親」⇒豊後森1万4000石(~慶長17年3月15日(16120415)死去)
- 1601年9月26日-09:00|日本|石川県|慶長6年9月1日|徳川秀忠の次女珠姫が加賀藩跡継ぎ「前田利常」に嫁ぐ
- 1601年10月-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワラキア総督・領主「シオン・キウ」(2回目、1602年3月まで対立総督・領主~1602年7月)
- 1601年10月1日-01:00|サマリヤ| |||<就任>サマリヤ共和国執政「ジ・ローモ・ゴジ」 「フランチェスコ・ジ・ヤネーニ」
- 1601年10月1日 00:00|アイルランド/デンマーク| |||<就任>アイルランド 支配者代行「ヨアキム・ツルケ」(~16020623)
- 1601年10月15日-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<就任>ブダペストのペイルベイ「ラ・マド・パシヤ」(2回目~1602年7月)
- 1601年10月23日-09:00|日本|京都府京都市|慶長6年9月28日|<新設>京都所司代「板倉勝重」西国諸大名の監視、浪人の取締まりが主な狙い(⇒1619(元和5年9月))
- 1601年10月24日-01:00|デンマーク| |||<死去>デンマークの天文学者ティコ・ブラーエ/54歳(誕生:15461214)/膨大な観測記録を残し、弟子のケプラーの理論に寄与した
- 1601年10月25日 01:00|アゾレス諸島/スペイン| |||<就任>サンゲル島島長官「Manuel Luis Baltasar da Camara」(~1619年死去)
- 1601年10月26日-09:00|日本|島根県鹿足郡津和野町|慶長6年10月|<加増移封>石見浜田2万石「坂崎直盛」⇒石見津和野3万石(元和2(1616)年7月20日4万3468石に加増⇒同年9月11日(16161021)自害改易)
- 1601年11月-01:00|スペイン/フィリピン| |||フィリピンでイロイロ族がスペイン支配に対して反乱
- 1601年11月 00:00|イギリス| |||<死去>デズモンド伯「ジェームズ・フィッツ・エラルト」
- 1601年11月6日-09:00|日本|群馬県前橋市|慶長6年10月12日|<拝領>上野総社1万石「秋元長朝」徳川譜代(⇒元和8(1622)年、嫡男「泰朝」に家督を譲って隠居)
- 1601年11月6日-09:00|日本|長野県諏訪市|慶長6年10月12日|<加増移封>上野総社1万2千石「諏訪頼水」徳川譜代⇒信濃高島2万7千石(⇒寛永17(1640)年、忠頼(忠恒)に家督を譲って隠居)
- 1601年11月11日-09:00|日本|長崎県長崎市|慶長6年10月17日|長崎興善町の一老人の家から出火、長崎6町で初の火災/ミゼリコルディア寺院の堀から岬の教会の手前まで、町の大部分を焼失
- 1601年11月25日-09:00|日本|埼玉県加須市|慶長6年11月|<拝領>武蔵騎西2万石「大久保忠常」徳川譜代(⇒慶長16年10月10日(16111114)死去)
- 1601年11月29日-09:00|日本|東京都千代田区|慶長6年11月5日|<就任>老中「青山忠成」(~慶長18年7月20日)
- 1601年12月-03:00|サウジアラビア| |||<死去>メッカ・シャリフ「ハッサン・ベーン・アブ・ヌマイ2世」
- 1601年12月-03:00|サウジアラビア| |||<就任>メッカ・シャリフ「アブド・アル=ムタリブ・ベーン・ハッサン」(~1年未満統治)⇒「アブ・タリブ・ベーン・ハッサン」(~1603年11月)
- 1601年12月23日-09:00|日本|三重県津市|慶長6年11月29日|<死去>伊勢上野藩2万石「分部光嘉」⇒「分部光信」が嗣ぐ(⇒元和5(1619)年8月近江大溝へ)
- 1601年12月26日-09:00|日本|大阪府大阪市天王寺区|慶長6年閏11月2日|豊臣秀頼、四天王寺を再建
- 1601年12月26日-09:00|日本|東京都|慶長6年閏11月2日|<江戸慶長6年の大火>江戸駿河町から出火し全市焼亡/以後、屋根を茅葺きから板葺きにさせる
- 1602年-08:00|インドネシア/ポルトガル| |||<就任>アンボン島ポルトガル首領「Gaspar de Melo」(~1605年)
- 1602年-08:00|マレーシア| |||<即位>クランタン・スルタン国スルタン「スルタン・アデイル・ウッティーン・イブニ・アル=マフムニック・ジヤマル・ウッティーン」(2回目~1605年)
- 1602年-05:00|トルクメニスタン/ウズベキスタン| |||<即位>ヒヴァン国第11代ハン「アラブ・ムハンマド」ハジ・ムハンマドの子(~1623年)
- 1602年-05:00|ウズベキスタン/イラン| |||サファビ朝軍がブハラでウズベク軍に敗北
- 1602年-03:30|イラン| |||<即位>ホルムズ・シャー「フィリス・シャー」(~1609年)
- 1602年-03:00|パーレン/イラン| |||パーレンがペルシャに再編入
- 1602年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレppo・ワリス(総督)「ナシュ・パシヤ」(~1603年)
- 1602年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンテリア公「ジョヴァンニ・サクレト」(~1604年)
- 1602年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領セウタ提督「Afonso de Noronha」(~1605年)
- 1602年-01:00|ポスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ポスニア総督「テルグ・イッシュ・パシヤ」(2回目~同年)⇒「ハサン・パシヤ」(2回目~1604年)
- 1602年-01:00|アンゴラ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル王領西アフリカ総督「ジョアン・トリス・コウチニョ」(~1603年没)
- 1602年-01:00|デンマーク/アイルランド| |||デンマークがアイルランド 貿易の独占制度を制度化
- 1602年 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル国務長官「クリストバオ・デ・モラ・エ・ホラ・カステロ・リゴ侯」(~1614年)
- 1602年 00:00|イギリス| |||シェイクスピアが「ハムレット」を完成
- 1602年 05:00|パナマ/スペイン| |||<就任>パナマ大審問院暫定総督・長官「エルナン・デ・アニャスコ」(~1604年)
- 1602年 05:00|ペルー| |||ピルカバナでフランス・チマのひきいるインディオの反乱
- 1602年 06:00|ホンジュラス/スペイン| |||<就任>コマカア県総督「ホセ・アルバート」(~1605年)
- 1602年 06:00|エルサルバドル/スペイン| |||<就任>サン・サルバドル、サン・ミゲル州市長「ファン・ギラル・デ・メンシス」(~1607年)
- 1602年1月23日-08:00|中国| ||明・万暦30年|マテオ・リッチが明朝の高官・李子藻の助力により「坤輿万国全図」を刊
- 1602年1月23日-09:00|日本|東京都千代田区|慶長6年12月|<就任>老中「内藤清成」(~慶長11年1月25日)

1620迄 (2404件)

- 1602年1月27日-09:00|日本|東京都|慶長6年12月5日|家康が青山忠成、内藤清成を江戸町奉行に任命し、関東総奉行を兼務させる
- 1602年2月6日 06:00|カナダ/フランス| |||<就任>フランス領カナダ副王「アイマルト・フェスト」(~1603年死去)
- 1602年2月7日-09:00|日本|千葉県|慶長6年12月16日|上総・安房で大地震、山崩れあり。海が干上がった後、明日大津波あり。人畜死亡多数
- 1602年2月8日-01:00|ハンガリー/オーストリア| |||<就任>ハンガリー王室総督「マートン・ペテヘン」(~16051005没)
- 1602年2月19日-09:00|日本|栃木県宇都宮市|慶長6年12月28日|<加増移封>上野小幡3万石「奥平家昌」⇒下野宇都宮10万石(~慶長19年10月10日(16141111)死去)
- 1602年2月22日-09:00|日本|香川県丸亀市|慶長7年|生駒一正、西讃岐支配のため丸亀に城を築き、丸亀城と名付ける
- 1602年2月22日-09:00|日本|岐阜県岐阜市|慶長7年|<交替>美濃加納10万石「奥平信昌」隠居⇒菅沼家に養子に行った三男「奥平忠政」が継いだ(~慶長19年7月2日(16140807)死去)
- 1602年2月22日-09:00|日本|群馬県沼田市|慶長7年|沼田城の二の丸・三の丸築造
- 1602年2月22日-09:00|日本|滋賀県大津市|慶長7年|<移転>近江大津3万石「戸田一西」(徳川譜代)⇒近江膳所3万石(⇒慶長9年7月25日(16040820)死去)
- 1602年2月22日-09:00|日本|栃木県大田原市|慶長7年|<加増>下野黒羽藩13000石「大関資増」⇒20000石(~慶長10(1605)年甥の政増に家督を譲って隠居)
- 1602年2月22日-09:00|日本|栃木県さくら市|慶長7年|<立藩>喜連川藩4500石(10万石格)「喜連川頼氏」(⇒寛永7(1630)年6月13日、死去)
- 1602年2月22日-09:00|日本|新潟県長岡市|慶長7年|<交替>越後蔵王堂4万石「堀親良」隠居⇒「堀鶴千代」が継ぐ(~慶長11(1606)年死去、坂戸藩に吸収)
- 1602年3月7日-01:00|ベルギー/フランス| |||<就任>オーストリア総督「フレデリック・ファン・トル」(~16030713)
- 1602年3月11日-01:00|イタリア| |||<死去>ミリア・テ・カヴァリエリ、イタリアの作曲家(生年1550年頃)
- 1602年3月12日-01:00|ドイツ| |||<死去>ナッサウ＝ヴァイルブルク伯「Philip4世」
- 1602年3月12日-01:00|ドイツ| |||<就任>ナッサウ＝ヴァイルブルク伯「Louis2世」(~16271108死去)
- 1602年3月20日-01:00|フランス/インド| |||ネーデルラント諸州は連合東インド会社(フランス東インド会社)を設立してアジアに進出
- 1602年3月22日-01:00|イタリア| |||<死去>アゴスティーノ・カラッチ、イタリアの画家(生年1557年)
- 1602年3月24日-09:00|日本|京都府京都市下京区|慶長7年2月|教如上人が家康より烏丸六条の地(堀川六条の東側)を寄進され、真宗大谷派東本願寺を建立/本来の本願寺は西本願寺に
- 1602年3月24日-09:00|日本|滋賀県彦根市|慶長7年2月1日|<死去>近江国佐和山18万石「井伊直政」42歳⇒「井伊直継」が継ぐ(⇒慶長11(1606)年、佐和山城から完成した彦根城へ居城を移した)
- 1602年3月25日-01:00|ポーランド| |||<死去>レクニツァ公「ヨアヒム・フレデリック・ブレク」公
- 1602年3月25日-01:00|ポーランド| |||<就任>レクニツァ公「ジヨーン・クリスチャン」(~1612年),「ジヨージ・ルドルフ」兄弟(~16530114死去)
- 1602年3月26日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「李德馨」(~16040507)
- 1602年4月1日-01:00|サマリヤ| |||<就任>サマリヤ共和国執政「ジュリアーノ・ゴジ」「イゼント・ホネリ」
- 1602年4月16日-09:00|日本| ||慶長7年2月24日|家康が中山道に伝馬の制度を設けた
- 1602年4月22日-09:00|日本|広島県福山市|慶長7年3月|神辺城代福島丹波、龍泉寺を再建
- 1602年5月-08:00|フィリピン/スペイン| |||<就任>スペイン領フィリピン諸島総督「ペドロ・デ・アラベラ」(~16060624死去)
- 1602年5月7日-09:00|日本|宮城県仙台市|慶長7年3月16日|仙台伊達領内で一揆が起きるが、茂庭綱元らがこれを鎮圧
- 1602年6月1日-09:00|日本|鹿児島県|慶長7年4月11日|<所領安堵>薩摩藩(鹿児島城)72万8700石「島津忠恒」(⇒慶長11(1606)年、家久と改名)
- 1602年6月3日-09:00|日本|岐阜県|慶長7年4月13日|美濃国に洪水が襲い、人馬が多数死亡
- 1602年6月4日-09:00|日本|滋賀県大津市|慶長7年4月14日|<死去>里村紹巴、連歌師(78歳、生年1525年)
- 1602年6月5日-09:00|日本|群馬県甘楽郡甘楽町|慶長7年4月15日|<拝領>上野小幡1万石「水野忠清」(徳川譜代、水野忠重三男⇒元和2(1616)年三河刈谷2万石に移封)
- 1602年6月20日 05:00|キューバ/スペイン| |||<就任>スペイン植民地キューバ総督・総司令官「ペドロ・デ・バルデスとメンデス・ランドレス」(~16080616)
- 1602年6月20日-09:00|日本|群馬県高崎市|慶長7年5月|<立藩>上野豊岡(根津)1万石「根津信政」(~慶長19(1614)年死去)
- 1602年6月20日-09:00|日本|埼玉県上尾市|慶長7年5月|<加増立藩>武蔵原市5千石「西尾吉次」+美濃国内7千石⇒武蔵原市藩1万2千石(~慶長11年8月26日(16060928)死去)
- 1602年6月20日-09:00|日本|千葉県印旛郡酒々井町|慶長7年5月|<加増>下総本佐倉1万石「三浦重成」+近江国浅井郡3千石(⇒慶長10(1605)年甥の重次に近江の所領3000石を分与~寛永元(1624)年死去)
- 1602年6月24日 00:00|アイルランド/デンマーク| |||<就任>アイルランド支配者「エンゲルト・クルゼ・ティルヴァインゲート」(~16060623)
- 1602年6月29日-02:00|ルーマニア/オーストリア| |||トランシルヴァニア大公を退位させオーストリアが統治(7.26発効)
- 1602年7月-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワラキア総督・領主「ラトゥ・シュ・エルバン」(1回目~1610年12月)
- 1602年7月-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<就任>ブダペストのペイルバエ「カザン・アリ・パシャ」(1回目~1604年8月)
- 1602年7月 04:30|ベネチア/スペイン| |||<就任>スペイン領ベネチア総督「Alonso Suarez del Castillo」(~16030706死

1620迄 (2404件)

去)

- 1602年7月6日-09:00|日本|茨城県石岡市|慶長7年5月17日|<立藩>常陸府中1万石「六郷政乗」(~元和9(1623)年出羽本庄2万石)
- 1602年7月6日-09:00|日本|茨城県古河市|慶長7年5月17日|<移封>上野白井2万石「松平(戸田)康長」⇒下総古河2万石(~慶長17(1612)年常陸笠間へ)
- 1602年7月6日-09:00|日本|茨城県土浦市|慶長7年5月17日|<拝領>常陸土浦3万5000石「松平(藤井)信一」(~慶長9(1604)年隠居、養子の信吉が継ぐ)
- 1602年7月7日-01:00|ドイツ| |||<死去>サケン=ウァイマル公「フリートリヒ・ウァイルヘルム」
- 1602年7月7日-01:00|ドイツ| |||<即位>サケン=ウァイマル公「ヨハン2世」フリートリヒ・ウァイルヘルムの弟(~16050718死去)
- 1602年7月9日-09:00|日本|京都府亀岡市|慶長7年5月20日|<死去>丹波亀山5万石「前田玄以」64歳⇒次男の「前田茂勝」が嗣ぎ丹波八上5万石に移封(~慶長13年6月16日狂気を理由に改易)
- 1602年7月17日-09:00|日本|愛知県|慶長7年5月28日|<死去改易>尾張・三河国内16000石「日根野弘就」
- 1602年7月26日-02:00|ルーマニア/オーストリア| |||<就任>オーストリア軍トランシルヴァニア総司令官「ジヨルジオ・パスタ・グラーフ・ハスト」(~16050221)
- 1602年7月31日-01:00|フランス| |||ヒロン公(シャル・ド・ゴント=ピロン)、大逆の陰謀を企てたとしてパティユ牢獄で斬
- 1602年8月1日 03:00|アルゼンチン/スペイン| |||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ総督「エルナント・アリアス・デ・サベトラ」(3回目~1609年)
- 1602年8月1日 04:00|パラグアイ/スペイン| |||<就任>スペイン領ヌエバ・アンダルス総督「エルナント・アリアス・デ・サベトラ」(2回目~1609年)
- 1602年8月3日-08:00|マレーシア| |||<死去>カタ・スルタン国スルタン「ムザファル・シャー3世」
- 1602年8月3日-08:00|マレーシア| |||<即位>カタ・スルタン国スルタン「スライマン・シャー2世」(~16260228死去)
- 1602年8月11日-09:00|日本|東京都千代田区|慶長7年6月24日|家康が、江戸城中に富士見亭文庫を設立して金沢文庫の書籍を移し、目録の作成を命じる
- 1602年8月17日-09:00|日本|千葉県君津市|慶長7年7月|<立藩>上総久留里2万石「土屋忠直」(~慶長17年3月24日(16120424)死去)
- 1602年8月26日-09:00|日本|茨城県水戸市|慶長7年7月10日|佐竹氏の旧臣が一揆を起こして水戸城を奪おうとするが鎮圧される
- 1602年9月-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>モルッカ諸島オランダ総督「Christiaen Adriaenszoon den Dorst」(~1604年)
- 1602年9月12日 05:00|コロンビア/スペイン| |||<就任>ヌエバ・グラナダ大統領・総督・総司令官「大審問院」(~16051002)
- 1602年9月12日-09:00|日本|秋田県秋田市|慶長7年7月27日|<減移封>常陸水戸54万5800石「(常陸佐竹氏第18代当主)佐竹義宣」⇒出羽土崎湊205818石(~慶長9(1604)年8月27日、出羽久保田に移転)
- 1602年9月12日-09:00|日本|茨城県稲敷市|慶長7年7月27日|<改易>常陸江戸崎45000石「蘆名義広」(兄の佐竹義宣が西軍に与したため)
- 1602年9月12日-09:00|日本|茨城県笠間市|慶長7年7月27日|<転封>出羽土崎湊52440石「秋田実季」⇒常陸宍戸藩5万石(~寛永7(1630)年蟄居)
- 1602年9月12日-09:00|日本|栃木県下都賀郡壬生町|慶長7年7月27日|<減移封>信濃諏訪2万7000石「日根野吉明」⇒下野壬生1万9百石(祖父・弘就の西軍内通と吉明自身の幼少を理由⇒寛永11(1634)年7月豊後府内2万石)
- 1602年9月12日-09:00|日本|福島県いわき市|慶長7年7月27日|<加増転封>下総矢作4万石「鳥居忠政」廃藩⇒陸奥磐城平10万石(⇒慶長10年2月、2万石加増12万石)
- 1602年9月12日-09:00|日本|福島県いわき市|慶長7年7月27日|<改易>陸奥磐城平11万3000石「岩城貞隆」関ヶ原敗戦により
- 1602年9月12日-09:00|日本|福島県南相馬市|慶長7年7月27日|<改易>陸奥牛越4万9234石「相馬義胤」佐竹氏の転封に伴い
- 1602年9月12日-09:00|日本|山形県山形市|慶長7年7月27日|<加増>出羽山形24万石「最上義光」33万石(関ヶ原勝利で)⇒57万石(~慶長19(1614)年1月18日死去)
- 1602年9月13日-09:00|日本|京都府福知山市|慶長7年7月28日|<加増>丹波国福知山藩6万石「有馬豊氏」+父・則頼の遺領三田2万石を継承⇒8万石(⇒元和6(1620)年12月8日、筑後久留米21万石に加増転封)
- 1602年9月13日-09:00|日本|兵庫県三田市|慶長7年7月28日|<死去>摂津三田2万石「有馬則頼」嫡子豊氏領に吸収
- 1602年10月-02:00|エストニア/スウェーデン| |||<就任>スウェーデン・エストニア総督代行「アンダー・スラーソン・ポティラスト」(1回目~1605年5月)
- 1602年10月 00:00|イギリス| |||<死去>トマス・モリー、イギリスの作曲家(生年1557年)
- 1602年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジャン・バティスト・ベルツィ」「フランチェスコ・マリア・コルベツィ」
- 1602年10月2日-09:00|日本|宮崎県小林市|慶長7年8月17日|<庄内の乱(日向国)>島津忠恒は日向国野尻で狩りを催した際、伊集院忠真を射殺/実行犯の押川治右衛門と淵脇平馬は切腹を命じられたが、計画的な暗殺だった/同日に忠真の母と弟三人も殺された
- 1602年10月14日-09:00|日本|長崎県平戸市|慶長7年8月29日|<死去>肥前平戸63196石「松浦久信」⇒子の「松浦隆信」が継ぐ(~寛永14年5月24日(16370716)死去)
- 1602年10月15日-09:00|日本|愛知県新城市|慶長7年9月|<加増立藩>上野長根7千石「松平(奥平)忠明」(徳川譜代)⇒三河作手1万7千石(~慶長15(1610)年7月27日伊勢亀山5万石)
- 1602年10月15日-09:00|日本|秋田県能代市|慶長7年9月|多賀谷氏の菩提祈願所である下妻多宝院円福寺が秋田に移転
- 1602年10月15日-09:00|日本|茨城県|慶長7年9月|<廃城>東茨城郡常北の古内城、日立助川の介川城、多珂郡友部

1620迄 (2404件)

- の山尾城、那珂郡東海村真崎城、真壁郡真壁城、久慈郡世谷村丹奈城、行方郡麻生小高城  
1602年10月15日-09:00|日本|茨城県高萩市|慶長7年9月|<移封>出羽角館4万4千石「戸沢政盛」⇒常陸松岡(〜元和8年9月26日出羽新庄へ)、角館の地は久保田藩に編入  
1602年10月15日-08:00|中国| ||明・万曆30年9月|景徳鎮で反税暴動がおこる  
1602年11月14日-09:00|日本|福島県南相馬市|慶長7年10月|<再封>陸奥小高4万9234石「相馬利胤」(相馬義胤の息子〜慶長16(1611)年12月2日陸奥中村に転封)  
1602年11月25日-09:00|日本|宮城県宮崎市|慶長7年10月12日|<稲津の乱(日向国)>稲津重政が僅かな手勢で清武城に籠城  
1602年11月29日 00:00|イギリス| ||<死去>アントニー・ルポーン、イギリスの作曲家(生年1545年頃)  
1602年12月1日-09:00|日本|岡山県岡山市|慶長7年10月18日|<死去改易>備前岡山51万石「小早川秀秋」21歳、無嗣  
1602年12月1日-09:00|日本|宮城県宮崎市|慶長7年10月18日|<稲津の乱(日向国)>飢肥藩兵に攻められ稲津重政が戦死  
1602年12月5日-09:00|日本|群馬県高崎市|慶長7年10月22日|<死去>上野吉井2万石「菅沼定利」⇒養子の「菅沼忠政」が嗣ぐ(〜慶長15(1610)年美濃加納へ)  
1602年12月14日-09:00|日本|茨城県水戸市|慶長7年11月|<加増移封>下総佐倉4万石「松平(武田)信吉」(徳川家康の五男)⇒常陸水戸15万石(〜慶長8年9月11日(16031015)死去無嗣絶家)  
1602年12月14日-09:00|日本|福岡県北九州市|慶長7年11月|<移転>豊前中津藩339000石「細川忠興」⇒小倉藩(藩庁を小倉城に移し改称⇒元和6(1620)年、三男の忠利に家督を譲って隠居)  
1603年-08:00|マレーシア| ||<死去>ヘラ・スルタン「アラウデ・イン・シャー」  
1603年-08:00|モンゴル| ||<死去>モンゴル帝国(北元)皇帝「フヤン・セフエン・ハーン」  
1603年-08:00|インドネシア/イギリス| ||<就任>イギリス東インド会社バンタム長官「ウィリアム・スターキー」(〜同年)⇒「エドマント・スコット」(〜1605年)  
1603年-08:00|インドネシア/ポルトガル| ||<就任>モルッカ諸島ポルトガル司令官「Andre Furtado de Mendonca」(〜同年)⇒「Pedro Alvares de Abreu」(〜16050519)  
1603年-08:00|インドネシア/イギリス| ||<設立>イギリス領バンタム湾(〜1682.8)  
1603年-08:00|マレーシア| ||<即位>ヘラ・スルタン「ムカダム・シャー」(〜1619年没)  
1603年-08:00|モンゴル| ||<即位>モンゴル帝国(北元)皇帝「リンダン・フトウ・トゥ・ハーン」(〜1634年没)  
1603年-07:00|カンボジア| ||<即位>カンボジア王国国王「ハロム・レアキ4世」(〜1618年)  
1603年-07:00|ラオス| ||<タングー王朝からランサン独立>  
1603年-05:00|モルデイグ| ||<即位>ヒルリ朝国王「Dom Philippe Keerithi Maha Radun」(〜1632年)  
1603年-03:00|イラク/トルコ| ||<就任>バグダッド・ワリス「ヒジール・ハシャ」⇒「ムスタファ・ハシャ・サリケイ」(〜1604年)  
1603年-03:00|スーダン| ||<即位>ダフル・スルタン国スルタン「スレイマン・ソロン」建国、スーダンのイスラム黒人国家(〜1637年死去)  
1603年-03:00|スーダン| ||<即位>フンジ王国スルタン「アブド・アル=カティル2世」(〜1606年)  
1603年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| ||<就任>アレクソ・ワリス(総督)「カンフ・ラトグル・フセイン・ハシャ」(〜1605年)  
1603年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| ||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「フェルハド・ハシャ・バスタジニ」(〜1604年)⇒「カンハラウアート・マムト・ハシャ」(〜同年)  
1603年-01:00|アンゴラ/ポルトガル| ||<死去>ポルトガル王領西アフリカ総督「ジョアン・ド・リグス・コウチニョ」  
1603年-01:00|アルジェリア/トルコ| ||<就任>アルジェのハシャ「カテル・ハシャ」(3回目〜1605年)  
1603年-01:00|ドイツ| ||<就任>アンハルト=ベルンブルク侯「Christian1世」(〜16300417死去)  
1603年-01:00|ドイツ| ||<就任>アンハルト=ケーテン侯「Louis」(〜16500107死去)  
1603年-01:00|ドイツ| ||<就任>アンハルト=ツェルプスト侯「Rudolph」(〜16210730死去)  
1603年-01:00|ドイツ| ||<就任>アンハルト=テッサウ侯「John George1世」(〜16180524死去)  
1603年-01:00|スペイン| ||<就任>スペイン領メリウ総督「Pedro de Herrida」(〜1611年)  
1603年-01:00|アンゴラ/ポルトガル| ||<就任>ポルトガル王領西アフリカ総督「マヌエル・セルウエイラ・ペレイラ」(1回目〜1606年)  
1603年-01:00|ドイツ| ||<即位>ザクセン=アルテンブルク公「ヨハン・フィリップ」(〜16390401死去)  
1603年-01:00|イタリア| ||<即位>ヒンボニーノ公「Rudolf」(〜1611年)  
1603年 00:00|イギリス| ||<就任>サフォーク伯「トマス・ハワード」(〜16260528死去)  
1603年 00:00|ポルトガル/スペイン| ||<就任>スペインのポルトガル副王代理「アフォンソ・デ・カステロ・ブランコ、コインブラ司教、アルカニル伯」(1期目)⇒副王「クリストバオ・デ・モウラ・エ・ヌノ・カステロ・リゴ」侯(2期目)⇒副王代理「アフォンソ・デ・カステロ・ブランコ、コインブラ司教、アルカニル伯」(2期目〜16050524)  
1603年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| ||<就任>スペイン王国植民地テリフェ島知事「Francisco de Benavides」(〜1608年)  
1603年 00:00|モロッコ| ||<即位>モロッコ・スルタン(マラケシュ政権)「ムラーイ・ズイダン・アブー・マリー」(〜1627.9死去)  
1603年 06:00|カナダ/フランス| ||<死去>フランス領カナダ副王「アイマルト・フェスト」  
1603年 06:00|ニカラガ/スペイン| ||<就任>ニカラガ総督「アロンソ・ラウ・デ・コルトバ」(〜1622年)  
1603年1月4日-09:00|日本|千葉県富津市|慶長7年11月22日|<加増>上総佐貫2万石「内藤政長」(徳川譜代)⇒3万石(〜慶長20(1615)年1万石加増)  
1603年1月6日-02:00|トルコ| ||イスタンブールで、ゾルバ反乱が起こる  
1603年1月10日-01:00|スペイン/フィリピン| ||マニラで華僑が反乱をおこし、スペイン軍が虐殺  
1603年1月10日-09:00|日本|千葉県佐倉市|慶長7年11月28日|<加増移封>武蔵深谷1万石「松平忠輝」(徳川家康の六男)⇒下総佐倉5万石(〜翌年信濃川中島へ)  
1603年1月12日 01:00|カーボベルデ/ポルトガル| ||<就任>カーボベルデ総督「フェルナン・デ・マスキータ・デ・ブリト」(〜1606年)  
1603年1月15日-09:00|日本|京都府京都市東山区|慶長7年12月4日|方広寺大仏殿焼失

1620迄 (2404件)

- 1603年1月24日-09:00|日本|秋田県にかほ市|慶長7年12月13日|最上義光が由利郡仁賀保国替のため百姓一揆が起り、家臣の秋保出雲が槍兵13人を率いてこれを鎮圧
- 1603年2月5日-09:00|日本|栃木県大田原市|慶長7年12月25日|<加増立藩>下野大田原7900石「大田原晴清」(那須資晴旧臣)⇒12400石(寛永8年2月5日(16310307)死去)
- 1603年2月8日-09:00|日本|千葉県香取市|慶長7年12月28日|<加増移封>不明1、500石「土井利勝」⇒下総小見川1万石(慶長15年下総佐倉へ)
- 1603年2月11日-09:00|日本|長崎県五島市|慶長8年|<所領安堵>肥前福江(石田城)15530石「五島玄雅」(慶長17年3月8日(16120408)死去)
- 1603年2月11日-09:00|日本|長崎県長崎市|慶長8年|「日葡辞書」本編、長崎で刊
- 1603年2月11日-09:00|日本|福島県会津若松市|慶長8年|会津の檜原山・石ヶ森鉱山で金を産出
- 1603年2月11日-07:00|ベトナム||大越黎朝・弘定4年|<即位>パントウワン王「Po Nit」(1613年)
- 1603年2月26日-01:00|イタリヤ||<就任>ジェヴァ共和国トージェ「ヒエロト・フランキ」(16050227)
- 1603年3月10日-09:00|日本|山梨県甲府市|慶長8年1月28日|<拝領>甲斐甲府25万石「徳川五郎太丸」(後の義直、家康九男~慶長12年尾張清洲へ)
- 1603年3月13日-09:00|日本|茨城県つくばみらい市|慶長8年2月|<移封>遠江久野1万6千石「松下重綱(吉綱)」⇒常陸小張1万6千石(⇒元和9(1623)年3月15日下野烏山藩2万800石)
- 1603年3月13日-09:00|日本|岡山県岡山市|慶長8年2月|<拝領>備前岡山28万石「池田忠継」(⇒慶長19(1614)年、父の遺領の内母・良正院の化粧料の西播磨10万石を分与され計38万石)
- 1603年3月13日-09:00|日本|岡山県倉敷市|慶長8年2月|<加増移封>播州赤穂2万2000石「池田長政(輝政弟)」⇒備前下津井32000石(慶長12年7月20日(16070911)死去改易)
- 1603年3月13日-09:00|日本|岡山県総社市|慶長8年2月|<拝領>備中浅尾1万石「蒔田広定」(⇒寛永13年8月23日(16360922)死去)
- 1603年3月14日-01:00|ドイツ||<死去>メレンブルク=キェストロー公「ウルリヒ」
- 1603年3月14日-01:00|ドイツ||<即位>メレンブルク=キェストロー公「カール1世」アルブレヒト7世の息子、ヨハン・アルブレヒト1世およびアドルフ・フリードリヒ1世の後見人(16100722)
- 1603年3月18日-09:00|日本|岡山県津山市|慶長8年2月6日|<加増移封>信濃松代13万7千5百石「森忠政」⇒美作津山18万6500石(寛永11年7月7日(16340731)死去)
- 1603年3月18日-09:00|日本|長野県飯山市|慶長8年2月6日|<加増移封>下野皆川30000石「皆川広照」⇒信濃飯山75000石/松平忠輝付家老(⇒慶長14(1609)年10月27日改易)
- 1603年3月18日-09:00|日本|長野県長野市|慶長8年2月6日|<加増移封>下総佐倉5万石「松平忠輝」(徳川家康の六男)佐倉は幕府領となる⇒信濃川中島12万石(慶長15(1610)年閏2月、越後国高田藩30万石を加封)
- 1603年3月24日-09:00|日本|京都府京都市東山区|慶長8年2月12日|京都知恩院造営
- 1603年3月24日-09:00|日本|東京都千代田区|慶長8年2月12日|<就任>老中「榊原康政」(慶長11年5月14日)
- 1603年3月24日-09:00|日本|東京都千代田区|慶長8年2月12日|徳川家康(62)が征夷大將軍に任じられ、江戸幕府を開く/直轄江戸800万石(慶長10年4月16日)
- 1603年3月31日-09:00|日本||慶長8年2月19日|酉刻日蝕/赤色/亥刻月蝕/両蝕同日にあり
- 1603年4月1日-01:00|サマリヤ||<就任>サマリヤ共和国執政「オラツィオ・ベルツィ」「スキオガブリエリ」
- 1603年4月3日 00:00|イギリス||ユリウス暦:1603/3/24|<死去>イングランド王「エリザベス1世(処女王)」国民敬愛のうちに/69歳(誕生15330907)
- 1603年4月3日 00:00|イギリス||ユリウス暦:1603/3/24|<即位>イングランド王国国王(ステュアート家)ジェームズ1世[ハリー・ステュアートとマリー・ステュアートの男子](16250327死去58歳)
- 1603年4月9日 00:00|アイルランド/イギリス||アイルランドで反乱に加わったアルスター地方の族長ヒュー・オニルが降伏/イギリスの7アイルランド征服が完成
- 1603年4月14日-09:00|日本|東京都中央区|慶長8年3月3日|江戸日本橋が開通/全長28間(約51米)、幅4間2尺(約8米)ケヤとヒキを使用
- 1603年4月14日-08:00|中国/韓国/朝鮮||朝鮮・万暦31年3月4日|朝鮮が鴨緑江で中国との交易を再開
- 1603年4月25日-01:00|ドイツ||<死去>ブランデンブルク=アンハルト辺境伯「ゲオルク・フリードリヒ」
- 1603年4月25日-01:00|ドイツ||<就任>ブランデンブルク=アンハルト辺境伯「ヨアヒム・エルスト」(16250307死去)
- 1603年4月25日-01:00|ドイツ||<就任>ブランデンブルク=カムハルト辺境伯「クリスティアン」(⇒1604年ブランデンブルク=ハインリヒ辺境伯(宮廷をカムハルトからハインリヒへ移転)~16550530死去)
- 1603年5月2日-09:00|日本|京都府京都市中京区|慶長8年3月21日|二条城が完成し、徳川家康が伏見城から移る
- 1603年5月8日-09:00|日本||幕府が郷村掟を定め、逃散農民の帰村・直訴などについて定める
- 1603年5月9日-02:00|ルーマニア||<即位>トランシルヴァニア対立大公「モーセ・クリ・セメンアルグァイ」(7.17没)
- 1603年5月11日-09:00|日本|京都府京都市上京区|慶長8年4月|出雲の阿国が京都北野で、男装をして茶屋女と戯れる「かぶき踊」を始めた(阿国歌舞伎の初見)
- 1603年5月14日-09:00|日本|宮城県仙台市|慶長8年4月4日|<転封>陸奥岩出山60万5000石「伊達政宗」⇒陸奥仙台藩60万石(後62万石~寛永13年5月24日(16360627)死去)
- 1603年6月1日 00:00|アイルランド/イギリス||<就任>アイルランド副卿「ジョージ・ケリー卿」(16050203)
- 1603年6月19日-09:00|日本|東京都千代田区|慶長8年5月10日|伊賀組一同、服部半蔵正就に叛旗を翻し、西念寺に立て籠もる
- 1603年6月20日-01:00|フランス||パリのセヌ川の石橋ポンヌフが完成する(最古の石橋)/国王アンリ4世が渡り初めを行う

1620迄 (2404件)

- 1603年6月22日 06:00|カナダ/フランス| |||ジャン・ランガケックに上陸し、ハスコシア植民地を建設
- 1603年7月6日 04:30|ベネチア/スペイン| |||<死去>スペイン領ベネチア総督「Alonso Suarez del Castillo」
- 1603年7月6日 04:30|ベネチア/スペイン| |||<就任>スペイン領ベネチア総督「Tomas de Aguirre y Guezala y Plasencia + Rodrigo de Leon Salazar」(~10.27)
- 1603年7月13日-01:00|ベルギー-/オランダ| |||<就任>オステント 総督「ホグウット」とアツウットの領主チャールズ・ファン・デル・ヌート(2回目~1603年12月)
- 1603年7月24日 00:00|イギリス| |||<就任>コンウォール公「ヘンリー・フレデリック」ジェームズ1世の子(~16121106死去)
- 1603年8月25日 00:00|モロッコ| |||<死去>サト朝スルタン「アフマド・アル=マンスール」
- 1603年8月25日 00:00|モロッコ| |||<即位>サト朝スルタン「アフ=ファリス・アフドゥッラー」(~1608年死去)
- 1603年8月25日 00:00|モロッコ| |||<即位>サト朝マラケシュ政権初代アミール「ムラーイ=スィダン=アフ=マリ」(~1627.9)
- 1603年9月-03:00|エチオピア| |||<即位>エチオピア帝国(ソロモン朝) 皇帝「サ=テンゲル=ササ=デンツ」(~16041024没)
- 1603年9月1日-01:00|ポーランド/ドイツ| |||<死去>ホンメル=シュテッティン公「バルニム10世若公」
- 1603年9月1日-01:00|ポーランド/ドイツ| |||<就任>ホンメル=ヴォルガスト公「フィリップ・ユリウス」(~16250206死去)
- 1603年9月1日-01:00|ポーランド/ドイツ| |||<就任>ホンメル=シュテッティン=リュケネンヴァルデ公「ゲオルク2世」(~16170327死去)、「ホキスラ712世社交公」(~1625年~16370310死去)「リウス」(~16250206死去)
- 1603年9月1日-01:00|ポーランド/ドイツ| |||<就任>ホンメル=シュテッティン公「ホキスラ711世」(~16060307死去)
- 1603年9月3日-09:00|日本|大阪府大阪市|慶長8年7月28日|徳川秀忠の娘千姫が豊臣秀頼に嫁す
- 1603年9月6日-09:00|日本|愛媛県伊予市|慶長8年8月|加藤嘉明、伊予郡上三谷村若一社を再興造営
- 1603年9月6日-09:00|日本|高知県高知市|慶長8年8月|<移転>土佐浦戸「山内一豊」→土佐高知20万2600石(慶長10年9月20日(16051101)死去)
- 1603年9月6日-09:00|日本|東京都千代田区|慶長8年8月|徳川家康が江戸の城廓を擴張するに当り、武蔵国芝崎村に在った神田明神の旧跡を駿河台鈴木に遷座
- 1603年9月10日 00:00|チャンネル諸島/イギリス| |||<就任>イギリス王領ジャージー=知事「John Peyton卿」(~16301104)
- 1603年9月18日-09:00|日本|奈良県高市郡高取町|慶長8年8月13日|<死去>大和高取25000石「本多利久」⇒「本多俊政」が継ぐ(~慶長15年閏2月8日(16100401)死去)
- 1603年9月19日-09:00|日本|千葉県野田市|慶長8年8月14日|<死去>下総関宿4万石「松平(久松)康元」⇒「松平(久松)忠良」が嗣ぐ(~元和2(1616)年美濃大垣5万石へ加増移封)
- 1603年10月 03:00|ブラジル/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ブラジル総督「デ・イコ=ホネリョ」(~16080107)
- 1603年10月1日-01:00|サマリヤ| |||<就任>サマリヤ共和国執政「フランチェスコ=ホネリ」「ラツタツイオ=ヴァリ」
- 1603年10月7日-09:00|日本|秋田県|慶長8年9月3日|出羽国秋田の佐竹氏の家老小貫大藏が病死し、和田安房守も老年の爲めに家老職を辞退し、渋井内膳が出頭人より家老に取り立てられんとするを川井伊勢守は之れを妬んで之れを除こうとし、譜代と牢人の勢力争ひが起り、佐竹義重は川井伊勢守以下其の一味の者を殺害
- 1603年10月7日-09:00|日本|大分県臼杵市|慶長8年9月3日|<死去>豊後臼杵藩5万石「稲葉貞通」⇒子の「稲葉典通」が継ぐ(~寛永3年11月9日(16261227)死去)
- 1603年10月15日-09:00|日本|茨城県水戸市|慶長8年9月11日|<死去改易>常陸水戸15万石「武田信吉」(21徳川家康五男)病死(無嗣)
- 1603年10月16日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「ヤグス=アリ=パシャ」(~16040726)
- 1603年10月20日 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領フロリダ 植民地総督「ペドロ=テ=イバラ」(~1610年)
- 1603年10月21日-03:30|イラン/トルコ| |||アッバ=ス1世の率いるサファウィ朝軍が、オスマン帝国からタブリーズを奪い返す
- 1603年10月26日-09:00|日本|大阪府堺市|慶長8年9月22日|<死去>落語家・曾呂利新左衛門
- 1603年10月27日 04:30|ベネチア/スペイン| |||<就任>スペイン領ベネチア総督「Francisco Mejia de Godoy」(~16060207)
- 1603年10月27日 07:00|メキシコ/スペイン| |||<就任>ヌエバ=イスパ=ニヤ副王「モンテスクレー=ロウ侯爵ファン=マヌエル=デ=メント=サ=マリケ=ウルト=イ=パ=デ=イ=ジャ」(~16070702)
- 1603年10月28日-09:00|日本|東京都港区|慶長8年9月24日|幕府、芝に愛宕神社を創建
- 1603年11月-03:00|サウジアラビア| |||<就任>メッカ=シャリフ「イトリス=ヒン=ハッサン」(~16241016退任)、「フハイド=ヒン=ハッサン」(~1610年7月)、「ムシ=ヒン=ハッサン」(~16280521)
- 1603年11月3日-09:00|日本|秋田県仙北郡美郷町|慶長8年10月|<六郷一揆>出羽仙北六郷で常陸に移封された六郷氏の遺臣と百姓が一揆を起こす
- 1603年11月3日-09:00|日本|愛媛県松山市|慶長8年10月|<移転>伊予松前20万石「加藤嘉明」⇒伊予松山20万石(本拠地を勝山に移し地名を松山と改名~寛永4年陸奥会津若松へ)
- 1603年11月12日-01:00|ドイツ| |||<死去>オルテンブルク伯「ヨハン7世」
- 1603年11月12日-01:00|ドイツ| |||<就任>オルテンブルク伯「アントン=キェンター」(~16670619死去)
- 1603年11月20日-09:00|日本|宮崎県宮崎市|慶長8年10月18日|<移封>大隅国垂水「島津以久」⇒日向国佐土原藩3万石(慶長15年4月9日(16100531)死去)
- 1603年11月27日-09:00|日本|福島県東白川郡棚倉町|慶長8年10月25日|<加増立藩>旗本5千石「立花宗茂」⇒陸奥棚倉1万石(後3万5百石)(~元和6年11月27日筑後柳河へ)
- 1603年12月-01:00|ベルギー-/オランダ| |||<就任>オステント 総督「ヒエールト=キステルス」(~16040321)
- 1603年12月-01:00|リビア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国トリポリタニア=ベイルベイル「セイファ=デ=イ」(~1614年)
- 1603年12月1日 00:00|イギリス| ||ユリウス暦:1603/11/21|イギリスの物理学者・医学者ウリアム=ギルバート没(15440524~)「磁気学の父」
- 1603年12月3日-09:00|日本|茨城県石岡市|慶長8年11月|<再拝領>常陸片野2万石「滝川雄利」(~慶長15年2月26日(

1620迄 (2404件)

16100321) 死去)

- 1603年12月3日-09:00|日本|茨城県稲敷市|慶長8年11月|<再拝領>常陸古渡1万石「丹羽長重」(元加賀小松城主)(~元和5年常陸江戸崎へ)
- 1603年12月3日-09:00|日本|京都府京都市下京区|慶長8年11月|東本願寺阿弥陀堂が完成
- 1603年12月3日-09:00|日本|三重県伊勢市|慶長8年11月|勢州山田奉行を設置
- 1603年12月9日-09:00|日本|茨城県水戸市|慶長8年11月7日|<拝領>常陸水戸20万石「徳川長福丸(家康十男, 後の頼宣)」(~慶長14年遠江駿府へ)
- 1603年12月18日-09:00|日本|千葉県館山市|慶長8年11月16日|<死去>安房国館山藩12万石「里見義康」⇒「里見忠義」が嗣ぐ(~慶長19(1614)年9月9日伯耆倉吉3万石)
- 1603年12月21日-09:00|日本|高知県|慶長8年11月19日|滝山一揆が起こる
- 1603年12月22日-02:00|トルコ| |||<死去>オスマン帝国第13代スルタン「ムフメト3世」
- 1603年12月22日-02:00|トルコ| |||<即位>オスマン帝国第14代スルタン「アフメト1世」ムフメト3世の子(~1617年11月22日死去)
- 1603年12月27日-09:00|日本|群馬県館林市|慶長8年11月25日|<加増>上野館林10万石「榊原康政」+在京料として近江野洲郡、栗田郡、蒲生郡5千石
- 1604年-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>モルッカ諸島オランダ総督代理「Anthonio van Suylen van Nyevelt」(~1605.4)
- 1604年-08:00|インドネシア| |||<即位>アチェ王国スルタン「アリ・リアヤット・シャー」(~1607年)
- 1604年-05:30|インドネシア| |||<建国>ラオス王国
- 1604年-05:30|スリランカ| |||<死去>キャンデー王国国王「ウ・イマラ・ダ・ルマシリヤ1世」
- 1604年-05:30|スリランカ| |||<即位>キャンデー王国国王「セラート」(~1635年死去)
- 1604年-05:30|インドネシア| |||インドで第5代ケルナルジュンによりシカ教の基本教典「ケラント・サヒブ」編纂
- 1604年-05:00|オーストラリア| |||ユリウス暦:1603/3/24|カラカル・クスタン、主にシルダ・リ川下流に定住。タシュケントを占領
- 1604年-04:00|アゼルバイジャン/イラン| |||マフムド・アハメドはペルシアの一部
- 1604年-04:00|ロシア| |||ロシア人がシベリア中央部にトムスクを建設
- 1604年-03:00|イェメン/トルコ| |||<就任>オスマン帝国サナ総督「Emir Sinan Pasha」(~1607年)
- 1604年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>バグダッド・ワリス「ユスフ・ハシヤ」(~1607年)
- 1604年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>ハスラ・ワリス「アリ・ハシヤ」(~1647年)
- 1604年-03:00|イラク| |||このころバグダッドでムハンマド・アッバドールが台頭
- 1604年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンテリア公「ジャンパ・ウツィスタ・ミキリ」(~1606年)
- 1604年-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「マクトゥル・ハチ・イブラヒム・ハシヤ」(~同年、セバの反乱で殺害される)⇒「ハトウム・ムフメト・ハシヤ」(~1605年)
- 1604年-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「ムスタファ・ハシヤ2世」(~1605年)
- 1604年-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ソファラ・キャプテンシ・メジヤ「セバスチャン・デ・メト」(~1607年)
- 1604年-01:00|ドイツ| |||<移転>ブランデンブルク=クルムホッフ辺境伯「クリスティアン」⇒ブランデンブルク=ハノーファー辺境伯(宮廷をクルムホッフからハノーファーへ移転~1650/530死去)
- 1604年-01:00|ポズナニ/オーストリア/ポーランド| |||<就任>ポズナニ総督「アフメド・ハシヤ」(2回目~1605年)
- 1604年-01:00|フランス| |||この年、パリの「ポン・ヌフ(新橋)」(1,6区)が完成し、通行が可能となる
- 1604年-01:00|スペイン/イギリス| |||イギリスとスペインがロンドン講和条約を締結
- 1604年-01:00|スペイン| |||セルバンテスが「ドン・キホーテ・デ・ラ・マンチャ」を出版
- 1604年-01:00|デンマーク| |||デンマーク王クリスチャン4世がルウェー法を制定
- 1604年-01:00|ハンガリー| |||ハンガリー貴族はシュテファン・ボチュカイに率いられ反プロテスタント蜂起
- 1604年 00:00|イギリス| |||<就任>エセックス伯「ロバート・デ・ウァール」(~1646/09/14死去消滅)
- 1604年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<就任>サントメ植民地総督「Pedro Botelho de Andrade」(~1608年)
- 1604年 00:00|ポルトガル| |||<就任>マテウス総督「Joao Fogaca d' Eca」(~1610年)
- 1604年 00:00|モロッコ| |||<即位>サード朝フェス 政権初代アミール「ムハンマド・エッサイク・エル・マムーン」(~1613年)
- 1604年 00:00|イギリス| |||イギリス東インド会社が第2回艦隊をアジアに派遣
- 1604年 03:00|仏領ギアナ/フランス| |||Ravardiereの主であるDaniel de la Toucheの下でフランス遠征がギアナ地域を発見
- 1604年 03:00|サンピエール島/フランス/ミクロン島| |||イレブン・サウス 諸島にフランス人の入植が始まる
- 1604年 03:00|ブラジル/オランダ| |||ファン・ケレンの指揮するオランダ船隊、バヤを攻撃
- 1604年 05:00|キューバ| |||海賊ヒルベルト・ヒーロン、サンチャゴ、ヤラ、マンサニョの町を略奪/最後に黒人サルバドル・ゴメスに捕らえられ殺害
- 1604年 06:00|コスタリカ/スペイン| |||<就任>コスタリカ総督「ファン・デ・オコン・イ・トリロ」(~1613年)
- 1604年1月2日-09:00|日本|東京都千代田区|慶長8年12月|<就任>老中「大久保長安」(~慶長17年4月25日)
- 1604年1月18日 05:00|ペルー/スペイン| |||<就任>ペルー副王「モンテレイ伯ガスパル・デ・スニガ・アセベド・イ・フォンセカ」(~1606/03/16没)
- 1604年1月26日-09:00|日本|千葉県香取市|慶長8年12月25日|<加増立藩>下総飯田5000石「青山成重」(服部平蔵正信の次男)⇒1万石(~慶長18年大久保長安の三男を養子にしていたかどで7千石没収)
- 1604年1月29日-09:00|日本|千葉県香取市|慶長8年12月28日|<拝領>下総国小見川1万石「土井利勝」(⇒慶長15(1610)年1月、下総国佐倉3万2000石に加増移封)
- 1604年1月31日-09:00|日本/タイ| |||徳川家康がアユタヤ朝向け商船に朱印状を下付し、朱印船貿易開始
- 1604年1月31日-09:00|日本|茨城県土浦市|慶長9年|<交替>常陸土浦3万5千石「松平(藤井)信一」隠居⇒養子の「松平信吉」(4万石)が嗣ぐ(~元和3(1617)年上野高崎へ)

1620迄 (2404件)

- 1604年1月31日-09:00|日本|東京都港区|慶長9年|玄応和尚の開基により竹園山最勝寺、江戸城内紅葉山に創建(明治41年世田谷区に移転)
- 1604年1月31日-08:00|中国| ||明・万暦32年|顧憲成・高攀竜らが無錫で東林書院を建設、在野の諸同志を糾合して講学活動を展開
- 1604年1月31日-08:00|中国| ||明・万暦32年|福建で呉権の率いる齋教反乱がおこる
- 1604年2月14日-09:00|日本|茨城県行方市|慶長9年1月15日|<再封>常陸麻生30300石「新庄直頼」(~慶長17年12月19日(16130208)死去)
- 1604年2月23日-09:00|日本|新潟県長岡市|慶長9年1月24日|<拝領>越後蔵王堂1万石(堀秀政の遺領)「近藤政成」(~元和4年6月22日(16180812)死去半知減封となり廃藩)
- 1604年2月26日-09:00|日本|北海道|慶長9年1月27日|<所領安堵>蝦夷松前「松前慶広」幕府が蝦夷地統治の規定3か条を定めた黒印状を下し蝦夷地支配許可(無高~元和2年10月12日(16161120)死去)
- 1604年3月4日-09:00|日本| ||慶長9年2月4日|江戸・日本橋を基点に全国に一里塚を設ける
- 1604年3月13日 00:00|イギリス| ||<就任>トーマス・サックヴィル伯「トマス・サックヴィル」(~16080419死去)
- 1604年3月13日 00:00|イギリス| ||<就任>ノーサンプトン伯「ヘンリー・ハワード」(~16140615死去とともに廃絶)
- 1604年3月19日 00:00|ポルトガル| ||<就任>パルメラス公「シヨアン2世」(~16301129)
- 1604年3月21日-01:00|ベルギー/オランダ| ||<就任>オステント 総督「ヨハン・ファン・ルーン」(~25日没)
- 1604年3月22日-01:00|スウェーデン| ||<即位>スウェーデン王国国王「カル9世」(~16111030死去/61歳)
- 1604年3月25日-01:00|ベルギー/オランダ| ||<就任>オステント 総督「ベルント・レヒト男爵」ジャック・ファン・デル・メル」(~6. 6)
- 1604年3月26日-09:00|日本|奈良県葛城市|慶長9年2月26日|<死去>大和布施1万6千石「桑山一晴」⇒弟の「桑山一直」が継ぐ(⇒翌年陣屋移転し大和新庄藩、後3000石を一族の貞利に分知し13000石⇒寛永13年8月22日(16360921)死去)
- 1604年3月31日-09:00|日本|鹿児島県|慶長9年3月|島津義弘、薩摩国で朝鮮人朴平意らに開窯させる
- 1604年4月-08:00|インドネシア| ||<即位>アチ王国スルタン「アリ・リアヤット・シャー」(~16070404死去)
- 1604年4月-08:00|インドネシア| ||<退位>アチ王国スルタン「アラウッデ・イン・リアヤット・シャー・アルムカミル」
- 1604年4月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「ピエール・フランチェスコ・ボネッティ」「ジヤンパウティスタ・ファブリー」
- 1604年4月6日 00:00|イギリス| ||<就任>2代ハミルトン侯「ジェームズ・ハミルトン」先代の息子(⇒1609. 3兼4代アラン伯⇒16190616兼初代ケンプリッジ伯~16250302死去)
- 1604年4月7日-02:00|ルーマニア/オーストリア| ||<就任>オーストリア軍トランシルヴァニア総司令官代行「カプ・レオリ伯トマリ」(~同年)
- 1604年4月7日-09:00|日本|京都府京都市北区|慶長9年3月8日|宮本武蔵、蓮台野で吉岡清十郎を破る
- 1604年4月8日 00:00|ポルトガル| ||<就任>ポルトガル公(王位継承者)「フィリペ」(~16210331、フィリペ3世として即位)
- 1604年4月14日-01:00|ドイツ| ||<死去>ハートフェルト・ウルハ辺境伯「エルスト・フリードリヒ」
- 1604年4月18日 00:00|イギリス| ||<就任>アンデル伯・サリ伯「トマス・ハワード」(~16461004死去)
- 1604年4月19日-09:00|日本|福岡県|慶長9年3月20日|<死去>黒田如水(59歳、官兵衛、孝高、元豊前中津城主、羽柴秀吉の参謀)
- 1604年4月21日-09:00|日本|大阪府岸和田市|慶長9年3月22日|<死去>和泉岸和田3万石「小出秀政」⇒子の「小出吉政」が継ぐ(~慶長18年2月29日(16130419)死去)
- 1604年4月21日-09:00|日本|大阪府堺市|慶長9年3月22日|<立藩>和泉陶器1万石「小出三尹」但馬出石藩主小出吉英から分封(~寛永19年4月29日(16420527)死去)
- 1604年4月21日-09:00|日本|兵庫県朝来市|慶長9年3月22日|<交替>但馬出石6万石「小出吉政」父の遺領和泉岸和田藩3万石継ぐ⇒子の「小出吉英」が継ぐ(叔父の三尹に1万石を分知し5万石⇒慶長18(1613)年3月父の遺領、和泉岸和田を継ぐ)
- 1604年4月26日 00:00|イギリス| ||<死去>初代ハミルトン侯「ジョン・ハミルトン」
- 1604年4月29日-09:00|日本|広島県広島市中区|慶長9年4月|福島正則、広島城下白神社の社殿を再興
- 1604年4月29日-09:00|日本|岡山県高梁市|慶長9年4月1日|<死去>和泉岸和田3万石「小出秀政」⇒子の「小出吉政」が継ぐ(~慶長18年2月29日(16130419)死去)
- 1604年5月16日-09:00|韓国/朝鮮| ||<就任>朝鮮国領議政「李恒福」(~6. 13)
- 1604年5月22日 03:00|仏領ギアナ/イギリス| ||<就任>オヤムック知事「Charles Leigh」(~1605. 1死去)
- 1604年5月22日 03:00|仏領ギアナ/イギリス| ||チャールズ・リーの下でイギリスは「ウイアボゴ」(オヤムック)で入植を試みる(~1605年)
- 1604年5月23日-01:00|ルクセンブルグ/スペイン| ||<死去>スペイン領ルクセンブルグ 総督兼総司令官「ペーター・エルスト・グラーフ・フォン・マンズフェルト」
- 1604年5月23日-09:00|日本|栃木県日光市|慶長9年4月25日|<死去>下野板橋1万石「松平一生」⇒「松平成重」が嗣ぐ(~元和3(1617)年、三河西尾2万石に加増移封)
- 1604年6月-02:00|ルーマニア/オーストリア| ||<就任>オーストリア軍トランシルヴァニア総司令官代行「弁務官(ヨハン・パウル・クラウス・フォン・クラウスネック・ツェーゼントルフ/ケオルク・ホフマン/カール・イムホフ・アウフ・マルムスバッツハ/アルブレヒト・ヒュート/ヨハン・レーナー」(~16050221)
- 1604年6月-01:00|ルクセンブルグ/スペイン| ||<就任>スペイン領ルクセンブルグ 総督兼総司令官「ヘルモン伯ローラン」(~1626年没)
- 1604年6月1日-09:00|日本| ||慶長9年5月3日|ポルトガル商人の暴利抑制のため輸入生糸を特定商人が一括購入して販売する糸割符制を導入
- 1604年6月6日-01:00|ベルギー/オランダ| ||<就任>オステント 総督「アントニー・ファン・ウイテンワグ」(~17日)
- 1604年6月17日-01:00|ベルギー/オランダ| ||<就任>オステント 総督「ダニエル・ト・エルタイン」(~9. 20)
- 1604年6月19日-09:00|韓国/朝鮮| ||<就任>朝鮮国領議政「尹承勳」(~16050115)
- 1604年6月24日 00:00|イギリス| ||<死去>17代オックスフォード伯「エドワード・ト・グアイア」

1620迄 (2404件)

- 1604年6月24日 00:00|イギリス| |||<就任>18代オックスフォード伯「ヘンリー・ド・ウァー」先代の子(~1625.6死去)
- 1604年6月25日-09:00|日本|新潟県村上市|慶長9年5月28日|<死去>越後村上9万石「村上頼勝」⇒「村上忠勝」が嗣ぐ(~元和4(1618)年4月9日除封改易)
- 1604年7月31日-09:00|日本|群馬県沼田市|慶長9年7月5日|沼田城の水手門・三階櫓丸築造
- 1604年8月-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<就任>プダのペレメル「ベクタシュ・パシャ」(~1605年5月)
- 1604年8月5日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国第65代大宰相「ソコルム・ラ・マフムト・パシャ」ソコルム・マフムト・パシャの甥(~16060621)
- 1604年8月12日-01:00|ドイツ| |||<死去>フアルツツグアイブ・リュッケン公「ヨハン1世」54歳
- 1604年8月12日-01:00|ドイツ| |||<即位>フアルツツグアイブ・リュッケン公「ヨハン2世」(~16350809死去)
- 1604年8月12日-09:00|日本|群馬県前橋市|慶長9年7月17日|<恩赦再興>上野大胡2万石「牧野康成」(~慶長14年12月12日(16100106)死去)
- 1604年8月18日 00:00|イギリス/スペイン| |||イングランド王ジェームズ1世がスペイン王フェリペ3世とロンドン条約締結、講和
- 1604年8月20日-09:00|日本|滋賀県大津市|慶長9年7月25日|<死去>近江膳所3万石「戸田一西」⇒長男の「戸田氏鉄」が嗣ぐ(~元和3年(1617)9月11日摂津尼崎へ)
- 1604年8月25日-09:00|日本|岐阜県可児市|慶長9年8月|<拝領>美濃徳野1万石「平岡頼勝」(~慶長12年2月24日(16070321)死去)
- 1604年8月28日-09:00|日本|島根県|慶長9年8月4日|<死去>出雲松江24万石(隠岐も領有)「堀尾忠氏」⇒子の「堀尾忠晴」が継ぐ(~寛永10年9月24日(16331026)死去無嗣断絶)
- 1604年8月29日-01:00|ドイツ| |||<死去>フアルツツグアイブ・ルツェルン公「オットー・ハインリヒ」フアルツツグアイブ・ルツェルン公の所領へ編入
- 1604年9月16日-09:00|日本|岐阜県関市|慶長9年8月23日|<死去改易>美濃関1万8千石「大島光義」97歳/遺領は4子に分封、長子光成7500石余、弟光政4710石、光俊3250石、光朝2550石
- 1604年9月20日-01:00|ベルギー/オランダ| |||オステント市はスペイン領ネーデルラントに降伏
- 1604年9月20日-09:00|日本|秋田県秋田市|慶長9年8月27日|<移転>出羽土崎湊205818石「(常陸佐竹氏第18代当主)佐竹義宣」⇒出羽久保田(~寛永10年1月25日(16330305)死去)
- 1604年9月25日-01:00|オランダ/スペイン| |||ネーデルラントのオステントがスペイン軍に侵略される
- 1604年10月1日-01:00|サマリヤ| |||<就任>サマリヤ共和国執政「ピエール・マリノ・ジョニ」 「アンニバレ・ゴジ」
- 1604年10月9日-01:00|ドイツ| |||<死去>ハッセン＝マルブルク方伯「ルートヴィヒ4世(遺言伯)」子供が無く1代で絶家
- 1604年10月9日-01:00|ドイツ| |||ベツつかい座に超新星が出現、ケプラーが記録を残す
- 1604年10月14日-01:00|オーストリア/ハンガリー| |||イシュトヴァーン・ボチカイの対ハプスブルグ独立戦争が始まる
- 1604年10月23日-09:00|日本|茨城県水戸市|慶長9年9月|<加増>常陸水戸藩20万石「徳川頼宣」⇒25万石(⇒慶長14(1609)年12月12日駿府藩50万石)
- 1604年10月23日-09:00|日本|愛媛県今治市|慶長9年9月|<移転>伊予国府20万石「藤堂高虎」⇒伊予今治(今治城完成し移る~慶長13年伊勢安濃津へ)
- 1604年10月23日-09:00|日本|京都府京都市下京区|慶長9年9月|東本願寺御影堂が完成
- 1604年10月24日-03:00|エチオピア| |||<死去>エチオピア帝国(ソモソモ朝)皇帝「サ・テンゲル・サルサ・テンツ」
- 1604年11月-03:00|エチオピア| |||<復位>エチオピア帝国(ソモソモ朝)皇帝「ヤコブ・サルサ・テンゲル」(2回目~16070310)
- 1604年11月1日 00:00|イギリス| |||シェイクスピアの戯曲「セオ」をウイトホル宮殿で最古上演
- 1604年11月21日-01:00|モスコ| |||<死去>モスコ領主「エルコ」
- 1604年11月21日-01:00|モスコ| |||<就任>モスコ領主「オラト2世」(⇒16410914モスコ公)、摂政「ヴァルデ・イトロのランディ」王子フェテリコ(~1616年2月頃)
- 1604年12月3日-09:00|日本|香川県さぬき市|慶長9年10月13日|生駒親正夫人教芳院、志度寺観音堂を再建
- 1604年12月12日-01:00|フランス| |||アンリ4世が官職の世襲・売買を官職価格の60分の1の年税の納入を条件に公認する「ホーレット法」施行
- 1604年12月13日 00:00|イギリス| |||<就任>スコットランド大法官「フィリップ・卿」(⇒16050304ダウフェルマン伯)アレクサンダー・セトン(~16220616死去)
- 1604年12月21日-09:00|日本|愛知県豊田市|慶長9年11月|<加増立藩>武蔵瓶尻5千石「三宅康貞」⇒三河拳母藩(桜城)1万石(~元和元年10月23日(16151213)死去)
- 1604年12月30日 00:00|イギリス| |||<死去>ハンティントン伯「ジョージ・ヘイスティングス」
- 1604年12月30日 00:00|イギリス| |||<就任>ハンティントン伯「ヘンリー・ヘイスティングス」(~16431114死去)
- 1604年12月30日-09:00|日本|京都府京都市|慶長9年11月10日|<辞任>関白「九条兼孝」
- 1604年12月31日-09:00|日本|山口県萩市|慶長9年11月11日|<移転>長門・周防2か国29万8千石「毛利秀就」⇒萩藩(慶長15(1610)年36万9千石に高直し)
- 1605年-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>アンボン島オランダ総督「Frederik de Houtman」(~1611年)
- 1605年-08:00|インドネシア/イギリス| |||<就任>イギリス東インド会社バンナム長官「ガブリエル・タワソン」(~1608年)
- 1605年-08:00|マレーシア| |||<即位>ランタン・スルタン国スルタン「サミール・ウッティン・イブニ・アル・マルフム・ニク・ジャマル・ウッティン」(~1616年)
- 1605年-08:00|インドネシア| |||<即位>カレスイク・ギリ君主「Panembahan Kawis Gua」(~1621年)
- 1605年-08:00|インドネシア| |||<即位>ジャヤロ・スルタン「Dua」(~1613年)
- 1605年-08:00|インドネシア/オランダ/ポルトガル| |||オランダがアンボンのポルトガル城砦を占領し、以後香料を独占
- 1605年-07:00|タイ| |||<即位>ソクラー・スルタン「ダト・モコル」(~1620年)
- 1605年-05:45|ネパール| |||<即位>ゴルカ・ラジャ「チャトラ・シャハ」(~1606年)

1620迄 (2404件)

- 1605年-05:30|インド| |||<建国>ヴァンカナル国
- 1605年-05:30|インド/オランダ| |||オランダがインドのマスバタムに商館を設置
- 1605年-05:00|ウズベキスタン/トルクメニスタン/タジキスタン| |||<即位>ブハラ・ハン国シャーン朝ハン「ワリー・ムハンマド・ハーン」ジャニー・ムハンマドの三男 (~1611年)
- 1605年-04:00|ジョージア| |||<即位>イメリ王「ジョージ3世」 (~1639年死去)
- 1605年-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>アレクソ・ワリス(総督)「カンブラトル・アリ・パシャ」 (~1606年)
- 1605年-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「イェメン・ハサン・パシャ」 (~1607年)
- 1605年-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「コカ・ファラキ・オスマン・パシャ」 (~1606年)
- 1605年-01:00|アルジェリア/トルコ| |||<就任>アルジェのパシャ「ケセ・ムスタファ3世」 (1回目 ~1607年)
- 1605年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領ポルトガルの提督「Miguel Luis de Meneses」 (3期目 ~1615年)
- 1605年-01:00|ポズナニ/オーストリア/ポーランド| |||<就任>ポズナニ総督「ハティム・フスル・パシャ」 (~1606年)
- 1605年 00:00|イギリス| |||<就任>モントゴメリー伯「フィリップ・ハーバート」 (⇒16300410兼ヘンリック伯 ~1649.5)
- 1605年 00:00|イギリス| |||<即位>ヨーク公「チャールズ・ステュアート」 (~16250327イギリス国王チャールズ1世)
- 1605年 03:00|アルゼンチン/ウルグアイ| |||プエルト・リョスのエルナンデス・リョス、ウルグアイに派兵。チャルア族を討伐
- 1605年 06:00|ホンジュラス/スペイン| |||<就任>コマケア県総督「ペドロ・デ・カストロ」 (~1608年)
- 1605年 06:00|グアテマラ| |||グアテマラの大西洋岸にプエルト・サント・トマス・カスティージャが開港
- 1605年1月 03:00|仏領ギアナ/イギリス| |||<死去>オヤック知事「Charles Leigh」
- 1605年1月6日 00:00|イギリス| |||<就任>初代ヨーク公「チャールズ・ステュアート」 (~116250327チャールズ1世として即位)
- 1605年1月10日-01:00|イタリヤ| |||<就任>ヴェネツィア共和国ドージェ「レオナルド・ドナ」 (~16120716死去)
- 1605年1月11日-01:00|スペイン| |||1月中旬|セルバンテスが「ドン・キホーテ・デ・ラ・マンチャ」前篇を出版
- 1605年1月16日-01:00|ドイツ| |||<死去>ホエントツォレルン=ヘンゲン侯爵「Eitel Friedrich4世」
- 1605年1月16日-01:00|ドイツ| |||<就任>ホエントツォレルン=ヘンゲン侯爵「Johann Georg」 (~16230928死去)
- 1605年1月19日-09:00|日本|身延山大学|慶長9年12月|心性院日遠身延西谷檀林を創す
- 1605年1月24日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「柳永慶」 (~16080329)
- 1605年1月24日-09:00|日本| ||慶長9年12月6日|紀州、四国、西国で地震と津波。遠州舞坂で津波により80戸流出。八丈島では民家悉く流出。50余人が死亡。上総では人馬数百が死す
- 1605年2月3日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副卿「アサー・チェスター卿」 (⇒16130223、ベルファストのチェスター男爵 ~16140304)
- 1605年2月3日-09:00|日本| ||慶長9年12月16日|<慶長地震>紀伊半島沖と遠州灘沖の海底、二つの震源によると思われるマグニチュード7.9と推定される強い地震が起きた/淡路島安坂村の千光寺の諸堂が倒れ、仏像が飛散/津波は九州から犬吠埼までの太平洋岸に襲来、四国土佐では三崎で153人死亡、崎浜で50人、室戸岬付近で400人余が死亡、甲ノ浦では350人が死亡/四国東岸では阿波国宍喰に6mの津波が襲い1500人余が死亡し、鞆浦では波高約10mの津波が襲い100人が死亡/四国対岸の紀伊半島西側、広村では家屋の4割が流失、半島東側の伊勢の浦々では、地震後数町(2~300m)ほど沖まで波が引き、約2時間後に津波が来襲したので、引き波のあとに出来た干潟で魚介類を採っていた人々を押し流した/東海地方では、三河国渥美郡で船が破壊され網が流され、遠江国浜名湖近くの橋本では家屋の8割が流され、船が山際まで打ち上げられて20艘あまりの釣り船が行方不明/伊豆国仁科郷では海岸から1.4km奥まで波が襲って来た/伊豆諸島や関東では、八丈島で谷ヶ里の家屋がすべて流されて57人死亡/房総半島東岸に津波が襲来したのは子の刻頃(午前0時頃)で、上総大多喜地方では津波の勢いが激しく数百人が死亡し7か村が壊滅
- 1605年2月7日-09:00|日本|群馬県高崎市|慶長9年12月20日|<加増移封>下総臼井3万石「酒井家次」→上野高崎5万石 (~元和2(1616)年越後高田へ)
- 1605年2月7日-09:00|日本|茨城県稲敷市|慶長9年12月20日|<死去改易>常陸古渡1万石「山岡景友」無嗣
- 1605年2月18日-09:00|日本|群馬県伊勢崎市|慶長10年|<加増>上野那波1万石「酒井忠世」+5000石⇒15000石 (⇒慶長14(1609)年2月、上野国善養寺領5千石加増)
- 1605年2月18日-09:00|日本|静岡県伊豆市|慶長10年|<開業>東府屋旅館(静岡県伊豆市吉奈温泉)
- 1605年2月18日-09:00|日本|東京都中央区|慶長10年|江戸平川口の浄心寺を江戸城の用地の爲めに神田に移転
- 1605年2月18日-09:00|日本|栃木県大田原市|慶長10年|<交替>下野黒羽2万石「大関資増」隠居→甥の「大関政増」が継ぐ (~元和2年5月30日(16160713)死去)
- 1605年2月18日-09:00|日本|鳥取県八頭郡若桜町|慶長10年|<分知>因幡若桜3万石「山崎家盛」6014石を実弟「宮城頼久」に⇒24000石 (~慶長19年10月8日(16141109)死去)
- 1605年2月18日-09:00|日本|奈良県葛城市|慶長10年|<改称>大和布施1万6千石「桑山一直」陣屋移転⇒大和新庄藩 (後3000石を一族の貞利に分知し13000石⇒寛永13年8月22日(16360921)死去)
- 1605年2月18日-09:00|日本|福島県東白川郡棚倉町|慶長10年|<加増>陸奥棚倉1万石「立花宗茂」⇒25500石 (⇒慶長15(1610)年7月27日35000石に加増)
- 1605年2月18日-09:00|日本|東京都千代田区|慶長10年1月|<就任>老中「安藤直次」 (~元和2年4月17日)
- 1605年2月18日-09:00|日本|栃木県栃木市|慶長10年1月|<拝領>下野榎本28000石「本多忠純」 (~寛永8年12月13日(16320203)家臣に暗殺される)
- 1605年3月 04:00|刊/スペイン| |||<就任>刊総督「アロンソ・ガルスア・デ・ラモン」 (2回目 ~16100805)
- 1605年3月1日-01:00|イタリヤ| |||<就任>ヴェネツィア共和国ドージェ「ルカ・グリマルティ」 (~16070302)
- 1605年3月3日-01:00|パチン| |||<死去>第231代ローマ教皇「クレメンス8世」69歳(誕生15360224)
- 1605年3月4日 00:00|イギリス| |||<就任>初代ハース伯「ジェームズ・ド・ラモント」 (~16111208死去)
- 1605年3月4日 00:00|イギリス| |||<就任>初代ヒュム伯「アレクサンダー・ヒュム」 (~16190405死去)

1620迄 (2404件)

- 1605年3月20日-09:00|日本|長崎県対馬市|慶長10年2月|<加増>対馬府中2万石「宗義智」+養父郡2800石⇒2万2800石(慶長20年1月3日(16150131)死去)
- 1605年3月20日-09:00|日本|福島県いわき市|慶長10年2月|<加増>陸奥磐城平10万石「鳥居忠政」+2万石⇒12万石(⇒元和8(1622)年、出羽山形22万石に加増移封)
- 1605年4月1日-01:00|バチカン| |||<就任>第232代ローマ教皇「レオ11世」(~16050427死去)
- 1605年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ティヘリウス・ガブリエリ」「フランチェスコ・ジヤンニニ」
- 1605年4月8日-01:00|スペイン| |||<就任>アストゥリアス公(スペイン国王の推定相続人)「フェリペ」フェリペ3世の長男、後のスペイン王フェリペ4世(~16210331~16650917死去)
- 1605年4月10日-01:00|ドイツ| |||<死去>シュヴァルツブルク=ルードルシュタット伯「アルブレヒト7世」
- 1605年4月10日-01:00|ドイツ| |||<就任>シュヴァルツブルク=ルードルシュタット伯「カール・ギューター」(~16300924死去)
- 1605年4月18日-09:00|日本|栃木県日光市|慶長10年3月|日光山東照社造営
- 1605年4月20日-01:00|ハンガリー| |||<即位>ハンガリー対立王「トランシルバニア公イシュトヴァーン・ボツカイ・ボツコイ・キスマルツァイ」(~16061229没)
- 1605年4月23日-04:00|ロシア| |||ロシア暦4月13日|<死去>ロシアツァーリ「ホリス・フォード・ロウイチ」51歳(誕生:1552)
- 1605年4月23日-04:00|ロシア| |||ロシア暦4月13日|<就任>ロシア摂政「ツアリツァ・イヴ・エリカヤ・クニヤギニャ・マリヤ・グリコリエヴナ・スクラトヴァ・ペルスカヤ」(~6.1)
- 1605年4月23日-04:00|ロシア| |||ロシア暦4月13日|<即位>ロシアツァーリ「フォードル・ホリツォフイ2世」(~16050620没)
- 1605年4月25日-07:00|タイ| |||<死去>アユタヤ王朝第21代国王「サンハット2世ナレスワン」
- 1605年4月25日-07:00|タイ| |||<即位>アユタヤ王朝第22代国王「サンハット3世エカートツァロット」(~1620年死去)
- 1605年4月27日-01:00|バチカン| |||<死去>第232代ローマ教皇「レオ11世」[1535年06月02日生~](享年69)即位後27日で死去
- 1605年5月-08:00|インドネシア/オランダ/ポルトガル| |||オランダ人がポルトガル人のテイトレ集落を占領
- 1605年5月-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<就任>ブダペストのペレハイ・ホシュナク・ムスタファ・パシャ」(~10月)
- 1605年5月 05:00|パナマ/スペイン| |||<就任>パナマ大審問院総督・長官「フランシスコ・バルベルデ・メルカド」(~1614年)
- 1605年5月4日 00:00|イギリス| |||<就任>エクセター伯「トマス・セシル」(~16230208死去)
- 1605年5月4日 00:00|イギリス| |||<就任>ソールズベリー伯「ロバート・セシル」初代ハリー男爵の次男(~16120524)
- 1605年5月10日-02:00|エストニア/スウェーデン| |||<就任>スウェーデン・エストニア総督「ニコラス・テュレツォン・ヒールク」(~6月)
- 1605年5月14日-02:00|ルーマニア| |||<即位>トランシルバニア大公「ラコーツィ・フェルヴグァーター」シ男爵ジギスムント」(16070208まで代行~16080307没)
- 1605年5月16日-01:00|バチカン| |||<就任>第233代ローマ教皇「ウルス5世」(~16210128死去)
- 1605年5月18日-09:00|日本|東京都千代田区|慶長10年4月|<就任>老中「本多正信」(~元和2年6月7日)
- 1605年5月20日-05:30|インド/ポルトガル| |||<死去>ポルトガル領インド総督「アイリス・デ・サルダニャ」
- 1605年5月20日-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド総督「マルチム・アフォンソ・デ・カストロ」(~16070604)
- 1605年5月24日 00:00|ポルトガル/スペイン| |||<就任>スペインのポルトガル副王「レリア司教パドロー・デ・カステイリョ」(1期目~1608.2)
- 1605年6月-02:00|エストニア/スウェーデン| |||<就任>スウェーデン・エストニア総督「アクセル・ニルソン・ライニング」(~1608年)
- 1605年6月1日-04:00|ロシア| |||<就任>全ロシア貴族議会上級ボヤール「クニヤースのフォードル・イワノフイ・ムステイラフスキー」(1回目~20日)
- 1605年6月2日-09:00|日本|東京都|慶長10年4月16日|徳川家康将軍職を秀忠に譲る/直轄江戸800万石(~元和9年7月27日)
- 1605年6月20日-04:00|ロシア| |||ロシア暦6月10日|<死去>ロシアツァーリ「フォードル・ホリツォフイ2世」暗殺される/16歳(誕生1589年)
- 1605年6月24日-09:00|日本|和歌山県伊都郡高野町|慶長10年5月8日|<死去>元岐阜城主「織田秀信」(26信長嫡孫)高野山で没、織田氏嫡流断絶
- 1605年7月-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>モルッカ諸島オランダ総督「Adriaan Antoniszén」(~1606.3)
- 1605年7月1日-04:00|ロシア| |||ロシア暦6月21日|<即位>ロシアツァーリ「トミトリイ・イワノフイ」(~16060527没)
- 1605年7月13日-08:00|中国| |||海南、瓊山地震/M7.5、死者3,300人
- 1605年7月18日-01:00|ドイツ| |||<死去>ザクセン＝ヴァイマル公「ヨハン2世」
- 1605年7月18日-01:00|ドイツ| |||<即位>ザクセン＝ヴァイマル公「ヨハン・エルンスト1世」ヨハン2世の息子(~16201108廃位)
- 1605年7月27日 06:00|カナダ/フランス| |||フランスの海外植民開始、今日のカナダ・ニューアスコシア州であるアカディア植民地にポート・ロイヤルが創設
- 1605年8月5日-01:00|バチカン| |||<就任>バチカン国務長官「シポオーネ・カッパレリ・ボルゲーゼ」(~1621年)
- 1605年8月9日-09:00|日本|愛媛県松山市|慶長10年6月25日|風早郡忽那島小浜村の農民、藤堂高虎の増税に反対し、一つ免騒動おこる
- 1605年8月12日-09:00|日本|石川県|慶長10年6月28日|<交替>加賀・能登・越中119.5万石「前田利長」隠居⇒「前田利常」が継ぐ(~寛永16(1639)年6月次男の前田利次に富山藩10万石、三男の前田利治に大聖寺藩7万石を分封し小松に隠居)
- 1605年8月12日-09:00|日本|京都府京都市東山区|慶長10年6月28日|高台院の母朝日の菩提寺である康徳寺が廃されるかわり、高台寺が創建され、康徳寺住持の移徒が行われる
- 1605年8月23日 04:00|セントルシア/イギリス| |||<就任>イギリス領セントルシア総督「ニコラス・セントジョン」(~9月)
- 1605年9月6日-09:00|日本|京都府京都市|慶長10年7月23日|<就任>関白「近衛信尹」(~慶長11年11月11日)
- 1605年9月13日-09:00|日本|愛媛県松山市|慶長10年8月|加藤嘉明、温泉郡阿沼美神社を造営

1620迄 (2404件)

- 1605年9月13日-09:00|日本|北海道松前郡松前町|慶長10年8月|松前慶広、蝦夷地福山館が完成し、徳山館より移る
- 1605年9月22日 00:00|モロッコ| |||<就任>タンジール首長「ヌ・デ・メドナ」(~1610年3月)
- 1605年9月22日-09:00|日本|東京都千代田区|慶長10年8月10日|幕府、殿中法度八カ条を制定
- 1605年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジローモ・ゴジ」「イノセント・ボネリ」
- 1605年10月2日 05:00|コロンビア/スペイン| |||<就任>ヌエバ・グラナダ大統領・総督・総司令官「フアン・フエバン・ウラ・デ・ボルハ・イ・アルメンデア」(~16280212没)
- 1605年10月5日-01:00|ハンガリー/オーストリア| |||<死去>ハンガリー王室総督「マートン・ペテ・ヘンシ」
- 1605年10月5日-01:00|ハンガリー/オーストリア| |||<就任>ハンガリー王室総督代行「ミクロ・シュ・イシュトヴァン・フィリップ・ラニャウアー・イ・エスキアソ・ニファルグイ」(5回目~16070704)
- 1605年10月12日-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<就任>ブダペストのペレグニイ「カテ・イザ・デ・アリ・パシヤ」(2回目~16091128)
- 1605年10月27日-05:30|インド| |||<死去>ムガル帝国皇帝「アクバル」63歳(誕生15421123)
- 1605年10月28日-05:30|インド| |||<即位>ムガル帝国皇帝「ジャハーンギール」(~16271028死去58歳)
- 1605年11月-09:30|オーストラリア/オランダ| |||オランダのヤソグーンが初めてオーストラリアに到達
- 1605年11月1日-09:00|日本|高知県|慶長10年9月20日|<死去>土佐高知20万2600石「山内一豊」60歳⇒養子の「山内忠義」が継ぐ(~明暦2(1656)年7月3日隠居)
- 1605年11月5日-06:30|ミャンマー| |||<死去>ビルマ国王「ニャウンヤン・ミン」
- 1605年11月5日-06:30|ミャンマー| |||<即位>ビルマ国王「アヌカトルン」(~16280709没)
- 1605年12月5日-09:00|日本|三重県桑名市|慶長10年10月25日|<移封>上野阿保1万石「菅沼定芳」(定盈の6男)→伊勢長島2万石(⇒元和7年(1621)年近江膳所藩に3万1千石で加増移封)
- 1605年12月5日-09:00|日本|三重県桑名市|慶長10年10月25日|<死去>伊勢長島2万石「菅沼定仍」
- 1605年12月21日-13:30|キリバス/スペイン| |||スペイン人のペドロ・フェルナンデス・デ・キロス大尉がブタリタリを発見しそこをブエン・ウアイアと名付けた
- 1605年12月25日-01:00|イタリア| |||<死去>ヴェネツィア共和国第89代ドージェ(元首)「マリーノ・ケリマニ」
- 1605年12月29日 00:00|イギリス| |||<死去>ジョン・デ・ウイス、イギリスの探検家(生年1550年頃)
- 1606年-08:00|インドネシア/スペイン| |||<就任>モルッカ諸島スペイン総督「Juan de Esquivel」(~1609年)
- 1606年-08:00|フィリピン/スペイン| |||フィリピンの一部としてスペインによって南沙諸島領有宣言
- 1606年-05:45|ネパール| |||<即位>ゴルカ・ラジャ「ラム・シヤハ」(~1636年没)
- 1606年-04:00|ロシア| |||ロシアでウアン・ホモニコフの農民反乱がおこる
- 1606年-03:00|スウェーデン| |||<即位>フンズ王国スルタン「Adlan1世」(~1611年)
- 1606年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンテア公「ジヨヴァンマテオ・ジラルディ」(~1608年)
- 1606年-02:00|ルーマニア| |||<即位>トランシルヴァニア対立大公「ハーリント・ドルゲス・ホチイ」(~1607年)
- 1606年-01:00|スウェーデン| |||<就任>エステルイエトランド公「ユハン」(~16180305死去)
- 1606年-01:00|ポズナ・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ポズナ総督「マフメド・パシヤ」(~1608年4月)
- 1606年-01:00|アンゴラ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル王領西アフリカ総督「パオ・デ・アラウジョ・デ・アゼベド」(~1607年)
- 1606年 00:00|イギリス| |||<死去>6代モートン伯「ウィリアム・ダグラス」
- 1606年 00:00|イギリス| |||<就任>7代モートン伯「ウィリアム・ダグラス」(~16480807死去)
- 1606年 05:00|キューバ| |||ハバナ、公式にキューバの首都に指名
- 1606年1月7日-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクサンドリア(総督)「シムス・パシヤ」(~同年)
- 1606年1月10日-01:00|イタリア| |||<就任>ヴェネツィア共和国第90代ドージェ(元首)「レオナルド・ドナ」(~16120716死去)
- 1606年1月12日 01:00|カーボベルテ/ポルトガル| |||<就任>カーボベルテ総督「フランシスコ・コリア・ダ・シルバ」(~1611年)
- 1606年1月26日 08:00|ヒトケアン諸島/ポルトガル| |||ポルトガルの船乗りペドロ・フェルナンデス・ケイロスによってテューシー島発見
- 1606年1月26日-09:00|日本|東京都八丈町|慶長10年12月18日|八丈島噴火。一夜にして大山が出現
- 1606年1月29日 08:00|ヒトケアン諸島/ポルトガル| |||San JuanBautistaという名前のポルトガルの船乗りPedroFernandes deQueirosによってハンター島発見
- 1606年1月31日 00:00|イギリス| |||英上院を爆破し、王・両院議員を暗殺する火薬陰謀事件発覚(11/5)逮捕されたガイ・ホークスら処刑
- 1606年2月4日 10:00|ポズナ/スペイン| |||スペインのペドロ・フェルナンデス・デ・キロス大尉によってトウアツ諸島発見
- 1606年2月7日-09:00|日本|秋田県湯沢市|慶長11年|院内銀山が村山宗兵衛ほか3名によって発見される(翌年、佐竹藩直営として開山、秋田県)
- 1606年2月7日-09:00|日本|茨城県稲敷市|慶長11年|<加増>常陸江戸崎18000石「青山忠成」+1万石⇒2万5000石(~慶長18年2月20日(16130410)死去)
- 1606年2月7日-09:00|日本|愛媛県西条市|慶長11年|石鎚神社再興
- 1606年2月7日-09:00|日本|京都府京都市北区|慶長11年|黒田長政がその父である黒田如水の菩提を弔うために京都大徳寺龍光院本堂書院できる
- 1606年2月7日-09:00|日本|京都府京都市東山区|慶長11年|高台院が高台寺創建<臨済宗建仁寺派>(京都府)
- 1606年2月7日-09:00|日本|東京都大田区|慶長11年|池上本門寺此経難持坂完成(96段)加藤清正寄進(東京都)
- 1606年2月7日-09:00|日本|福井県福井市|慶長11年|<移転>越前北庄藩68万石「松平秀康」⇒越前福井藩(福井城が完成し移る⇒慶長12年閏4月8日(16070602)死去)
- 1606年2月7日 04:30|ベネチア/スペイン| |||<就任>スペイン領ベネチア総督「Sancho de Alquiza」(~16110601)
- 1606年2月21日-13:30|キリバス/スペイン| |||スペインのペドロ・フェルナンデス・デ・キロスがキアロイン島を発見
- 1606年2月25日-09:00|日本|京都府京都市東山区|慶長11年1月19日|三十三間堂で行われた通し矢で、尾張清洲藩

1620迄 (2404件)

松平家中の浅岡重政が51筋射として、「天下一」の称号を家康より許可される

- 1606年3月-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>アレクソ・クリス(総督)「カール・メフメト・パシャ」(~5月)
- 1606年3月2日 10:00|クック諸島/スペイン| |||スペインのペドロ・フェルナンデス・デ・ケイロス大尉がラカンガ環礁を発見し、ペレグリナと名付けた
- 1606年3月2日 11:00|米領サマタラ/スペイン| |||スウェインズ島がスペインのペドロ・フェルナンデス・デ・ケイロス大尉によって発見されゲンティル島と名付けられた
- 1606年3月3日-09:00|日本|東京都千代田区|慶長11年1月25日|<解任>老中「青山忠成」「内藤清成」
- 1606年3月4日-09:30|オーストラリア/オランダ| |||オランダ 人 大尉 ウィルム・ヤンズ・ゾーンによってヨーク岬発見/後にニューオランダと名付けられた
- 1606年3月7日-01:00|ポーランド/ドイツ| |||<死去>ホーメルン=シュテッティン公「ホーギスラフ11世」
- 1606年3月7日-01:00|ポーランド/ドイツ| |||<就任>ホーメルン=シュテッティン公「フィリップ 2世 敬虔公」(~16180203死去)
- 1606年3月12日-09:00|日本|茨城県桜川市|慶長11年2月4日|<拝領>常陸真壁5万5千石「浅野長政(長吉)」隠居領(~慶長16年4月7日(16110529)死去)
- 1606年3月16日 05:00|ペルー/スペイン| |||<死去>ペルー副王「モンテレイ伯ガスパール・デ・スニガ・アセド・イ・フォンセカ」
- 1606年3月16日 05:00|ペルー/スペイン| |||<就任>ペルー副王「(アウグスティン)大統領」デ・イコ・デ・ヌニェス・デ・アベントラネヨ」(~16071221没)
- 1606年3月21日-01:00|ハンガリー| |||<就任>ハンガリー王国摂政「マティアス・エルツヘルツォーク・スー・エステルライヒ」(~16081119)
- 1606年4月-08:00|インドネシア/スペイン| |||<設立>ティドレ島とガランラマ島のスペイン植民地、テルナト島のピター岩とホル岩(~1630502)
- 1606年4月-01:00|スペイン/バヌアツ| |||スペインのキロス艦隊がニューヘブリディーズ諸島に到着
- 1606年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ピエール・マッテオ・ベルツィ」「ファブリティオ・ベルツィ」
- 1606年4月8日-01:00|ドイツ| |||<死去>ホーエンツォレルン=ジグマリンゲン侯「Charles 2世」
- 1606年4月8日-01:00|ドイツ| |||<就任>ホーエンツォレルン=ジグマリンゲン侯「Johann」(~16380322死去)
- 1606年4月10日-09:00|日本|宮城県仙台市|慶長11年3月3日|<加増>陸奥仙台藩60万5000石「伊達政宗」+常陸国竜ヶ崎1万石⇒61万5000石
- 1606年4月12日 00:00|イギリス| |||ユリウス暦:1606/4/2|イギリスのジェームス1世が勅状を出して、イングランドのセント・ジョージ・クロスとスコットランドのセント・アントリウ・クロスを組合わせた共通旗のユニオン・フラグと呼ばれるようになる旗を艦船が使用するよう要請
- 1606年5月-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>アレクソ・クリス(総督)「テリ・フェルハト・パシャ」(~1607年)
- 1606年5月-02:00|キリシタン| |||<就任>カンテイヤ王国総督「ニコ・サグレト」(~1608年4月以降)
- 1606年5月1日-11:00|バヌアツ/スペイン| |||スペインのペドロ・フェルナンデス・デ・ケイロス大尉によって発見され、テラ・オーストラリア・デ・ル・エスピリトゥ・サント(エスピリトゥ・サント)と名付けられた
- 1606年5月7日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・万曆34年4月|朝鮮が日本軍との戦火で焼失した「実録」を再印刷
- 1606年5月7日-09:00|日本|東京都八丈町|慶長11年4月|宇喜多秀家、八丈島に流される
- 1606年5月9日-09:00|日本|滋賀県長浜市|慶長11年4月3日|<移封>駿河府中4万石「内藤信成」⇒近江長浜4万石(~慶長17年7月24日(16120820)死去)
- 1606年5月16日-01:00|イタリア| |||バネシアでカプチン教団とテアティニ教団追放
- 1606年5月17日-08:00|マレーシア/オランダ/ポルトガル| |||オランダ人がマラッカをポルトガルから奪取(~8. 19)
- 1606年5月25日-09:00|日本|奈良県奈良市|慶長11年4月19日|<死去>柳生石舟斎。78歳/新陰流の上泉信綱の弟子で、のちに流派を継いで、柳生新陰流を創始した
- 1606年5月27日-04:00|ロシア| |||ロシア暦5月17日|<死去>ロシア・ツァーリ「ミロワ・イワノヴィチ」モスクワの反乱市民に殺される
- 1606年5月27日-04:00|ロシア| |||ロシア暦5月17日|<就任>全ロシア貴族議会上級ボヤール「クニャース」のフォートル・イワノヴィチ・ムステイスラフスキ」(2回目~19日)
- 1606年5月29日-04:00|ロシア| |||ロシア暦5月19日|<即位>ロシア・ツァーリ「ウァシリイ・イワノヴィチ4世」(~16100719)
- 1606年6月19日-09:00|日本|群馬県館林市|慶長11年5月14日|<死去>上野館林10万石「榊原康政」⇒三男「榊原康勝」が継ぐ(~慶長20年5月27日(16150623)死去)
- 1606年6月21日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国第66代大宰相「テムル・イシュメト・パシャ」(~12. 9)
- 1606年6月23日-01:00|オーストリア/ドイツ/ハンガリー| |||神聖ローマ皇帝が、ハンガリー貴族とウィーンの和約を結ぶ
- 1606年6月24日-08:00|フィリピン/スペイン| |||<死去>スペイン領フィリピン諸島総督「ペドロ・ブラボ・デ・アケニャ」
- 1606年6月24日-08:00|フィリピン/スペイン| |||<就任>スペイン領フィリピン諸島総督「Cristobal Tellez de Almazan」(~16080615)
- 1606年6月24日 00:00|アイスランド/デンマーク| |||<就任>アイスランド支配者「ヘルフ・トル・ダール・テイル・ステインゲ」(~16190623)
- 1606年6月27日-09:00|日本|滋賀県彦根市|慶長11年5月22日|<移転>近江佐和山18万石「井伊直継」⇒近江彦根(彦根城へ居城を移した)(⇒寛永20(1915)年「井伊直孝」が家督を継ぎ、直継は上野安中藩3万石を分知)
- 1606年6月30日-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア総督「シモン・モキラ」(~16070914没)
- 1606年7月-01:00|フランス| |||建築家バティスト・アントル・エ・デュ・セルソにより、1578年から工事がすすめられていた「ポンヌワ(新橋)」(1, 6区)が最終的に完成
- 1606年7月1日-09:00|日本|新潟県上越市|慶長11年5月26日|<死去>越後春日山45万石「堀秀治」⇒「堀忠俊」が嗣ぐ(~翌年越後福島へ)
- 1606年7月7日-09:00|日本|茨城県筑西市|慶長11年6月3日|<死去>常陸下館3万1千石「水谷勝俊」⇒長男「水谷勝隆」(3万2千石)が嗣ぐ(~寛永16(1639)年6月備中成羽5万石)
- 1606年7月10日 00:00|イギリス| |||<就任>初代アハコン伯「ジョージ・ハミルトン」初代ヘイズリー卿の息子(~16180323死去)

1620迄 (2404件)

- 1606年7月10日 00:00|イギリス| |||<就任>初代キング・ホン伯「ハトリック・ライオン」(~1615. 12死去)
- 1606年7月10日 00:00|イギリス| |||<就任>初代ヴァーデン伯「ジョン・マレー」(~1609年死去)
- 1606年7月20日-09:00|日本|三重県松阪市|慶長11年6月16日|<死去>伊勢松阪55000石「古田重勝」⇒弟の「古田重治」が嗣ぐ(~元和5(1619)年石見浜田へ)
- 1606年7月21日-09:00|日本|鹿児島県|慶長11年6月17日|<改名>薩摩藩(鹿児島城)72万8700石「島津忠恒」⇒「島津家久」(⇒寛永15年2月23日(16380407)死去)
- 1606年7月22日-09:00|日本|愛知県新城市|慶長11年6月18日|<移封>尾張小河1万石「水野分長」廃藩⇒三河新城1万3千石(⇒元和2(1616)年、近江国栗太郡内2000石加増)
- 1606年7月26日-09:00|日本|静岡県富士宮市|慶長11年6月22日|徳川家康が富士山本宮浅間大社社殿竣工
- 1606年7月28日-09:00|日本|京都府京都市伏見区|慶長11年6月24日|豊臣秀頼が醍醐寺の如意輪堂・五大堂を再建
- 1606年8月8日-09:00|日本|岐阜県揖斐郡大野町|慶長11年7月5日|<死去>美濃野村1万石「織田長孝」⇒長男の「織田長則」が嗣ぐ(~寛永8(1631)年7月4日死去無嗣断絶)
- 1606年9月-01:00|ポランド/リトアニア| |||ポランド・リトアニア共和国王と貴族の紛争から、ゼブジトフスキの反乱がおこる
- 1606年9月2日-01:00|ドイツ| |||<死去>カール・ヴァン・マンデルド イタ人画家(生年1548年)
- 1606年9月3日-09:00|日本|京都府京都市右京区|慶長11年8月|角倉了以、私財を投じて大堰川(保津川<桂川上流部>)を開削
- 1606年9月3日-09:00|日本|新潟県長岡市|慶長11年8月|<死去>越後蔵王堂4万石「堀鶴千代」領地は坂戸藩に吸収
- 1606年9月3日-09:00|日本|新潟県南魚沼市|慶長11年8月|<加増>越後坂戸2万石「堀直奇」+蔵王堂藩3万石⇒5万石(~慶長15(1610)年信濃飯山藩4万石に転封)
- 1606年9月3日-09:00|日本|北海道松前郡松前町|慶長11年8月|松前氏の福山館(現松前町)が完成
- 1606年9月7日-04:00|ジョージア| |||<死去>カトリ王「ジョージ 10世」
- 1606年9月7日-04:00|ジョージア| |||<即位>カトリ王「ルアルサ 2世」(~1615年)
- 1606年9月28日-09:00|日本|埼玉県上尾市|慶長11年8月26日|<死去>武蔵原市藩1.2万石「西尾吉次」⇒養子の「西尾忠永」が継ぐ(~元和2(1616)年上野白井藩2万石)
- 1606年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「アンバレ・ベルツィ」(ジュリアノ・ファットリ)
- 1606年10月16日-09:00|日本|愛媛県今治市|慶長11年9月15日|<加増>伊予今治20万石「藤堂高虎」、江戸城増築企画の功によって備中国で2万石⇒22万3千石(⇒慶長19(1614)年5万石を加増)
- 1606年10月22日-09:00|日本|京都府京都市南区|慶長11年9月21日|豊臣秀頼が東寺(教王護国寺)金堂を再建し、落慶供養を行う
- 1606年10月24日-09:00|日本|茨城県下妻市|慶長11年9月23日|<拝領>常陸下妻10万石「徳川頼房」(徳川家康の十一男~慶長14年常陸水戸へ)
- 1606年10月24日-09:00|日本|東京都千代田区|慶長11年9月23日|江戸城増築完成
- 1606年10月26日-01:00|オーストリア/ハンガリー/トルコ| |||オスマン帝国とオーストリアが、ハンガリー領有の争いに関してシヴァトク条約を結ぶ
- 1606年11月1日-09:00|日本|大阪府泉南郡岬町|慶長11年10月1日|<死去>和泉谷川藩1万6千石「桑山重晴」⇒孫の「桑山清晴」が嗣ぐ(父の元春に6千石分与し1万石~慶長14(1609)年蟄居となり所領は父元晴に与えられた)
- 1606年11月1日-09:00|日本|奈良県御所市|慶長11年10月1日|<加増>大和御所藩1万石「桑山元晴」+6千石(父重晴遺領のうち)⇒1万6千石(⇒慶長14(1609)年、和泉国谷川藩領1万石を加え2万6380石)
- 1606年11月30日-09:00|日本|東京都千代田区|慶長11年11月|幕府小姓組を創設
- 1606年11月30日-08:00|中国| |||明・万暦34年11月1日|中国・雲南省、建水地震(M6.3)、死者数千人
- 1606年12月-01:00|スペイン| |||スペイン人のトレスがトリス海峡(オーストラリア大陸とニューギニア島南岸間の海峡)を初めて通過
- 1606年12月10日-09:00|日本|京都府京都市|慶長11年11月11日|<就任>関白「鷹司信房」(~慶長13年12月26日)
- 1606年12月11日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「ケクムラト・パシャ」(~16110805)
- 1606年12月29日-01:00|ハンガリー| |||<死去>ハンガリー対立王「トランシルバニア公イシュトヴァーン・ボツカイ・ボツコイ・キヌルジヤイ」
- 1606年12月29日-08:00|中国| |||明・万暦34年12月|明軍が遼東六堡より撤退し、ヌルハチ軍の勢力が強まる
- 1607年-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>モルッカ諸島オランダ総督「Gerrit Gerritszen van der Buis/Pieter Jansen Boenen」(~1608年)
- 1607年-08:00|インドネシア| |||<即位>アチェ王国スルタン「イサカン・ル・ムタ」(~1636年)
- 1607年-08:00|インドネシア| |||<即位>テルナテスルタン「Muzaffar Shah 1世」(~1627年)
- 1607年-07:00|タイ| |||<即位>マンラーイ朝ランナー王チョーイ(~1608年)
- 1607年-05:30|インド| |||<就任>アラカル王国ラジャ「アリ・ラジャ・アブ・バカル 2世」(~1610年)
- 1607年-05:30|インド| |||ジャハーンギールがゴアへ使節を派遣
- 1607年-04:30|アフガニスタン/インド| |||ムガル軍がカンタールを包囲したペルシア軍を撤退させる
- 1607年-04:00|アゼルバイジャン/イラン| |||サルヤン、ジャワトはペルシアの一部
- 1607年-03:00|イェメン/トルコ| |||<就任>オスマン帝国サ総督「Cafer Pasha」(~1612年)
- 1607年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>バグダット・ワリス「アフマト・テヴァイル」(反乱~1608年)、「モハメッド・ハシヤ」(~1608年)
- 1607年-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「オキュス・メフメド・ハシヤ」(~1611年)
- 1607年-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「マフムド・ハシヤ」(2期目~1608年)
- 1607年-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ソファラ・キャプテンシメジヤ「エステヴァン・デ・アタイデ」(1回目~1609年)
- 1607年-02:00|トルコ| |||オスマン朝アフメト1世が兄弟殺し制度を廃止し、カフス制に変更
- 1607年-01:00|スペイン| |||<死去>オリバー・レス伯「エンリケ・デ・ケスマン・イ・リベラ」

1620迄 (2404件)

- 1607年-01:00|アルジェリア/トルコ| |||<就任>アルジェのパシャ「リス・ウ・アン・パシャ」(~1610年)
- 1607年-01:00|スペイン| |||<就任>オリバーレス伯「ガスパール・デ・グスマン・イ・ビメンタル」(⇒1625年、公爵に昇格~16450722死去)
- 1607年-01:00|クワチア| |||<即位>ポルツァ大公「ジュレ・パウイッチ」(~1609年)
- 1607年 00:00|フェロ諸島| |||<死去>フェロ諸島首席大臣「Thomas Simonsen」
- 1607年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国植民地ケラン・カリヤ島知事「Luis de Mendoza」(~1612年)
- 1607年 00:00|イギリス/アメリカ| |||イギリスがバークレー開港に着手、最初の植民者がロンドン出発
- 1607年 00:00|イギリス| |||イギリス東インド会社が第3回艦隊をアジアに派遣
- 1607年 00:00|アイルランド/イギリス| |||ティル・エガン(タイロン)がイギリスによって消滅
- 1607年 05:00|ジャマイカ/スペイン| |||<就任>スペイン領サントヤゴ 総督「アロンソ・デ・ミランダ」(~1611年)
- 1607年 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領ホバム植民地総督「ジョージ・ホバム」(~1608.2死去)
- 1607年 06:00|エルサルバドル/スペイン| |||<就任>サンサルバドル、サンミゲル州市長「アントニオ・ランテス・デ・ラグナ」(~1613年)
- 1607年1月6日-09:00|日本| ||慶長11年12月8日|幕府が永楽銭を止め、慶長通宝を铸造
- 1607年1月11日-09:00|日本|大阪府大阪市天王寺区|慶長11年12月13日|豊臣秀頼、生国魂神社を再建
- 1607年1月22日-09:00|日本| ||慶長11年12月24日|辰千代(家康の六男、後の松平忠輝)と五郎八姫(伊達政宗の長女)が婚姻
- 1607年1月22日-09:00|日本|長野県長野市|慶長11年12月24日|信濃国川中島藩12万石「松平忠輝(徳川家康六男)」に伊達政宗の娘五郎八姫が嫁ぐ
- 1607年1月28日-09:00|日本|大阪府高槻市|慶長12年|美濃国林丹波守が畠山神社多宝塔完成(→ユネコ村へ移築、大阪府)
- 1607年1月28日-09:00|日本|岐阜県可児市|慶長12年|<死去>美濃徳野藩1万石「平岡頼勝」48歳⇒「平岡頼資」が嗣ぐ(~承応2(1653)年子の頼重に相続が認められず改易/頼重は1千石の旗本になった)
- 1607年1月28日-09:00|日本|岐阜県瑞穂市|慶長12年|<拝領>美濃十七条藩1万石「稲葉正成」(林政秀の次男~元和4(1618)年越後系魚川2万石)
- 1607年1月28日-09:00|日本|滋賀県高島市|慶長12年|<加増>近江高島藩1万5千石「佐久間安政」+常陸国小田5000石⇒合計2万石(⇒元和元(1615)年、信濃国飯山3万石)
- 1607年1月28日-09:00|日本|栃木県小山市|慶長12年|<拝領>下野小山3万3千石「本多正純」(⇒元和2(1616)年2万石加増され5万3千石⇒元和5(1619)年10月下野宇都宮15万5千石へ)
- 1607年2月3日-09:00|日本|東京都千代田区|慶長12年1月7日|カホコの火が原因で神田の下町で200余軒が焼けた火災があった
- 1607年3月3日-01:00|イタリア| |||<就任>ヴェネツィア共和国ドージェ「シムオ・エストロ・インクレア」(~3.17)
- 1607年3月10日-03:00|エチオピア| |||<即位>エチオピア帝国(ソモン朝) 皇帝「スセニョス1世ファンシテス」(~1632年8月没)
- 1607年3月22日-01:00|イタリア| |||<就任>ヴェネツィア共和国ドージェ「ジョーゼフ・アゼット」(~16090323)
- 1607年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ロレンツォ・マルテリ」「ライオン・ベリエリ」
- 1607年4月1日-09:00|日本|愛知県清須市|慶長12年3月5日|<死去改易>尾張清洲52万石「松平忠吉」(徳川家康の四男)無嗣
- 1607年4月4日-08:00|インドネシア| |||<死去>アチ王国スルタン「アリ・リアヤット・シャー」
- 1607年4月4日-08:00|インドネシア| |||<即位>アチ王国スルタン「イスマイル・ムタ」(~16361227死去)
- 1607年4月5日-09:00|日本|静岡県沼津市|慶長12年3月9日|<改易>駿河興国寺1万石「天野康景」(譜代)領民と訴訟/子に1000俵安堵、子孫は旗本
- 1607年4月13日-01:00|フランス| |||<即位>オルアン公「ニコラ」フランス王アンリ4世次男(~16111117)
- 1607年4月26日-09:00|日本|新潟県上越市|慶長12年4月|<移転>越後春日山藩45万石「堀忠俊」⇒越後福島藩(⇒慶長15(1610)年閏2月2日改易)
- 1607年5月14日 06:00|アメリカ/イギリス| ||ユリウス暦:1607/5/4|イギリスの植民者がジェームズ・タウンに上陸を開始/北アメリカ大陸最初の永続的植民地ジェームズ・タウンが設立
- 1607年5月26日 06:00|アメリカ| |||ジェームズ・タウンに上陸した植民者がインディアンを撃退
- 1607年6月2日-09:00|日本|福井県福井市|慶長12年閏4月8日|<死去>越前福井藩68万石「松平秀康」⇒子の「松平忠直」が嗣ぐ(~元和9(1623)年豊後に配流)
- 1607年6月4日-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド 総督「アルビンス・デ・ブラガ」(~16090527)
- 1607年6月15日-08:00|フィリピン/スペイン| |||<就任>スペイン領フィリピン臨時総督「ロドリゴ・デ・ベベロ」(~1609.4)
- 1607年6月20日-09:00|日本|愛知県清須市|慶長12年閏4月26日|<移封>甲斐甲府「徳川義直」(徳川家康の九男)⇒尾張清洲61万9千石(~慶長17(1612)年尾張名古屋へ)
- 1607年6月23日-09:00|日本|愛知県犬山市|慶長12年閏4月29日|<加増移封>甲府6万3千石「平岩親吉」⇒尾張犬山9万3千石(徳川義直の附家老~慶長16(1611)年12月晦日没し、無嗣により除封)
- 1607年6月23日-09:00|日本|京都府京都市伏見区|慶長12年閏4月29日|<加増移封>遠江掛川3万石「松平(久松)定勝」⇒山城伏見城城代4万石(⇒元和3(1617)年、伊勢桑名11万石)
- 1607年6月23日-09:00|日本|静岡県掛川市|慶長12年閏4月29日|<拝領>遠江掛川3万石「松平(久松)定行」父定勝から引き継ぐ(⇒元和3(1617)年定勝の世子になり幕府に還付)
- 1607年6月23日-09:00|日本|千葉県佐倉市|慶長12年閏4月29日|<移封>尾張犬山藩2万7千石「小笠原吉次」⇒下総佐倉藩22000石(⇒翌年常陸国笠間3万石)
- 1607年6月29日-09:00|日本/韓国/朝鮮| ||慶長12年5月6日|朝鮮国使呂祐吉らが幕府に国書を呈する(対馬藩の国書偽造などの苦肉の計が結実し、朝鮮との国交回復が成る)

1620迄 (2404件)

- 1607年7月2日 07:00|オランダ| |||<就任>ヌエバ・イスパニヤ副王「サンティアゴ 伯・サリナス侯爵ルイス・デ・ベラスコ」(2回目~1610610)
- 1607年7月4日-01:00|ハンガリー/オーストリア| |||<就任>ハンガリー王室総督「フェレンツ・グロフ・フォルカツァ・ギメシ・エス・ガチ」(~16081119)
- 1607年8月4日-09:00|日本|京都府京都市左京区|慶長12年6月12日|吉田社焼亡
- 1607年8月23日-09:00|日本|熊本県熊本市|慶長12年7月|<就任>駿府老中「村越直吉」(~慶長19年1月14日)
- 1607年8月25日-09:00|日本|静岡県静岡市駿河区|慶長12年7月3日|徳川家康が駿府城に居を移す
- 1607年8月25日-09:00|日本|東京都千代田区|慶長12年7月3日|<就任>老中「成瀬正成」(~元和2年4月17日)
- 1607年9月-01:00|アンゴラ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル王領西アフリカ総督「マエル・ペレイラ・フォルマス」(~16110411没)
- 1607年9月 00:00|イギリス| |||秋<死去>11代クロフォード 伯「デュー・オブ・リンゼー」
- 1607年9月 00:00|イギリス| |||秋<就任>12代クロフォード 伯「デュー・オブ・リンゼー」(~1620.6死去)
- 1607年9月11日-09:00|日本|岡山県倉敷市|慶長12年7月20日|<死去改易>備前下津井3200石「池田長政(輝政弟)」
- 1607年9月14日-02:00|ルーマニア| |||<死去>モルダヴィア総督「シモン・キアラ」
- 1607年9月14日-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア総督「ミハイル・キアラ」(~16071206)
- 1607年9月17日-09:00|日本|大分県|慶長12年7月26日|<死去改易>豊後国内1万4150石「稲葉通孝」(稲葉貞通息)⇒臼杵藩編入(無嗣)一族に500俵
- 1607年9月17日-09:00|日本|岐阜県大垣市|慶長12年7月26日|<死去>美濃大垣5万石「石川康通」⇒父の「石川家成」が再任(~慶長14年10月19日(16091115)死去)
- 1607年9月29日 00:00|マン島| |||<就任>マン島主「Henry Howard」(~16080929)、「Robert Cecil」(~1612年死去)、「Thomas Howard」(~1612年)
- 1607年10月-04:00|ロシア| |||北ウクライナで前年起こった農民反乱のポトコフの乱が鎮圧される
- 1607年10月1日-01:00|サマリヤ| |||<就任>サマリヤ共和国執政「ガミロ・ボネリ」 「シヤンパツテイスタ・ベルツィ」
- 1607年10月10日-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクサンドリア(総督)「デイズ・リンク・フェイン・パシャ」(~1608年)
- 1607年10月16日-09:00|日本|奈良県奈良市|慶長12年8月26日|<死去>宝蔵院胤栄(87) 武術家
- 1607年10月23日-09:00|日本|東京都千代田区|慶長12年9月3日|江戸城天守台・大手門が修築完成
- 1607年10月26日-09:00|日本|佐賀県佐賀市|慶長12年9月6日|竜造寺本家(政家・高房)の断絶を契機として、竜造寺家の家督を鍋島直茂の子勝茂が相続し、ここに名実ともに鍋島佐賀藩が成立
- 1607年10月27日 00:00|世界/宇宙| |||ユリウス暦:1603/3/24|ハレー彗星、出現
- 1607年10月31日-09:00|日本|神奈川県横須賀市|慶長12年9月11日|<死去>遠江横須賀5万5千石「松平(大須賀)忠政」⇒「松平(大須賀)忠次」が嗣ぐ(~元和1(1615)年榊原家を相続し、除封・廃絶)
- 1607年11月-02:00|ウクライナ| |||<死去>クリミア・ハン国ハン「ガーズィー2世ギレイ」
- 1607年11月-02:00|ウクライナ| |||<即位>クリミア・ハン国ハン「トクティシュ・ギレイ」(~1608.4死去)
- 1607年12月6日-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア総督「コンスタンティン」(~16111218)
- 1607年12月17日-01:00|ドイツ| |||ハイルン公マクシミリアン1世が、新教派の都市トナウエルトを占領
- 1607年12月21日 05:00|ペルー/スペイン| |||<死去>ペルー副王「(アウグスティン大統領)デ・エスコ・デ・ヌニェス・デ・アベンタ・ニコ」
- 1607年12月21日 05:00|ペルー/スペイン| |||<就任>ペルー副王「モンテスクロス侯爵ファン・マヌエル・デ・メントーサイ・マンリケ・カルタド・イ・ハ・デ・イニャ」(~16151218)
- 1608年-08:00|インドネシア/イギリス| |||<就任>イギリス東インド会社バンタム長官「ジョン・サリス」(~同年)
- 1608年-07:00|タイ| |||<即位>マンラーイ朝ランナー王「チャイティップ」ケターで(~1614年)
- 1608年-05:30|インド/オランダ| |||<就任>オランダ領インド総督「ピーター・イカス」(~1610年)
- 1608年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>バグダッド・ワリス「マフムト・パシャ」(~1610年)
- 1608年-03:00|エチオピア| |||<即位>エチオピア帝国(ソモソ朝)対立皇帝「ヤコブ・サルサ・デングル」(1回目)
- 1608年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクサンドリア(総督)「エミン・マフムト・パシャ」(~同年)⇒「ユスフ・パシャ」(~1609年)
- 1608年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンテリア公「テルフィノ・ヴェニ」(~1610年)
- 1608年-02:00|ギリシャ| |||<就任>カンテリア王国総督「シロ・ラモ・カペッロ」(~1610年)
- 1608年-02:00|エストニア/スウェーデン| |||<就任>スウェーデン・エストニア総督代行「アンダー・ス・ラーソン・ボテイラスト」(2回目~1611年)
- 1608年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「ハデーム・グルク・マフムト・パシャ」(~同年)⇒「ス・フィー・シナン・パシヤ・アタルキ」(~1609年)
- 1608年-02:00|ザンビア/ポルトガル| |||ムタパ 国がポルトガルに鉱山採掘権を譲渡
- 1608年-01:00|フランス| |||<死去>リニエ 伯「シャルル2世」
- 1608年-01:00|スペイン| |||<就任>アンブリアス 伯「Enric3世」(~16400722死去)
- 1608年-01:00|フランス| |||<就任>オーベルニュ 伯「Margaret of Valois」(~1610年)
- 1608年-01:00|クロアチア| |||<就任>クロアチア・ハン「タマス2世エルデディ」(2度目~1614年)
- 1608年-01:00|チェコ| |||<就任>モラヴィア辺境 伯「マティアス2世」マキシリアンの息子(~16190320死去)
- 1608年-01:00|フランス| |||<就任>モルテン 伯「Marie de Bourbon」(~1627年)
- 1608年-01:00|フランス| |||<就任>リニエ 伯「Francis」Charles2世の兄弟(~1613年死去)
- 1608年-01:00|チャト| |||<即位>ハギルミ王国スルタン「Umar」(~1625年)
- 1608年-01:00|フランス| |||<即位>ロレーヌ(ロートリンゲン) 公「アンリ2世」(~1624年)
- 1608年-01:00|チェコ| |||<退位>モラヴィア辺境 伯「ルドルフ2世」(~16120120死去)
- 1608年-01:00|オランダ/タイ| |||アユタヤ朝がオランダに使節を派遣し、外交通商条約を締結
- 1608年-01:00|オランダ| |||オランダで商品先物取引がはじまる
- 1608年 00:00|モロッコ| |||<死去>サト朝スルタン「アブー・ファリス・アブドゥッラー」

1620迄 (2404件)

- 1608年 00:00|サントメ・プリンシパル/ポルトガル |||<就任>サントメ植民地総督代理「Joao Barbosa da Cunha」(3期目~1609年)
- 1608年 00:00|カリヤ諸島/スペイン |||<就任>スペイン王国植民地チリフェ島知事「Juan de Espinosa」(~1615年)
- 1608年 00:00|フェロ諸島 |||<就任>フェロ諸島首席大臣「Zacharias Thormodsen」(~1628年死去)
- 1608年 01:00|アゾレス諸島/スペイン |||<死去>アゾレス島・コルヴォ島トナリオ長官「Francisco de Mascarenhas」
- 1608年 04:00|プエルトリコ/スペイン |||<死去>プエルトリコ知事兼提督「Sancho Ochoa de Castro」
- 1608年 06:00|ホンジュラス/スペイン |||<就任>マヤケブア県総督「ファン・ゲラ・テ・アヤ」(~1612年)
- 1608年 07:00|メキシコ |||逃亡黒人奴隷が山岳部に立てこもり指導者ヤンガは逃亡奴隷を糾合しパレンク集落を形成、自らコンゴ王を名乗る
- 1608年1月3日 01:00|アゾレス諸島/スペイン |||<就任>アゾレス島・コルヴォ島トナリオ長官「Martinho de Mascarenhas」(~1650年)
- 1608年1月4日-09:00|日本|千葉県市原市|慶長12年11月27日|<拝領>上総姉崎1万石「松平忠昌」(⇒元和元(1615)年末、下妻藩3万石へ加増移封)
- 1608年1月7日 03:00|ブラジル/ポルトガル |||<就任>ポルトガル領ブラジル(ハイア)総督「エリセリア伯テ・イコ・デ・メゼス・エ・シウラ」(~1613年)
- 1608年1月17日-08:00|中国 |||明・万暦35年12月|雲南の金沙江で鄭拳が起兵し武定を攻略
- 1608年1月22日-09:00|日本|青森県弘前市|慶長12年12月5日|<死去>陸奥堀越藩4万7000石「津軽為信」⇒三男の「津軽信枚」が継ぐ(~寛永8年1月14日(16310214)死去)
- 1608年1月29日-01:00|ドイツ |||<死去>ヴュルテンベルク公「フリートリヒ1世」
- 1608年1月29日-01:00|フランス |||<死去>モンパリエール伯「フリートリヒ1世」
- 1608年1月29日-01:00|フランス |||<就任>モンパリエール伯「ジョン・フレデリック」(~1617年)
- 1608年1月29日-01:00|ドイツ |||<即位>ヴュルテンベルク公「ヨハン・フリートリヒ」(~16280718死去)
- 1608年1月29日-09:00|日本|三重県度会郡玉城町|慶長12年12月12日|<死去>伊勢田丸45700石「稲葉道通」⇒「稲葉紀通」が嗣ぐ(~元和2(1616)年摂津中島4万5700石へ移封)
- 1608年1月30日-09:00|日本|京都府京都市上京区|慶長12年12月13日|京都北野神社本殿できる
- 1608年2月 00:00|ポルトガル/スペイン |||<就任>スペインのポルトガル副王「クリストバオ・デ・モウラ・エ・オウラ・カステロ・リゴ侯」(3期目~1612年)
- 1608年2月 06:00|アメリカ/イギリス |||<就任>イギリス領フロリダ植民地総督「ラレ・ギルバート」(~1608.9)
- 1608年2月8日-09:00|日本|静岡県静岡市駿河区|慶長12年12月22日|駿府城、全焼
- 1608年2月12日-09:00|日本|岐阜県揖斐郡揖斐川町|慶長12年12月26日|<改易>美濃清水2万2000石「稲葉通重」(稲葉重通息)京都祇園で狼藉/子孫は稲葉正勝家臣
- 1608年2月12日-09:00|日本|京都府久世郡久御山町|慶長12年12月26日|<改易>山城御牧藩1万3000石「津田信成」京都祇園で狼藉
- 1608年2月16日-09:00|日本|石川県七尾市|慶長13年|<移封>越中布市1万5千石「土方雄久」⇒能登国石崎1万石(⇒11月、下総国田子15000石に加増移封)
- 1608年2月16日-09:00|日本|佐賀県唐津市|慶長13年|寺沢志摩守広高が唐津城(舞鶴城)築城
- 1608年2月16日-09:00|日本|東京都大田区|慶長13年|池上本門寺五重塔建立
- 1608年2月27日-01:00|フランス |||<死去>モンパリエール公・シャテルロー公・モルテン伯「アンリ・ド・ブルボン」
- 1608年2月27日-01:00|フランス |||<就任>モンパリエール公・シャテルロー公「マリー・ド・ブルボン」(~16270604死去)
- 1608年3月7日-02:00|ルーマニア |||<死去>トランシルヴァニア大公「ラコツィ・フェルソウ・アター・シ男爵ジギスムント」
- 1608年3月7日-02:00|ルーマニア |||<即位>トランシルヴァニア大公「カール・バツラー・ソムリョイ」(~16131022没)
- 1608年3月17日-09:00|韓国/朝鮮 |||朝鮮・万暦36年2月2日|<死去>李氏朝鮮国王「宣祖」
- 1608年3月17日-09:00|韓国/朝鮮 |||朝鮮・万暦36年2月2日|<即位>李氏朝鮮国王「光海君」(~16230412退位)
- 1608年3月29日-09:00|韓国/朝鮮 |||<就任>朝鮮国領議政「李元翼」(~16090910)
- 1608年4月-02:00|ウクライナ |||<死去>クリミア・ハン国ハン「トクマシユ・ギレイ」
- 1608年4月-02:00|ウクライナ |||<即位>クリミア・ハン国ハン「セラメト1世ギレイ」(~1610.6死去)
- 1608年4月-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ |||<就任>ボスニア総督「ソフィ・ジャン・パシヤ」(2回目~7月)
- 1608年4月1日-01:00|サンマリノ |||<就任>サンマリノ共和国執政「ピエール・フランチェスコ・ボネリ」「ジュリアーノ・ベルツィ」
- 1608年4月11日-09:00|日本|新潟県燕市|慶長13年2月26日|<死去>越後三条城5万石「堀直政」享年62⇒子の「堀直清」が嗣ぐ(~慶長15(1610)年閏2月2日争訴により改易)
- 1608年4月19日 00:00|イギリス |||<死去>イングランド王国大蔵卿兼主席アトハバイン「ハックハースト男爵・ドゥーセット伯トマス・サックガイル」
- 1608年4月19日 00:00|イギリス |||<就任>イングランド王国大蔵卿兼主席アトハバイン代理「エズミア男爵トマス・エンジャートン」(2期目~5.4)
- 1608年4月19日 00:00|イギリス |||<就任>ドゥーセット伯「伯ハート・サックガイル」(~16090227死去)
- 1608年4月24日-01:00|フランス |||<即位>アンジュー公「カストン1世」兼シャトル公、プロワ伯、アランソン公/フランス国王アンリ4世とマリー・ド・メディシスの三男(~16260806)
- 1608年4月25日-09:00|日本|静岡県静岡市駿河区|慶長13年3月11日|駿府城本丸が再建され徳川家康が移り住む
- 1608年4月29日 05:00|エカートル/スペイン |||<就任>スペイン領北西インド総督・総司令官・大審問院長「デ・イコ・デ・アルメンロス・イ・ベナ」(~16091209)
- 1608年5月1日-01:00|ルウェー/デンマーク |||<就任>ルウェー総督「エンゲルト・クルゼ・ティル・イェルミツレーヴ」(~16180430)
- 1608年5月4日 00:00|イギリス |||<就任>イングランド王国大蔵卿兼主席アトハバイン「クランボーン子爵・ソールズベリー伯ハート

1620迄 (2404件)

セル (~16120524死去)

- 1608年5月12日-01:00|ドイツ| |||アンハルト公クリスティアンとハルツ伯フリードリッヒ4世の新教同盟が結成される
- 1608年5月14日-01:00|フランス/イタリア| |||<死去>ロレーヌ(ロートリンゲン)公「シャルル3世(2世)」兼カラブリア公「カルロ」
- 1608年5月14日-01:00|フランス/イタリア| |||<即位>ロレーヌ(ロートリンゲン)公「アンリ2世」兼カラブリア公「ホーリ王」の推定相続人の称号「エンリコ」シャルル3世の長男(~16240731死去)
- 1608年5月15日-01:00|ドイツ| |||南ドイツ諸議会在プロテスタント同盟を結成
- 1608年5月19日-01:00|ドイツ| |||カルヴァン派とルター派の諸侯が、ファルツ選帝侯を指導者とする新教徒同盟を結んで、ハプスブルグ家の守護するカトリックと対抗
- 1608年6月12日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・万暦36年5月|朝鮮が宣慰庁を設置し、京畿道に大同法を施行
- 1608年6月15日-08:00|フィリピン/スペイン| |||<就任>スペイン領フィリピン諸島総督「Rodrigo de Vivero y Aberrucia」(~1609.4)
- 1608年6月26日-01:00|ハンガリー/クロアチア/オーストリア/チエコ/スロバキア| |||<即位>ハンガリー国王「マチャーシュ2世」兼クロアチア王「マチャス2世」兼オーストリア大公「マティアス」兼モラヴィア辺境伯「マティアス2世」ルドルフ2世の弟(~16190320死去62歳)
- 1608年6月26日-01:00|ハンガリー| |||<退位>ハンガリー国王「ルドルフ」(~16120120死去)
- 1608年6月30日-09:00|日本|大阪府大阪狭山市|慶長13年5月18日|<死去>河内狭山11000石「北条氏盛」⇒長男の「北条氏信」が継ぐ(~寛永2年10月24日(16251123)死去)
- 1608年7月-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>モルッカ諸島オランダ総督「Adriaan Wouterszoon Stoop」(~1610年)
- 1608年7月-01:00|ホースニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ホースニア総督「ムスタファ・パシャ」(1回目~1609年)
- 1608年7月 00:00|ガーナ/ホルトガル| |||<就任>ホルトガル・ゴールドコースト長官「ドナルド・デ・リマ」(~1610年7月)
- 1608年7月3日 06:00|カナダ/フランス| |||フランス人のジャン・ランガケック市を建設/五大湖地方を版図にいれ、ニュー・フランスを創設. 総督に任命される
- 1608年7月12日-08:00|中国| ||明・万暦36年6月|遼東の錦州・松山で宦官高准の横暴に反抗する兵士の乱がおこる
- 1608年7月15日-09:00|日本|三重県桑名市|慶長13年6月4日|<死去>狩野派の絵師「狩野光信」桑名で客死. 44歳/織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の御用絵師だった
- 1608年7月17日 04:00|ドミニカ共和国/スペイン| |||<就任>スペイン領サントミンゴ 総裁・総司令官「フェイコ・ゴメス・デ・サントバル」(~1623年8月没)
- 1608年7月18日-01:00|ドイツ/ホーランド| |||<死去>ブランデンブルク選帝侯「ヨアヒム・フリードリヒ」
- 1608年7月18日-01:00|ドイツ/ホーランド| |||<就任>ブランデンブルク選帝侯「ヨハン・ジギスムント」(~16191103退位)
- 1608年7月22日 04:00|プエルトリコ/スペイン| |||<就任>プエルトリコ知事兼提督「Gabriel de Rojas Paramo」(~1614年)
- 1608年7月27日-09:00|日本|兵庫県丹波篠山市|慶長13年6月8日|<改易>丹波八上藩5万石「前田茂勝」前田玄以息(癡狂・家臣殺害)甥の出雲松江藩主堀尾忠晴に身柄を預けられる
- 1608年7月28日-01:00|ドイツ| |||<即位>ブランデンブルク選帝侯(ホーエンツォレルン家)ヨハン・ジギスムント「ヨアヒム・フリードリヒの息子」(~16191103)
- 1608年7月31日-09:00|日本|三重県伊賀市|慶長13年6月20日|<改易>伊賀上野20万石「筒井定次」家臣の訴訟/伊予松山に幽閉, 大坂の陣の際切腹
- 1608年9月9日-09:00|日本|兵庫県丹波篠山市|慶長13年8月|<加増移封>常陸笠間藩3万石「松平康重」⇒丹波八上藩5万石(⇒翌年12月、丹波篠山城へ移転)
- 1608年9月18日 05:00|キューバ/スペイン| |||<就任>スペイン植民地キューバ 総督・総司令官「カスパー・ルイス・デ・ペレグ」(~16160907)
- 1608年9月20日-09:00|日本|岐阜県高山市|慶長13年8月12日|<死去>飛騨高山藩(高山城)38000石「金森長近」85歳⇒養子の「金森可重」が継ぐ(~元和元(1615)年間6月3日死去)
- 1608年9月20日-09:00|日本|岐阜県美濃市|慶長13年8月12日|<死去>美濃上有知(鉦尾山城)18000石「金森長近」⇒次男の「金森長光」が2万石で継ぐ(~慶長16(1611)年10月6日死去)
- 1608年9月28日-01:00|フランス| |||<死去>ジヨリス公「Henri」
- 1608年9月28日-01:00|フランス| |||<即位>ジヨリス公「Francois」(~16150823死去)
- 1608年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ピエトロ・シーニ・コルベッリ」テオ・ロレオナルド
- 1608年10月2日-01:00|オランダ| |||世界初の望遠鏡がオランダで発表ミッテルブルクに住むハンス・リペルスハイがオランダ議会で披露
- 1608年10月3日-09:00|日本|三重県津市|慶長13年8月25日|<加増移封>伊予今治藩20万石「藤堂高虎」⇒伊勢安濃津藩22万石(⇒慶長19(1614)年、伊賀国内と伊勢鈴鹿郡・安芸郡・三重郡・一志郡内5万石を加増され計27万石)
- 1608年10月4日-09:00|日本|岡山県岡山市北区|慶長13年8月26日|<死去>備中足守藩2万5千石「木下家定」66歳⇒「木下勝俊」が嗣ぐ(~翌年9月領地収公、一時廃藩)
- 1608年10月23日-09:00|日本|愛媛県宇和島市|慶長13年9月15日|伊勢安濃津藩7万石「富田信高(知信)」⇒伊予宇和島藩10万1900石(~慶長18(1613)年除封改易)
- 1608年10月25日-01:00|イタリア| |||ベネチアで6リヴルティ相当の1金トウカト金貨を铸造
- 1608年11月8日-09:00|日本|山口県岩国市|慶長13年10月|<山代慶長一揆>周防国山代で11人の庄屋を中心に多数の農民が一揆/代官所は減税の方向で一揆の鎮撫に努め、一揆を解散させた/結果73%の年貢率は40%に減額されたと言われている
- 1608年11月9日 00:00|イギリス| |||<死去>第3代モントローズ伯「ジョン・グラム」
- 1608年11月9日 00:00|イギリス| |||<就任>第4代モントローズ伯「ジョン・グラム」(~1626年死去)
- 1608年11月20日-01:00|ハンガリー| |||<就任>ハンガリー国王ハプスブルグ「イシュトヴァーン・パロ・イレズハージ・イレジャイ」(~16090505没)

1620迄 (2404件)

)

- 1608年11月27日-09:00|日本|千葉県|慶長13年10月20日|<死去>常陸・下総・上総・相模国内2万1千石「内藤清成」⇒長男の「内藤清次」が2万6000石で継ぐ(〜元和3年7月1日(16170802)死去)
- 1608年12月8日-09:00|日本|千葉県香取郡多古町|慶長13年11月|<加増移封>能登国石崎1万石「土方雄久」⇒下総国田子15000石(⇒11月12日(16081219)死去)⇒「土方雄重」が嗣ぐ)
- 1608年12月19日-09:00|日本|千葉県香取郡多古町|慶長13年11月12日|<死去>下総国田子15000石「土方雄久」⇒「土方雄重」が嗣ぐ(〜元和8年陸奥窪田(菊多)へ)
- 1608年12月20日-01:00|チコ| ||<就任>北テツタイン候「カル1世」(〜16270212没)
- 1608年12月30日-09:00|日本|宮城県仙台市|慶長13年11月23日|仙台で地震、津波で50人死亡
- 1609年-08:00|インドネシア/イリス| ||<就任>イリス東インド会社バンナム長官「Augustin Spalding」(1期目〜同年)⇒「トマス・Hensworth」(〜同年死去)
- 1609年-08:00|インドネシア/スペイン| ||<就任>モルッカ諸島スペイン総督代理「ルカス・de Vergara Gaviria」(1期目〜1610年)
- 1609年-08:00|インドネシア| ||<即位>サンバウ・パネハ王「Sepudak」(〜1632年)
- 1609年-08:00|インドネシア| ||<即位>パカン・スルタン「Nurusalat」(〜?)
- 1609年-06:30|コリス諸島/イリス| ||コリスはイリスのウィリアム・キリング大尉によって発見された(そしてコリス諸島と名付けられた)
- 1609年-05:45|ネパール| ||<即位>マラ(Lalitpur)国王「Shiva Simha (King of Kantipur)」(〜1620年)
- 1609年-05:30|インド| ||<即位>ヒンドール王国シャー「Amir Barid Shah3世」(〜1619年)
- 1609年-03:30|イラン| ||<即位>ホムス・シャー「ムハンマド・シャー4世」(〜1622年)
- 1609年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| ||<就任>アレクサンドリア(総督)「ケック・パシャ」(〜1610年)
- 1609年-02:00|モザンビーク/ポルトガル| ||<就任>モザンビーク、ソファラ、リオス・テ・クアマ、モノモバ総司令官「ヌノ・アルバレス・ペレイラ」(1回目〜1611年)
- 1609年-02:00|ルワンダ| ||<即位>ルワンダ王国ワミ「ミハング・ウエ2世」(〜1642年)
- 1609年-02:00|エジプト/トルコ| ||エジプトのオスマン朝守備隊反乱を、総督のムトが鎮圧
- 1609年-01:00|スウェーデン| ||<就任>セーデルマンランド公「カール・フリッポ」カール9世の息子(〜16220125死去)
- 1609年-01:00|ドイツ| ||<就任>ヘッセン＝フツバハ方伯「フリッポ3世」ゲオルク1世の次男(〜16430428死去、1代で断絶)
- 1609年-01:00|ポニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| ||<就任>ポニア総督「イブラヒム・ハン」(1回目〜1610年)
- 1609年-01:00|コロンビア| ||<即位>ポルビツァ大公「ラドシュ・ストギッチ」(〜1626年)
- 1609年-01:00|オランダ/アメリカ| ||オランダがアメリカで最初となるオランダ植民地を建設
- 1609年-01:00|オランダ| ||ゲロティウスが「自由海論」を刊
- 1609年-01:00|ドイツ| ||ケプラーが「新天文学」を刊/ケプラーの第1・第2法則をここに発表
- 1609年-01:00|オランダ| ||ベルゲン・オブ・ズーム州が正当な支配者に戻す(〜1621年)
- 1609年 00:00|イリス| ||<死去>初代リパティン伯「ジョン・マレー」
- 1609年 00:00|イリス| ||<就任>2代リパティン伯「ウィリアム・マレー」(〜1626年死去)
- 1609年 00:00|マン島/イリス| ||<就任>マン島知事「John Ireland」(〜1623年)、「John Birchall」(〜1610年)
- 1609年 04:00|ポルビツァ/スペイン| ||<就任>ラフ・ラ・デ・ロス・チャルカス聴問庁長官「ペドロ・ロリス・ペハラ」(〜1610年)
- 1609年 04:00|ケレタ/イリス| ||英国人200人がケレタに入植。カバ族との戦いに敗れ退散
- 1609年 05:00|ペルー| ||ガルセラが「インカ皇統記」を刊
- 1609年1月13日-09:00|日本| ||慶長13年12月8日|幕府が、再び永楽銭の通用を禁じる
- 1609年1月15日-01:00|ドイツ| ||ドイツで、週刊の新聞「レツィオン」が発行される/世界初の定期新聞
- 1609年1月25日 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| ||<就任>サントメ植民地総督「Fernando de Noronha」(〜2月死去)
- 1609年1月29日-09:00|日本|茨城県笠間市|慶長13年12月24日|<加増移封>下総佐倉藩22000石「小笠原吉次」⇒常陸国笠間3万石(〜翌年改易)
- 1609年1月30日-09:00|日本|東京都千代田区|慶長13年12月25日|<就任>老中「青山成重」(〜慶長18年8月)
- 1609年1月31日-09:00|日本|京都府京都市|慶長13年12月26日|<就任>関白「九条忠栄」(〜慶長17年7月25日)
- 1609年2月 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| ||<死去>サントメ植民地総督「Fernando de Noronha」
- 1609年2月 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| ||<就任>サントメ植民地総督代理「Joao Barbosa da Cunha」(4期目〜同年)⇒総督「Constantino Lobo Tavares」(〜1611年死去)
- 1609年2月5日-09:00|日本|茨城県結城市|慶長14年|<加増立藩>下総山川5千石「松平(久松)定綱」⇒1万5千石(〜元和2(1616)年常陸下妻2万石)
- 1609年2月5日-09:00|日本|大阪府泉南郡岬町|慶長14年|<改易>和泉谷川1万石「桑山清晴」(將軍秀忠の意を損じた)廃藩/所領1万石は父元晴の領地大和御所藩に加えられる
- 1609年2月5日-09:00|日本|佐賀県鹿島市|慶長14年|<立藩>肥前鹿島藩2万5千石「鍋島忠茂」(〜寛永元年8月4日(16240916)死去)
- 1609年2月5日-09:00|日本|奈良県御所市|慶長14年|<加増>大和御所藩16000石「桑山元晴」+和泉国谷川藩領1万石⇒2万6380石(〜元和6年7月20日(16200818)死去)
- 1609年2月6日-09:00|日本| ||慶長14年1月2日|幕府、市中での一季奉公と振売(呼売行商)を禁止
- 1609年2月7日-01:00|イタリア| ||<即位>トスカナ大公「コジモ2世・デ・メディチ」フェルディナント1世の息子(〜16210228死去)
- 1609年2月7日-01:00|イタリア| ||<退位>トスカナ大公「フェルディナント1世・デ・メディチ」
- 1609年2月27日 00:00|イリス| ||<死去>ドセット伯「伯ハート・サックウイ」
- 1609年2月27日 00:00|イリス| ||<就任>ドセット伯「リチャード・サックウイ」(〜16240328死去)
- 1609年3月 00:00|イリス| ||<死去>3代アラン伯「ジェームズ・ハミルトン」

1620迄 (2404件)

- 1609年3月 00:00|イギリス| |||<就任>4代アラン伯「ジェームズ・ハミルトン」2代ハミルトン侯(⇒16190616兼初代ケンプリッジ伯~16250302死去)
- 1609年3月6日-09:00|日本|群馬県伊勢崎市|慶長14年2月|<加増>上野那波15000石「酒井忠世」+上野国善養寺領5千石⇒2万石(元和2(1616)年8月、上野国勢多郡大胡・佐位郡伊勢崎3万2千石加増)
- 1609年3月23日-09:00|日本|福岡県柳川市|慶長14年2月18日|<死去>筑後国柳川藩32万石「田中吉政」病没.享年62⇒「田中忠政」が嗣ぐ(元和6年8月7日(16200903)死去無嗣改易)
- 1609年3月25日-01:00|ドイツ/ベルギー/オランダ| |||<死去>ユリヒ=クレフェ=ベルク連合公、レーフェンベルク伯、マルク伯「ヨハン・ヴィルヘルム1世」
- 1609年4月-08:00|フィリピン/スペイン| |||<就任>スペイン領フィリピン諸島総督「フアン・デ・シルバ」(~16160419死去)
- 1609年4月-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「ハフィズ・アフメド・パシャ」(1期目~1615年)
- 1609年4月 00:00|イギリス/インド| |||イギリス国王がムガル朝に親書
- 1609年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「オラツィオ・ベッルツィ」「オラツィオ・ジヤンギ」
- 1609年4月1日-01:00|イタリア| |||<就任>シエラレオネ共和国トージェ「アゴスティノ・ルチアニコ・ピロ」(~16110402)
- 1609年4月4日-09:00|日本/韓国/朝鮮| ||朝鮮・万暦37年3月|朝鮮国王、宗氏と通交条約を締結
- 1609年4月5日-09:00|日本|京都府京都市左京区|慶長14年3月|<創建>古知谷阿弥陀寺(京都市左京区大原古知平町83)弾誓
- 1609年4月9日-01:00|スペイン| |||スペイン王フェリペ3世が「モリスコ」追放発令.カトリック改宗のイスラム教徒を追放へ
- 1609年4月12日-09:00|日本|鹿児島県大島郡|慶長14年3月8日|<琉球征伐>薩摩島津軍が大島制圧
- 1609年4月16日-09:00|日本|和歌山県伊都郡高野町|慶長14年3月12日|高野山寺坊七百余宇焼失
- 1609年4月19日-01:00|オランダ/スペイン| ||ユリウス暦4月9日|スペインとネーデルランドが12年間の休戦協定を結ぶ/フェリペ3世がネーデルランド北部7州の独立を事実上承認
- 1609年4月22日-09:00|日本|鹿児島県大島郡徳之島町|慶長14年3月18日|<琉球征伐>徳之島湾屋に漂着した薩摩船を約1000人が包囲したが、船から降りた薩摩軍が鉄砲を撃ちかけて撃破し50人を殺害
- 1609年4月22日-09:00|日本|富山県富山市|慶長14年3月18日|<富山慶長14年の大火「柄巻屋火事、劔の火事」>城下の劔川のほとりにある柄巻師(刀剣の握る部分を製作する職人)彦三郎の家から出火、折りからの烈しい南風のため火の粉が四方に散り、炎が御城をはじめ侍屋敷も商家も残らず焼き尽くし、すべてが焼け野原となった
- 1609年4月24日-09:00|日本|鹿児島県大島郡徳之島町|慶長14年3月20日|<琉球征伐>徳之島秋徳では、薩摩船3艘が到着したところを攻撃されたが、20人から30人を殺害して制圧
- 1609年4月26日-09:00|日本|鹿児島県大島郡徳之島町|慶長14年3月22日|島津軍が徳之島制圧
- 1609年4月28日-09:00|日本|鹿児島県大島郡和泊町|慶長14年3月24日|島津軍が沖永良部を落とした
- 1609年4月30日-09:00|日本|茨城県笠間市|慶長14年3月26日|<改易>常陸笠間3万石「小笠原吉次」(松平忠吉殉死に座す)
- 1609年4月30日-09:00|日本|宮城県宮城県郡松島町|慶長14年3月26日|伊達政宗が瑞巖寺本堂建造/宮城県
- 1609年5月1日-09:00|日本|沖縄県国頭郡今帰仁村|慶長14年3月27日|<琉球征伐>薩摩軍は沖縄本島北部今帰仁城に行ったが、空き屋だったので、方々に放火/薩摩軍が向かう前に逃げ落ちたという
- 1609年5月3日-09:00|日本|山口県岩国市|慶長14年3月29日|<山代慶長一揆>一揆の首謀者である十一庄屋全員が出頭後直ちに捕縛され、引地峠の刑場に連行され斬首、その首は物河土手にさらされた
- 1609年5月5日-01:00|ハンガリー| |||<死去>ハンガリー王国パライン「イシュトヴァーン・バロ・イレハス・ジ・イレヤザイ」
- 1609年5月5日-01:00|ハンガリー| |||<就任>ハンガリー王国パライン代行「パリト・ドルグスジェレニ・エス・ホヤイ」(~11.7没)
- 1609年5月8日-09:00|日本|沖縄県那覇市|慶長14年4月5日|<琉球征伐>薩摩軍が琉球首里城を攻略し、琉球王尚寧これに降伏
- 1609年5月11日-09:00|日本|東京都千代田区|慶長14年4月8日|<解任>老中「本多忠勝」
- 1609年5月27日-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド総督「アントニオ・フェルナンド・デ・メントゥサ」(~9.5)
- 1609年6月4日-09:00|日本|福井県小浜市|慶長14年5月3日|<死去>若狭小浜藩9万2000石「京極高次」⇒「京極忠高」が嗣ぐ(寛永元(1624)年、越前国敦賀郡が加増され113500石)
- 1609年6月12日-09:00|日本|鳥取県米子市|慶長14年5月11日|<死去改易>伯耆米子藩17万5000石「松平(中村)忠一」(無嗣)
- 1609年7月1日-09:00|日本/オランダ|長崎県平戸市|慶長14年5月30日|オランダ船2隻が平戸に入港し、貿易を求める
- 1609年7月2日-09:00|日本|三重県桑名市|慶長14年6月|<交替>伊勢桑名10万石「本多忠勝」隠居⇒嫡男「本多忠勝」が継ぐ(元和3(1617)年7月14日、播磨姫路15万石へ)
- 1609年7月10日-01:00|ドイツ| |||ドイツでカトリック連盟(旧教連合=リガ)が結成
- 1609年7月12日-08:00|中国| |||甘肅、酒泉地震/M7.3、死者840人
- 1609年7月15日-01:00|イタリア| |||<死去>アンニバレ・カラッチ、バロック期のイタリア人の画家(生年1560年)
- 1609年7月28日 04:00|バミューダ/イギリス| |||<就任>サマーズ島総督「ジョージ・サマーズ卿」難破で上陸(~16101109死去)
- 1609年7月28日-09:00|日本/韓国/朝鮮| ||朝鮮・万暦37年6月28日|朝鮮が日本と己酉条約を締結、三浦を再開
- 1609年8月6日-09:00|日本|鹿児島県|慶長14年7月7日|家康、島津家久に琉球支配を認める
- 1609年8月13日-09:00|日本| ||慶長14年7月14日|江戸幕府が喫煙禁止令を発布
- 1609年8月18日-09:00|日本| ||慶長14年7月19日|金銀銭の比価を公定、永楽銭1貫文=京銭4貫文=銀50匁=1両とする
- 1609年8月22日 03:00|ブラジル/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ブラジル(リオデジャネイロ)総督「ダスミナス侯爵フランシスコ・デ・サ」(2回目~16110611)
- 1609年8月24日-09:00|日本/オランダ|長崎県平戸市|慶長14年7月25日|徳川家康、オランダ国王に貿易許可の朱印を与

1620迄 (2404件)

え、商館を平戸に設置

- 1609年8月25日-01:00|イタリヤ| |||ガリガリが望遠鏡を製作し、榊方議事に贈呈、倍率は9倍
- 1609年8月30日-09:00|日本|京都府亀岡市|慶長14年8月|加増移封>下総山崎藩12000石「岡部長盛」廃藩⇒丹波亀山藩32000石(元和7(1621)年丹波福知山5万石へ)
- 1609年9月5日-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド総督「ルイ・ロレンソ・デ・ヌノ」(~16121225)
- 1609年9月20日-09:00|日本/オランダ|長崎県平戸市|慶長14年8月22日|オランダ商館が肥前平戸に開設される
- 1609年9月28日-09:00|日本| ||慶長14年9月|幕府、西国大名の500石以上の大船を没収
- 1609年9月28日-09:00|日本| ||慶長14年9月|幕府、貿易の支払に品位の高い南りょう銀の使用を禁止
- 1609年9月28日-09:00|日本|京都府|慶長14年9月|加増立藩>山城国内16600石余「板倉勝重」(~元和6(1620)年隠居)
- 1609年10月1日-01:00|サマリヤ| |||<就任>サマリヤ共和国執政「ジ・ローモ・ゴジ」「ラタンツイオ・ウ・アッリ」
- 1609年10月3日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「李德馨」(~16110921)
- 1609年10月12日-09:00|日本|愛媛県大洲市|慶長14年9月15日|加増移封>淡路洲本藩3万石「脇坂安治」⇒伊予大洲藩53500石(⇒元和元(1615)年隠居)
- 1609年10月20日-09:00|日本|埼玉県川越市|慶長14年9月23日|加増移封>駿河田中1万石「酒井忠利」⇒武蔵川越2万石(その後37000石まで加増⇒寛永4年11月14日(16271221)死去)
- 1609年10月20日-09:00|日本|東京都千代田区|慶長14年9月23日|<就任>老中「酒井忠利」(~寛永4年11月14日(16271221))
- 1609年10月24日-09:00|日本|岡山県岡山市北区|慶長14年9月27日|改易>備中足守2万5千石「木下勝俊」領地収公、一時廃藩
- 1609年10月26日-09:00|日本|静岡県浜松市|慶長14年9月29日|改易>遠江浜松5万石「松平(桜井)忠頼」(水野忠胤の江戸藩邸で家臣の刃傷沙汰に巻き込まれて斬り殺される)子に8000石安堵、子孫は尾崎藩主
- 1609年10月28日-09:00|日本|兵庫県姫路市|慶長14年10月|姫路城天守閣完成
- 1609年11月4日-09:00|日本|茨城県久慈郡大子町|慶長14年10月8日|生瀬一揆>徴税吏(年貢取り立て役人)に化けた者が常陸国水戸領小生瀬村へ年貢を取り立て納め、その後本物の役人を偽物と誤認して怒った村民が一人を殺し偽徴税吏として死体を水戸藩政府に送りつけた
- 1609年11月6日-09:00|日本|茨城県久慈郡大子町|慶長14年10月10日|生瀬一揆>常陸国水戸藩士により小生瀬村の老若男女、子供までほとんどの村民三百数十人が殺害された
- 1609年11月7日-01:00|ハンガリー| |||<死去>ハンガリー王国パライン代行「ハ・リント・トルグ・ス・エレン・エ・ホフイ」
- 1609年11月7日-01:00|ハンガリー| |||<就任>ハンガリー王国パライン代行「ジ・グ・モント・ハ・ル・フォルガ・チ・キ・シ・ガ・チ」(1回目~12.10)
- 1609年11月12日-09:00|日本|愛知県|慶長14年10月16日|<死去>三河水野藩1万石「水野忠胤」切腹改易/家臣が松平忠頼殺害
- 1609年11月15日-09:00|日本|岐阜県大垣市|慶長14年10月19日|<死去>美濃大垣5万石「石川家成」⇒「石川忠総」が継ぐ(元和2(1616)年9月豊後日田6万石へ加増移封)
- 1609年11月23日-09:00|日本|長野県飯山市|慶長14年10月27日|改易>信濃飯山7万9000石「皆川広照」(松平忠輝傳役失職)
- 1609年11月27日-09:00|日本|千葉県銚子市|慶長14年11月|幕府、出羽国米沢藩など東北諸藩に命じ銚子湊完成
- 1609年11月28日-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<就任>プダのペイルベ「テリアリ・ハサン・ハ・シヤ」(3回目~1614年1月)
- 1609年12月9日 05:00|エクトル/スペイン| |||<就任>スペイン領北総督・総司令官・大審問院長「ファン・フェルナンデス・デ・レアル」(~16121019没)
- 1609年12月10日-01:00|ハンガリー| |||<就任>ハンガリー王国パライン「ジェルジ・ゲロ・トルグ・ベ・スレンファルグ・イ」(~16161224没)
- 1609年12月22日 03:00|アルゼンチン/スペイン| |||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ総督「デ・イコ・マリン・デ・ネグロン」(~16130726死去)
- 1609年12月22日 04:00|パラグアイ/スペイン| |||<就任>スペイン領ヌバ・アンダルス総督「デ・イコ・マリン・デ・ネグロン」(~16130726没)
- 1610年-08:00|インドネシア/イギリス| |||<就任>イギリス東インド会社バンタム長官「エドワード・ネettes」(~同年死去)⇒「Richard Woodies」
- 1610年-08:00|インドネシア/スペイン| |||<就任>モルッカ諸島スペイン総督代理「Cristobal de Azcueta Menchaca」(~1612年)
- 1610年-08:00|フィリピン| |||<即位>スール王国スルタン「Sultan Muwallil Wasit1世」(~1650年)
- 1610年-05:30|インド| |||<死去>アフマド・カール王国国王「ムルタサ・ニサム・シャ2世」
- 1610年-05:30|インド| |||<就任>アラル王国ラジャ「アリ・ラジャ・ムハンマド・アリ1世」(~1647年)
- 1610年-05:30|インド/オランダ| |||<就任>オランダ領インド総督「ヨハン・ファン・ウ・エンツケ」(~1612年)
- 1610年-05:30|インド| |||<即位>アフマド・カール王国国王「フルハン・ニサム・シャ3世」(~1631年)
- 1610年-05:30|インド/オランダ| |||オランダがカリカットに商館を設置
- 1610年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>バグダット・ワリス「カリサ・デ・アリ・ハ・シヤ」⇒「デ・イラウ・アー・ハ・シヤ」⇒「ムスタファ・ハ・シヤ」⇒「ハフィス・アフメド・ハ・シヤ」(1回目~1618年)
- 1610年-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>アレppo・ワリス(総督)「マフマド・ハ・シヤ」(~1613年)
- 1610年-02:00|ギリシャ/イタリヤ| |||<就任>ヴェネツィアのカンテリア公「アコ・ステイノ・ミエリ」(~1612年)
- 1610年-02:00|ギリシャ| |||<就任>カンテリア王国総督「ジョヴァンニ・ジャコモ・ザ・ネ」(~1614年)
- 1610年-02:00|エジプト/トルコ| |||エジプトで新オスマン朝法典の公布
- 1610年-01:00|アルジェリア/トルコ| |||<就任>アルジェのハシヤ「ケセ・ムスタファ3世ハシヤ」(2回目~1613年)
- 1610年-01:00|ポズニア/ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ポズニア総督「ムスタファ・ハシヤ」(2回目~1612年)

1620迄 (2404件)

- 1610年-01:00|ベナン| |||<即位>アラダのフォン王国国王「アウエツタンガワ」⇒「ラジエ・ホコヌ」⇒「フヌクンガ」
- 1610年-01:00|オランダ| |||アムステルダムに証券取引所が新設
- 1610年-01:00|スペイン/アメリカ| |||オニヤテ、ヌハメコの新たな首都としてサンタフェ建設, 旧総督邸を建設
- 1610年-01:00|オランダ/フィリピン| |||オランダがフィリピンを攻撃(2次)
- 1610年-01:00|オランダ| |||メーケンはクワイ家に移籍
- 1610年 00:00|トゴ| |||<就任>アグバナンキ統治者(ト)「アダンジョ」(~1650年)
- 1610年 00:00|ポルトガル| |||<就任>マテイ総督「Manuel Pereira Coutinho」(~16140704)
- 1610年 00:00|カナリヤ諸島/スペイン| |||<就任>ラ・ゴメス伯「Gaspar de Castilla Guzman」(~1618年)
- 1610年 00:00|イギリス| |||イギリスのガス工業で熱源燃料として石炭の利用が始まる
- 1610年 04:00|ポルビア/スペイン| |||<就任>ラ・プラタ・デ・ロス・チャルカス聴問庁長官「デ・イゴ・デ・ポルトガル」(~1626年)
- 1610年 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領フロリダ植民地総督「ファン・フェルナンデス・デ・オリベラ」(~16121123)
- 1610年 06:00|アメリカ| |||ウァージニア植民地でイギリスとポハタン族の戦争が始まる
- 1610年1月6日-09:00|日本|群馬県前橋市|慶長14年12月12日|<死去>上野大胡藩2万石「牧野康成」55歳⇒「牧野忠成」が嗣ぐ(~元和4(1618)年3月越後長岡6万石へ加増移封)
- 1610年1月6日-09:00|日本|静岡県静岡市駿河区|慶長14年12月12日|<加増移封>常陸水戸藩25万石「徳川頼宣」(徳川家康の十男)⇒駿河府中藩50万石(~元和5(1619)年7月19日紀伊和歌山55万石へ加増移封)
- 1610年1月7日-01:00|イタリア| |||ガリレオ・ガリレイが自作望遠鏡で木星の衛星「ガニメド」「イオ」「イタ」を発見、土星の「耳」も報告
- 1610年1月10日-09:00|日本/ポルトガル|長崎県長崎市|慶長14年12月16日|(12日~)有馬晴信が、徳川家康の命を受け、ポルトガル船ノッサ・セニョーラ・ダ・グアラ号を焼き討ち/幕府はポルトガルと断交
- 1610年1月12日-09:00|日本/スペイン| ||慶長14年12月18日|徳川家康がスペイン国王に書簡を送り、貿易の保護を約束
- 1610年1月13日-01:00|イタリア| |||イタリアのG・ガリレイが木星の衛星ガニメドを発見
- 1610年1月16日-09:00|日本|茨城県水戸市|慶長14年12月22日|<加増移封>常陸下妻5万石「徳川頼房」⇒常陸水戸25万石(後28万石⇒寛文元年7月29日(16610823)死去)
- 1610年1月16日-09:00|日本|静岡県浜松市|慶長14年12月22日|<移封>常陸の内「水野重仲(重央)」⇒遠江浜松3万5千石(徳川頼宣の付家老~元和5(1619)年7月19日、紀伊新宮へ移封)
- 1610年1月20日-09:00|日本|兵庫県丹波篠山市|慶長14年12月26日|<移転>丹波八上50020石「松平(松井)康重」⇒丹波篠山藩(~元和5(1615)年7月19日和泉岸和田へ)
- 1610年1月25日-09:00|日本|東京都千代田区|慶長15年|<就任>老中「大久保忠隣」(~慶長19年2月2日)
- 1610年1月25日-09:00|日本|栃木県鹿沼市|慶長15年|<加増立藩>下野鹿沼藩1万石「青山忠俊」(⇒慶長18年2月20日(16130410)、常陸江戸崎25000石を嗣ぎ35000石⇒元和6年武蔵岩槻45000石へ加増移封)
- 1610年1月25日-09:00|日本|栃木県日光市|慶長15年|下野国足尾銅山が発見される
- 1610年1月25日-08:00|中国| ||明・万曆38年|<死去>ヤルカント・ハン「ムハンマド」
- 1610年1月25日-08:00|中国| ||明・万曆38年|<即位>ヤルカント・ハン「ショジャウツェーン・アアマト」ムハンマドの子(~1619年、暗殺される)
- 1610年1月25日-08:00|中国| ||明・万曆38年|中国で金瓶梅が刊行、作者不詳、神宗万曆帝時代の淫靡な社会を描く
- 1610年1月25日-09:00|日本|千葉県佐倉市|慶長15年1月|<加増移封>下総国小見川1万石「土井利勝」⇒下総国佐倉3万2000石(⇒慶長17(1612)年、4万5000石に加増)
- 1610年2月 00:00|チャリ諸島/イギリス| |||<就任>イギリス王領ジャージー-島知事「George」(~1621.3)
- 1610年2月8日-05:30|インド| |||マイソール王国(デヤ朝)ラージャ・チヤ1世はシュリランガパタケをヴィンヤナガル王国の長官から奪取したのち、マイソールからシュリランガパタケへと遷都し、王国に対して独立を宣言(~16170620死去)
- 1610年2月12日-01:00|フランス/ドイツ| |||アンリ4世が、ドイツの新教同盟と盟約を結ぶ
- 1610年2月24日-09:00|日本| ||慶長15年2月|太田牛一(資房)「信長公記」できる
- 1610年3月-01:00|イタリア| |||ガリレイが「星界の報告」を刊、月のデコボコや木星の4衛星など報告
- 1610年3月 00:00|モロッコ| |||<就任>タンジール首長「アフォンソ・デ・ノロニャ」(~1614年6月)
- 1610年3月14日-01:00|スペイン| |||<死去>ナバラ王「エンリケ3世」57歳
- 1610年3月14日-01:00|スペイン| |||<即位>ナバラ王「ルイス2世」エンリケ3世とマリ・ド・メイスの男子(~1620年フランスに併合. 16430514死去/41歳)
- 1610年3月18日-09:00|日本|兵庫県洲本市|慶長15年2月23日|<拝領>淡路洲本6万3千石「池田忠雄」(輝政3男⇒慶長20年2月23日(16150322)兄忠継の跡を継ぎ岡山藩31万5200石に加増移封)
- 1610年3月19日-09:00|日本|東京都|慶長15年2月24日|<死去>長谷川等伯(画家)[1539年生~](享年72)
- 1610年3月21日-09:00|日本|茨城県石岡市|慶長15年2月26日|<死去>常陸片野2万石「滝川雄利」⇒「滝川正利」が嗣ぐ(~寛永2(1625)年所領返上し2千石の旗本になった)
- 1610年3月26日-09:00|日本|長野県|慶長15年閏2月2日|<移封>越後蔵王堂「近藤(重勝)政成」(堀秀政の四男)⇒信濃川中島1万石(⇒元和4年6月22日(16180812)死去、継子幼少のため所領半減、旗本に降格)
- 1610年3月26日-09:00|日本|長野県飯山市|慶長15年閏2月2日|<移封>越後坂戸藩5万石「堀直奇」⇒信濃飯山藩5万石(~元和2(1616)年10月越後長岡藩8万石へ加増移封)
- 1610年3月26日-09:00|日本|新潟県上越市|慶長15年閏2月2日|<改易>越後福島45万石「堀忠俊」家中統制不十分の罪により所領没収、陸奥磐城平に流刑
- 1610年3月26日-09:00|日本|新潟県燕市|慶長15年閏2月2日|<改易>越後三条5万石「堀直次」(宗家家臣と訴訟)

1620迄 (2404件)

- 1610年3月27日-09:00|日本|新潟県上越市|慶長15年閏2月3日|<加増移封>信濃松代14万石「松平忠輝」(徳川家康の6男)⇒越後福島75万石(慶長19(1614)年2月越後高田へ移転)
- 1610年4月1日-01:00|サマリノ| |||<就任>サマリノ共和国執政「ファブ・リツイオ・ベルツィ」 「ジ・ヤンバ・ツィスタ・ファブ・リ」
- 1610年4月1日-09:00|日本|奈良県高市郡高取町|慶長15年閏2月8日|<死去>大和高取25000石「本多俊政」⇒子の「本多政武」が継ぐ(寛永14年7月13日(16370901)死去無嗣断絶)
- 1610年4月18日 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領ニューメキシコ総督「Cristobal de Onate」(1610年)⇒<就任>スペイン領ニューメキシコ総督「Pedro de Peralta」(16130812)
- 1610年4月24日-09:00|日本|岡山県岡山市北区|慶長15年3月1日|<拝領>備中足守2万4千石「浅野長晟」(慶長18年8月25日(16131009)兄「浅野幸長」の死に伴い紀伊和歌山藩相続)
- 1610年5月11日-09:00|日本|香川県高松市|慶長15年3月18日|<死去>讃岐高松171800石「生駒一正」56歳⇒「生駒正俊」が継ぐ(元和7年6月5日(16210723)死去)
- 1610年5月14日-01:00|フランス/アントワープ| |||<死去>フランス国王(ブルボン朝)兼アントワープ公国共同大公「アンリ4世」パリ街頭で狂信的なカトリック教徒フアン・ラバ・イヤックに暗殺される/56歳(誕生15531213)
- 1610年5月14日-01:00|フランス/アントワープ/スペイン| |||<即位>フランス国王(ブルボン朝)兼アントワープ公国共同大公「ルイ13世公正王」アンリ4世の子(16430514)兼カハラ王「ルイス2世」(1620年フランスに併合)
- 1610年5月15日-01:00|フランス| |||王母マリ・ド・メディシス、8歳の王太子ルイをとめない「パリ高等法院」に赴き、「親裁座」で自らが「摂政」となる宣言を受ける(実質的な王の即位宣言)
- 1610年5月18日-09:00|日本| ||慶長15年3月25日|<死去>中院通勝、公家・歌人(生年1556年)
- 1610年5月26日-01:00|アントワープ| |||<即位>アントワープ公国共同大公「ウルヘルムス・バネ・ド・サルバ・イ・ド・サルバ」(16200224)
- 1610年5月28日-03:30|イラン| |||<就任>サファヴィー朝大宰相「ミルザ・アリー・カーン・ナシリ・オールド・ウハデイ」(1回目1620年)
- 1610年5月31日-09:00|日本|宮崎県宮崎市|慶長15年4月9日|<死去>日向国佐土原藩3万石「島津以久」伏見で⇒5月2日長男の「島津忠興」が継ぐ(寛永14年6月11日(16370801)死去)
- 1610年6月-02:00|ウクライナ| |||<死去>クリミア・ハン国ハン「セーメト1世ギレイ」
- 1610年6月-02:00|ウクライナ| |||<即位>クリミア・ハン国第24代ハン「ジヤンベク・ギレイ」(1期目1623年)
- 1610年6月6日-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>モルッカ諸島オランダ総督「Paulus van Caerden」(1612年)
- 1610年6月26日 01:00|アゾレス諸島/スペイン| |||<死去>アングラド・ナリア長官「Margarida Corte Real」
- 1610年7月 00:00|ガーナ/ホルトガル| |||<就任>ホルトガル・コールト・コスト長官「ジョン・デ・カストロ」(1613年)
- 1610年7月18日-01:00|イタリヤ| |||<死去>カラヴァッジオ、イタリヤ人画家(生年1573年)
- 1610年7月22日-01:00|ドイツ| |||<即位>メクレンブルク公「ヨハン・アルブレヒト2世」ヨハン7世の息子(1628年神聖ローマ皇帝フェルディナント2世によって廃位)
- 1610年7月22日-09:00|日本|愛知県名古屋市中区|慶長15年6月3日|加藤清正が名古屋城天守閣一円を普請
- 1610年8月1日-09:00|日本|埼玉県北足立郡伊奈町|慶長15年6月13日|<死去>武蔵小室13000石「伊奈忠次」⇒「伊奈忠政」が継ぐ(元和4年3月10日(16180405)死去)
- 1610年8月3日 06:00|カナダ/イギリス| |||ヘンリー・ハドソンがハドソン湾を発見
- 1610年8月7日-09:00|日本|栃木県大田原市|慶長15年6月19日|<立藩>下野那須藩14000石「那須資景」父資晴遺領6千石を継ぐ(⇒寛永元(1624)年1月1日隠居)
- 1610年9月1日-01:00|オーストリア| |||オーストリア大公レオポルトが、ドイツ、イギリス、オランダの軍隊によってユリッヒから追放される
- 1610年9月2日 04:00|リトアニア| |||<就任>リトアニア総督「ルイス・マルティン・ラ・フエンテ・イ・ルイス」(16110115)
- 1610年9月2日-09:00|日本|愛媛県大洲市|慶長15年7月15日|<加増移封>美濃黒野4万石「加藤貞泰」⇒伯耆米子藩6万石(⇒元和3(1617)年7月20日、伊予大洲藩6万石)
- 1610年9月6日-09:00|日本|鳥取県東伯郡琴浦町|慶長15年7月19日|<加増移封>美濃今尾藩1万石「市橋長勝」⇒伯耆八橋21300石(慶長2(1616)年8月2日越後三条41300石へ)
- 1610年9月6日-09:00|日本|鳥取県日野郡日野町|慶長15年7月19日|<加増移封>伊勢亀山3万石「関一政」⇒伯耆黒坂5万石(慶長4年家士等争論絶ずとして改易徐封)
- 1610年9月13日-09:00|日本|岐阜県岐阜市|慶長15年7月26日|<加増移封>上野吉井藩2万石「菅沼忠政」菅沼氏との養子縁組解消⇒美濃加納藩10万石「奥平忠政」(慶長19年7月2日(16140807)死去)
- 1610年9月14日-09:00|日本|栃木県芳賀郡茂木町|慶長15年7月27日|<拝領>下野茂木1万石「細川興元」(慶長2(1616)年6月26日、常陸谷田部16200石へ加増移転)
- 1610年9月14日-09:00|日本|福島県東白川郡棚倉町|慶長15年7月27日|<加増>陸奥棚倉25500石「立花宗茂」⇒35000石(⇒元和6(1620)年11月27日筑後柳河へ)
- 1610年9月14日-09:00|日本|三重県亀山市|慶長15年7月27日|<加増移封>三河作手藩1万7千石「松平(奥平)忠明」⇒伊勢亀山藩5万石(慶長20(1615)年6月10日摂津大坂10万石へ)
- 1610年9月19日-01:00|ドイツ| |||<死去>プロヴァンス選帝侯「フリートリヒ4世」
- 1610年9月19日-01:00|ドイツ| |||<就任>プロヴァンス選帝侯「フリートリヒ5世」(16230220廃位16321129°ストで死去)
- 1610年9月22日-09:00|韓国/朝鮮| |||朝鮮・許浚が「東医宝鑑」23編25巻を編纂
- 1610年10月1日-04:00|ロシア/ポーランド/リトアニア| |||ポーランド・リトアニア共和国軍がモスクワを占領(16121106)
- 1610年10月1日-01:00|サマリノ| |||<就任>サマリノ共和国執政「ジョアン・アントニオ・ベルツィ」 「セバステアノ・オノリ」
- 1610年10月6日-09:00|日本|京都府京田辺市|慶長15年8月20日|<死去>細川幽斎(77歳、元丹後田辺城主)/教養人としても名高い
- 1610年10月18日-09:00|日本|京都府京都市左京区|慶長15年9月2日|<死去>吉田兼見(76歳)/京都吉田神社の神官/日記『兼見卿記』の著者としても知られる
- 1610年11月9日 04:00|バミューダ/イギリス| |||<死去>サマーズ島総督「ジョージ・サマーズ卿」

1620迄 (2404件)

- 1610年11月13日-09:00|日本|新潟県新発田市|慶長15年9月28日|<死去>越後新発田藩6万石「溝口秀勝」⇒「溝口宣勝」が継ぐ(弟の善勝に1万2000石を分与し5万石⇒後6万5500石まで高直し⇒寛永5年10月29日(16281124)死去)
- 1610年11月13日-09:00|日本|新潟県新潟市|慶長15年9月28日|<拝領>越後沢海藩1万4千石「溝口善勝」父の死により1万2000石を新発田藩より分与(寛永11年5月2日(16340528)死去)
- 1610年11月29日-09:00|日本| ||慶長15年10月14日|幕府が重ねて煙草を禁ずる
- 1610年12月-02:00|ルマニア| ||ワラキアをトランシルヴァニアが占領(16110312)
- 1610年12月4日-09:00|日本|三重県桑名市|慶長15年10月19日|<死去>本多忠勝、前伊勢国桑名藩主(生年1548年)
- 1610年12月11日-01:00|ドイツ| ||<死去>アダム・エルスハイマー、ドイツの画家(生年1578年)
- 1610年12月15日-08:00|中国| ||明・万曆38年11月|明で日食予測の東西対決、欽天監の予測がはずれ西洋歴法で歴を作成
- 1610年12月19日-08:00|インドネシア/オランダ| ||<就任>オランダ領東インド総督「Pieter Both」(16141106)
- 1610年12月19日-08:00|インドネシア/オランダ| ||<設立>オランダ領東インド(オランダ東インド会社支配下)
- 1611年-08:00|インドネシア/オランダ| ||<就任>アンボン島オランダ総督「Caspar Janszoon」(1615年)
- 1611年-05:30|インド| ||<建国>キヤンガル国
- 1611年-05:30|インド| ||<即位>クトゥブ・シャーヒー朝スルタン「スルタン・ムハンマド・クトゥブ・シャー」(1626年死去)
- 1611年-05:00|ウズベキスタン/トルクメニスタン/タジキスタン| ||<即位>ブハラ汗国ジャン朝ハン「イマム・クリー・ハン」デーン・ムハンマドの長男(1642年)
- 1611年-03:00|スーダン| ||<即位>ダルフール・スルタン国スルタン「スルバタ」(1621年頃)
- 1611年-03:00|スーダン| ||<即位>フツ王国スルタン「Badi1世」(1616年)
- 1611年-02:00|エジプト/トルコ| ||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「ソフ・マフメド・パシャ」(1615年2月)
- 1611年-02:00|エストニア/スウェーデン| ||<就任>スウェーデン・エストニア総督「ガブリエル・ベングトソン・オクセンステイナ」(1617年)
- 1611年-02:00|モザンビーク/ポルトガル| ||<就任>モザンビーク、ソファラ、リオス・テ・クアマ、モモタバ 総司令官「エステヴァン・デ・アタイ」(2回目1612年)
- 1611年-02:00|ラトヴィア/ポーランド/リトアニア| ||ヒルテンをポーランド=リトアニアが統治(1656年)
- 1611年-01:00|イタリヤ| ||<即位>ピオンビエーノ公「Isabella」(1628年)
- 1611年-01:00|ドイツ| ||<即位>プファルツ=ジッメルン=カイザースラウテルン公「ルートヴィヒ・フリッポ」(16550106死去)
- 1611年-01:00|オランダ/インドネシア| ||プロールが喜望峯経由でジャバにいたる最短の新航路を発見
- 1611年 00:00|イギリス| ||<死去>5代ロイス 伯「アントニョ・リュスリー」
- 1611年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| ||<死去>サントメ植民地総督「Constantino Lobo Tavares」
- 1611年 00:00|イギリス| ||<就任>6代ロイス 伯「ジョン・レスリー」先代の孫(16410823死去)
- 1611年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| ||<就任>サントメ植民地総督代理「Joao Barbosa da Cunha」(4期目)⇒代理「Francisco Teles de Menezes」(同年死去)⇒総督「Luis Dias de Abreu」(1期目1613年)
- 1611年 00:00|イギリス/インド| ||イギリスがインドのマサラに商館を設置
- 1611年 00:00|イギリス| ||イギリスで「欽定訳聖書」が出版
- 1611年 01:00|カーボベルテ/ポルトガル| ||<就任>カーボベルテ 総督「フランシスコ・マルティンス・デ・セウラ」(1614年)
- 1611年 05:00|ジャマイカ/スペイン| ||<就任>スペイン領ジャマイカ 総督「ペドロ・エスベラル」(1614年)
- 1611年1月14日-09:00|日本|埼玉県川口市|慶長15年12月|<加増>鳩ヶ谷1万石「阿部正次」+下野国鹿沼のうち5千石⇒1万5千石(⇒元和1(1915)年12月26日下野国内7000石加増⇒元和3(1617)年9月上総大多喜3万石)
- 1611年1月15日 04:00|チリ/スペイン| ||<就任>チリ総督代行「ファン・デ・ラ・ハラカダ」(16120327)
- 1611年1月29日-01:00|フランス| ||<就任>フランス王国首席大臣コンチノ・コンチニ(16170424死去)
- 1611年2月3日-09:00|日本|愛知県豊橋市|慶長15年12月21日|<死去>三河吉田藩3万石「松平(竹谷)家清」⇒「松平忠清」が嗣ぐ(慶長17年4月20日(16120520)死去無嗣断絶)
- 1611年2月13日-09:00|日本|高知県高知市|慶長16年|三の丸が竣工し高知城完成(高知県)
- 1611年2月13日-09:00|日本|東京都港区|慶長16年|徳川家康の助成によって増上寺三解脱門・経蔵完成(東京都)
- 1611年2月13日-09:00|日本|長崎県南島原市|慶長16年|<再封>肥前日野江3万8千石「有馬直純」(慶長19(1614)年7月日向延岡5万3千石)
- 1611年2月13日-09:00|日本|広島県大竹市|慶長16年|安芸亀居城、破却される
- 1611年2月13日-09:00|日本|山口県萩市|慶長16年|<高直し>萩藩29万8千石「毛利秀就」⇒36万9千石(慶安4年1月5日(16510224)死去)
- 1611年2月13日-07:00|ベトナム| ||大越黎朝・弘定12年|大越ゲン・ホアがはじめてチャンパを攻撃、ワイエン(富安)府を置く
- 1611年3月2日-01:00|ドイツ| ||<死去>リュネブルク侯「エルスト2世」
- 1611年3月2日-01:00|ドイツ| ||<就任>リュネブルク侯「クリスティアン」(16331108死去)
- 1611年3月5日-09:00|日本|鹿児島県|慶長16年1月21日|<死去>島津龍伯(79義久、島津氏第十六代当主)
- 1611年3月5日-09:00|日本|東京都千代田区|慶長16年1月21日|<就任>老中「安藤重信」(元和7年6月29日)
- 1611年3月11日-01:00|チエコ| ||<即位>ホーヘミア王「マティアス2世・ハプスブルグ」(16170516退位) 神聖ローマ皇帝
- 1611年3月11日-01:00|チエコ| ||<退位>ホーヘミア王「ルドルフ2世」(16120120死去)
- 1611年3月12日-02:00|ルマニア| ||<再任>ワラキア総督・領主「ラドゥ10世ミフネ」(2回目5月)
- 1611年3月20日-09:00|日本|東京都|慶長16年2月6日|<死去>稲富流鉄砲術の開祖・稲富祐直(60歳)
- 1611年4月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「ピエール・マリノ・シオニ」 「アンバレゴジ」
- 1611年4月2日-09:00|日本| ||慶長16年2月19日|幕府堤防道路制を制定
- 1611年4月6日-01:00|イタリヤ| ||<就任>シエナ共和国トージェ「アレッサント・ロロンゴ・キウスティアーニ」(16130406)

1620迄 (2404件)

- 1611年4月11日-01:00|アンゴラ/ポルトガル| |||<死去>ポルトガル王領西アフリカ総督「マヌエル・ペレイラ・フォルガス」
- 1611年4月13日-09:00|日本|佐賀県伊万里市|慶長16年春|灌漑施設、馬頭サイフォン完成(佐賀県伊万里市)<日本最古のサイフォン>
- 1611年4月14日-01:00|イタリア| |||ガリオの望遠鏡を「テレスコプ」と命名
- 1611年4月15日-01:00|アンゴラ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル王領西アフリカ総督「ベント・バニャ・カルト・ゾ」補佐(～1615年)
- 1611年4月28日-08:00|フィリピン| |||フィリピンでセント・トマス大学が開校
- 1611年5月-02:00|ルーマニア| |||<再任>ワキア総督・領主「ラトゥ・セルバン」(2回目～9.19)
- 1611年5月-01:00|デンマーク/スウェーデン| |||スウェーデンとデンマーク間で戦争が勃発
- 1611年5月4日-01:00|イタリア| |||ガリオが太陽の黒点について第一書簡を書いた(第二、第三書簡と合わせて1613年に出版)
- 1611年5月4日-09:00|日本|愛知県岡崎市|慶長16年3月22日|<死去>三河岡崎5万石「本多康重」⇒「本多康紀」が継ぐ(⇒元和9年9月25日(16231117)死去)
- 1611年5月6日-09:00|日本|愛知県岡崎市|慶長16年3月24日|<死去>下総岩富1万石「北条氏勝」⇒「北条氏重」が嗣ぐ(～慶長18(1613)年下野富田1万石へ)
- 1611年5月9日-09:00|日本|京都府京都市|慶長16年3月27日|<譲位>107代「後陽成天皇」
- 1611年5月9日-09:00|日本|京都府京都市|慶長16年3月27日|<踐祚>108代「後水尾天皇」/4月12日即位
- 1611年5月19日-09:00|日本|茨城県桜川市|慶長16年4月7日|<死去>常陸真壁5万5千石「浅野長政(長吉)」65歳⇒三男の「浅野長重」が下野真岡(芳賀城)2万石から移封され5万石で嗣ぐ(⇒元和8(1622)年常陸笠間53500石)
- 1611年6月1日 04:30|ベネチア/スペイン| |||<就任>スペイン領ベネチア総督「Garcia Giron」(～16160615)
- 1611年6月3日-04:00|ロシア| |||ロシア暦5月24日|ポーランド軍が、スモレンスクを占領
- 1611年6月9日 07:00|メキシコ/スペイン| |||<就任>ヌエバ・イスパニヤ暫定副王「メキシコ大司教フレイ・フランシスコ・ガルシア・ゲラ」(～16120222没)
- 1611年6月11日 03:00|ブラジル/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ブラジル(リオデジャネイロ)総督「ルイス・デ・ソウザ・エンリケス」(～16130424)
- 1611年6月11日-09:00|日本/メキシコ| ||慶長16年5月|メキシコ使節ビ・スカノが来日し家康・秀忠に謁する
- 1611年6月11日-09:00|日本|青森県弘前市|慶長16年5月|<藩庁移転>陸奥堀越藩4万7000石「津軽信枚」⇒陸奥高岡(⇒寛永5(1628)年8月弘前と改名)
- 1611年6月23日-01:00|ドイツ| |||<死去>ザクセン選帝侯「クリスティアン2世」
- 1611年6月23日-01:00|ドイツ| |||<就任>ザクセン選帝侯「ヨハン・ゲオルク1世」(～16561008死去)
- 1611年6月27日-01:00|ベルギー| |||<死去>パルメウス・スプランヘル、ブラバント公国の画家(生年1546年)
- 1611年7月13日-09:00|日本|和歌山県伊都郡高野町|慶長16年6月4日|<死去>真田昌幸(65歳, 元上田城主)/関ヶ原合戦で西軍について戦後に高野山九度山に配流されていた
- 1611年7月26日-09:00|日本|島根県松江市|慶長16年6月17日|<死去>出雲松江藩初代藩主「堀尾吉晴」(生年1544年)
- 1611年8月2日-09:00|日本|熊本県熊本市|慶長16年6月24日|<死去>肥後熊本52万石「加藤清正」50歳(秀吉子飼いの武將で、賤ヶ岳七本槍の一人として知られる。急な発病だったため、毒殺説がある)⇒三男の「加藤忠広」が嗣ぐ(～寛永9(1632)年5月22日改易)
- 1611年8月5日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「ギュムルシネリ・ダマト・ナス・パシャ」アフメド1世の娘アイシェ・スルタンとの7人の夫のうちの1人(～16141017)
- 1611年8月5日-01:00|イタリア| |||ヴェネツィア共和国加ミニ橋での通例の「殴り合い合戦」で21人が窒息
- 1611年8月8日-09:00|日本| ||慶長16年7月|この月、幕府駅路駄賃の規則を制定
- 1611年8月11日-01:00|チェコ| |||<即位>ホムベア王「マティアス2世」(～16190320死去)
- 1611年8月11日-01:00|チェコ| |||<退位>ホムベア王「神聖ローマ皇帝ルドルフ2世」
- 1611年8月22日-09:00|日本/ポルトガル| ||慶長16年7月15日|江戸幕府がポルトガルとの交易を再開
- 1611年9月-04:00|ロシア| |||ロシアでミン・ボジャールスキー率いる国民軍が蜂起
- 1611年9月-02:00|ルーマニア| |||<再任>ワキア総督・領主「ラトゥ10世ミフネア」(3回目～16160724)
- 1611年9月7日-09:00|日本|J. フロントリイック|慶長16年秋|元織田家家臣、伊藤蘭丸祐道が、名古屋本町に呉服小間物商「いとウ呉服店」創業(→松坂屋)
- 1611年9月19日 06:00|グアテマラ/スペイン| |||<就任>スペイン領グアテマラ総督・総司令官・大統領「コメラ伯爵アントニオ・ペラサ・テ・アヤラ・カステリャ・イ・ロハス」(～16270421)
- 1611年9月21日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「李元翼」(～16120719)
- 1611年9月22日-09:00|日本|栃木県真岡市|慶長16年8月16日|<拝領>下野真岡藩12000石「堀親良」(⇒寛永4(1627)年3月14日下野烏山藩25000石)
- 1611年9月22日-09:00|日本|兵庫県豊岡市|慶長16年8月16日|<加増>但馬豊岡20000石「杉原長房」+常陸小栗庄5000石(浅野長政遺領)を分与⇒25000石(～寛永6年2月4日(16290226)死去)
- 1611年9月27日 00:00|日本|福島県会津若松市|慶長16年8月21日|<慶長16年会津地震>午前9時、陸奥国会津郡に震度6の激しい揺れが襲った/若松城では石垣や塙、櫓などがことごとく崩れ落ち、殿舎も倒壊して人や馬が多く死亡/城下や近傍の村々では、多くの神社や寺の堂塔が倒壊、民家も2万戸余りが倒壊し3700人余りが死亡/会津川流域では山が崩れて川をふさぎ山崎湖と呼ばれた湖が現れ、只見川なども山崩れで川がせき止められ各地に沼をつくり、会津盆地では2万石相当の土地が完全に水没/河沼郡では山崩れで93人が死亡
- 1611年10月1日-01:00|サマリ| |||<就任>サマリ共和国執政「フランチェスコ・ホネリ」「ベルツォ・ベルツィ」
- 1611年10月3日-01:00|フランス| |||<死去>メヌ伯「シャルル6世」

1620迄 (2404件)

- 1611年10月3日-01:00|フランス| |||<就任>メヌ伯「ヘンリー」(~16210920死去)
- 1611年10月30日-01:00|スウェーデン| |||<死去>スウェーデン王国国王「カール9世」61歳(誕生1550年)
- 1611年10月30日-01:00|スウェーデン| |||<即位>スウェーデン王国国王「グスタフ2世アドルフ」(~16321106リュッツェンの戦いで戦死/37歳)
- 1611年11月1日 00:00|イギリス| |||ロンドンでウィリアム・シェイクスピアの戯曲「テンペスト」初演
- 1611年11月13日-09:00|日本|和歌山県伊都郡高野町|慶長16年10月9日|真田信繁(48歳)は手勢とともに九度山を脱出、大坂へ向かう
- 1611年11月14日-09:00|日本|埼玉県加須市|慶長16年10月10日|<死去>武蔵騎西藩2万石「大久保忠常」⇒子の「大久保忠職」が嗣ぐ(~寛永9(1632)年1月11日美濃加納5万石へ)
- 1611年12月2日 02:00|日本| ||慶長16年10月28日|<慶長16年三陸地震津波>巳刻過ぎ(午前11時前頃)大地震が起き、14時頃、北海道南東岸と三陸沿岸に大津波が押し寄せた/北海道南東岸で多くの人々が死亡/南部藩領では人馬3000余が死亡、特に横沢で800人、津軽石では家が1軒も残らず流され150人が死亡、船越では50人、山田20人、大槌(町)800人、鶴住居で800人が死亡/伊達藩領では1783人死亡し、特に今泉では家がほとんど流され50人死亡、荒浜、三本塚、下飯田新開はすべて荒地となり、岩沼あたりでは家屋が残らず流されている/相馬藩領では700人が死亡
- 1611年12月8日 00:00|イギリス| |||<死去>初代ハース伯「シィームズ・ドラモンド」
- 1611年12月8日 00:00|イギリス| |||<就任>2代ハース伯「シィオン・ドラモンド」先代の弟(~16620611死去)
- 1611年12月18日-09:00|日本|京都府京都市東山区|慶長16年11月15日|方広寺大仏殿完成
- 1611年12月20日-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア総督「シュテファン・トムサ」(1回目~16151120)
- 1611年12月20日-09:00|日本|神奈川県小田原市|慶長16年11月17日|<小田原慶長16年の大火、下田、丸子と謎の同日火災>相州(相模国)小田原城下で1000軒余の民家が焼け、豆州(伊豆国)下田村や駿府の丸子の里でも人家が焼けた
- 1611年12月20日 07:00|日本|京都府京都市伏見区|慶長16年11月17日|<山城伏見町慶長16年の大火>申の刻(16時ごろ)、新町八丁目の民家から出火、東北の町々に延焼、銀座四丁目から京町六丁目、新町九丁目、両替町十丁目を次々と灰とし、両替町十一丁目の南半分、京町南北七丁目と炎はなめて行った/民家1000軒余と大名屋敷では、島津忠興、佐竹義宣、田中忠政、伊達政宗、山内土佐守、堀久太郎、松平忠昌、井伊直継、福島正則など名だたる大名の壮麗な桃山づくりの屋敷18か所が灰じんに帰した
- 1611年12月31日-09:00|日本/中国| ||慶長16年11月28日|徳川家康、明国商人に長崎での貿易を行うことを許可
- 1612年-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>モルッカ諸島オランダ総督「Pieter Both」(~16141106)
- 1612年-08:00|インドネシア/スペイン| |||<就任>モルッカ諸島スペイン総督「Jeronimo de Silva」(~1617年)
- 1612年-05:30|インドネシア/オランダ| |||<就任>オランダ領インド総督「ヴァンマー・ファン・ヘルカム」(~1615年)
- 1612年-03:00|イメン/トルコ| |||<就任>オスマン帝国オランダ総督「Ibrahim Pasha」(~1616年)
- 1612年-03:00|ペラルーシ| |||<即位>スルツク公「ヤヌシュ・ラジヴィウ」(~1620年)
- 1612年-03:00|マダガスカル| |||<即位>マダガスカル王国君主「King Andrianjaka」(~1630年)
- 1612年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンテリア公「フランチェスコ・モロゾーニ」(~1614年)
- 1612年-02:00|ポルトガル/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル、ソアラ、リオス・テ・クア、モルタハ 総司令官「シィオン・オブ・アゼベド」⇒「デ・イオ・シモンイス・マテイラ」⇒「シィオン・デ・アゼベド」(~1614年)
- 1612年-01:00|ドイツ| |||<就任>シュヴァルツブルク=ルードルシュタット伯「ルートヴィヒ・ギョントー1世」(~16461104死去)
- 1612年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領メキシコ総督「Domingo de Dieguez」(~1617年)
- 1612年-01:00|ロシア/トルコ| |||<即位>オスマン帝国フェザン・スルタン(トリポリ総督)「サイン・アル・ナル」(~1614年没)
- 1612年-01:00|ニジェール| |||<即位>ソンガイ帝国皇帝「アスキヤ・アル=アミン」(~1618年)
- 1612年-01:00|オランダ| |||オランダがバームス湖を干拓
- 1612年-01:00|イタリア| |||サルビアティがイタリア語辞典を出版
- 1612年-01:00|ロシア/トルコ| |||フェザンはオスマン帝国に編入(~1614年)
- 1612年-01:00|フランス/ブラジル| |||フランス、マニョン州イリヤ・サルイスを占領、原住民と手を結び「赤道フランス」を建設
- 1612年-01:00|ドイツ| |||ヤコブ・ベームが「アウロウ」を刊
- 1612年 00:00|マン島| |||<死去>マン島主「Robert Cecil」
- 1612年 00:00|カナダ/オランダ| |||<就任>オランダ領ゴールド=コースト将軍「ヤコブ・アドリアンズゾーン・クランティウス」(1回目~1614年)
- 1612年 00:00|ポルトガル/スペイン| |||<就任>スペインのポルトガル副王「レリア司教ペドロ・デ・カステイリョ」(2期目)⇒「ブラガ」大司教、フライ・アレクサンデ・メセス(~1615年)
- 1612年 00:00|カリブ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国植民地ケラン・カリブ島知事「Francisco de la Rúa」(~1615年)
- 1612年 00:00|マン島| |||<就任>マン島主「William 4th Stanley」(~16270811)、「Elizabeth de Vere」(~16270310死去)
- 1612年 00:00|イギリス/インド| |||イギリスがインドのスラットに商館を建設
- 1612年 00:00|イギリス| |||イギリスの船医ウグタールが「船医必携」を出版
- 1612年 00:00|イギリス/タイ| |||イギリス東インド会社がアユタヤに商館を設立
- 1612年 06:00|ホンジュラス/スペイン| |||<就任>コマケア県総督「ガルシア・ガラビート・デ・レオン」(~1617年)
- 1612年 06:00|アメリカ| |||メキシコでタバコ栽培に成功
- 1612年 07:00|メキシコ| |||メキシコ市で黒人奴隷の反乱計画が発覚、首謀者の男女36人が大広場で処刑される
- 1612年1月 03:00|仏領ギアナ/フランス| |||フランス人はブラジルのマニョン州の北海岸にあるセントルイスに定住(~1615年)
- 1612年1月3日-09:00|日本|島根県松江市|慶長16年12月|<移転>出雲富田藩「堀尾忠氏」⇒出雲松江藩24万石(松江城落成し居城を移転)

1620迄 (2404件)

- 1612年1月4日-09:00|日本|福島県相馬市|慶長16年12月2日|<転封>陸奥小高藩4万9234石「相馬利胤」⇒陸奥中村藩4万9234石(居城を移転~寛永2(1625)年9月10日死去)
- 1612年1月11日-05:30|インド| |||<死去>ゴールコンダ王国 سلطان「ムハンマド・クリ・クトゥブ・シャー」
- 1612年1月11日-05:30|インド| |||<即位>ゴールコンダ王国 Sultan「ムハンマド・クトゥブ・シャー」(~1626年死去)
- 1612年1月20日-01:00|ドイツ/オーストリア/イタリア/フランス| |||<死去>神聖ローマ皇帝「ルドルフ2世」兼オーストリア大公「ルドルフ5世」兼イタリア王「ロドルフ2世」59歳(誕生15520718)
- 1612年1月20日-01:00|ドイツ/オーストリア/イタリア/フランス| |||<就任>神聖ローマ帝国教皇代理「ライン川のフアルツ伯爵フリードリヒ5世(1回目)」「ザクセン伯・ザクセン公ヨハン・ゲオルク1世(1回目)」(~6.13)
- 1612年1月20日-01:00|オーストリア| |||<即位>オーストリア・シチリア・マルカ大公「マティアス」(~16190320没)、前方オーストリア大公「マクシミリアン3世」(~1618年)
- 1612年2月1日-09:00|日本|愛知県犬山市|慶長16年12月30日|<死去改易>尾張犬山12万3000石「平岩親吉」無嗣
- 1612年2月1日-09:00|日本|愛知県名古屋市熱田区|慶長16年12月30日|幕府、熱田奉行を設置
- 1612年2月2日-09:00|日本|愛知県名古屋市中区|慶長17年|犬山城主の成瀬正茂によって北野山真福寺宝生院(大須観音)が岐阜県羽島より移転創建(愛知県名古屋市)<真言宗智山派別格本山>
- 1612年2月2日-09:00|日本|京都府京都市北区|慶長17年|小堀遠州、大徳寺に弧蓬庵を建立
- 1612年2月2日-09:00|日本|群馬県吾妻郡高山村|慶長17年|<開宿>三国街道中山宿(高山村)
- 1612年2月2日-09:00|日本|群馬県沼田市|慶長17年|牛頭天王宮、現在地(中町)に移される
- 1612年2月2日-09:00|日本|群馬県沼田市|慶長17年|真田信之夫人大蓮院、正覚寺(鍛冶町)の寺地を寄進し、「絹本著色地藏十王図」を寄贈
- 1612年2月2日-09:00|日本|埼玉県川越市|慶長17年|天海が無量寿院北院を再建し喜多院に改称<天台宗>
- 1612年2月2日-09:00|日本|千葉県佐倉市|慶長17年|<加増>下総国佐倉3万2000石「土井利勝」⇒4万5000石(⇒慶長20(1615)年、6万2500石に加増)
- 1612年2月2日-09:00|日本|長崎県壱岐市|慶長17年|松浦鎮信が聖母神社の拝殿を再建
- 1612年2月2日-09:00|日本|茨城県古河市|慶長17年1月|<加増移封>武蔵本庄藩1万石「小笠原信之」⇒下総古河2万石(⇒慶長19年4月26日(16140603)死去)
- 1612年2月9日-01:00|イタリア| |||<死去>マントヴァ公兼モンフェラート公「ウインチェンツォ1世・ゴンザーガ」
- 1612年2月9日-01:00|イタリア| |||<即位>マントヴァ公「フランチェスコ4世・ゴンザーガ」兼モンフェラート公「フランチェスコ2世」ウインチェンツォ1世の長男(~12.22死去)
- 1612年2月17日-01:00|ベルギー| |||<死去>リエージュ公「ハイルンのアーネスト」
- 1612年2月17日-01:00|ベルギー| |||<就任>リエージュ公「フェルディナント・フォン・ハイルン」(~16500913死去)
- 1612年2月22日 07:00|メキシコ/スペイン| |||<死去>ヌエバ・イスパニヤ暫定副王「メキシコ大司教フレイ・フランシスコ・ガルスア・ゲラ」
- 1612年2月22日 07:00|メキシコ/スペイン| |||<就任>ヌエバ・イスパニヤ副王「(アウグスティニア大統領)ペドロ・オットロウ」(~10.18)
- 1612年2月27日-09:00|日本|鳥取県鳥取市|慶長17年1月26日|<死去>因幡鹿野藩38000石「亀井茲矩」⇒「亀井政矩」が43000石で嗣ぐ(~元和3(1617)年7月20日、岩見津和野35000石へ)
- 1612年3月3日-09:00|日本|愛媛県宇和島市|慶長17年2月|松浦氏ら宇和郡喜佐方村安楽寺を再建、ついで僧智厚、迫目の薬師堂を建てる
- 1612年3月22日 04:00|バミューダ/イギリス| |||<設立>イギリス植民地バミューダ(ハージニア会社経営⇒1616年、バミューダ会社経営)(~1684年、バミューダ植民地に従属)7月最初の開拓地
- 1612年3月27日 04:00|チリ/スペイン| |||<就任>チリ総督「アントニオ・リベラ・デ・パレハ」(2回目~16170309死去)
- 1612年4月1日-01:00|サマリノ| |||<就任>サマリノ共和国執政「ビエール・フランチェスコ・ボネッティ」「フランチェスコ・マリア・コルベッリ」
- 1612年4月8日-09:00|日本|長崎県五島市|慶長17年3月8日|<死去>肥前福江藩(石田城)15530石「五島玄雅」⇒養子の「五島盛利」が継ぐ(⇒寛永19年7月19日(16420814)死去)
- 1612年4月15日-09:00|日本|大分県玖珠郡玖珠町|慶長17年3月15日|<死去>豊後森1万4000石「来島長親」⇒長男「来島通春」が継ぐ(⇒元和2(1616)年、姓を来島から久留島と改める)
- 1612年4月21日-09:00|日本| ||慶長17年3月21日|江戸幕府が幕府直轄領にキリシタン禁教令を発令/翌年全国に拡大
- 1612年4月21日-09:00|日本|静岡県静岡市駿河区|慶長17年3月21日|有馬晴信からの収賄と詐欺により、本田正純家臣岡本大八が駿府城下引き回しの末、火あぶりの刑に処される
- 1612年4月22日-09:00|日本|長崎県南島原市|慶長17年3月22日|<改易>肥前日野江4万石「有馬晴信(肥前有馬氏)」(岡本大八事件)/子の有馬直純が所領継承
- 1612年4月24日-09:00|日本|千葉県君津市|慶長17年3月24日|<死去>上総久留里藩2万石「土屋忠直」⇒長男「土屋利直」が継ぐ(⇒延宝3年閏4月24日(16750617)死去)
- 1612年5月13日-09:00|日本|山口県防府市|慶長17年4月13日|巖流島の決闘/関門海峡の向島(舟島とも)で宮本武蔵vs佐々木(巖流)小次郎の戦い/一瞬にして武蔵勝つ
- 1612年5月19日-09:00|日本|茨城県|慶長17年4月20日|<死去>佐竹義重、元常陸国大名(生年1547年)
- 1612年5月20日-09:00|日本|愛知県豊橋市|慶長17年4月20日|<死去改易>三河吉田藩3万石「松平(竹谷)忠清」(無嗣)弟に5000石安堵、子孫は交代寄合
- 1612年5月24日 00:00|イギリス| |||<死去>イングランド王国大蔵卿兼首席アドバイザー「クランボーン子爵・ソールズベリー伯ハート・セル」
- 1612年5月24日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド王国大蔵卿兼首席アドバイザー「代理」エリス・ミア男爵トマス・インギートン」(3期目~6.16)
- 1612年5月24日 00:00|イギリス| |||<就任>ソールズベリー伯「ウィリアム・セル」先代の息子(~16681203)
- 1612年6月5日-09:00|日本|長崎県南島原市|慶長17年5月6日|<死去>有馬晴信(46,前・肥前日野江藩主)岡本大八

1620迄 (2404件)

事件によって切腹

- 1612年6月12日-09:00|日本|福島県会津若松市|慶長17年5月13日|<死去>陸奥会津藩60万石「蒲生秀行」30歳⇒子の「蒲生忠郷」が継ぐ(寛永4(1627)年1月4日死去無嗣改易)
- 1612年6月13日-01:00|ドイツイ/オーストリア/イタリア/フランス| |||<即位>神聖ローマ帝国皇帝・イタリア王「マティアス2世」マクシミリアン2世の子(～16190320死去)
- 1612年6月16日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド王国大蔵卿兼首席アトバインザ「ノーザンプトン伯ヘンリー・ハワード」(～16130524)
- 1612年6月26日-01:00|イタリア| |||<就任>プロシヤ「Maximilian3世」(～16181102死去)
- 1612年6月26日 00:00|イギリス| |||<死去>ラント伯「ロジャー・マナズ」
- 1612年6月26日 00:00|イギリス| |||<就任>ラント伯「フランス・マナズ」先代の弟(～16321217死去)
- 1612年7月 04:00|ハムブルグ/イギリス| |||<就任>イギリス領ハムブルグ総督「リチャード・ムア」(～16150629)
- 1612年7月4日-06:30|ミャンマー| |||<即位>ムラウ=ウ=国王「カーマウン」(～16220514)
- 1612年7月16日-01:00|イタリア| |||<死去>ヴェネツィア共和国第90代ドージェ(元首)「ロアルド・ドナ」
- 1612年7月24日-01:00|イタリア| |||<就任>ヴェネツィア共和国第91代ドージェ(元首)「マルコ・アントニオ・メンゴ」(～16151031死去)
- 1612年8月6日-09:00|日本|岐阜県海津市|慶長17年7月10日|<死去>美濃高須5万673石「徳永寿昌」⇒「徳永昌重」が嗣ぐ(⇒元和3(1617)年、開墾地と併せて5万3700石まで加増)
- 1612年8月12日 00:00|イギリス| |||<死去>ジョージ・アン・ガブリエリ、イタリアの作曲家・オルガニスト(生年1557年)
- 1612年8月20日-09:00|日本|滋賀県長浜市|慶長17年7月24日|<死去>近江長浜藩4万石「内藤信成」⇒長男の「内藤信正」が継ぐ(⇒慶長20(1615)年閏6月摂津高槻藩に移封)
- 1612年8月21日-09:00|日本|京都府京都市|慶長17年7月25日|<就任>関白「鷹司信尚」(～元和元年7月27日)
- 1612年9月1日-09:00|日本| ||慶長17年8月6日|幕府、煙草・屠牛の禁規を制定
- 1612年9月4日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「李德馨」(～16130926)
- 1612年9月7日-01:00|イタリア| |||<死去>ジョージ・アン・ハッティンガ・アリニ、イタリアの詩人・劇作家・外交官(生年1538年)
- 1612年9月9日-09:00|日本|大分県竹田市|慶長17年8月14日|<死去>豊後岡藩70440石「中川秀成」⇒長男「中川久盛」が継ぐ(～慶安4(1651)年隠居)
- 1612年9月20日-09:00|日本|京都府京都市|慶長17年8月25日|京都で洪水、三条小橋流失
- 1612年9月27日-09:00|日本| ||慶長17年9月2日|慶長17年9月の強風災害>近江から美濃、尾張、伊勢にかけて強風が吹き荒れ、伊賀上野城では古い殿舎が倒壊し、城の塀も倒れ、また天守閣も壊れた/修理のため上がっていた180人の大工や手伝いの人びとが、強風のため吹き落とされ死亡/同じ日、美作国では吉井川が氾らんし、津山城近辺で3000人ほどが、美作の同川沿岸で2000人と合計5000人が死亡
- 1612年10月1日-01:00|サマリヤ| |||<就任>サマリヤ共和国執政「ヒエロトシニコルベツリ」「イノセント・ボネリ」
- 1612年10月18日 07:00|メキシコ/スペイン| |||<就任>ヌエバ・イスパニヤ副王「グアダルーカ侯爵デ・イゴ・フェルナンデス・デ・コルトバ・イ・ロハス・デ・ラス・ロイラス・ベネディクス・イ・メルカレ」(～16210314)
- 1612年10月20日 05:00|イタリヤ/スペイン| |||<就任>スペイン領フロリダ植民地総督・総司令官・大審問院長「マティアス・デ・ペラルタ・カベサデ・ハカ」(～1615年)
- 1612年11月 00:00|イギリス| |||<死去>第5代ホスウェル伯「フランス・ステュアート」没収
- 1612年11月4日-04:00|ロシア/ポーランド/リトアニア| |||ポゾジャルスキーの解放軍が、ポーランド・リトアニア共和国軍に占領されていたモスクワを解放
- 1612年11月6日 00:00|イギリス| |||<死去>ロス公(スコットランド王位の法定推定相続人)・コンウォール公・17代キャリック伯「ヘンリー・フレデリック・ステュアート」
- 1612年11月6日 00:00|イギリス| |||<就任>ロス公(スコットランド王位の法定推定相続人)・コンウォール公・18代キャリック伯「チャールズ・ステュアート」初代ヨーク公・初代オルバニ公(～16250327スコットランド王チャールズ1世として即位)チェスター伯・オモンド侯・ロス伯
- 1612年11月12日-09:00|日本|新潟県燕市|慶長17年10月20日|<拝領>越後三条2万石「松平重勝」松平忠輝(越後高田60万石)の附家老となる(⇒元和3(1617)年12月下総閥宿藩2万6000石)
- 1612年11月14日-09:00|日本|群馬県伊勢崎市|慶長17年10月22日|<死去>上野伊勢崎藩1万石「稲垣長茂」⇒「稲垣重綱」が嗣ぐ(～元和2(1616)年8月越後藤井藩2万石へ)
- 1612年11月20日-03:30|イラン/トルコ| |||オスマン朝がサファヴィー朝と和平を結ぶ
- 1612年11月23日 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領フロリダ植民地総督代理「ファン・デ・アラソ」「ホセ・デ・オリベラ」(～1613年)
- 1612年12月-01:00|ポズニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ポズニア総督「カラカス・メフメド・ハシヤ」(～1613年10月)
- 1612年12月22日-01:00|イタリア| |||<死去>マントヴァ公「フランチェスコ4世・ゴンザーガ」兼モンフェラート公「フランチェスコ2世」
- 1612年12月22日-01:00|イタリア| |||<即位>マントヴァ公「フェルディナント・ゴンザーガ」兼モンフェラート公「フェルディナント1世」ウインチェンツォ1世の次男(～16261029死去)
- 1612年12月25日-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド総督「ジエロニモ・デ・アゼベド」(～16171118)
- 1613年-08:00|インドネシア/イギリス| |||<就任>イギリス東インド会社バンナム長官「Augustin Spalding」(2期目～同年)⇒「ジョン・Chauncey」(～同年)⇒「Edmund Camden」(～同年)⇒「ジョン・Jourdain」(～同年)⇒「ロバート・Larkin」(～同年)⇒「ジョン・Ball」(～同年)⇒主管「ジョン・Jourdain」(1期目～1615年)
- 1613年-08:00|インドネシア| |||<即位>ジャババ・スルタン「Raja Buka」(～1656年)
- 1613年-08:00|インドネシア| |||<即位>マタラム君主「スルタン・アガン」(～1645年死去)
- 1613年-07:00|タイ| |||<即位>マンラーイ朝ランナー王「ジョーイ」(2回目～1615年)
- 1613年-05:45|ネパール| |||<即位>マラ(Bhaktapur)国王「Jagajyoti Malla」(～1637年)
- 1613年-05:30|スリランカ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領セイロン総督「フランシスコ・デ・メネズ」(～1614年)

1620迄 (2404件)

- 1613年-05:30|インド | |||<即位>ハーンテヤ朝君主「Varakunarama Pandyan」(~1618年)
- 1613年-05:30|インド | |||この頃シンドラもアハル廟完成
- 1613年-05:30|インド | |||ムガル帝国がカーマルハ地方を征服
- 1613年-05:00|カザフスタン | |||<即位>カザフ汗国ハン「トルスン」シヤリムの子(~1627年)
- 1613年-03:00|エチオピア | |||<即位>オサ・イマム国イマム「sadiq sabraddin」(~1632年)
- 1613年-02:00|シリア・アラブ/トルコ | |||<就任>アレクシ・ワス(総督)「Ekmekci-zade Ahmed Pasha」(~1618年)
- 1613年-02:00|トルコ | |||オスマン朝スルタン・アフメト1世、全土に禁酒令発布
- 1613年-01:00|フランス | |||<死去>リネー伯「Francis」
- 1613年-01:00|アルジェリア/トルコ | |||<就任>アルジェのハシヤ「シェイク・フェイン・ハシヤ」(1回目~1616年)
- 1613年-01:00|リヒテンシュタイン | |||<就任>ファトウツ執行官「ヨハン・オトマル・ハスラッハ」(~1619年)
- 1613年-01:00|フランス | |||<就任>リネー伯「Henry3世」Francisの息子(~1616年死去)
- 1613年-01:00|チェンブリア | |||<即位>ムラト朝ヘイムラト1世(~1631年死去)
- 1613年-01:00|イタリヤ | |||サウオア公カロ・エヌエーレ1世、モンフェラート占領(~1618)
- 1613年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル | |||<就任>サントメ植民地総督「Feliciano Coelho de Carvalho」(~1614年死去)
- 1613年 00:00|カナ/ポルトガル | |||<就任>ポルトガル・ゴールト・コースト長官「ヘト・ロ・ダ・シルバ」(~1616年)
- 1613年 00:00|モロッコ | |||<即位>サト朝フェズ 政権第2代アミール「アフドゥッラー2世」(~1623年)
- 1613年 03:00|ブラジル/ポルトガル | |||<就任>ポルトガル領ブラジル(ハイア)総督「評議会(ルイ・メンデス・デ・アルメイダ/セバスチャン・ホルヘス/バルタザール・アラゴン・デ・ソウザ)」(~5月)
- 1613年 03:00|ブラジル/ポルトガル | |||<就任>ポルトガル領ブラジル総督「カスパー・デ・ヌーザ」(~16170101)
- 1613年 03:00|アルゼンチン | |||イエズス会、コルドバ大学を創設
- 1613年 05:00|ペルー | |||リマ商人組合が設立され、ペルーでのヨーロッパ品の販売を独占
- 1613年 06:00|コスタリカ/スペイン | |||<就任>コスタリカ総督「ファン・デ・メントーサイ・メドラ」(~16190109)
- 1613年 06:00|エルサルバドル/スペイン | |||<就任>サン・サルバドル、サン・ミゲル州市長「ヘト・ロ・ファルファン・デ・ロス・ゴトス」(1619年捕えられる~1620年)
- 1613年 06:00|アメリカ/スペイン | |||<就任>スペイン領フロリダ植民地総督「ファン・デ・トリビネヨ・ギラマス」(~16180802)
- 1613年 06:00|カナダ/フランス | |||フランス人がオタワ川を遡上し五大湖に到達
- 1613年1月2日-09:00|日本|愛知県豊橋市|慶長17年11月12日|<加増移封>三河深溝1万石「松平忠利」⇒三河吉田3万石(⇒寛永9年6月5日(16320721)死去)
- 1613年1月2日-09:00|日本|東京都千代田区|慶長17年11月12日|徳川家康、今川義元の霊を弔う為、今川義元の孫門庵宗関を開山に外桜田に泉岳寺建立(1641年高輪に移転)
- 1613年1月20日-01:00|スウェーデン | |||カマル戦争で劣勢となったスウェーデンが、イギリスのジェームズ1世の調停でデンマークと和議を結ぶ
- 1613年1月21日-09:00|日本|愛知県名古屋市|慶長17年12月|名古屋城天守閣完成
- 1613年1月21日-09:00|日本|千葉県香取市|慶長17年12月|<拝領>下総小見川16600石「安藤重信」(~元和5(1619)年10月21日上野高崎56000石へ)
- 1613年2月8日-09:00|日本|茨城県行方市|慶長17年12月19日|<死去>常陸麻生藩30300石「新庄直頼」⇒子の「新庄直定」が継ぐ(弟直房に3千石分知27300石~元和4年4月21日(16180613)死去)
- 1613年2月19日-07:00|ベトナム | ||大越黎朝・弘定14年|<死去>広南国主「僞主・阮アソ
- 1613年2月19日-07:00|ベトナム | ||大越黎朝・弘定14年|<即位>広南国主「仏主・阮福源」(~16351119死去)
- 1613年2月19日-07:00|ベトナム | ||大越黎朝・弘定14年|<即位>パントランガ王「Po Jai Paran」(~1618年)
- 1613年2月21日-04:00|ロシア | ||ユリウス暦:1613/2/11|<即位>ロシア・ツァーリ「ミハイル・フョードロヴィチ」ロマノフ朝の始まり(~16450723没)
- 1613年2月27日-09:00|日本|茨城県牛久市|慶長18年1月8日|<改易>常陸牛久1万5000石「山口重政」(無断婚姻)武蔵入間に幽閉、子孫は牛久藩主
- 1613年3月16日-09:00|日本|兵庫県洲本市|慶長18年1月25日|<分封>淡路洲本藩(由良城)6万3千石「池田忠雄」(~慶長20年2月23日(16150322)備中岡山藩を相続)
- 1613年3月16日-09:00|日本|兵庫県姫路市|慶長18年1月25日|<死去>播磨姫路藩52万石「池田輝政」50歳⇒6月、長男「池田利隆」が継ぐ(10万石を弟の忠継に分与し42万石⇒元和2年6月13日(16160726)死去)
- 1613年3月22日-09:00|日本|愛媛県西予市|慶長18年2月|宇和郡野村三島神社が再興され、ついで歌人の画像が寄進される
- 1613年3月24日-04:00|レニオン/イギリス | |||イギリスのサミュエル・ケルトン大尉がイングリッドの森島と名前を付けた
- 1613年3月27日-04:00|ロシア | ||ユリウス暦:1613/3/17|<就任>ロシア摂政「ケセヤ・イワノフ・シストヴァ」(~16190614)
- 1613年4月1日-01:00|サンマリノ | |||<就任>サンマリノ共和国執政「カミッロ・ボネリ」「ラツァンツィオ・ヴァッリ」
- 1613年4月10日-09:00|日本|茨城県稲敷市|慶長18年2月20日|<死去>常陸江戸崎25000石「青山忠成」⇒次男「青山忠俊」が継ぐ(⇒元和6(1620)年、武蔵岩槻藩5万5000石)
- 1613年4月15日-01:00|リヒテンシュタイン | |||<就任>ホーエムス・ガラ・ファトウツ伯「カスパー・ゲラフ・ツァー・ホーエムス」(~16400910没)
- 1613年4月18日-08:00|インドネシア/オランダ | |||ゾール島をオランダ人が占領(~1615年)
- 1613年4月19日-09:00|日本|大阪府岸和田市|慶長18年2月29日|<死去>和泉岸和田3万石「小出吉政」⇒子の「小出吉英」が継ぐ(5万石~元和5(1619)年12月但馬出石へ)
- 1613年4月19日-09:00|日本|兵庫県朝来市|慶長18年2月29日|<交替>但馬出石5万石「小出吉英」父の遺領、和泉岸和田へ⇒弟の「小出吉親」が継ぐ(29700石~元和5(1619)年12月丹波園部へ)

1620迄 (2404件)

- 1613年4月20日-09:00|日本|群馬県太田市|慶長18年3月|徳川家康が先祖の新田義重を祀るために呑龍上人を迎えて大光院新田寺創建(群馬県太田市、子育て呑龍)
- 1613年4月20日 00:00|イギリス/日本| ||イギリス東インド会社の艦船が平戸に来航
- 1613年4月21日-01:00|イタリア| ||<就任>ジェウヴァ共和国トージェ「トマソ・スピノラ」(~16150421)
- 1613年5月16日-01:00|ドイツ/オランダ| ||ドイツの新教同盟が、オランダと同盟を結ぶ
- 1613年5月23日-01:00|イタリア| ||ベネチアでウスコック海賊、クリトフォロ・ヴェニエルのガレ船拿捕、残虐の限りをつくす
- 1613年5月24日 00:00|イギリス| ||<死去>ロバート・セシル、イングランド首相(生年1563年)
- 1613年5月24日 00:00|イギリス| ||<就任>イングランド王国大蔵卿兼首席アドバイザー「エルズミア男爵トマス・エジヤートン」(4期目~16140711)
- 1613年5月30日-09:00|日本| ||慶長18年4月11日|幕府、御番に関する法度五カ条制を出す
- 1613年6月13日-09:00|日本|東京都千代田区|慶長18年4月25日|<死去>老中「大久保長安」69歳
- 1613年6月22日-09:00|日本|大阪府堺市|慶長18年5月5日|<死去>土佐光吉(画家)『源氏物語図帖』[1539年生~](享年74)
- 1613年6月22日-09:00|日本/イギリス|長崎県平戸市|慶長18年5月5日|対日貿易の使命を帯びたイギリス東インド会社のクローブ号が平戸に入港/ヒールがもたらされる
- 1613年6月29日 00:00|イギリス| ||シェクスピア『ヘンリー8世』初演
- 1613年6月29日 00:00|イギリス| ||ロンドン劇場「クローブ座」が上演中の失火が原因で焼失(翌年再建)
- 1613年7月23日-09:00|日本|岡山県岡山市|慶長18年6月6日|<加増>備前岡山藩28万石「池田忠継」+播磨国宍粟・赤穂・佐用3郡約10万石(池田輝政の遺領の一部)→38万石(⇒慶長20年2月23日(16150322)死去)
- 1613年7月26日 03:00|アルゼンチン/スペイン| ||<死去>リオ・デ・ラ・プラタ総督「デ・イエゴ・マリノ・ネグロン」
- 1613年7月26日 04:00|パラグアイ/スペイン| ||<死去>スペイン領ヌエバ・アンダルス総督「デ・イエゴ・マリノ・ネグロン」
- 1613年7月27日 03:00|アルゼンチン/スペイン| ||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ総督代行「フランシスコ・ゴンサレス・デ・サンタクルス」(~12.27)
- 1613年7月27日 04:00|パラグアイ/スペイン| ||<就任>スペイン領ヌエバ・アンダルス暫定総督「フランシスコ・ゴンサレス・デ・サンタクルス」(~12.26)
- 1613年7月30日-01:00|ドイツ| ||<死去>カレンベルク侯兼フランクシュタット・アイクホルフェン・ユッテル侯「ハインリヒ・ユリアス」
- 1613年7月30日-01:00|ドイツ| ||<就任>カレンベルク侯兼フランクシュタット・アイクホルフェン・ユッテル侯「フリートリヒ・ウルリヒ・ハインリヒ・ユリアス」の息子(~16340811死去、中フランクシュタット・アイク家断絶)
- 1613年8月2日-09:00|日本| ||慶長18年6月16日|幕府が、公家の生活を統制する公家諸法度と、僧が紫の袈裟を着用するには勅許を必要とする勅許紫法衣法度を定める(のちの禁中並公家諸法度)
- 1613年8月5日 06:00|アメリカ/スペイン| ||<就任>スペイン領ニュー・メキシコ総督「Bernardino de Ceballos」(~16181221)
- 1613年8月7日-01:00|スペイン| ||エル・グレコ(スペイン対抗宗教改革画家)死去[1541年生~](享年73)
- 1613年8月17日-09:00|日本|東京都台東区|慶長18年7月2日|(1日~)幕府は江戸で捕らえたキリシタン22人を鳥越で処刑
- 1613年8月18日-01:00|イタリア| ||<死去>ジョヴァンニ・マリア・アルトゥージ、イタリアの音楽理論家・作曲家(生年1540年頃)
- 1613年8月24日-09:00|日本|東京都八王子市|慶長18年7月9日|<改易>武蔵八王子藩3万石「大久保長安」(謀反予備のため廃絶)/遺子7人死罪
- 1613年9月8日-01:00|イタリア| ||<死去>カロ・ジエズアルド、イタリアの作曲家(生年1566年)
- 1613年9月14日 04:00|ポルトガル/スペイン| ||<就任>ポルトガル知事兼提督「Felipe de Beaumont y Navarra」(~1619年)
- 1613年9月15日-09:00|日本|東京都千代田区|慶長18年8月|<解任>老中「青山成重」
- 1613年9月15日-09:00|日本|長野県飯田市|慶長18年8月|<減封>下総飯田藩1万石「青山成重」→3000石(大久保長安に連坐)子孫は旗本
- 1613年9月26日-09:00|日本|東京都台東区|慶長18年8月12日|大盗向坂甚内処刑される
- 1613年9月30日-09:00|日本|埼玉県北足立郡伊奈町|慶長18年8月16日|<改易>武蔵小室藩1万3000石「伊奈忠勝」(大久保長安事件連坐)子に1180石安堵
- 1613年10月-01:00|ポズナニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| ||<就任>ポズナニア総督「イスクンダール・パシャ」(1回目~1615年5月)
- 1613年10月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「アンニバレ・ベルツィ」[ジャンバットISTA・ファブリー]
- 1613年10月6日 00:00|イギリス| ||<就任>リッチモンド伯「ルトゲイック・ステュアート」レノックス公(⇒16230517リッチモンド公~16240216死去)
- 1613年10月9日-09:00|日本|岡山県岡山市北区|慶長18年8月25日|<還付>備中足守藩2万4千石「浅野長晟」本家相続、天領となる
- 1613年10月9日-09:00|日本|和歌山県和歌山市|慶長18年8月25日|<死去>紀伊和歌山藩39万5千石「浅野幸長」⇒次弟の「浅野長晟」が継いだ(~元和5年安芸広島へ)
- 1613年10月22日-02:00|ルーマニア| ||<死去>トランシルヴァニア大公「カール・パツァー・ソムリョイ」
- 1613年10月23日-02:00|ルーマニア| ||<即位>トランシルヴァニア大公「カール・パツァー・ソムリョイ」(~16291115没)
- 1613年10月28日-09:00|日本/ヨーロッパ|宮城県石巻市|慶長18年9月15日|陸奥/伊達政宗による遣欧使節支倉常長一行が月浦を出航(慶長遣欧使節)
- 1613年11月3日 00:00|イギリス| ||<就任>サマセット伯「ロバート・カー」(~16450717死去消滅)
- 1613年11月9日-09:00|日本|静岡県沼津市|慶長18年9月27日|<死去改易>駿河沼津藩2万石「大久保忠佐」無嗣
- 1613年11月12日-09:00|日本|群馬県安中市|慶長18年10月1日|<改易>上野板鼻藩1万石「里見義英」勤務不良/高崎に幽閉、子孫は庄内藩士
- 1613年11月30日-09:00|日本|長野県松本市|慶長18年10月19日|<加増移封>信濃飯田藩5万石「小笠原秀政」→信濃

1620迄 (2404件)

- 松本藩8万石 (⇒慶長20年5月7日 (16150603) 死去)
- 1613年11月30日-09:00|日本|長野県松本市|慶長18年10月19日|<改易>信濃松本6万石「石川康長」大久保長安事件連座、豊後佐伯に幽閉
- 1613年12月5日-09:00|日本|愛媛県宇和島市|慶長18年10月24日|<改易>伊予宇和島12万石「富田信高」(富田一白息、妻は宇喜多氏)坂崎左門の隠匿、磐城平に幽閉/子孫は長男が水戸藩士、次男が旗本
- 1613年12月5日-09:00|日本|宮崎県延岡市|慶長18年10月24日|<改易>日向延岡藩5万石「高橋元種」富田信高に連座、陸奥棚倉に幽閉/子孫は二本松藩士
- 1613年12月6日-09:00|日本|長野県松本市|慶長18年10月25日|<改易>信濃奥仁科藩1万5000石「石川康勝」大久保長安事件連座/後に大坂夏の陣で討ち死に
- 1613年12月7日-01:00|トイ | ||<死去>リッパ 伯「ジ-モン6世」
- 1613年12月7日-01:00|トイ | ||<就任>リッパ =テトモル伯「ジ-モン7世」(~16270326死去)
- 1613年12月12日-09:00|日本|栃木県栃木市|慶長18年冬|<移封>下総岩富1万石「北条氏重」⇒下野富田1万石 (⇒元和5 (1619) 年遠江久能藩へ)
- 1613年12月26日 01:00|アズリス諸島/スペイン | ||<死去>アングラ・ト・ナリア長官「Cristovao de Moura y Tavora」
- 1613年12月26日 01:00|アズリス諸島/スペイン | ||<就任>アングラ・ト・ナリア長官「Manuel de Moura Corte Real」(~1641年)
- 1613年12月27日 03:00|アルゼンチン/スペイン | ||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ総督代行「マテオ・レアル・デ・アヤラ」(~16150108)
- 1613年12月27日 04:00|ハラガアイ/スペイン | ||<就任>スペイン領ヌエバ・アンダルス総督「マテオ・レアル・デ・アヤラ」(~16150108)
- 1614年-08:00|インドネシア | ||<就任>ハスラン君主 (摂政)「Ki Gede Kapulungan」(~1616年)
- 1614年-08:00|インドネシア | ||マタラム王国: 第3代アングンが王都を加タに置いた
- 1614年-07:00|タイ/ミャンマー | ||ランハンをヒルマが統治 (~1732年)
- 1614年-05:30|スリランカ/ポルトガル | ||<就任>ポルトガル領セイロン総督「マヌエル・マスカレニャスマン」(~1616年)
- 1614年-04:00|ロシア | ||<即位>カシモフ・ハン国ハン「アルフ・アルスターン」アリー (シビル・ハン国のケムの子)の子 (~1627年死去)
- 1614年-04:00|ジョージア/トルコ | ||アゼルバヤンはオスマン帝国によって再併合 (アカラという名前で)
- 1614年-02:00|ギリシャ/イタリヤ | ||<就任>ヴェネツィアのカンテ・イア公「ペルナルト・ウエニエ」(~1616年)
- 1614年-02:00|ギリシャ | ||<就任>カンテ・イア王国総督「スアネ・ハ・スクアリゴ」(~1615年)
- 1614年-02:00|モザンビーク/ポルトガル | ||<就任>モザンビーク、ソファラ、リオス・テ・クアマ、モノモバ 総司令官「ルイ・デ・モ・エ・サンハ・イ」 (~1619年3月)
- 1614年-01:00|リビア/トルコ | ||<死去>オスマン帝国フェザン・スルタン「フサイン・アル・ナクル」
- 1614年-01:00|リビア/トルコ | ||<就任>オスマン帝国トリポリタニア・ベイルベーク・イリリ「シエリフ・ハ・シヤ」(~1626年)
- 1614年-01:00|アフガニスタン | ||<就任>アフガニスタン代行「バタル・ト・ミトウ・イッチ、ザグ・レバ・キ・ヒ・スクップ」(2回目)、「クルスト・ムルニヤグ・チ・フ・レゾ・ウ・アチチ」(~1615年)
- 1614年-01:00|トイ | ||<就任>ラーゲンスベーク伯「ヨハン・ジギスムント」(~16191223死去)
- 1614年-01:00|リビア/トルコ | ||<即位>オスマン帝国フェザン・スルタン「スレイマン4世」(~1623年)
- 1614年-01:00|コンゴ 共和国/コンゴ 民主共和国 | ||西アフリカのコンゴ 王国で王位継承戦争が勃発
- 1614年-01:00|トイ | ||フランクフルトでフェットミルの乱がおこる
- 1614年 00:00|サントメ・プリンシパル/ポルトガル | ||<死去>サントメ植民地総督「Feliciano Coelho de Carvalho」
- 1614年 00:00|カナダ/オランダ | ||<就任>オランダ領ゴールド・コースト将軍「エイトリアン・ジェイクブス・ファン・ロースト」(~1617年)
- 1614年 00:00|サントメ・プリンシパル/ポルトガル | ||<就任>サントメ植民地総督「Jeronimo de Quintanilha」(~7.6死去)
- 1614年 00:00|ポルトガル | ||<就任>ポルトガル国務長官「マルカル・ダ・コスタ」(~1631年)
- 1614年 00:00|イギリス | ||<剥奪>2代オーケニー伯「パトリック・スチュワート」
- 1614年 00:00|イギリス | ||ウォルター・ローリが「世界史」刊
- 1614年 01:00|アズリス諸島/スペイン | ||<死去>ファイアル島・ピコ島ト・ナリア長官「Jeronimo de Utra Corte Real」
- 1614年 01:00|アズリス諸島/スペイン | ||<就任>ファイアル島・ピコ島ト・ナリア長官「Manuel de Moura Corte Real」(~1642年)
- 1614年 05:00|ジャマイカ/スペイン | ||<就任>スペイン領サンティアゴ 総督「アントニオ・ゴンザレス・デ・ベラ」(~1620年)
- 1614年 06:00|カナダ/フランス | ||<就任>第4代フランス領カナダ 副王「コンテ 皇子アンリ」(~16191008)
- 1614年1月 04:00|トリニダード・トバゴ/スペイン | ||<就任>スペインのトバゴ 司令官「ファン・ロドリゲス」(~5. 16)
- 1614年1月 04:00|トリニダード・トバゴ/スペイン | ||スペインがトバゴに植民 (~5. 16)
- 1614年1月28日-09:00|日本|京都府京都市上京区|慶長18年12月19日|土御門内裏が完成し、後水尾天皇が移る
- 1614年1月31日-09:00|日本 | ||慶長18年12月22日|幕府、正式にキリシタン禁令を出す
- 1614年2月-05:30|インド | ||メーワール地方の支配者アルがムガル朝に服属
- 1614年2月-01:00|ハンガリー/トルコ | ||<就任>ブダペストのベイルベーク「セフェル・ハ・シヤ」(~10. 17)
- 1614年2月9日-09:00|日本|京都府京都市|慶長19年|角倉了以、賀茂川開削 (高瀬川) 完了
- 1614年2月9日-09:00|日本|群馬県高崎市|慶長19年|<死去>上野豊岡 (根津) 1万石「根津信政」⇒「根津吉直」が嗣ぐ (~寛永3 (1626) 年4月継嗣なく断絶)
- 1614年2月19日-01:00|フランス | ||コンテ 公マティエンヌに指揮された貴族が、摂政マリ・ト・ド・イシに反抗してコンチニに対して反乱を起こす
- 1614年2月26日-09:00|日本|山形県山形市|慶長19年1月18日|<死去>出羽山形藩57万石「最上義光」69歳⇒子の「最上家親」が継ぐ (~元和3 (1617) 年3月6日死去)
- 1614年2月27日-09:00|韓国/朝鮮 | ||<就任>朝鮮国領議政「奇自献」(~16171001)
- 1614年2月27日-09:00|日本|神奈川県小田原市|慶長19年1月19日|<改易>相模小田原6万5000石「大久保忠隣」山口

1620迄 (2404件)

重政と無断婚姻、蟄居/孫が許され大名位を維持

- 1614年3月4日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副卿代行判事「ダブリン大司教トマス・ジョンズ」「リチャード・ウィングフィールド 卿(1回目)」(~16160211)
- 1614年3月7日-09:00|日本|栃木県佐野市|慶長19年1月27日|<改易>下野佐野藩3万9000石「佐野信吉」(富田信高弟、佐野氏を継承)富田信高事件連座、信濃松本に幽閉/子孫は旗本として存続
- 1614年3月12日-09:00|日本|東京都千代田区|慶長19年2月2日|<解任>老中「大久保忠隣」
- 1614年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジオ・アントニオ・ベッリツィ」「ファブリツィオ・ベッリツィ」
- 1614年4月2日-01:00|フランス| |||<死去>モンモランシー公・ダマルタン伯「アンリ1世」
- 1614年4月2日-01:00|フランス| |||<就任>モンモランシー公・ダマルタン伯「アンリ2世」(~16321030死去)
- 1614年4月7日-01:00|スペイン| |||<死去>エル・グレコ、クレタ島生まれのスペインの画家(生年1541年)
- 1614年4月8日-09:00|日本|岐阜県恵那市|慶長19年2月29日|<死去>美濃岩村藩2万石「松平家乗」40歳⇒「松平乗寿」が嗣ぐ(~寛永15(1638)年4月25日遠江浜松36000石へ)
- 1614年4月9日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|慶長19年3月|<拝領>大和郡山藩1万石「筒井正次」郡山城を守衛させる(~慶長20年5月10日(16150606)死去)
- 1614年4月9日-08:00|中国| ||明・万曆42年3月|万曆帝の子副王常洵が莫大な庄田を与えられ、洛陽の領地に赴く
- 1614年4月15日-09:00|日本| ||慶長19年3月7日|<改易>領地不明1万石「加賀山隼人佐」キリスト教信仰、弘前に幽閉
- 1614年5月 05:00|パナマ/スペイン| |||<就任>パナマ大審問院総督・長官「フランシスコ・マンツ・デ・コントラス」(~1616年)
- 1614年5月24日-09:00|日本|京都府京都市東山区|慶長19年4月16日|豊臣秀頼、方広寺を再建し、大仏殿の鐘できる
- 1614年6月 00:00|モロッコ| |||<就任>タンジール首長「アウカバリス・デ・メセス」(~10月)
- 1614年6月 01:00|カーボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カーボベルデ 総督「ニコラス・デ・カステイリョ」(~1618年)
- 1614年6月3日-09:00|日本|茨城県古河市|慶長19年4月26日|<死去>下総古河藩2万石「小笠原信之」⇒長男「小笠原政信」が嗣ぐ(⇒元和5(1619)年下総関宿へ)
- 1614年6月7日-08:00|中国| ||明・万曆42年5月|福建で税監の苛斂誅求に対して暴動がおこる
- 1614年6月13日-09:00|日本|長野県小諸市|慶長19年5月6日|<死去>信濃小諸藩57000石「仙石秀久」⇒三男「仙石忠政」が嗣ぐ(~元和8(1622)年9月25日、信濃上田6万石)
- 1614年6月15日 00:00|イギリス| |||<死去>ノーサンプトン伯「ヘンリー・ハワード」廃絶
- 1614年6月27日-09:00|日本|富山県高岡市|慶長19年5月20日|<死去>越中高岡藩12万石「前田利長」(前加賀藩主)53歳(隠居料)
- 1614年6月28日-01:00|ルウェー/オランダ| |||ヤマイン島がオランダのフォップ・ゲリツに発見され「イザベラ」と名付けられた
- 1614年6月28日-01:00|ヤマイン島/オランダ| |||ヤマイン島はオランダのフォップ・ゲリツが発見し「イザベラ」と命名
- 1614年7月3日-09:00|日本|秋田県北秋田郡上小阿仁村|慶長19年5月26日|出羽、阿仁金山が開山し、幕府の直轄となる
- 1614年7月4日 00:00|ポルトガル| |||<就任>マテウス暫定総督「Lourenco de Tavora」(~12.17)
- 1614年7月5日-09:00|日本|三重県津市|慶長19年7月|<加増>伊勢安濃津藩22万石「藤堂高虎」+伊賀国内と伊勢鈴鹿郡・安芸郡・三重郡・一志郡内5万石⇒27万石(⇒元和3(1617)年、伊勢度会郡田丸城5万石加増、弟正高が下総国で拝領していた3000石を津藩領に編入、計32万3000石)
- 1614年7月6日 00:00|サントメ・プリンシパル/ポルトガル| |||<死去>サントメ植民地総督「Jeronimo de Quintanilha」
- 1614年7月6日 00:00|サントメ・プリンシパル/ポルトガル| |||<就任>サントメ植民地総督「Luis Dias de Abreu」(2期目~1616年)
- 1614年7月7日-09:00|日本|京都府京丹後市|慶長19年6月|<加増>丹後国大野1万石「大野治長」+5000石(豊臣秀頼より)⇒15000石(⇒翌年5月8日(16150604)自害廃絶)
- 1614年7月7日-09:00|日本|奈良県大和高田市|慶長19年6月|<加増>大和小泉藩10013石「片桐貞隆」豊臣秀頼より⇒15020石(⇒翌年、16400石に加増)
- 1614年7月11日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド 王国大蔵卿兼首席アドバイザー「サフォーク伯トマス・ハワード」(~16180721) Mil
- 1614年7月19日-09:00|日本|宮崎県児湯郡高鍋町|慶長19年6月13日|<死去>日向高鍋藩3万石「秋月種長」⇒長男の「秋月種春」が継ぐ(~万治2年10月15日(16591129)死去)
- 1614年8月 00:00|モロッコ| |||マロをスペインが支配しセント・ミゲル・デ・ウルトラマルと改名
- 1614年8月6日-09:00|日本|宮崎県延岡市|慶長19年7月|<加増移封>肥前日野江3万8千石「有馬直純」⇒日向延岡5万3千石(⇒寛永18年4月25日(16410603)死去)
- 1614年8月7日-09:00|日本|岐阜県岐阜市|慶長19年7月2日|<死去>美濃加納10万石「奥平忠政」⇒「奥平忠隆」が継ぐ(⇒寛永9年1月5日(16320224)死去改易)
- 1614年8月9日-01:00|アンゴラ/コンゴ 共和国/コンゴ 民主共和国/ガボン| |||<死去>コンゴ 王国マニコンゴ「アルヴァロ2世ニミアンカ」
- 1614年8月10日-09:00|日本|新潟県上越市|慶長19年7月5日|<移転>越後福島藩「松平忠輝」⇒越後高田藩75万石(越後高田城が竣工~元和2(1616)年7月5日改易)
- 1614年8月11日-01:00|イタリア| |||<死去>ラファエ・フォンターナ、イタリアの画家(生年1525年)
- 1614年8月12日-01:00|アンゴラ/コンゴ 共和国/コンゴ 民主共和国/ガボン| |||<即位>コンゴ 王国マニコンゴ「ベルナルド2世ニミアムパツ」(~16150820没)
- 1614年8月16日-08:00|マレーシア| |||<死去>パハン・スルタン「アブドゥル・ガフル・ムヒデイン・シャー」

1620迄 (2404件)

- 1614年8月16日-08:00|マレーシア| |||<即位>ハ・ハン・スルタン「アラウデ・イン・リアヤット・シャー」(~1615年没)
- 1614年8月17日-09:00|日本|京都府京都市|慶長19年7月12日|<死去>角倉了以、京都の豪商(61歳、生年1554年)
- 1614年8月22日-01:00|ドイツ| |||<死去>フ・ファルツ=ノイブルク公「フリッポ・ルートヴィヒ」
- 1614年8月22日-01:00|ドイツ| |||<即位>フ・ファルツ=ズルツバツハ公(フ・ファルツ系ウ・イツェルスハツハ家)アウグスト(~16320814死去)
- 1614年8月22日-01:00|ドイツ/ベルギー-オランダ| |||<即位>ユリヒ=クレフェ=ベルク連合公・フ・ファルツ=ノイブルク公「ウ・オルフォング・ウ・イルヘルム」(~16530914死去)
- 1614年8月22日-09:00|日本|兵庫県丹波市|慶長19年7月17日|<死去>丹波国柏原藩3万6000石「織田信包」72歳、大坂城で咯血して急死⇒三男「織田信則」が継ぐ(~寛永7年1月2日(16300213)死去)
- 1614年9月1日-09:00|日本|栃木県佐野市|慶長19年7月27日|<改易>下野佐野藩3万9千石「佐野政綱」
- 1614年9月29日-09:00|日本| ||慶長19年8月26日|<死去>和泉の茶人武野宗瓦(65)
- 1614年10月-05:30|インド| |||<即位>ウ・イヅヤガール王国(ア-ラウ-イ-トウ朝)国王「シュリランガ2世」(~同年殺害された)⇒<即位>国王「ジャガ・ラーヤ」(~1617年)
- 1614年10月-01:00|イタリア| |||ガリオが顕微鏡を使用
- 1614年10月 00:00|モロッコ| |||<就任>タンジール暫定首長「ピララル伯リス・テ・ノロニャ・エ・メセス」(~1615年8月)
- 1614年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジュリアーノ・ベルツィ」 「テオドロ・レオナルディ」
- 1614年10月1日-09:00|日本|東京都|慶長19年8月28日|大風で増上寺山門、品川九品寺五重塔等倒れる
- 1614年10月4日-09:00|日本| ||慶長19年9月|伊勢踊り、流行始まる
- 1614年10月10日-09:00|日本|京都府京都市|慶長19年9月7日|<死去>和泉の茶人千少庵(69)
- 1614年10月12日-09:00|日本|鳥取県倉吉市|慶長19年9月9日|<減移封>安房国館山藩12万石「里見忠義」大久保忠隣事件連座⇒伯耆倉吉3万石(⇒元和3(1617)年3月6日改易)
- 1614年10月17日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「キユス・カラ・マフムト・ハッシャ」(1期目~16161117)
- 1614年10月17日-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<就任>ブダペストのペイルバエ「カザイ・テ・アリ・ハッシャ」(3回目~1616年12月)
- 1614年10月27日-01:00|フランス| |||パリで、聖職者、貴族、平民の代表からなる全国三部会が召集される/以後175年間続く
- 1614年10月27日-09:00|日本| ||慶長19年9月24日|幕府がキリシタン100人余を海外追放、70人余を陸奥に流す
- 1614年10月27日-09:00|日本|鳥取県鳥取市|慶長19年9月24日|<死去>因幡鳥取藩6万石「池田長吉」⇒「池田長幸」が嗣ぐ(~元和3(1617)年2月備中松山65000石)
- 1614年11月2日-09:00|日本| ||慶長19年10月1日|<大坂冬の陣(摂津国)>徳川家康、豊臣秀頼に対し宣戦布告
- 1614年11月6日-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>オランダ領東インド総督「Gerard Reynst」(~16151207死去)
- 1614年11月6日-09:00|日本|京都府京都市|慶長19年10月5日|<死去>教如、浄土真宗の僧侶、東本願寺第十二世法主(57歳、生年1558年)
- 1614年11月7日-09:00|日本|長崎県長崎市|慶長19年10月6日|キリシタン大名の高山右近が国外追放処分を受け、長崎を出港しルソン島マニラへ向かう
- 1614年11月9日-09:00|日本|鳥取県八頭郡若桜町|慶長19年10月8日|<死去>因幡若桜24000石「山崎家盛」⇒子の「山崎家治」が継ぐ(22900石⇒元和3年(1617)備中国成羽藩3万5000石に加増転封)
- 1614年11月11日-09:00|日本|栃木県宇都宮市|慶長19年10月10日|<死去>下野宇都宮藩10万石「奥平家昌」⇒11月18日「奥平忠昌」が継ぐ(⇒元和5年10月13日(16191118)下総古河藩11万石へ移封)
- 1614年11月12日-01:00|ドイツ| |||<就任>ブランドンブルク選帝侯兼マルク伯「ヨハン・ジギスムント」ラフェンスベルク伯領統合(~16191223死去)
- 1614年11月12日-01:00|フランス| |||カンテン条約が結ばれてユリヒ=クレフェ戦争が終結
- 1614年11月14日-09:00|日本|大阪府堺市|慶長19年10月13日|<大坂冬の陣(摂津国)>豊臣軍、堺を占領/救援に向かった片桐軍、撤退
- 1614年11月19日-01:00|フランス/ポルトガル/ブラジル| |||ポルトガル軍、サルイス島に向き合って砦を建設。フランス軍基地を攻撃。この攻撃でフランス人90人、先住民400人が死亡
- 1614年11月26日-09:00|日本| ||慶長19年10月25日|高田領大地震(M7.7)震源は直江津沖。震域は会津、伊豆、紀伊、山城、松山諸国まで及んだ。京都で寺社・民家が多数壊れ、池上本門寺五重塔が傾く
- 1614年11月26日-09:00|日本| ||慶長19年10月25日|幕府が東海・東山道に新たな関所を設置
- 1614年12月4日-09:00|日本|大阪府大阪市平野区|慶長19年11月4日|<大坂冬の陣(摂津国)>大坂方の薄田兼相が山口弘定と平野へ攻め込み、周辺を焼き払う
- 1614年12月7日-09:00|日本|大阪府大阪市西淀川区|慶長19年11月7日|<大坂冬の陣(摂津国)>池田忠継、神崎川を渡り、中島の敵を落として進撃、大和田を取る
- 1614年12月17日 00:00|ポルトガル| |||<就任>マテウ総督「Jorge da Camara」(~16180706)
- 1614年12月19日-04:00|日本|大阪府大阪市|慶長19年11月19日|<木津川口の戦い(摂津国木津川)>幕府軍の蜂須賀至鎮は未明、抜け駆けして木津川口砦は陥落/浅野長晟は蜂須賀勢の抜け駆けを知り、進路上の河川を急いで渡河しようとして多数の溺死者を出してしまい戦闘にも間に合わなかった/徳川方は伝法川口も支配し大阪方の水上補給路を断つ
- 1614年12月26日-03:00|日本|大阪府大阪市|慶長19年11月26日|<今福の戦い(摂津国)>夜明け、佐竹勢が今福を攻撃、佐竹麾下の洪江政光、戸村義国らにより第四柵まで占拠され、矢野と飯田は討死/豊臣軍は木村重成が来援し、反撃に転じたため佐竹勢はやや後退したがその後膠着状態/後藤基次が駆けつけ木村を支援しながら突撃を指揮し、佐竹勢を押し戻した/洪江政光は第一柵で防戦していたが、木村重成の指示で狙撃され討死したため佐竹勢先鋒隊が潰走、佐竹義宣は大和川対岸にいた上杉勢に救援を求めた/上杉景勝、堀尾忠晴および榊原康勝の軍勢が大和川の中州まで出て銃撃を加えたため、豊臣軍は撤退

- 1614年12月26日-03:00|日本|大阪府大阪市|慶長19年11月26日|<鳴野の戦い(摂津国)>早朝、上杉勢が鳴野の柵を攻撃、上杉麾下の安田能元、須田長義らにより柵は占拠され、井上頼次は討死/豊臣軍では大野治長ら12,000が来援し反撃に転じ上杉勢一番手は第一の柵まで後退し、二番手の水原親憲らに崩れかかりそうになるところ水原が大声で左右にどくよう指示、そのあとを追いかけてきた豊臣軍に鉄砲隊の一斉射撃を加え、そこへ安田能元隊が槍を入れ、豊臣軍を撃退
- 1614年12月28日-09:00|日本|大阪府大阪市|慶長19年11月28日|<野田・福島 of 戦い>夜半、九鬼、向井、千賀勢は五分一を急襲/大雨の中多勢の襲撃に守備兵は怖じ気づいて天満方面へ逃げてしまった
- 1614年12月29日 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル | |||<就任>チーフ管理者「ジョアン・タバリス・スザ」(~1615年)
- 1614年12月29日-09:00|日本|大阪府大阪市|慶長19年11月29日|<博労淵の戦い(摂津国)>石川忠総勢は九鬼守隆から船3隻を借り受け、狗子島の北方から渡河、皆に攻撃を仕掛け蜂須賀勢も南方から攻撃をかけ、皆は陥落/留守将の平子正貞は、葦原に逃げ潜んでいたところを池田忠雄の家臣に見つかり討ち取られた
- 1614年12月29日-09:00|日本|大阪府大阪市|慶長19年11月29日|<野田・福島 of 戦い(摂津国)>未明、池田忠雄、戸川達安は既に敵が逃げた後であることに気づき、そのまま上福島の皆まで進出、付近を放火し、そこに陣取った
- 1614年12月31日-09:00|日本|群馬県館林市|慶長19年末|<加増>上野青柳(近藤)藩1万石「近藤秀用」(1万5千石で諸侯に列したが、5千石を二男用可に分与⇒元和5(1619)年9月27日遠江井伊谷へ)
- 1615年-08:00|マレーシア | |||<死去>ジョホール・リアウ王国スルタン兼パハン・スルタン「スルタン・アラウデ・イン・リヤット・シャー3世」
- 1615年-08:00|インドネシア/オランダ | |||<就任>アンボン島オランダ総督「Adriaan Block Maertenszoon」(~1616年)
- 1615年-08:00|インドネシア/イギリス | |||<就任>イギリス東インド会社バンナム主管「トマス・Elkington」(~同年)⇒「ジョーン・Jourdain」(2期目~1616年)
- 1615年-08:00|インドネシア/オランダ | |||<就任>モルッカ諸島オランダ総督「Laurens Reaal」(~1616年)
- 1615年-08:00|マレーシア | |||<即位>ジョホール・リアウ王国スルタン「スルタン・アブドゥラ・マヤット・シャー」(~1623年3月没)
- 1615年-08:00|マレーシア | |||<即位>パハン・スルタン「アブドゥル・ジャリル・シャー3世」(~1617年)
- 1615年-07:00|タイ | |||<就任>ナンの国主パヤ・ホンスーサイをランナー王朝の国主に任命(~1631年)
- 1615年-04:00|ジョージア | |||<即位>カルトリ王「パゲラ7世」(~1619年死去)
- 1615年-02:00|ギリシャ | |||<就任>カデミア王国総督「ピエトロ・ボントゥミ」(~1618年8月以降)
- 1615年-01:00|クアアア | |||<就任>クアアア・パン「ベネケトウ呼」(~16161108没)
- 1615年-01:00|スペイン | |||<就任>スペイン領セウ提督「Luis de Noronha e Meneses」(~1622年)
- 1615年-01:00|アンゴラ/ポルトガル | |||<就任>ポルトガル王領西アフリカ総督「マヌエル・セルヴェイラ・レイラ」(2回目~16170411)
- 1615年 00:00|ポルトガル/スペイン | |||<就任>スペインのポルトガル副王「ミゲル・デ・カストロ・リスボン大司教」(~16190510)
- 1615年 00:00|カリヤ諸島/スペイン | |||<就任>スペイン王国植民地ケラン・カリヤ島知事「Fernando Osorio」(~1621年)
- 1615年 00:00|カリヤ諸島/スペイン | |||<就任>スペイン王国植民地テネリフェ島知事「Melchor Ruiz de Pereda」(~1618年)
- 1615年 04:00|英領ヴァージン諸島/オランダ | |||<就任>トルトラ島オランダ知事「Joost van Dyke」(~1625.9)
- 1615年 04:00|英領ヴァージン諸島/オランダ | |||オランダ人がトルトラ島に定住(~1625.9)
- 1615年 07:00|メキシコ/ペルー | |||英国人海賊ジョージ・スピアバーク、アンデス西岸を北上、メキシコとペルーの港を攻撃
- 1615年1月2日-09:00|日本|大阪府大阪市|慶長19年12月3日|<大坂冬の陣(摂津国)>大坂城内で、南条元忠が幕府軍に内通していることが発覚し南条は城内で切腹させられた
- 1615年1月3日-09:00|日本|大阪府大阪市平野区|慶長19年12月4日|<真田丸の戦い(摂津国)>前田勢の先鋒本多政重、山崎長徳らが夜陰に乗じて篠山に攻め上がったが、真田勢は城内に撤収しておりもぬけの殻だった/夜が明けると、前田勢は真田丸に攻めかけた/真田勢は、前田勢が充分城壁にとりついたところに銃撃を浴びせ、前田勢に損害を与えた/井伊、松平勢も八丁目口・谷町口に攻撃を仕掛け、豊臣軍は城壁に殺到する幕府軍に対しここでも損害を与えた/家康は退却を命じ15時をすぎようやく完了
- 1615年1月4日-09:00|日本|大阪府大阪市|慶長19年12月5日|<大坂冬の陣(摂津国)>大坂方の谷町口の混乱に乗じて、藤堂高虎勢が城内への突入を試みるも、程なく撤収
- 1615年1月8日 03:00|アルゼンチン/スペイン | |||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ総督「フアン・ド・ポモント・イ・ハバ」(2回目~5.3)
- 1615年1月8日-09:00|日本|大阪府大阪市北区|慶長19年12月9日|伊奈忠政・福島忠勝・毛利秀就・角倉素庵に命じて建設していた淀川の流れを尼崎に流す長柄堤が竣工
- 1615年1月15日-09:00|日本|大阪府大阪市|慶長19年12月16日|<大坂冬の陣(摂津国)>徳川方の放った大砲が大坂城天守に命中、侍女数人が即死する一方、大坂方の塙団右衛門が東軍の蜂須賀至鎮隊に夜討ちをかけ、侍大将中村右近を討ち取る
- 1615年1月16日-06:30|日本|大阪府大阪市|慶長19年12月17日|<本町橋の戦い>午前2時30分頃、塙配下、大野配下、長岡配下の順に出撃、功を焦り抜け駆けした二宮長範を先頭に1人また1人と敵に悟られぬよう腰を低くして橋を渡り至鎮の重臣・中村重勝の陣を目指して忍び寄った。本町橋のみが残り、それ以外の橋が大坂方の手によって焼かれていたが、中村隊は夜襲など考えておらず、兵士たちは眠りにつき、不寝番の兵も皆揃って餅などを食べながら雑談しあい、守将の重勝も普段はつねに具足を脱がない勇士として評判であったがこの日は具足を身につけておらず油断していた。大坂方による斬り込みが開始されると中村隊の者たちは不意をつかれ次々と討たれ、重勝も兜をつける暇もなく槍を持って飛び出し配下の兵を励ましながら応戦したが6名程の者に囲まれ討ち取られた/短い時間であったがこの夜襲により、中村隊は、重勝と尾関重武をはじめ、30名余が戦死
- 1615年1月19日-09:00|日本|大阪府大阪市|慶長19年12月20日|<大坂冬の陣(摂津国)>徳川軍と豊臣軍との和平が成立/大坂城の二の丸・三の丸の濠を埋めることになる
- 1615年1月21日-09:00|日本|山口県岩国市|慶長19年12月22日|<交替>周防岩国(玖珂郡一円)37129石「吉川広家」隠居⇒「吉川広正」が継ぐ(⇒元和2(1616)年7月19日、毛利輝元の長女「竹姫」を正室に迎えた)
- 1615年1月24日-09:00|日本|愛媛県宇和島市|慶長19年12月25日|<拝領>伊予宇和島藩10万2千石「伊達秀宗」陸奥

1620迄 (2404件)

- 国仙台城主伊達政宗の庶長子(⇒明暦3(1657)年7月21日、隠居)
- 1615年1月24日-09:00|日本|三重県伊勢市|慶長19年12月25日|<加増>伊勢志摩55000石「九鬼守隆」+1000石⇒56000石(⇒寛永9年9月15日(1632)1028)死去)
- 1615年1月27日-09:00|日本|東京都品川区|慶長19年12月28日|<死去>今川氏真(77, 今川氏10代当主)が品川で病歿
- 1615年1月31日 00:00|イギリス| ||<就任>第7代ケント伯「チャールズ・グレイ」(~1623)926死去)
- 1615年1月31日-09:00|日本|長崎県対馬市|慶長20年1月3日|<死去>対馬府中藩22800石「宗義智」48歳⇒長男「宗義成」が継ぐ(~明暦3年10月26日(1657)1201)江戸で死去)
- 1615年2月-02:00|エジプト/トルコ| ||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「ニサンチ・アフメド・パシャ」(~1618年)
- 1615年2月-02:00|シリア/アラブ/トルコ| ||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「スライマン・アル・ムフメド・パシャ」(~1617年)
- 1615年2月3日-07:00|クリスマス島/イギリス| ||無人のクリスマス島が、イギリス東インド会社の船トーマスのジョン・ミルワード大尉によって発見
- 1615年2月3日-08:00|フィリピン/日本| ||慶長20年1月6日|<死去>高山右近(63元摂津高槻城主)追放先のマニラで熱病にかかり病歿
- 1615年2月24日-09:00|日本|東京都千代田区|慶長20年1月27日|<拝領>小姓組番頭「井上正就」1万石(⇒元和8年9月25日横須賀藩5万2千石)
- 1615年2月28日-09:00|日本|群馬県安中市|慶長20年2月|<移封>近江彦根18万石「井伊直勝」⇒上野安中3万石(⇒寛永9(1632)年隠居)
- 1615年2月28日-09:00|日本|滋賀県彦根市|慶長20年2月|<加増移封>上野白井藩1万石「井伊直孝」還付⇒近江彦根藩15万石「井伊直孝」(⇒5月10日5万石加増し20万石)
- 1615年3月4日-01:00|ドイツ| ||<死去>ハンス・フォン・アヘン、ドイツの画家(生年1552年)
- 1615年3月9日-09:00|日本| ||慶長20年2月10日|名古屋城本丸が完成し徳川義直が入る
- 1615年3月22日-09:00|日本|岡山県岡山市|慶長20年3月5日|<死去>備前岡山藩38万石「池田忠継」⇒弟の「池田忠雄」が継ぐ(弟「輝澄」に山崎藩3万8000石、「政綱」に赤穂藩3万5000石、「輝興」に平福藩2万5000石分与し領地は31万5200石⇒寛永9年4月3日(1632)0521)死去)
- 1615年4月1日-01:00|サマリヤ| ||<就任>サマリヤ共和国執政「シロラモ・ゴジ」 「フランチェスコ・ジヤンニニ」
- 1615年4月2日-09:00|日本|三重県伊賀市|慶長20年3月5日|<死去改易>伊賀上野藩20万石「筒井定次」54歳/定次の嫡子「順定」(15歳)が大坂方に内通した疑いで切腹
- 1615年4月11日-09:00|日本|岐阜県岐阜市|慶長20年3月14日|<死去改易>美濃加納藩5万石「奥平信昌」61歳、無嗣
- 1615年4月22日-09:00|日本|千葉県富津市|慶長20年3月25日|<加増>上総佐貫3万石「内藤政長」+1万石⇒4万石(⇒元和5(1619)年5千石加増し45000石)
- 1615年4月25日-01:00|イタリア| ||<就任>ジェノヴァ共和国トージェ「ベルナルド・クラヴァレッツァ」(~1617)0425)
- 1615年5月-01:00|ホースニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| ||<就任>ホースニア総督「アブドゥルバキ・パシャ」(~1616年1月)
- 1615年5月3日 03:00|アルゼンチン/スペイン| ||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ総督「エルナン・アリアス・デ・サバトール」(4回目~1618)0517)
- 1615年5月3日 04:00|パラグアイ/スペイン| ||<就任>スペイン領エバ・アングルシア総督「エルナン・アリアス・デ・サバトール」(3回目~1618)0517)
- 1615年5月3日-09:00|日本|大阪府大阪市|慶長20年4月6日|<大坂夏の陣(摂津国、河内国、大和国、紀伊国)>徳川家康、諸大名に大坂征討を再び命じる
- 1615年5月9日-09:00|日本|愛知県名古屋市|慶長20年4月12日|尾張藩主「徳川義直」と前紀伊藩主浅野幸長の娘「春姫」との婚儀が行われる
- 1615年5月12日-02:00|リトアニア| ||<死去>リトアニア大元帥(首相)「クリストフ・マンウイタス・トモスタイスキス」
- 1615年5月12日-02:00|リトアニア| ||<就任>リトアニア大元帥(首相)「ペトラス・グイェシロフスキス」(6月27日まで代行~1619)0910)
- 1615年5月23日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|慶長20年4月26日|<郡山城の戦い(大和国)>豊臣方の大野治房が、大和郡山城を攻略/筒井定慶は、早々に城を脱出し、福住へと逃れ、一部の者が城に残って徹底抗戦を構えるが残りの者も逃走したり討ち取られたりして、ほどなく郡山城は落城し城下町にも火が放たれた
- 1615年5月24日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|慶長20年4月27日|<郡山城の戦い(大和国)>奈良に水野勝成が到着した為、大野治房が郡山城を放棄して撤退
- 1615年5月25日-09:00|日本|大阪府岸和田市|慶長20年4月28日|<岸和田城の戦い>大野治房は塙直之ら諸将を率い約3千の軍勢で大坂城を出陣/先鋒隊の直之は小出吉秀が守備する岸和田城をすぐさま攻撃し一進一退の攻防を繰り広げた
- 1615年5月25日-09:00|日本|大阪府堺市|慶長20年4月28日|<大坂夏の陣・堺の戦い>大野治胤、堺を焼き討ち
- 1615年5月25日-09:00|日本|和歌山県|慶長20年4月28日|<紀州一揆(紀伊国)>日高郡、名草郡を中心として紀伊国全域で一揆発生/北村善大夫、大野弥五右衛門、山口喜内らが捕らえられた
- 1615年5月26日-09:00|日本|大阪府泉佐野市|慶長20年4月29日|<樫井の戦い(和泉国)>夜明け、豊臣軍の先鋒塙直之、岡部則綱と亀田高綱の間で戦闘開始/亀田は遅滞戦術を展開し、豊臣軍を樫井まで誘引し、樫井では亀田隊に浅野知近、上田重安らが加わり豊臣軍と激戦/岡部は敗走、塙と淡輪は戦死/戦闘後、浅野勢は一旦紀伊国山口まで撤退/大野治房は大坂城に引き返した
- 1615年5月26日-09:00|日本|和歌山県|慶長20年4月29日|<紀州一揆(紀伊国)>紀伊の一揆が留守居の熊谷治部、寺沢半兵衛らの計略により鎮圧された/浅野長晟は和泉樫井での戦闘後、和歌山城へ踵を返し、日高方面の一揆鎮圧を手がけた。鹿ヶ瀬や蕪坂峠などで一揆勢を次々と討伐していき、壊滅させていった/処分された村は日高郡が5村252名、有田郡が4村48名、名草郡が6村114名、那賀郡・伊都郡がそれぞれ1村29名の合計5郡17村443名に及

1620迄 (2404件)

んだ

- 1615年5月27日-01:00|フランス| ||<死去>マルグ リット・ド・ヴァロワ、フランス王アンリ4世の最初の妻(生年1553年)
- 1615年5月30日-08:00|中国| ||明・万暦43年5月4日|万暦帝の皇太子の朱常洛を狙った刺客が慈慶宮に侵入して取り押えられる(梃撃の案)
- 1615年6月-01:00|オランダ/オーストラリア| ||ル・メールのオーストラリア会社が通商航海を開始
- 1615年6月2日-09:00|日本|大阪府八尾市|慶長20年5月6日|<八尾の戦い(河内国)>長宗我部勢先鋒吉田重親は、藤堂勢中備藤堂高吉の攻撃をうけ壊滅、吉田は戦死/長宗我部盛親は藤堂勢が充分近づいたところで一斉に立ち、槍を入れさせ、藤堂勢は壊乱し、藤堂高刑、桑名吉成は戦死、藤堂氏勝は負傷したが、退却中に死亡/藤堂高吉も来援するが、長宗我部勢に圧倒され、撃退された/正午頃まで戦闘は続き、小康状態になったところで長宗我部勢は大坂城へ撤退
- 1615年6月2日-05:00|日本|大阪府藤井寺市|慶長20年5月6日|<道明寺の戦い(河内国)>午前4時、後藤基次は松倉重政、奥田忠次勢に対し攻撃を仕掛け、奥田は戦死、松倉勢も崩れかかったが、水野勝成、堀直寄が来援し、かろうじて助かった/小松山を包囲した幕府軍は、伊達政宗、松平忠明らが激しい銃撃を加え、小松山にとりつこうとし、後藤勢は幕府軍を数度にわたり撃退したが、小松山を下り、幕府軍に最後の突撃を敢行、敵数隊を撃退するも丹羽氏信勢に側面を衝かれ立ち往生し、さらに伊達勢の銃撃により後藤が被弾し、正午頃、約8時間もの激闘の末、後藤は戦死、後藤隊も壊滅
- 1615年6月2日-04:00|日本|大阪府東大阪市|慶長20年5月6日|<若江の戦い(河内国)>午前5時頃、木村重成勢は若江に着陣、先鋒を3手に分け、敵に備えた/その右手に藤堂勢の右先鋒、藤堂良勝、同良重が攻撃をかけたが藤堂勢は兵の半数を失い敗走、藤堂良勝、良重は戦死
- 1615年6月2日-02:00|日本|大阪府東大阪市|慶長20年5月6日|<若江の戦い(河内国)>午前7時頃、井伊直孝は部隊を西に転進させ木村重成勢を発見し玉串川東側堤上から一斉射撃後、敵に突入/木村勢は西に後退、井伊勢川手が突進し戦死/木村重成は自身も槍を取って勇戦したが戦死/山口弘定、内藤長秋も戦死し、木村本隊は壊滅/幕府軍の榊原康勝、丹羽長重らは味方有利と見て木村勢左先手木村宗明を攻め、宗明は本隊が敗れたため大坂城へ撤退
- 1615年6月2日 04:00|日本|大阪府羽曳野市|慶長20年5月6日|<誉田の戦い>午後、薄田兼相、明石全登、山川賢信らが道明寺に到着し、幕府軍を迎え撃った/薄田は自ら太刀を振るい奮戦したが戦死、残余の部隊は誉田村方面に後退/毛利勝永が道明寺に到着、真田信繁らは後退してきた兵を收容し誉田村付近に着陣/伊達勢の片倉重長は、真田勢を見るとこれに攻め寄せた/真田勢が伊達勢を道明寺辺りまで押し込んだ後、自身は藤井寺まで後退し、毛利勢と合流/午後4時過ぎ豊臣軍は真田隊を殿軍とし、順次天王寺方面へ撤退
- 1615年6月3日-09:00|日本|愛媛県大洲市|慶長20年5月7日|<交替>伊予大洲藩53500石「脇坂安治」隠居⇒次男「脇坂安元」が嗣ぐ(〜元和3(1617)年信濃飯田55000石へ加増移封)
- 1615年6月3日-09:00|日本|大阪府大阪市天王寺区|慶長20年5月7日|<天王寺の戦い(河内国)>正午頃、合戦が始まる/毛利勢は、本多忠朝を討ち取り幕府方先鋒本多勢を壊滅させる/小笠原秀政、忠脩勢が駆けつけたが、毛利勢に追隨する木村重成勢の残余兵である木村宗明等による側面からの攻撃を受け忠脩は討死、秀政は重傷を負い戦場離脱後に死亡/二番手榊原康勝、仙石忠政、諏訪忠澄たちの軍勢も暫く持ち堪えるものの混乱に巻き込まれ壊乱、これらの敗兵が雪崩込んだ三番手も同様の事態に陥ったことで家康本陣は無防備となった/真田幸村は天王寺口の松平忠直勢と交戦していたが、松平勢は真田勢の陣を抜くと大坂城に直進し、入れ違う形で真田勢は家康本陣方向へ進出し3回に渡って突撃を繰り返し家康本陣は混乱状態に陥った/幸村は安居天神で休息をとっていたところを討ち取られ、大谷吉治も戦死、御宿政友は重傷を負った/毛利勢も真田勢が壊滅すると四方から集中攻撃を受けることになり城内に撤退/別働隊の明石全登は天王寺口の友軍が敗れたことを知ると松平忠直勢に突撃した後姿を消した
- 1615年6月3日-09:00|日本|千葉県夷隅郡大多喜町|慶長20年5月7日|<死去>上総大多喜5万石「本多忠朝」34歳、大坂夏の陣で戦死⇒次男「本多政朝」が継ぐ(〜元和3(1617)年9月播磨龍野へ)
- 1615年6月3日-09:00|日本|長野県松本市|慶長20年5月7日|<死去>信濃松本藩8万石「小笠原秀政」⇒次男「小笠原忠真」が嗣ぐ(〜元和3(1617)年播磨三木明石10万石へ)
- 1615年6月3日 06:00|日本|大阪府大阪市生野区|慶長20年5月7日|<岡山の戦い(河内国)>先鋒の前田勢は大野治房勢に崩され、これを支援するために二番手井伊直孝、藤堂高虎勢が動く/大野勢が秀忠本陣に殺到し、旗本先手の土井利勝勢が崩れ一時大混乱となったが秀忠軍は攻勢をはね除け反撃に転じ、大野治房は、敗兵を收容しつつ城内に撤退/豊臣方の陣立ては15時頃には崩れ、毛利勝永指揮の殿のもとに城内へ総退却
- 1615年6月3日 14:00|日本|大阪府大阪府中央区|慶長20年5月7日|<大坂夏の陣(摂津国)>松平忠直の越前勢が大坂城一番乗りを果たしたのを始めとして徳川方が城内に続々と乱入し、遂には大坂城本丸内部で内通者によって放たれた火の手が天守にも上がり、深夜に大坂城は陥落
- 1615年6月4日-09:00|日本|大阪府大阪市|慶長20年5月8日|<死去改易>摂津大坂657400石「豊臣秀頼」(23歳)その母淀殿(49歳)と自害、豊臣氏滅亡、大坂夏の陣が終る/近侍していた真田大助も秀頼に殉死(14才)/大野治長が千姫とその侍女を脱出させた後、徳川方の坂崎直盛に保護、誘導される
- 1615年6月4日-09:00|日本|京都府京丹後市|慶長20年5月8日|<死去>丹後国大野15000石「大野治長」自害廃絶
- 1615年6月6日-09:00|日本|大阪府大阪市|慶長20年5月10日|<加増移封>伊勢亀山藩5万石「松平(奥平) 忠明」⇒摂津大坂藩10万石(〜元和5(1619)年7月22日大和郡山12万石へ)
- 1615年6月6日-09:00|日本|大阪府豊中市|慶長20年5月10日|<分与>摂津麻田藩1万2千石「青木一重」2千石を弟の可直に分知⇒1万石(⇒元和5(1619)年、隠居)
- 1615年6月6日-09:00|日本|埼玉県川口市|慶長20年5月10日|<加増>鳩ヶ谷22000石「阿部正次」⇒3万石(⇒元和3(1617)年9月、上総国大多喜藩3万石へ移封)

1620迄 (2404件)

- 1615年6月6日-09:00|日本|滋賀県彦根市|慶長20年5月10日|<加増>近江彦根藩15万石「井伊直孝」+5万石⇒20万石(⇒元和3(1617)年5万石加増し25万石)
- 1615年6月6日-09:00|日本|千葉県佐倉市|慶長20年5月10日|<加増>下総国佐倉4万5000石「土井利勝」⇒6万2500石(⇒寛永2(1625)年14万2000石に加増)
- 1615年6月6日-09:00|日本|長野県須坂市|慶長20年5月10日|<拝領>信濃須坂藩12053石「堀直重」(⇒元和3年6月17日(16170715)死去)
- 1615年6月6日-09:00|日本|長野県長野市|慶長20年5月10日|<加増移封>常陸北条藩1万石「佐久間勝之」⇒信濃長沼藩1万8千石(⇒寛永11年11月12日(16341231)死去)
- 1615年6月6日-09:00|日本|奈良県生駒郡斑鳩町|慶長20年5月10日|<加増>大和龍田藩2万8千石「片桐且元」⇒4万石/大坂兩陣では徳川方に属して戦う(⇒同月28日死去)
- 1615年6月6日-09:00|日本|兵庫県養父市|慶長20年5月10日|<加増>丹波八木藩15000石「別所吉治」+5000石⇒2万石(⇒寛永5(1628)年5月28日改易)
- 1615年6月8日-09:00|日本| |慶長20年5月12日|幕府が落人改令を発し、諸大名が大坂の陣でさらった者の内、町人、百姓の返還を命じる
- 1615年6月11日-09:00|日本|京都府京都市東山区|慶長20年5月15日|<死去>長宗我部盛親(41元土佐浦戸城主)京都六条河原にて斬首/長宗我部家滅亡
- 1615年6月19日-09:00|日本|京都府京都市東山区|慶長20年5月23日|<死去>豊臣国松(8秀頼の子)京中引廻しのうえ六条河原で斬首
- 1615年6月23日-09:00|日本|神奈川県横須賀市|慶長20年5月27日|<廃藩>遠江横須賀5万5千石「松平(大須賀)忠次」榊原家を相続し、除封・廃絶
- 1615年6月23日-09:00|日本|群馬県館林市|慶長20年5月27日|<死去>上野館林藩10万石「榊原康勝」⇒甥の「榊原忠次」が継ぐ(〜寛永20(1643)年7月陸奥白河14万石へ)
- 1615年6月23日-09:00|日本|埼玉県さいたま市岩槻区|慶長20年5月27日|<死去>増田長盛(71, 元豊臣五奉行の一人)嫡男・盛次の豊臣方加担の罪を問われ切腹
- 1615年6月24日-09:00|日本|岡山県岡山市|慶長20年5月28日|<加増移封>淡路洲本6万石「池田忠雄」天領となる⇒備前岡山藩38万石「池田忠雄」、弟「輝澄」に山崎藩3万8000石、「政綱」に赤穂藩3万5000石、「輝興」に平福藩2万5000石分⇒31万5200石(⇒寛永9年4月3日(16320521)死去)
- 1615年6月24日-09:00|日本|奈良県生駒郡斑鳩町|慶長20年5月28日|<死去>大和龍田藩4万石「片桐且元」60歳、茨木城で自刃⇒次男「片桐孝利」が継ぐ(寛永15(1638)年8月1日、38歳で死去)
- 1615年6月24日-09:00|日本|兵庫県赤穂市|慶長20年5月28日|<拝領>播磨赤穂藩35000石「池田政綱」(兄忠継遺領の一部⇒寛永8年7月29日(16310826)死去無嗣断絶)
- 1615年6月24日-09:00|日本|兵庫県佐用郡佐用町|慶長20年5月28日|<拝領>播磨平福藩(利神城)25000石「池田輝興」(兄の備前岡山藩主忠継の遺領の一部⇒寛永8(1631)年7月19日播磨赤穂藩35000石へ)
- 1615年6月24日-09:00|日本|兵庫県宍粟市|慶長20年5月28日|<拝領>播磨山崎藩38000石「池田輝澄」(兄の備前岡山藩主忠継の遺領の一部⇒寛永8(1631)年7月29日、弟「政綱」が死去し遺領播磨佐用郡3万石を加え68000石)
- 1615年6月26日-09:00|日本|岡山県倉敷市|慶長20年6月|<拝領>備前岡山藩10343石「伊東長実」(⇒寛永6年2月17日(16290311)死去)
- 1615年6月26日-09:00|日本|東京都|慶長20年6月1日|江戸で地震/家屋が倒壊し、死傷多く、地割れを生じた
- 1615年6月27日-09:00|日本|京都府京都市|慶長20年6月2日|<死去>絵師の海北友松(83, 浅井家の猛将海北綱親の子)
- 1615年6月29日 04:00|バミューダ/イギリス| |<就任>イギリス領バミューダ 総督代理「委員会(チャールズ・カデニコット、ジョン・マンズフィールド、マイルス・ケントール、クリスチャー・カーター、トマス・ナイト、エドワード・ウォータース)」(〜1616.5)
- 1615年7月 00:00|キニピサ/ポルトガル| |<就任>カチュー管理者「バルタザール・ペレイラ・デ・カステロ・ブランコ」(〜1619年4月)
- 1615年7月6日-09:00|日本|京都府宇治市|慶長20年6月11日|<改易>美濃国内10000石「古田重然(織部)」73歳(家臣の木村宗喜らが家康暗殺を企てた罪)山城木幡の自邸で子の重広とともに切腹/「織部焼」の創始者
- 1615年7月20日-09:00|日本|奈良県宇陀市|慶長20年6月25日|<改易>大和宇陀松山藩3万石「福島高晴(正頼)」家内不正、子に500石安堵
- 1615年7月22日-09:00|日本|大阪府堺市|慶長20年6月27日|大坂方の大野道犬(治胤)が堺の町を引き回され火炙りの刑に処される
- 1615年7月23日-09:00|日本|三重県津市|慶長20年6月28日|<加増>伊勢津藩22万950石「藤堂高虎」+伊勢国の鈴鹿、安芸、三重、一志の四郡内5万石(大坂夏の陣の功により、徳川家康から)⇒27万950石(⇒元和3(1617)年、伊勢度会郡田丸城5万石が加増され弟正高が下総国で拝領していた3000石を津藩領に編入し計32万3000石)
- 1615年7月26日-01:00|スペイン| |<死去>7代メイナシトニア公「アロンソ・ペレス・デ・グスマン・イ・デ・スニガ=ソトマヨル」
- 1615年7月26日-01:00|スペイン| |<就任>8代メイナシトニア公「ファン・マヌエル・ペレス・デ・グスマン・イ・シルバ」先代の子(〜1636年死去)
- 1615年7月26日-09:00|日本|大阪府高槻市|慶長20年閏6月|<移封>近江長浜藩4万石「内藤信正」⇒摂津高槻藩4万石(⇒元和3(1617)年、伏見城代となり1万石の加増を受けて摂津国内に転封あわせて5万石)
- 1615年7月28日-09:00|日本|岐阜県高山市|慶長20年閏6月3日|<死去>飛騨高山藩(高山城)38000石「金森可重」⇒子の「金森重頼」が継ぐ(〜慶安3(1650)年閏10月7日死去)
- 1615年7月29日-09:00|日本|徳島県|慶長20年閏6月4日|<加増>阿波徳島藩18万5700石「蜂須賀至鎮」+淡路7万石⇒25万7千石(⇒元和6年2月26日(16200329)死去)
- 1615年8月 00:00|モロッコ| |<就任>タンジール首長「レドント 伯シヨアン・コウチニヨ」(〜16161222)

1620迄 (2404件)

- 1615年8月7日-09:00|日本| ||慶長20年閏6月13日|江戸幕府が一国一城令を發布/大名の本城を除く支城はすべて破壊するように命令
- 1615年8月9日-01:00|フランス| ||コンデ公が新教徒と結んで再び反乱を起こす
- 1615年8月20日-01:00|アンゴラ/コンゴ 共和国/コンゴ 民主共和国/ガボン| |||<死去>コンゴ 王国マニコンゴ「ベルナルド 2世ニミ・アムハンツ」
- 1615年8月20日-01:00|アンゴラ/コンゴ 共和国/コンゴ 民主共和国/ガボン| |||<即位>コンゴ 王国マニコンゴ「アルヴァロ3世ニミ・アムハンツ」(~16220504没)
- 1615年8月23日-01:00|フランス| |||<死去>ジ ョウヌ公「Francois」
- 1615年8月23日-01:00|フランス| |||<即位>ジ ョウヌ公「Henriette Catherine」(~1647年~16560225死去)
- 1615年8月23日-09:00|日本|三重県津市|慶長20年閏6月29日|<改易>伊勢林藩1万石「織田信重」(織田信包息)家内不正/林藩は一代で廃絶
- 1615年8月30日-09:00|日本| ||慶長20年7月7日|将軍秀忠が13ヶ条の武家諸法度を布告
- 1615年8月30日-09:00|日本|愛知県田原市|慶長20年7月7日|<死去>三河田原藩1万石「戸田尊次」⇒子の「戸田忠能」が継ぐ(⇒正保4年1月3日(16470207)死去)
- 1615年9月3日-09:00|日本| ||慶長20年7月11日|「諸宗本山本寺の諸法度」発布
- 1615年9月5日-09:00|日本| ||元和1年7月13日|「元和」に改元
- 1615年9月9日-09:00|日本| ||元和1年7月17日|江戸幕府、禁中並公家諸法度を制定
- 1615年9月11日 00:00|イギリス| |||<死去>13代サウラント 伯「ジョン・ゴートン」
- 1615年9月11日 00:00|イギリス| |||<就任>14代サウラント 伯「ジョン・ゴートン」(~1679年)
- 1615年9月13日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|元和1年7月21日|<加増移封>三河刈谷藩3万石「水野勝成」⇒大和郡山藩6万石(⇒元和5(1619)年8月4日備後福山10万石へ)
- 1615年9月13日-09:00|日本|兵庫県|元和1年7月21日|<拝領>摂津国川辺郡など1万石「池田重利」(⇒元和3(1617)年、播磨揖東郡鶴荘に転封)
- 1615年9月13日-09:00|日本|兵庫県尼崎市|元和1年7月21日|<拝領>摂津尼崎藩1万石「建部政長」(~元和3(1617)年9月11日播磨林田藩へ)
- 1615年9月15日-09:00|日本|岡山県岡山市|元和1年7月23日|<再興>備中足守藩2万5千石「木下利房」(~寛永14年6月21日(16370811)死去)
- 1615年9月15日-09:00|日本|奈良県宇陀市|元和1年7月23日|<拝領>大和宇陀松山5万石「織田信雄」織田信長の次男(⇒元和3(1617)年、四男「信良」に小幡藩3万石分与)
- 1615年9月16日-09:00|日本| ||元和1年7月24日|徳川家康、仏教の諸宗派の掟を定めた「諸宗寺院法度」を公布
- 1615年9月20日-09:00|日本|京都府京都市|元和1年7月28日|<就任>関白「二条昭実」(~元和5年7月14日)
- 1615年9月29日 05:00|イクトル/スペイン| |||<就任>スペイン領土総督・総司令官・大審問院長「アントニオ・デ・モルガ・サンチェス・カライ・イ・ロステ・ガルフイタス」(1625年~16270918投獄/~16360721没)
- 1615年10月1日-01:00|サマリノ| |||<就任>サマリノ共和国執政「オラツィオ・ベルツィ」「ファミオ・ジョニコ」
- 1615年10月2日-09:00|日本| ||元和1年8月10日|<加増>尾張名古屋藩53万石余「徳川義直」尾張/木曾山及び美濃の地3万石を加封
- 1615年10月4日-09:00|日本|大阪府摂津市|元和1年8月12日|<分与>摂津味舌藩3万石「織田長益」四男「長政」に大和戒重藩1万石、五男「尚長」に大和柳本藩1万石⇒1万石(自分の養老領とした~元和7年12月13日(16220124)死去 廃藩)
- 1615年10月4日-09:00|日本|奈良県桜井市|元和1年8月12日|<拝領>大和戒重藩1万石「織田長政」織田長益四男(⇒万治2(1659)年12月23日隠居)
- 1615年10月4日-09:00|日本|奈良県天理市|元和1年8月12日|<拝領>大和柳本藩1万石「織田尚長」織田長益五男(⇒寛永14(1637)年11月3日死去)
- 1615年10月16日-09:00|日本|福岡県福岡市|元和1年8月24日|<死去>島井宗室、博多の豪商・茶人(生年1539年)
- 1615年10月31日-01:00|イタリア| |||<死去>ヴェネツィア共和国第91代ドージェ(元首)「マルカントニオ・メンモ」
- 1615年11月22日-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア総督「アレクサンドル・モキウ」(~16160724)
- 1615年12月 00:00|イギリス| |||<死去>初代キング・ホン伯「パトリック・ライオン」
- 1615年12月 00:00|イギリス| |||<就任>2代キング・ホン伯「ジョン・ライオン」先代の息子(~16460512死去)
- 1615年12月2日-01:00|イタリア| |||<就任>ヴェネツィア共和国第92代ドージェ(元首)「ジョヴァンニ・ベッポ」(~16180316死去)
- 1615年12月6日-09:00|日本|愛知県豊田市|元和1年10月16日|<死去>三河拳母藩1万石(桜城)「三宅康貞」⇒長男の「三宅康信」が継ぐ(~元和5(1619)年9月29日伊勢亀山1万石へ)
- 1615年12月6日-09:00|日本|大分県大分市|元和1年10月16日|<死去>豊後府内藩2万石「竹中重利」⇒長男「竹中重義」が嗣ぐ(~寛永11(1634)年2月22日長崎奉行在任中の奸曲を問われて所領収公、切腹)
- 1615年12月7日-08:00|インドネシア/オランダ| |||<死去>オランダ 領東インド 総督「Gerard Reynst」
- 1615年12月18日 05:00|ベルギー/スペイン| |||<就任>ベルギー副王「エスクイリッシュ公フランシスコ・デ・ホルハイ・アラゴン」(~16211231)
- 1615年12月21日-09:00|日本|茨城県下妻市|元和1年11月|<加増移封>上総姉崎藩1万石「松平忠昌」結城秀康の次男⇒常陸下妻藩3万石(⇒元和2(1616)年7月25日、信濃国松代藩12万石へ)
- 1616年-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>アンボン島オランダ 総督「Steven van der Hagen」(~1618年)
- 1616年-08:00|インドネシア/イギリス| |||<就任>イギリス東インド 会社バンナム主管「ジョージ・Berkeley」(~1617年死去)
- 1616年-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>モルッカ諸島オランダ 総督「Frederik Houtman」(~1623年)
- 1616年-08:00|マレーシア| |||<即位>クランタン・スルタン国スルタン「スルタン・アブドゥル・カデイル・イブニ・アル・マフム・スルタン・サミール・ウッティン」(~1637年)

1620迄 (2404件)

- 1616年-08:00|マレーシア| |||<即位>パタニ王国国王「ラジャ・ビル(青の女王)」(~1624年死去)
- 1616年-08:00|インドネシア/オランダ| |||オランダがバタヴィアに、東インド会社の植民地経営の拠点を建設
- 1616年-08:00|フィリピン/オランダ| |||オランダがフィリピンを攻撃(3次)
- 1616年-07:00|タイ| |||<即位>パタニ女王「ラジャ・ビル(青の女王)」(~1624年)
- 1616年-05:30|インド/オランダ| |||<就任>オランダ領インド総督「ハンス・デ・ヘイス」(1回目~同年)⇒「サミュエル・キント」(~1617年)
- 1616年-05:30|スリランカ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領セイロン総督「ヌノ・アルヴァレス・ペレイラ」(~1618年)
- 1616年-05:30|インド| |||ウイジャヤナガル朝の内戦が決着
- 1616年-05:30|インド/オランダ| |||オランダがインドのスマタに商館を開設
- 1616年-04:00|ロシア| |||<即位>シビル・ハン「イシュムハマト」(~1624年没)
- 1616年-04:00|アゼルバイジャン/イラン| |||ツァフルはペルシャの臣下(~1711年)
- 1616年-03:00|イェメン/トルコ| |||<就任>オスマン帝国サナ総督「Mehmed Pasha」(~1622年)
- 1616年-03:00|スーダン| |||<即位>フツン王国スルタン「Rabat1世」(~1644年)
- 1616年-02:00|ギリシャ/イタリヤ| |||<就任>ヴェネツィアのカンテリア公「カルロ・ベレニョ」(~1617年)
- 1616年-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>モザンビーク、ソファラ、リオス・テ・クアマ、モノモバ 総司令官代行「サルバドール・ウアズ・ケラ」(~1617年)
- 1616年-02:00|ギリシャ/トルコ| |||<即位>ナクス公「カスパー・ケラツィアーニ」ハロス伯爵、オスマン帝国が任命(~1620年没)
- 1616年-02:00|モザンビーク/ザンベア/ジンバブエ/ポルトガル| |||ポルトガル人がザンベジ川上流を探検
- 1616年-01:00|フランス| |||<死去>リネー伯「Henry3世」
- 1616年-01:00|アルジェリア/トルコ| |||<就任>アルジェのパシャ「ケセ・ムスタファ3世パシャ」(3回目~同年)⇒「スレイマン・カチヤ」(~1617年1月)
- 1616年-01:00|フランス| |||<就任>リネー伯「Margaret-Charlotte」Henry3世のまた従妹(~1680年死去)
- 1616年-01:00|アンゴラ| |||<設立>カナンジのルバ国(ガニエ)
- 1616年-01:00|デンマーク| |||クリスチャン4世、デンマーク東インド会社設立
- 1616年 00:00|サントメ・プリンシパル/ポルトガル| |||<就任>サントメ植民地総督「Miguel Correia Baharem」(~1620年死去)
- 1616年 00:00|カナ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル・ゴールド・コースト長官「マヌエル・ダ・ケニヤ・デ・テイグエ」(~1624年)
- 1616年 03:00|ブラジル/ポルトガル| |||フランス・コステ・カルティエ、ガスパール・デ・ソウザ 総督の命を受け、セアラからマラニオンに進出。サルト・マラニオンのフランス人を駆逐。さらにアマゾン河口にハラ要塞(現ペレ)を建築。原住民とフランス人・イギリス人植民者を駆逐
- 1616年 04:00|ガイアナ/オランダ| |||オランダ、ガイアナのデメラエセキ植民地を建設
- 1616年 04:00|ガイアナ/フランス| |||フランス人はアマゾン河北岸(現仏領ギアナ)に入植
- 1616年 05:00|パナマ/スペイン| |||<就任>パナマ大審問院総督・長官「ディエゴ・フェリナンデス・デ・ベラスコ」(~1619年没)
- 1616年 06:00|アメリカ| |||ニューイングランドで伝染病が蔓延し、インディアンが多量死
- 1616年 07:00|メキシコ| |||メキシコ南部地方でサポテカ族の反乱起こる
- 1616年1月-01:00|ポズニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ポズニア総督「イスケンデル・パシャ」(2回目~1618年2月)
- 1616年1月8日-09:00|日本|岐阜県揖斐郡揖斐川町|元和1年11月19日|<死去>美濃揖斐藩3万石「西尾光教」⇒甥の「西尾嘉教」が継ぐ(5千石を弟「氏教」に分知し2万5千石⇒元和9(1623)年4月2日死去無嗣改易)
- 1616年1月18日-01:00|ドイツ| |||<死去>アレンベルク侯「カール」
- 1616年1月18日-01:00|ドイツ| |||<就任>アレンベルク侯「フィリップ・カール」(~16400925死去)
- 1616年1月19日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|元和1年12月|<加増>大和小泉藩15020石「片桐貞隆」⇒16400石(寛永4年10月1日(16271108)死去)
- 1616年1月19日-09:00|日本|群馬県館林市|元和1年12月1日|<移封>遠江横須賀藩6万石「(松平)大須賀忠次」廃藩⇒上野館林藩10万石(榊原康勝の遺領を相続⇒寛永20(1643)年7月、陸奥白河14万石へ)
- 1616年1月26日-01:00|オランダ/チリ| |||オランダ人スハウテンがヨーロッパ人で最初にホーン岬を回航
- 1616年1月30日-01:00|フランス| |||大洪水で、パリの「シテ島」に架かる5つの橋のうち、木造の「ポン・ト・ジャンジュ」と「ポン・サン・ミッシェル」が流出/石橋の「ポンヌフ」(1,6区)は無事だった
- 1616年2月11日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド副卿代行判事「ダブリン大司教トマス・ジョンズ」「ジョン・デナム卿」(~8.30)
- 1616年2月13日-09:00|日本|茨城県結城市|元和1年12月26日|<拝領>下総山川藩35000石「水野忠元」(⇒元和6年10月6日(16201031)死去)
- 1616年2月13日-09:00|日本|群馬県高崎市|元和1年12月26日|<加増移封>常陸笠間藩3万石「(松平)戸田康長」⇒上野高崎藩5万石(~元和3(1617)年3月7日信濃松本7万石へ)
- 1616年2月13日-09:00|日本|埼玉県川口市|元和1年12月26日|<加増>鳩ヶ谷藩15000石「阿部正次」+下野国内7000石⇒22000石(⇒元和3(1617)年9月上総大多喜3万石)
- 1616年2月13日-09:00|日本|長崎県南島原市|元和1年12月26日|<加増移封>大和五条藩10307石「松倉重政」⇒肥前日野江藩43000石(⇒寛永元(1624)年、島原城完成移転)
- 1616年2月17日-09:00|日本|愛知県新城市|元和2年|<加増>三河新城藩1万3千石「水野分長」+近江国栗太郡内2000石⇒15000石(⇒元和6(1620)年4月隠居)
- 1616年2月17日-09:00|日本|大分県玖珠郡玖珠町|元和2年|<改名>豊後森藩14000石「来島通春」⇒「久留島通春」姓を久留島と改める(⇒承応4年2月11日(16550318)死去)
- 1616年2月17日-09:00|日本|大阪府大阪市東淀川区|元和2年|<移封>伊勢田丸藩45700石「稲葉紀通」⇒摂津中島藩45700石(⇒寛永1(1624)年9月丹波福知山45700石へ)
- 1616年2月17日-09:00|日本|群馬県渋川市|元和2年|<加増移封>武蔵原市藩12000石「西尾忠永」(酒井重忠の三男)

1620迄 (2404件)

⇒上野白井藩2万石(⇒元和4(1618)年常陸土浦藩2万石へ)

- 1616年2月17日-09:00|日本|群馬県沼田市|元和2年|〈交替〉沼田藩主「真田信之」信濃国上田城に移る⇒沼田藩3万石「真田信吉」(嫡子)が襲封
- 1616年2月17日-09:00|日本|佐賀県西松浦郡有田町|元和2年|李参平(金ヶ江三兵衛)が泉山陶石を発見(有田焼)/佐賀県
- 1616年2月17日-09:00|日本|和歌山県和歌山市|元和2年1月|徳川家康三女振姫が、紀伊国和歌山藩主「浅野長晟」に再嫁)
- 1616年2月17日-08:00|中国| ||金・天命1年1月1日|〈即位〉晋(後金)皇帝「ヌルハチ」女真族を統一しアトラで(~16260930没)天命と改元
- 1616年3月31日-01:00|デナムク/トイ | ||〈死去〉シュレスウイヒ公「ヨハン・アドルフ」
- 1616年3月31日-01:00|デナムク/トイ | ||〈即位〉シュレスウイヒ公「フレデリク3世」(~16590810死去)
- 1616年4月1日-01:00|サンマリノ | ||〈就任〉サンマリノ共和国執政「ピエール・フランチェスコ・ホネッティ」「フランチェスコ・ホネッリ」
- 1616年4月16日-09:00|日本|岡山県津山市|元和2年3月|森忠政が津山城完成/岡山県
- 1616年4月16日-08:00|中国| ||明・万曆44年3月|江蘇華亭県で民衆暴動がおこる
- 1616年4月19日-08:00|フィリピン/スペイン | ||〈死去〉スペイン領フィリピン諸島総督「フアン・デ・シムバ」
- 1616年4月19日-08:00|フィリピン/スペイン | ||〈就任〉スペイン領フィリピン諸島総督「Andres Alcaraz」(~16180703)
- 1616年4月23日-01:00|スペイン | ||〈死去〉ミゲル・デ・セルバンテス、スペインの作家(68歳、15471009生)「ドン・キコッテ」の作者
- 1616年4月25日-09:00|日本| ||元和2年3月10日|幕府が錢通用規則を出す
- 1616年4月28日-12:00|ウリス・フツナ/オランダ | ||オランダ人がウィルム・スコテンとヤコブ・ルメルの下で発見したフツナは、フツナ・ホールと名付けられた
- 1616年5月 04:00|ハムター/イギリス | ||〈就任〉イギリス領ハムター総督「Capt. タニエル・タッカー」(~1618年)
- 1616年5月3日-01:00|フランス | ||コンテ親王(アンリ2世・ド・ブルボンコンテ)に指揮された貴族の反乱がルーダンの和約によって終結
- 1616年5月3日 00:00|イギリス | ||ユリウス暦4月23日|〈死去〉ウィリアム・シェイクスピア、イギリスの劇作家、詩人(52歳、15640423生)
- 1616年5月8日 00:00|イギリス | ||〈死去〉シュルズベリー伯・ウォーターワード伯「キルバート・タホット」
- 1616年5月8日 00:00|イギリス | ||〈就任〉シュルズベリー伯・ウォーターワード伯「エドワード・タホット」先代の弟(~16170208死去)
- 1616年5月9日-13:00|トonga/オランダ | ||オランダのウィルム・ショーテンとヤコブ・ルメルによってトongaが発見された
- 1616年5月14日-02:00|ラトビア | ||〈就任〉ケルラント公国摂政「セシガリア公フリードリヒ」
- 1616年5月16日-09:00|日本|静岡県富士市|元和2年4月|日昌駿河根方境村に妙光寺を創す
- 1616年5月16日-09:00|日本|長野県上田市|元和2年4月|〈藩庁移転〉沼田藩95000石「真田信之」⇒信濃上田藩95000石(⇒元和8(1622)年10月、信濃松代13万石に加増移封)
- 1616年5月18日-09:00|日本|愛知県刈谷市|元和2年4月3日|〈加増移封〉上野小幡藩1万石「水野忠清」⇒三河刈谷藩2万石(~寛永9(1632)年8月11日三河吉田藩4万石へ)
- 1616年6月1日-09:00|日本|静岡県静岡市駿河区|元和2年4月17日|〈死去〉徳川家康が駿府城で(75歳、天文11(1542)1226生)江戸幕府の初代征夷大将軍/駿府久能山に葬られる
- 1616年6月1日-09:00|日本|東京都千代田区|元和2年4月17日|〈解任〉老中「安藤直次」
- 1616年6月1日-09:00|日本|東京都千代田区|元和2年4月17日|〈解任〉老中「成瀬正成」
- 1616年6月14日-09:00|日本|栃木県小山市|元和2年5月|〈加増〉下野小山3万3千石「本多正純」+2万石⇒5万3千石(⇒元和5(1619)年10月下野宇都宮15万5千石へ)
- 1616年6月15日 04:30|ベネチア/スペイン | ||〈就任〉スペイン領ベネチア総督「Francisco de la Hoz Berrio y Oruna」(~16210714)
- 1616年6月18日-09:00|日本|京都府京都市|元和2年5月5日|京都・東河原で石合戦があり、死傷者を出す/民衆の幕府への反発の現れとも言われる
- 1616年6月19日-08:00|インドネシア/オランダ | ||〈就任〉オランダ領東インド総督「Laurens Reael」(~16190321)
- 1616年6月19日-09:00|日本|福井県大野市|元和2年5月6日|〈分封〉越前木本藩1万石「松平直政」兄の福井藩松平忠直より分知(⇒元和5(1619)年12月上総姉崎藩2万石)
- 1616年6月21日-09:00|日本|静岡県下田市|元和2年5月8日|幕府が下田港の守護と諸船出入りの監督のため下田奉行を置く
- 1616年6月24日-09:00|日本| ||元和2年5月11日|幕府が悪銭の使用と撰銭を禁止し、金1分=銭1貫文の取り引き厳守を命じる
- 1616年7月12日-09:00|日本|東京都千代田区|元和2年5月29日|〈就任〉老中「酒井忠利」(~寛永4年11月14日)
- 1616年7月12日-09:00|日本|東京都千代田区|元和2年5月29日|〈就任〉老中「青山忠俊」(~寛永12年12月)
- 1616年7月12日-09:00|日本|東京都千代田区|元和2年5月29日|〈就任〉老中「内藤清次」(~元和3年7月1日)
- 1616年7月13日-09:00|日本|栃木県大田原市|元和2年5月30日|〈死去〉下野黒羽2万石「大関政増」⇒長男の「大関高増」が継ぐ(~正保3年8月21日(16460930)死去)
- 1616年7月14日-09:00|日本| ||元和2年6月|幕府が軍役制を改定(元和軍役令)所領石高に応じた軍役
- 1616年7月14日-09:00|日本|静岡県静岡市|元和2年6月|幕府が駿府町奉行を廃止
- 1616年7月20日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|元和2年6月7日|〈死去廃藩〉相模玉縄藩2万2千石「本多正信」(79, 家康の側近, 老中)
- 1616年7月20日-09:00|日本|東京都千代田区|元和2年6月7日|〈就任〉老中「本多正純」(~1622年10月1日)
- 1616年7月24日-02:00|ルーマニア | ||〈就任〉モルダヴィア総督「ラドゥ・ミネア」(1回目~16190210)

1620迄 (2404件)

- 1616年7月26日-09:00|日本|兵庫県姫路市|元和2年6月13日|<死去>播磨姫路藩42万石「池田利隆」⇒長男「池田光政」が継ぐ(〜元和3(1617)年3月6日因幡鳥取32万5千石へ減移封)
- 1616年7月29日-01:00|デンマーク| ||<死去>デンマーク王国執事代行「クリスチャン・フリス・ティル・ホレ」
- 1616年7月29日-08:00|中国| ||明・万曆44年6月16日|<死去>湯顯祖、中国の劇作家(生年1550年)
- 1616年8月8日-09:00|日本|茨城県つくば市|元和2年6月26日|<加増移封>下野茂木藩1万石「細川興元」⇒常陸谷田部藩16200石(〜元和5(1619)年3月18日死去)
- 1616年8月13日-09:00|日本|愛知県名古屋市|元和2年7月|<移封>尾張清洲藩47万2344石「徳川義俊」⇒尾張名古屋藩(⇒元和5(1619)年5月16日、56万3206石まで加増)
- 1616年8月13日-09:00|日本|千葉県柏市|元和2年7月|<加増立藩>下総船戸8千石「本多正重」⇒1万石(⇒元和3(1617)年7月3日死去2千石減封となり旗本に降格)
- 1616年8月13日-09:00|日本|長野県下高井郡木島平村|元和2年7月|<再拝領>信濃中村藩1万石「岩城貞隆」佐竹義重の三男(⇒元和6年10月19日(16201113)死去)
- 1616年8月18日-09:00|日本|新潟県上越市|元和2年7月6日|<加増移封>上野大胡藩2万石「牧野忠成」⇒越後長峰藩5万石(⇒元和4(1618)年4月9日越後長岡藩6万石へ)
- 1616年8月18日-09:00|日本|新潟県上越市|元和2年7月6日|<改易>越後高田75万石「松平忠輝」(徳川家康6男)主従関係を犯した/伊勢に配流
- 1616年8月26日-09:00|日本|栃木県栃木市|元和2年7月14日|<改易>下野西方1万5000石「藤田信吉」(大坂の陣の不手際)
- 1616年8月30日 00:00|アイルランド/イギリス| ||<就任>アイルランド 副卿「オリバー・セント・ジョン卿」(〜16220504)
- 1616年8月31日-09:00|日本|山口県岩国市|元和2年7月19日|周防岩国藩37129石「吉川広正」毛利輝元の長女「竹姫」を正室に迎えた(⇒寛永11(1634)年、公称6万石)
- 1616年9月-02:00|ルーマニア| ||<就任>ワキア総督・領主「アレクサンドル4世イリアス」(1回目〜16180527)
- 1616年9月1日-01:00|フランス| ||反乱を起こしたコンテ公が逮捕されてバスチュに投獄される
- 1616年9月1日-09:00|日本|島根県鹿足郡津和野町|元和2年7月20日|<加増>石見津和野藩3万石「坂崎直盛」⇒4万3468石(大坂の陣で千姫救出に活躍⇒9月11日自害改易)
- 1616年9月6日-09:00|日本|茨城県下妻市|元和2年7月25日|<加増移封>下総山川藩15000石「(松平)久松定綱」⇒常陸下妻藩3万石(〜元和5(1619)年7月19日遠江掛川へ)
- 1616年9月6日-09:00|日本|長野県長野市|元和2年7月25日|<加増移封>常陸下妻藩3万石「松平忠昌」⇒信濃国松代藩12万石(⇒元和4(1618)年3月越後高田藩25万石へ)
- 1616年9月7日 05:00|キューバ/スペイン| ||<就任>スペイン植民地キューバ 総督・総司令官「サンチョ・デ・アルカ・ガソネ」(〜16190606没)
- 1616年9月9日-09:00|日本|宮城県仙台市|元和2年7月28日|仙台で大地震。城壁楼櫓悉く倒壊
- 1616年9月11日-09:00|日本| ||元和2年8月|幕府が関東諸関所・渡場条目を制定
- 1616年9月11日-09:00|日本|群馬県伊勢崎市|元和2年8月|<加増>上野那波藩20000石「酒井忠世」+上野国勢多郡大胡・佐位郡伊勢崎3万2千石(⇒翌年7月、父遺領厩橋3万3千石を継ぎそれまでの領地と併せて8万5千石)
- 1616年9月11日-09:00|日本|新潟県柏崎市|元和2年8月|<加増移封>上野伊勢崎藩1万石「稲垣重綱」⇒越後藤井藩2万石(⇒元和6(1620)年3000石加増のうえ越後三条城に居城を移した)
- 1616年9月12日-09:00|日本|新潟県三条市|元和2年8月2日|<加増移封>伯耆八橋藩21300石「市橋長勝」⇒越後三条藩41300石(〜元和6年3月17日(16200419)病死)
- 1616年9月16日 00:00|イギリス| ||<就任>初代ロバート伯「ロバート・カー」(〜16500118死去)
- 1616年9月18日-09:00|日本| ||元和2年8月8日|幕府が耶蘇教を禁じ、明船を除く外国船の長崎・平戸以外の寄港を禁ず
- 1616年9月18日-09:00|日本|長崎県大村市|元和2年8月8日|<死去>肥前大村藩21427石「大村喜前」毒殺される⇒長男「大村純頼」が継ぐ(〜元和5年11月13日(16191218)死去)
- 1616年9月19日-09:00|日本|岐阜県大垣市|元和2年8月9日|<死去改易>美濃大垣新田藩1万石「大久保忠為」無嗣
- 1616年9月24日-09:00|日本|長野県下高井郡木島平村|元和2年8月14日|<再封>信濃中村藩(川中島藩)1万石「岩城貞隆」(⇒元和6年10月19日(16201113)死去)
- 1616年9月29日 00:00|イギリス| ||<死去>リンカーン伯「ヘンリー・クリントン」
- 1616年9月29日 00:00|イギリス| ||<就任>リンカーン伯「トマス・クリントン」(〜16190115死去)
- 1616年10月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「カミッロ・ボネリ」 「ベルツォ・ベルツィ」
- 1616年10月21日-09:00|日本|島根県鹿足郡津和野町|元和2年9月11日|<死去改易>石見津和野3万石「坂崎直盛」(宇喜多忠家長男)謀反、江戸藩邸にて自害、坂崎家が断絶
- 1616年10月23日-09:00|日本|山梨県甲府市|元和2年9月13日|<拝領>甲府藩23万8000石「徳川忠長」(⇒寛永元(1624)年7月、駿河・遠江加増し55万石⇒寛永9(1632)年10月20日、改易)
- 1616年11月5日-09:00|日本|大分県日田市|元和2年9月26日|<加増移封>美濃大垣藩5万石「石川忠総」⇒豊後日田藩(永山城)6万石(〜寛永10(1633)年6月7日、下総佐倉藩7万石へ加増移封)
- 1616年11月5日-09:00|日本|岐阜県大垣市|元和2年9月26日|<加増移封>下総関宿藩4万石「松平(久松)忠良」⇒美濃大垣藩5万石(⇒寛永元(1624)年5月18日、43歳で死去)
- 1616年11月5日-09:00|日本|三重県桑名市|元和2年9月26日|<結婚>伊勢桑名藩主「本多忠政」の嫡男「本多忠刻」が将軍「徳川秀忠」長女「千姫」と婚姻
- 1616年11月8日-01:00|ロシア| ||<死去>ゴロフチン「ペテロ・クツコフ」
- 1616年11月8日-01:00|ロシア| ||<就任>ゴロフチン代行「ペトル・ミトウイチ、ザグレバチ」(2度目)、「クリスト・ムニャウチ」

1620迄 (2404件)

チ・ブ・レ・ウ・ガ・チキ (2度目) (~1617年)

- 1616年11月8日-09:00 | 日本 | 島根県鹿足郡津和野町 | 元和2年9月29日 | <改易>石見津和野城主3万石「坂崎直盛」謀反自刃
- 1616年11月9日-09:00 | 日本 | 長野県飯山市 | 元和2年10月 | <加増移封>近江高島藩2万石「佐久間安政」⇒信濃国飯山藩3万石 (~寛永4年4月25日 (16270608) 死去)
- 1616年11月9日-09:00 | 日本 | 新潟県長岡市 | 元和2年10月 | <加増移封>信濃飯山藩5万石「堀直奇」⇒越後長岡藩8万石 (⇒元和4 (1618) 年越後村上藩10万石へ加増移封)
- 1616年11月12日-09:00 | 日本 | | 元和2年10月3日 | 幕府が煙草の栽培を禁ず
- 1616年11月17日-02:00 | トルコ | | <就任>オスマン帝国大宰相「ダマト・ハルハ・パシャ」 (1回目 ~16190118)
- 1616年11月20日-09:00 | 日本 | 北海道 | 元和2年10月12日 | <死去>蝦夷松前 (無高) 「松前慶広」⇒孫「松前公広」が継ぐ (⇒寛永18 (1641) 年7月8日 死去)
- 1616年11月22日-09:00 | 日本 | | 元和2年10月14日 | 幕府が人身売買を禁止
- 1616年11月23日-09:00 | 日本 | 新潟県上越市 | 元和2年10月15日 | <加増移封>上野高崎藩5万石「酒井家次」⇒越後高田藩10万石 (⇒元和4年3月15日 (16180410) 死去)
- 1616年12月1日-01:00 | デンマーク | | <就任>デンマーク王国執事代行「クリスチャン・フリス・ティル・クラゲラップ」 (1回目 ~16320405)
- 1616年12月3日-01:00 | ハンガリー/トルコ | | <就任>ブダペストのベイルベイ「ソフ・メフメト・パシャ」 (1回目 ~1617年6月)
- 1616年12月3日-09:00 | 日本 | 千葉県銚子市 | 元和2年10月25日 | 銚子沖で突風により漁民千人以上が遭難
- 1616年12月9日-09:00 | 日本 | | 元和2年11月 | 幕府、伝馬及び荷物駄賃の規則を制定
- 1616年12月22日 00:00 | モロッコ | | <就任>タンジール暫定首長「アントン・デ・イラス・ダ・フランカ」 (1回目 ~16170701)
- 1616年12月23日-08:00 | インドネシア/イギリス | | <就任>バタビア諸島司令官「Nathaniel Courthope」 (~16201020 死去)
- 1616年12月23日-08:00 | インドネシア/イギリス | | イギリスはランのバタビア島を占領
- 1616年12月24日-01:00 | ハンガリー | | <死去>ハンガリー王国パタイン「ジェルジ・ゲロフ・トルグ・ベスレンファルグイ」
- 1616年12月24日-01:00 | ハンガリー | | <就任>ハンガリー王国パタイン代行「ジゲモン・バロ・フォルガチ・ギムシ」 (2回目 ⇒16180511、パタイン ~16210630)
- 1617年-08:00 | インドネシア/イギリス | | <死去>イギリス東インド会社バタビア主管「ジョージ・Berkeley」
- 1617年-08:00 | インドネシア/スペイン | | <就任>モルッカ諸島スペイン総督「ルカス・de Vergara Gaviria」 (2回目 ~1620年)
- 1617年-05:30 | スリランカ | | <死去>ジャファ王国国王「Ethirimana Cinkam」
- 1617年-05:30 | インドネシア/オランダ | | <就任>オランダ領インド総督「アドム・トマセン」 (~1619年)
- 1617年-05:30 | インド | | <即位>ウジャヤナガル王国 (アラウンディ朝) 国王「ラマ・デーヴァ・ラーヤ」 (~1630年)
- 1617年-05:30 | スリランカ | | <即位>ジャファ王国国王「Cankili II」 (~1619年 死去)
- 1617年-02:00 | キリシヤ/イタリヤ | | <就任>ウエツィアのカンテア公「ドナート・モシーニ」 (~1619年)
- 1617年-02:00 | ラトビア | | <就任>ケルラント・ゼムガレン公国政府議長「マティアス・フォン・デア・レック」 (~1638年 没)
- 1617年-02:00 | エストニア/スウェーデン | | <就任>スウェーデン・エストニア総督「アンダー・ス・エリクソン・ヘスツグーード」 (~1619年)
- 1617年-02:00 | シリア・アラブ/トルコ | | <就任>ダマスカス・ワリス (総督) 「Damad Ahmed Pasha」 (~1618年)
- 1617年-02:00 | キリシヤ/トルコ | | オスマン帝国に占領される
- 1617年-01:00 | ポーランド | | <就任>オレシツァ公「インジフ・ウァーツワス、カレル・ベシツァ」共同統治 (~1639年)
- 1617年-01:00 | クロアチヤ | | <就任>クロアチヤ・ハンニコロ・ゲロフ・フランコパン・トルジヤチュキ (=マイクロシュ・フランゲパン9世) (~1622年7月)
- 1617年-01:00 | スペイン | | <就任>スペイン領メロ総督「Gaspar de Mondragon」 (~1618年)
- 1617年-01:00 | フランス | | <即位>ウエルトンベルク=メンベルグ公「ルートヴィヒ・フリードリヒ」フリードリヒ1世の次男、ウエルトンベルク公ヨハン・フリードリヒの弟 (~16310126 死去)
- 1617年-01:00 | オランダ/フィリピン | | オランダがフィリピンを攻撃 (4次)
- 1617年-01:00 | オランダ/オーストラリア | | オランダ人がオーストラリア西海岸を探検
- 1617年 00:00 | カナダ/オランダ | | <就任>オランダ領ゴールドコースト将軍「ジヤコブ・アトリアエンズ・ファン・クランティウス」 (2回目 ~1620年)
- 1617年 00:00 | セネガル/オランダ | | <設立>オランダ植民地ゲデ・リート (~16630123)
- 1617年 06:00 | ホンジュラス/スペイン | | <就任>コマケア県総督「ファン・ロハト」 (~1620年)
- 1617年1月-01:00 | アルジェリア/トルコ | | <就任>アルジェのパシャ「シイク・フセイン・パシャ」 (2回目 ~1619年)
- 1617年1月1日 03:00 | ブラジル/ポルトガル | | <就任>ポルトガル領ブラジル総督「フラド 伯爵ルイ・オブ・スザ」 (~16211012)
- 1617年1月1日-01:00 | オランダ | | <死去>ヘンドリック・ホルツィウス、オランダの画家・版画家 (生年1558年)
- 1617年1月8日-09:00 | 日本 | 静岡県静岡市駿河区 | 元和2年12月 | <創建>久能山東照宮 (静岡市駿河区根古屋390) 徳川秀忠
- 1617年1月25日-09:00 | 日本 | 栃木県那須烏山市 | 元和2年12月18日 | <死去>下野烏山藩37000石「成田泰親」⇒次男「成田泰之」が継ぐ (嗣幼、2万7000石減封し1万石⇒元和8年11月7日 (16221209) 死去無嗣断絶)
- 1617年2月2日-09:00 | 日本 | 群馬県富岡市 | 元和2年12月26日 | <拝領>上野七日市藩1万石「前田利孝」 (⇒寛永14 (1637) 年6月4日、死去)
- 1617年2月3日 03:00 | ブラジル | | マテヨンのトゥピ・パナ系ケチ族、奴隷化は必至と見て反乱。トゥピ族の砦を襲撃。白人30人を殺害。Mathias de Albuquerque (知事の息子)、50人の兵士と先住民兵200を率い、ケチ族をジャングルに追い込む
- 1617年2月6日-09:00 | 日本 | 愛知県犬山市 | 元和3年 | <移封>下総栗原藩34000石「成瀬正成」⇒尾張犬山藩3万石 (徳川義直の附家老⇒寛永2年1月17日 (16250223) 死去)
- 1617年2月6日-09:00 | 日本 | 愛媛県大洲市 | 元和3年 | 大洲藩主加藤貞泰、菩提寺指月山曹溪院を伯耆国米子より大洲に移す

1620迄 (2404件)

- 1617年2月6日-09:00|日本|岐阜県|元和3年|<拝領>美濃国内10111石「長谷川守知」(~寛永9年11月26日(16330106) 64歳で死去、嫡男「正尚」が違領を継ぐが、弟「守勝」に3千石分与し旗本に降格)
- 1617年2月6日-09:00|日本|岐阜県海津市|元和3年|<加増>美濃高須藩5万673石「徳永昌重」開墾地と併せ⇒5万3700石(⇒寛永5(1628)年2月28日所領没収・改易)
- 1617年2月6日-09:00|日本|滋賀県彦根市|元和3年|<加増>近江彦根藩20万石「井伊直孝」+5万石⇒25万石(⇒寛永10(1633)年5万石加増し30万石)
- 1617年2月6日-09:00|日本|千葉県船橋市|元和3年|<拝領>下総栗原藩15000石「成瀬之成」(父「成瀬正成」より14000石分与⇒後16000石⇒寛永11年10月28日(16341218)死去)
- 1617年2月6日-09:00|日本|東京都中央区|元和3年|准如が本願寺築地別院(築地本願寺)創建/東京都
- 1617年2月7日 03:00|ブラジル| |||ハラ州々で奴隷狩りに反抗するトゥピ族の反乱が発生
- 1617年2月8日 00:00|イギリス| |||<死去>シュルースベリ伯・ウオターウオード伯「エドワード・タルボット」
- 1617年2月8日 00:00|イギリス| |||<就任>シュルースベリ伯・ウオターウオード伯「ジョージ・タルボット」先代の四従弟(~16300402 死去)
- 1617年2月27日-02:00|フィンランド| |||カリヤがフィンランドに加わる
- 1617年3月-08:00|インドネシア/イギリス| |||<就任>バンタム大統領「ジョージ・Ball」(~16181119)
- 1617年3月2日-09:00|日本|京都府京都市上京区|元和3年1月25日|京都長者町失火、さらに仙洞の石風呂からも失火
- 1617年3月8日-09:00|日本|岡山県高梁市|元和3年2月|<加増移封>因幡鳥取藩6万石「池田長幸」⇒備中松山藩65000石(⇒寛永9(1632)年4月7日、46歳で死去)
- 1617年3月9日-01:00|スウェーデン/ロシア| |||ロシア暦2月27日|スウェーデンで、ロシアがスウェーデンと和議を結び、戦争(イングリッシュ戦争)を終わらせた/スウェーデンは占領していたノヴゴロドをロシアに返還/スウェーデンは王弟カール・フィリップのツァーリ継承を放棄/スウェーデンはインゲルマンラント(イングリッシュ)及び西カリヤ、ロシアは東カリヤを獲得する(カリヤの分割)
- 1617年3月9日 04:00|オランダ/イギリス| |||<死去>オランダ総督「フアン・デ・リベラ・デ・パレラ」
- 1617年3月9日 04:00|オランダ/イギリス| |||<就任>オランダ総督「フェルディナント・タララノ・ガジエス」(~1618年1月)
- 1617年3月27日-01:00|ポランド/トイ| |||<死去>ポランド=シテツェイン=リューゲンヴァルデ公「ケオルク2世」
- 1617年3月28日-09:00|日本|東京都港区|元和3年2月21日|芝東照宮建立(東京都)徳川家康に東照大権現の称号が贈られる
- 1617年3月31日 00:00|イギリス/アメリカ| |||ユリウス暦:1617/3/21|ポランド(レバッカ)がイギリスで没(誕生:1595頃)アメリカインディアンの王女だったが、ジョン・ロフと結婚した
- 1617年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「アンバレ・ベルツィ」
- 1617年4月11日-01:00|アンゴラ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル王領西アフリカ総督「アントニオ・コソサルヴェス・ピタ」(~11月)
- 1617年4月11日-09:00|日本|鳥取県倉吉市|元和3年3月6日|<改易>伯耆倉吉藩3万石「里見忠義」
- 1617年4月11日-09:00|日本|鳥取県鳥取市|元和3年3月6日|<減移封>播磨姫路藩42万石「池田光政」⇒因幡鳥取藩32万5千石(幼少のため⇒寛永9(1632)年6月備前岡山藩31万5千石)
- 1617年4月11日-09:00|日本|山形県山形市|元和3年3月6日|<死去>出羽山形藩57万石「最上家親」⇒子の「最上義俊」が継ぐ(~元和8(1622)年8月21日改易、近江大森藩1万石へ)
- 1617年4月12日-09:00|日本|長野県松本市|元和3年3月7日|<加増移封>上野高崎藩5万石「松平(戸田)康長」⇒信濃松本藩7万石(⇒寛永9年12月12日(16330121)死去)
- 1617年4月20日-09:00|日本|栃木県日光市|元和3年3月15日|<竣工>日光東照宮
- 1617年4月24日-01:00|フランス/イタリア| |||フランス、ルイ13世と対立していた摂政マリー・ド・メディシスの寵臣、イタリア人コンチニガール宮で暗殺される/ルイ13世の母のマリー・ド・メディシスに追放となる
- 1617年4月25日-01:00|イタリア| |||<就任>ジェノヴァ共和国ドージェ「ジョヴァンニ・ジヤコモ」(~16190429)
- 1617年4月30日 00:00|イギリス/諸島/イギリス| |||<就任>イギリス王領ジャージー-島弁務官「Edward Conway卿」「William Bird」(~7月)
- 1617年5月1日-09:00|日本|大阪府大阪市|元和3年3月26日|<死去>末吉孫左衛門、大阪の豪商・朱印船貿易家(生年1570年)
- 1617年5月16日-01:00|チエコ| |||<即位>ホムニア王「フェルディナント2世」(~16190826退位)神聖ローマ皇帝
- 1617年5月16日-01:00|チエコ| |||<退位>ホムニア王「マティアス2世・ハプスブルグ」神聖ローマ皇帝
- 1617年5月27日 00:00|イギリス| |||<就任>初代ブリッヂウォーター伯「ジョン・エジャトン」(~16491204死去)
- 1617年6月1日-09:00|日本|山口県下松市|元和3年4月28日|<分封>周防下松藩3万石「毛利就隆」(後4万5千石⇒慶安3(1650)年6月10日周防徳山藩へ)
- 1617年6月3日-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<就任>プダのペイルベイ「ナクシュ・ハサン・パシャ」(~16180506)
- 1617年6月6日-01:00|オーストリア/スペイン| |||オーストリアとスペインのハプスブルグ家が、王位継承の相互条約を結ぶ
- 1617年6月9日-02:00|トルコ| |||イスタンブールで、建築家アフメト・アーによるスルタン・アフメト・ジヤミー(ブルー・モスク)が完成し、落成式が行われる
- 1617年6月20日-05:30|インド| |||<死去>マイソール王国(チヤ朝)国王「ラージャ・チヤ1世」
- 1617年6月20日-05:30|インド| |||<即位>マイソール王国(チヤ朝)国王「チャマラージャ6世」ラージャ・チヤ1世の孫(~16370502 死去)
- 1617年6月20日-09:00|日本|静岡県静岡市|元和3年5月17日|久能山東照宮創建(静岡県)
- 1617年6月23日-09:00|日本| |||元和3年5月20日|幕府が諸駅の人馬宿賃を走める
- 1617年6月29日-01:00|チエコ| |||<即位>ホムニア王「フリートリヒ1世冬王」プファルツ選帝侯(1期目~16190819)
- 1617年7月1日 00:00|モロッコ| |||<就任>タンジール首長「ヒーター・マヌル」(~1621年)

1620迄 (2404件)

- 1617年7月1日 03:00|ブラジル | |||パラのトゥピナバ族も反乱。ペレの要塞を攻撃し白人14人を殺害。Diogo Botelhoはトゥピナバ族最大の集落グムを破壊。この戦いで指導者のグアイマバが戦死。残存勢力はアマ川流域で再編成される
- 1617年7月3日-09:00|日本|兵庫県揖保郡太子町|元和3年6月|<移封>摂津国内1万石「池田重利(頼広)」(下間頼竜の嫡子)⇒播磨鶴藩1万石(⇒寛永3(1626)年、陣屋を設置、播磨新宮藩1万石立藩)
- 1617年7月13日-01:00|ポ-ランド | |||<死去>チェシ公「アダム・グアツワ」
- 1617年7月13日-01:00|ポ-ランド | |||<就任>チェシ公「フリデリク・ヴァイルム」(~16250819死去)
- 1617年7月19日-09:00|日本|長野県須坂市|元和3年6月17日|<死去>信濃須坂藩12053石「堀直重」⇒長男「堀直升」が継ぐ(下総国香取郡矢作2000石のうち次弟の堀直昭に1000石、三弟の直久と末弟の直秀に500石ずつを分知し10053石⇒寛永14年3月17日(16370412)死去)
- 1617年8月2日-09:00|日本|岡山県高梁市|元和3年7月|<加増転封>因幡若桜22900石「山崎家治」以後鳥取藩領⇒備中国成羽藩3万5000石(~寛永15(1638)年4月15日肥後富岡4万石へ)
- 1617年8月2日-09:00|日本|東京都千代田区|元和3年7月1日|<死去>常陸・下総・上総・相模国内2万6000石「内藤清次」老中⇒次弟の「内藤清政」が家督を継ぐ(⇒元和8(1622)年9月、安房勝山藩3万石に加増移封)
- 1617年8月4日-09:00|日本|千葉県柏市|元和3年7月3日|<改易>下総船戸藩1万石「本多正重」嗣幼、2000石減封旗本に降格
- 1617年8月15日-09:00|日本|大阪府高槻市|元和3年7月14日|<加増移封>下総相馬郡守谷1万石「土岐定義」⇒摂津高槻2万石(~元和5年1月8日(16190222)死去)
- 1617年8月15日-09:00|日本|京都府京都市伏見区|元和3年7月14日|<加増移封>摂津高槻藩4万石「内藤信正」⇒伏見城代(摂津国内)5万石(⇒元和5(1619)年7月19日大坂城代)
- 1617年8月15日-09:00|日本|静岡県掛川市|元和3年7月14日|<所領返上>遠江掛川藩3万石「松平(久松)定行」(伊勢桑名藩「松平定勝」の世子になり幕府に還付⇒寛永元年3月14日(16240501)伊勢桑名藩11万石を継ぐ)
- 1617年8月15日-09:00|日本|兵庫県姫路市|元和3年7月14日|<加増移封>伊勢桑名藩10万石「本多忠政」⇒播磨姫路藩15万石(⇒寛永8(1631)年8月10日死去)
- 1617年8月15日-09:00|日本|兵庫県姫路市|元和3年7月14日|<拝領>播磨姫路新田藩10万石「本多忠刻」千姫との婚姻に際し化粧料(⇒5月7日(16260630)結核のため死去無嗣断絶)
- 1617年8月15日-09:00|日本|三重県桑名市|元和3年7月14日|<加増移封>山城伏見藩5万石「松平(久松)定勝」⇒伊勢桑名藩11万7千石(⇒寛永元(1624)年3月14日死去)
- 1617年8月21日-09:00|日本|愛媛県大洲市|元和3年7月20日|<移封>伯耆米子藩6万石「加藤貞泰」⇒伊予大洲藩6万石(~元和9年5月22日(16230619)死去)
- 1617年8月21日-09:00|日本|群馬県高崎市|元和3年7月20日|<加増移封>常陸土浦藩35000石「松平(藤井)信吉」⇒上野高崎藩5万石(⇒元和5(1619)年7月19日丹波篠山5万石へ)
- 1617年8月21日-09:00|日本|島根県鹿足郡津和野町|元和3年7月20日|<移封>因幡鹿野藩43000石「亀井政矩」鳥取藩領に収公⇒石見津和野藩43468石(⇒元和5年8月15日(16190922)死去)
- 1617年8月21日-09:00|日本|長野県飯田市|元和3年7月20日|<加増移封>伊予大洲藩53500石「脇坂安元」⇒信濃飯田藩55000石(⇒承応2(1653)年12月3日死去)
- 1617年8月22日-09:00|日本| |||元和3年7月21日|幕府、寺社法度、転封(大名の異動)に関する法度制定
- 1617年8月22日-09:00|日本|群馬県伊勢崎市|元和3年7月21日|<加増>上野伊勢崎藩52000石「酒井忠世」上野厩橋藩に統合
- 1617年8月22日-09:00|日本|群馬県前橋市|元和3年7月21日|<死去>上野厩橋藩33000石「酒井重忠」⇒嫡男「酒井忠世」が継ぐ(それまでの領地52000石と併せて85000石⇒元和5(1619)年10月、上野国碓氷郡里見領1万石加増され95000石)
- 1617年8月22日-09:00|日本|東京都千代田区|元和3年7月21日|<就任>老中「酒井忠世」(~寛永11年閏7月21日)
- 1617年8月26日-09:00|日本|兵庫県尼崎市|元和3年7月25日|<加増移封>近江膳所藩3万石「松平(戸田)氏鉄」⇒摂津尼崎藩5万石(⇒寛永12(1635)年7月28日、美濃大垣10万石へ)
- 1617年8月26日-09:00|日本|兵庫県姫路市|元和3年7月25日|<移封>摂津尼崎藩1万石「建部政長」⇒播磨林田藩1万石(⇒寛文7(1667)年8月28日、隠居)
- 1617年8月29日-09:00|日本|長野県松本市|元和3年7月28日|<加増移封>上野高崎藩5万石「松平(戸田)康長」⇒信濃松本藩7万石(⇒寛永9年12月12日(16330121)死去)
- 1617年8月29日-09:00|日本|兵庫県明石市|元和3年7月28日|<加増移封>信濃松本藩8万石「小笠原忠真」⇒播磨明石藩10万石(⇒寛永9(1632)年10月11日豊前小倉15万石)
- 1617年9月6日-01:00|イタリヤ | |||ベネチアで一般平和に対する条約
- 1617年9月25日-09:00|日本|京都府京都市|元和3年8月26日|<死去>後陽成天皇(上皇)/47歳(誕生:元亀2(1571)12月15)107代天皇
- 1617年9月26日-01:00|イタリヤ/スペイン | |||ベネチア、パリ条約を確認するマドリッド条約
- 1617年9月27日-01:00|ポ-ランド/トルコ/リトアニア | |||オスマン朝がポ-ランド・リトアニア共和国と和平
- 1617年9月30日-09:00|日本|千葉県夷隅郡大多喜町|元和3年9月|<加増移封>武蔵鳩ヶ谷藩22000石「阿部正次」⇒上総大多喜藩3万石(⇒元和5(1619)年9月、相模小田原5万石)
- 1617年9月30日-09:00|日本|兵庫県たつの市|元和3年9月|<移封>上総大多喜藩5万石「本多政朝」⇒播磨龍野藩5万石(⇒寛永3(1626)年3月6日播磨姫路藩15万石)
- 1617年10月1日-01:00|サンマリノ | |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジオーアントレア・ベルツィ」[ラッタンツィオ・ヴァリ]
- 1617年10月12日-09:00|日本|京都府京都市左京区|元和3年9月13日|京都黒谷堂全焼

1620迄 (2404件)

- 1617年10月30日-09:00|日本|愛知県西尾市|元和3年10月|<加増移封>下総板橋藩1万石「松平成重」⇒三河西尾藩2万石(⇒元和7(1621)年7月丹波亀山藩22200石へ)
- 1617年10月30日-09:00|日本|愛媛県大洲市|元和3年10月|大洲藩主加藤貞泰、菩提寺指月山曹溪院を伯耆国米子より大洲に移す
- 1617年10月30日-09:00|日本|滋賀県大津市|元和3年10月|<加増移封>三河西尾藩2万石「本多康俊」⇒近江膳所藩3万石(⇒元和7(1621)年2月7日死去)
- 1617年10月30日-09:00|日本|三重県津市|元和3年10月1日|<加増>伊勢津藩27万石「藤堂高虎」+伊勢田丸城5万石+弟「正高」が下総国で拝領していた3000石編入⇒合計32万3千石(⇒寛永7(1630)年10月5日死去)
- 1617年10月31日-09:00|日本|長崎県長崎市|元和3年10月2日|神ノ島の沖合にある高銚島で宣教師をかくまうがスル上田彦次郎、アントレア吉田が処刑される
- 1617年11月-01:00|アソラ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル王領西アフリカ総督「ルイス・メンデス」(~1621年)
- 1617年11月11日-01:00|スペイン/イナ| |||ロリが第2回キア探検に出発
- 1617年11月13日-09:00|日本|茨城県笠間市|元和3年10月15日|<移封>上野小幡藩17000石「永井直勝」⇒常陸笠間藩32000石(後52000石⇒元和8(1622)年12月7日下総古河72000石)
- 1617年11月13日-09:00|日本|群馬県甘楽郡甘楽町|元和3年10月15日|<拝領>上野小幡藩2万石「織田信良」(大和宇陀松山藩「織田信雄」より分与⇒寛永3(1626)年5月17日死去)
- 1617年11月13日-09:00|日本|奈良県宇陀市|元和3年10月15日|<分与>大和宇陀松山5万石「織田信雄」四男「信良」に上野小幡藩2万石⇒3万石(⇒寛永7(1630)年4月30日死去)
- 1617年11月18日-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド総督「ジョアン・コウチニョ、コンデ・デ・レトンド」(~161911死去)
- 1617年11月22日-02:00|トルコ| |||<死去>オスマン帝国第14代スルタン「アフメト1世」
- 1617年11月22日-02:00|トルコ| |||<即位>オスマン帝国第15代スルタン「ムスタファ1世」先代の弟、13代メフメト3世の子(~16180226薨位)
- 1617年12月16日 03:00|アルゼンチン| |||ラフ地方、アスンシオン地域とブエノス・アイレス地域に分割される
- 1617年12月16日 04:00|パラグアイ/スペイン| |||パラグアイはチャルカス[ヘル北部]大審問院に従属(1661~1667年、ブエノス・アイレスに従属)
- 1617年12月19日-09:00|日本|奈良県奈良市|元和3年11月22日|六条柳町遊郭惣中の要請で、柳町以外での遊女屋が禁止される
- 1617年12月28日-09:00|日本|千葉県野田市|元和3年12月|<移封>越後三条藩2万石「松平重勝」⇒下総関宿藩26000石(⇒元和5(1619)年10月、遠江横須賀藩26000石)
- 1618年-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>アンボン島オランダ総督「Herman van Speult」(~1625年)
- 1618年-08:00|インドネシア| |||<退位>パシヤン君主「Pangeran Benawa2世」マタラムに統合
- 1618年-08:00|インドネシア/オランダ| |||ソロール島は、オランダ人が占領(~1629年)
- 1618年-07:00|カンボジア| |||<即位>カンボジア王国国王「チェイチェータ2世」(~1628年死去)
- 1618年-07:00|カンボジア| |||クメール王国がウドンに新都を建設
- 1618年-05:30|インド| |||<就任>ナガール国ラジャ「タム・チャンド」(~1701年)
- 1618年-05:30|スリランカ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領セイロン総督「コンスタンティヌス・デ・サ・デ・ノロニヤ」(1期目~1622年)
- 1618年-05:30|インド| |||<即位>ウイジャナガル王国国王「ラーマデーヴァラーヤ」
- 1618年-05:30|スリランカ| |||ジャナのタミル王国ヤルバーナムで、カトリック信者による反乱が発生
- 1618年-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>アレクサンドリア(総督)「Ferhad Pasha」(~同年)⇒「Abaza Mehmed Pasha」(~1619年)
- 1618年-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「レフケリ・ムスタファ・パシャ」(~同年)⇒「ケイファー・パシャ」(~1619年)
- 1618年-02:00|ギリシャ| |||<就任>カンデーア王国総督「マルク・アントニオ・ヴェニエ」(~1621年)
- 1618年-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Mehmed Pasha al-Djuqadar」(~同年)⇒「Hafiz Ahmed Pasha」(2期目~1619年)
- 1618年-01:00|フランス| |||<就任>オマル女公「アン」(~1638年)、オマル公「アンリ」アンと結婚(~16320710死去)
- 1618年-01:00|ベナン| |||<就任>サハルのマヒ国摂政「アディグブリ」(~1657年)
- 1618年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領メキシコ総督「Domingo de Ochoa」(~1619年)
- 1618年-01:00|ニジェール| |||<即位>ソンガイ帝国皇帝「アスキヤ・ダウト2世」(~1635年)
- 1618年-01:00|ドイツ| |||彗星が出現
- 1618年 00:00|イギリス| |||<就任>ウオリック伯「ロバート・リッチ」(~16190324死去)
- 1618年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国植民地テリフェ島知事「Diego de Vega Bazan」(~1621年)
- 1618年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>ラ・コメロ伯「Diego II de Guzman Ayala y Castilla」(~1653.10)
- 1618年 00:00|イギリス| |||<就任>レスター伯「ロバート・シドニー」(~16260713死去)
- 1618年 01:00|カーボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カーボベルデ総督「フランシスコ・デ・モウラ」(~16220413)
- 1618年 04:00|バミューダ/イギリス| |||<就任>イギリス領バミューダ総督代理「マイルス・ケントール」(~1919.10)
- 1618年1月 04:00|刊/スペイン| |||<就任>刊総督「ロペ・デ・ウジョア・イ・レモス」(~16201208没)
- 1618年1月16日-09:00|日本|京都府京都市|元和3年12月20日|本願寺の浴室から失火火災、堂舎過半数が焼失
- 1618年1月26日-07:00|ベトナム| ||大越黎朝・弘定19年|<即位>パントウワン王「Po Aih Khang」(~1622年)
- 1618年1月26日-07:00|ベトナム| ||大越莫朝・隆泰1年|大越莫朝・隆泰と改元(~1625)
- 1618年1月27日-09:00|日本|長野県伊那市|元和4年|<加増>信濃高遠藩2万5千石「松平(保科)正光」⇒3万石(⇒寛

1620迄 (2404件)

永8(1631)年10月7日死去)

- 1618年1月27日-09:00|日本|東京都千代田区|元和4年1月1日|江戸城大奥に男子禁制や夕刻六つの門限などの大奥法度を発布
- 1618年2月-01:00|ホースニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ホースニア総督「ムスタファ・パシャ」(3回目~1619年)
- 1618年2月3日-01:00|ホーランド/ドイツ| |||<死去>ホーネルン=シュテッティン公「フィリップ2世敬虔公」
- 1618年2月3日-01:00|ホーランド/ドイツ| |||<就任>ホーネルン=シュテッティン公「フランツ」(~16201127死去)
- 1618年2月6日-09:00|日本|山梨県甲府市|元和4年1月11日|<拝領>甲斐甲府藩23万8千石「徳川忠長」徳川秀忠の三男(⇒寛永9(1632)年10月20日改易)
- 1618年2月12日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「鄭仁弘」(~16190426)
- 1618年2月20日-01:00|オランダ| |||<死去>オラニエ(オランダ)公「フィリップ・スウィルム」
- 1618年2月20日-01:00|オランダ| |||<就任>オラニエ(オランダ)公「マウリッツ」フィリップ・スウィルムの弟、オランダ総督(~16250423死去)
- 1618年2月26日-02:00|トルコ| |||<即位>オスマン帝国第16代スルタン「オスマン2世」先代の甥、14代アハメット1世の子(~16220519廃位、翌日殺害される)
- 1618年2月26日-02:00|トルコ| |||<廃位>オスマン帝国第15代スルタン「ムスタファ1世」
- 1618年3月5日-01:00|スウェーデン| |||<死去>エステルイェートランド公「ユーハン」
- 1618年3月8日-09:00|日本| ||元和4年2月12日|幕府が撰銭および金銀売買を禁制する
- 1618年3月16日-01:00|イタリヤ| |||<死去>ヴェネツィア共和国第92代ドージェ(元首)「ジョヴァンニ・パネッホ」
- 1618年3月23日 00:00|イギリス| |||<死去>初代アハムコン伯「ジェームズ・ハミルトン」
- 1618年3月23日 00:00|イギリス| |||<就任>2代アハムコン伯「ジェームズ・ハミルトン」先代の息子(~1670年)
- 1618年3月30日-09:00|日本|東京都千代田区|元和4年3月4日|幕府が江戸城内に紅葉山東照宮を造営(4月17日には神体を移す遷宮を行う)
- 1618年3月31日-09:00|日本|茨城県土浦市|元和4年3月5日|<移封>上野白井藩2万石「西尾忠永」⇒常陸土浦藩2万石(⇒元和6(1620)年1月14日死去)
- 1618年3月31日-09:00|日本|岐阜県飛騨市|元和4年3月5日|幕府が將軍秀忠の実弟で改易された松平忠輝を伊勢朝熊の配所から飛騨へ移す
- 1618年3月31日-09:00|日本|群馬県渋川市|元和4年3月5日|<拝領>上野白井藩1万石「本多紀貞」(~元和9(1623)年4月26日死去無嗣断絶)
- 1618年3月31日-09:00|日本|埼玉県北足立郡伊奈町|元和4年3月5日|<死去>武蔵小室13000石「伊奈忠政」⇒長男「伊奈忠勝」が継ぐ(~翌年8月16日死去無嗣断絶)
- 1618年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ファブリアオ・ベルツィ」「ガブリエラ・ガブリエリ」
- 1618年4月5日-01:00|イタリヤ| |||<就任>ヴェネツィア共和国第93代ドージェ(元首)「ニコロ・トナ」(~5.8死去)
- 1618年4月6日-09:00|日本|長野県長野市|元和4年3月11日|<移封>越後高田藩10万石「酒井忠勝」⇒信濃松代藩10万石(~元和8(1622)年出羽庄内鶴岡藩13万8000石)
- 1618年4月6日-09:00|日本|新潟県糸魚川市|元和4年3月11日|<加増移封>美濃七条藩1万石「稲葉正成」⇒越後糸魚川藩2万石(越後高田25万石「松平忠昌」附家老⇒寛永元(1624)年4月15日蟄居)
- 1618年4月6日-09:00|日本|新潟県上越市|元和4年3月11日|<加増移封>信濃川中島藩12万石「松平忠昌」⇒越後高田藩25万石(~寛永1(1624)年4月15日宗家を相続し越前北ノ庄50万5280石へ)
- 1618年4月30日-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>オランダ領東インド総督「Jan Pieterszoon Coen」(1期目~16230201)
- 1618年5月1日-01:00|ルウェー/スウェーデン| |||<就任>ルウェー総督「イェンス・ユエル・テイル・ケルトゴ」(~16290430)
- 1618年5月6日-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<就任>ブダペストのバイルバエ「カラチュ・マフメット・パシャ」(~1621年2月)
- 1618年5月8日-01:00|イタリヤ| |||<死去>ヴェネツィア共和国第93代ドージェ(元首)「ニコロ・トナ」
- 1618年5月9日-08:00|中国| ||金・天命3年、明・万曆46年4月15日|愛新覚羅ヌルハチが明と開戦し、撫順を占領
- 1618年5月15日-01:00|ドイツ| |||ドイツの天文学者ヨハネス・ケプラーが惑星の運動に関する第3法則(諸惑星の周期の2乗がそれぞれの軌道半径の3乗に比例する)を解明
- 1618年5月17日-01:00|イタリヤ| |||<就任>ヴェネツィア共和国第94代ドージェ(元首)「アントニオ・フリオリ」(~16230812死去)
- 1618年5月17日 03:00|アルゼンチン/スペイン| |||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ総督「デ・イエゴ・デ・ゴンゾラ・イ・エリザベル」(~16230521)
- 1618年5月18日 04:00|パラグアイ/スペイン| |||<就任>パラグアイ暫定総督「パドロー・ウルトラ・デ・メンドーサ」(~16211021)
- 1618年5月23日-01:00|チエコ/スロバキア| |||ホーミアの首都プラハの王宮前に、千人をこえる武装した新教徒たちがおし寄せ、皇帝の代官たちを18メートルの高さから突落とす刑を加える(30年戦争の引き金)
- 1618年5月24日-01:00|ドイツ| |||<死去>アンハルト・デッサウ侯「John George1世」
- 1618年5月24日-01:00|ドイツ| |||<就任>アンハルト・デッサウ侯「John Casimir」(~16600915死去)
- 1618年5月24日-09:00|日本|東京都台東区|元和4年4月|二代將軍秀忠により浅草東照宮創建(浅草寺境内、火災で焼失、現二天門が残る)
- 1618年5月26日-05:30|インド| |||印度・ボンベイ地震(M6.9)、死者2千人
- 1618年5月27日-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワキア総督・領主代行「ルポ・マヘテ・インツァ」(~8.14)
- 1618年6月1日-09:00|日本|新潟県長岡市|元和4年4月9日|<加増移封>越後長峰藩5万石「牧野忠成」⇒越後長岡藩6万石(⇒承応3(1654)年12月16日死去)
- 1618年6月1日-09:00|日本|新潟県妙高市|元和4年4月9日|<改易>越後本庄藩9万石「村上忠勝」(村上頼勝養子)松平忠輝事件連座、丹波篠山に幽閉
- 1618年6月1日-09:00|日本|新潟県村上|元和4年4月9日|<加増移封>越後長岡藩8万石「堀直奇」⇒越後村上藩10

1620迄 (2404件)

万石 (⇒寛永13 (1636) 年、隠居)

- 1618年6月2日-09:00 | 日本 | 新潟県上越市 | 元和4年4月10日 | <死去>越後高田藩10万石「酒井家次」⇒長男「酒井忠勝」が嗣ぐ (⇒翌年3月信濃松代藩10万石)
- 1618年6月13日-09:00 | 日本 | 茨城県行方市 | 元和4年4月21日 | <死去>常陸麻生藩27300石「新庄直定」⇒長男「新庄直好」が継ぐ (〜寛文2年7月22日 (16620904) 死去)
- 1618年6月25日-09:00 | 日本 | 山口県萩市 | 元和4年5月3日 | <死去>雲谷等顔 (画家・雲谷派の祖) [1547年生〜] (享年71)
- 1618年7月1日-01:00 | コロチア | ||| <即位>コロチア王「フェルデ・イナト」2世 (〜16370215死去)
- 1618年7月1日-01:00 | ハンガリー | ||| <即位>ハンガリー王「フェルデ・イナト」2世 (〜16370215没)
- 1618年7月3日-08:00 | フィリピン/スペイン | ||| <就任>スペイン領フィリピン諸島総督「アロンソ・ファハルト」 (〜1624. 7死去)
- 1618年7月6日 00:00 | ポルトガル | ||| <就任>マデラ総督「Pedro da Silva」 (〜16221028)
- 1618年7月21日 00:00 | イギリス | ||| <就任>イングランド王国大蔵卿兼首席アドバイザー「カンタベリー大司教ジョージ・アボット」 (〜16201214)
- 1618年7月24日-09:00 | 日本 | 佐賀県佐賀市 | 元和4年6月3日 | <死去>肥前佐賀藩32万石「鍋島直茂」病死⇒長男「鍋島勝茂」が継ぐ (⇒明暦3 (1657) 年3月24日死去)
- 1618年8月2日 00:00 | イギリス | ||| <就任>ノーサンプトン伯「ウィリアム・コンプトン」 (〜16300624死去)
- 1618年8月2日 06:00 | アメリカ/スペイン | ||| <就任>スペイン領フロリダ植民地総督「ファン・デ・カリサ」 (〜16241028)
- 1618年8月7日 00:00 | イギリス | ||| <就任>初代デヴォンシャー伯「ウィリアム・キャウエンテ・イッシュ」 (〜16260303死去)
- 1618年8月12日-09:00 | 日本 | 長野県 | 元和4年6月22日 | <死去滅封>信濃近藤藩1万石「近藤政成」嗣子幼少⇒旗本500石となり廃藩 (嫡子重直はわずか7歳であったため)
- 1618年8月14日-02:00 | ルーマニア | ||| <就任>ワキア総督・領主「カウリル・キウ」 (〜1620年8月)
- 1618年8月16日-09:00 | 日本 | 京都府京都市 | 元和4年6月26日 | 板倉勝重がキリスト教宣教師を処刑
- 1618年8月25日-01:00 | イタリア/スイス | ||| イタリア、スイスで地震、山崩れ、死者1200人
- 1618年8月28日-01:00 | ドイツ | ||| <死去>プロイセン公 (ホーエンツォレルン朝) 「アルブレヒト2世フリードリヒ」65歳
- 1618年8月28日-01:00 | ドイツ | ||| <即位>プロイセン公 (ホーエンツォレルン朝) 「ヨハン・ジギスムント」ブランデンブルク辺境伯、アルブレヒト・フリードリヒの娘アンナと結婚 (〜16191223死去47歳)
- 1618年9月4日-01:00 | イタリア | ||| イタリア・ピエモンテで土砂災害、天然ガス、死者2千人
- 1618年9月9日-09:00 | 日本 | 鳥取県日野郡日野町 | 元和4年7月21日 | <改易>伯耆黒坂藩5万石「関一政」領内騒擾、養子に5000石安堵
- 1618年9月19日-09:00 | 日本 | 茨城県土浦市 | 元和4年8月 | <移封>上野白井「西尾忠永」⇒常陸土浦2万石/次に忠昭が嗣ぐ (〜慶安2年駿河田中へ)
- 1618年9月24日-09:00 | 日本 | 京都府京都市中京区 | 元和4年8月6日 | 六角堂火災
- 1618年9月26日-04:00 | アゼルバイジャン/ジョージア/イラン/トルコ | ||| オスマン朝のスルタンのオスマン2世が、サファヴィー朝と和平条約を結び、グルジアとアゼルバイジャンを割譲
- 1618年9月28日-01:00 | ベルギー | ||| 世界初の質屋がベルギー・ブリュッセルに登場
- 1618年9月29日-09:00 | 日本/イタリア | 長崎県 | 元和4年8月11日 | 幕府がイタリア船の寄港地を平戸・長崎に限定
- 1618年10月1日-01:00 | サマリヤ | ||| <就任>サマリヤ共和国執政「シロ・モ・ゴジ」シオ・ビエト・マルテリ
- 1618年10月19日-09:00 | 日本 | 愛知県蒲郡市 | 元和4年9月 | <立藩>三河形原藩1万石「松平家信」(三州形原本領に合わせ房州にて別に采邑5千石加増⇒翌年9月摂津高槻2万石へ)
- 1618年10月29日 00:00 | イギリス | ||| <死去>ウォルター・ローリー、イングランドの廷臣、作家、詩人、探検家 (生年1552年または1554年)
- 1618年11月2日-01:00 | イタリア | ||| <死去>チロル伯「Maximilian 3世」
- 1618年11月2日-01:00 | イタリア | ||| <就任>チロル伯「Leopold 5世」 (〜16320913死去)
- 1618年11月2日-01:00 | オーストリア | ||| <即位>オーストリア大公「フェルデ・イナト3世」ローマ皇帝フェルデ・イナト2世 (〜1637年)、前方オーストリア大公「レオポルト5世」 (〜1632年)
- 1618年11月3日-01:00 | ドイツ | ||| <即位>ブランデンブルク選帝侯兼プロイセン公 (ホーエンツォレルン家) ゲオルク・ウィルヘルム [ヨハン・ジギスムントとアンナの息子] (〜16401201死去45歳)
- 1618年11月18日-01:00 | イタリア | ||| ベネチア、長い銀の尾を引いた彗星出現
- 1618年11月19日-08:00 | インドネシア/イギリス | ||| <就任>バタム大統領「ジョン・Jourdain」 (〜16190717)
- 1618年12月10日-01:00 | イタリア | ||| <死去>ジュリオ・カッチーニ、イタリアの作曲家 (生年1545年頃)
- 1618年12月11日-04:00 | ロシア/ポーランド/リトアニア | ||| ポーランド・リトアニア共和国とロシア・ツァーリ国がデウリの休戦 (デウリの和約、デウリ条約、1619年1月4日に発効)/この条約によりポーランド・リトアニア共和国は東へ領土を伸ばした
- 1618年12月21日 06:00 | アメリカ/スペイン | ||| <就任>スペイン領ニューメキシコ総督「Juan Alvarez de Eulate」 (〜1625. 12)
- 1619年-08:00 | マレーシア | ||| <死去>ペラ・スルタン「ムカダム・シャー」
- 1619年-08:00 | マレーシア | ||| <即位>ペラ・スルタン「マンスール・シャー2世」 (〜1627年没)
- 1619年-08:00 | フィリピン | ||| <即位>マギンダナオ王国スルタン「Sultan Kudarat」 (〜1671年)
- 1619年-05:30 | インド | ||| <建国>アンパリア王国
- 1619年-05:30 | スリランカ | ||| <死去>ジャナ王国国王「Cankili II」ポルトガル軍隊に捕らえられ、王国滅亡
- 1619年-05:30 | インド/オランダ | ||| <就任>オランダ領インド総督「ハンス・デ・ヘイス」(2度目〜1620年)
- 1619年-05:30 | インド | ||| アーデル・シャーヒー朝がハリド・シャーヒー朝を併合
- 1619年-04:00 | ジョージア | ||| <死去>カトリ王「バグラト7世」
- 1619年-04:00 | ジョージア | ||| <即位>カトリ王「シモン2世」 (〜1630年カヘティに併合)

1620迄 (2404件)

- 1619年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>バグダッド・ワリス「ベキル・スパシー」(~1623年)
- 1619年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンデリア公「フランチェスコ・セーノ」(~1621年)
- 1619年-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「ハミディムスタファ・パシャ」(~1620年解雇)
- 1619年-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Mustafa Pasha3世」(~1620年)
- 1619年-02:00|エジプト| |||エジプトで疫病・飢饉がひろがる
- 1619年-01:00|アルジェリア/トルコ| |||<就任>アルジェのバシヤ「シエリフ・コサ」(~1621年)
- 1619年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領メリダ総督「Diego de Leyva」(~1620年)
- 1619年-01:00|リヒテンシュタイン| |||<就任>ファトウツ執行官「ヨハン・エメリッヒ・リクノルト・フォン・フロスヴァルデン」(~1626年)
- 1619年-01:00|ポズナń/オーストリア/プロシヤ/ポーランド/ロシア| |||<就任>ポズナń総督「イブラヒム・ハーン」(2回目~1620年)
- 1619年-01:00|クワチア| |||<即位>ポルツァ大公「ニコラ・ゴヤコウ・イツ」
- 1619年-01:00|オランダ/インドネシア| |||オランダがスマトラ南部のハレンバンに商館を建設
- 1619年-01:00|ドイツ| |||ドイツの天文学者ケプラーが「世界の調和」を刊、惑星第3法則
- 1619年-01:00|ベルギー| |||フラン人彫刻家ジェローム・デュクワノにより小便小僧製作(ベルギー・ブリュッセル市)
- 1619年 00:00|イギリス| |||<死去>ウイグ・タウン伯「John Fleming」
- 1619年 00:00|イギリス| |||<就任>ウイグ・タウン伯「John Fleming」(~1650年死去)
- 1619年 00:00|イギリス| |||<就任>マチ伯「エズメ・ステュアート」(~16240730死去)
- 1619年 01:00|アゾレス諸島/スペイン| |||<死去>サンミゲル島トナリオ長官「Manuel Luis Baltasar da Camara」
- 1619年 01:00|アゾレス諸島/スペイン| |||<就任>サンミゲル島トナリオ長官「Rodrigo da Camara」(~16620430死去)
- 1619年 05:00|パナマ/スペイン| |||<死去>パナマ大審問院総督・長官「デイエコ・フェルナンデス・ペラスコ」
- 1619年1月7日 03:00|ブラジル| |||トピナバ族、ペレンの砦を正面攻撃。新任のJeronimo Fragoso de Albuquerqueが兵100名+先住民兵士とともに防衛。大砲と火縄銃の威力の前に、司令官「老婆の髪」が死亡、残りはジャングルに逃げ込む
- 1619年1月7日 00:00|イギリス| |||<死去>ニコラス・ヒアード、イングランドの金銀細工師・ミニチュール作家(生年1547年頃)
- 1619年1月9日 06:00|コスタリカ/スペイン| |||<就任>コスタリカ総督「アロンソ・デル・カステイジョ・イ・グスマン」(~16241231)
- 1619年1月15日 00:00|イギリス| |||<死去>リカン伯「トマス・クリントン」
- 1619年1月15日 00:00|イギリス| |||<就任>リカン伯「シオフィラス・クリントン」(~16670521死去)
- 1619年1月18日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「オキュス・カラ・マフムト・パシャ」(2期目~12.23)
- 1619年2月11日-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア総督「ナクス公爵がスロロ・グラーティアニ」(~16200910没)
- 1619年2月14日-08:00|中国| ||明・万暦47年|<死去>ヤルカント・ハン「ジュン・チャーウツェー・イン・アフマト」暗殺される
- 1619年2月14日-08:00|中国| ||明・万暦47年|<即位>ヤルカント・ハン「クワイシュ・ジュン・チャーウツェー・イン・アフマト」の従兄弟(~9日で殺害される)⇒「アブドゥッカリフ(アバク)」「ジュン・チャーウツェー・イン・アフマト」の子(~1631年、死去)
- 1619年2月14日 05:00|ベルギー| |||ヘル、トルヒヨ沖で地震(マグニチュード8.5)、死者200人
- 1619年2月15日-09:00|日本|愛知県豊田市|元和5年|松平尚栄が松平東照宮創建(松平氏館跡)
- 1619年2月15日-09:00|日本|大阪府豊中市|元和5年|<交替>摂津麻田藩1万石「青木一重」隠居⇒養子「青木重兼」が継ぐ(⇒寛文12(1672)年12月9日、隠居)
- 1619年2月15日-09:00|日本|神奈川県足柄下郡箱根町|元和5年|箱根に関所を設置
- 1619年2月15日-09:00|日本|千葉県市原市|元和5年|<加増立藩>各所5千石「永井尚政」⇒上総潤井戸藩1万5千石(寛永2年12月29日(16260127)下総古河藩89000石)
- 1619年2月15日-09:00|日本|東京都足立区|元和5年|身延山久遠寺末として清亮寺創建
- 1619年2月15日-09:00|日本|広島県福山市|元和5年|水野氏、福山城下町建設のため安那郡神辺より大念寺を、沼隈郡神村より洞林寺を城下に移転させる
- 1619年2月22日-01:00|フランス| |||母后マリー・ド・メディシスが、不平派貴族と結んでルイ13世に反抗
- 1619年2月22日-09:00|日本|茨城県守谷市|元和5年1月8日|<死去減移封>摂津高槻藩2万石「土岐定義(明智土岐氏)」⇒長男「土岐頼行」が継ぐ⇒下総相馬藩1万石(幼少のため⇒寛永5(1628)年2月10日出羽上山25000石)
- 1619年3月-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>モザンビーク、ソファラ、リス・テ・クマ、モモバ総司令官「ヌノ・アルバルレス・ペレイラ」(2回目~1623年)
- 1619年3月 00:00|イギリス| |||<就任>初代ケー伯「トマス・アースキン」(~16390612死去)
- 1619年3月14日-09:00|日本|京都府京都市|元和5年1月28日|幕府が公家衆の行うべき諸芸稽古の式目・課目を定め、公家に対する幕府の統制を強める
- 1619年3月16日 00:00|イギリス| |||<就任>初代ハクル伯「ウォルター・スコット」(~16331120死去)
- 1619年3月16日-08:00|中国/韓国/朝鮮| ||朝鮮・万暦47年2月|朝鮮が明に救援軍を派遣し、ヌルチの後金と戦う
- 1619年3月20日-01:00|ドイツ/オーストリア/スロベニア/クワチア/チェコ| |||<死去>神聖ローマ皇帝・ドイツ国王・オーストリア・シチリア・マルク大公「マティアス」兼クワチア王・ポズナń王・モラヴィア辺境伯「マティアス2世」62歳(誕生15570224)
- 1619年3月20日-01:00|ドイツ/オーストリア/フランス/イタリア| |||<即位>神聖ローマ帝国牧師「ライン川のプファルツ伯爵フリードリヒ5世(2回目)」「ザクセン伯・ザクセン公ヨハン・ゲオルク1世(2回目)」(~8.28)
- 1619年3月20日-01:00|オーストリア| |||<即位>オーストリア・シチリア・マルク大公「フェルディナント2世」(~16370215没)
- 1619年3月20日-01:00|チェコ| |||ポズナń王マティアスは死にプファルツ選定侯フリードリヒ5世冬王をポズナń王として選ぶ(~1620年1月8日の白山の戦いで敗れ退位)
- 1619年3月24日 00:00|イギリス| |||<死去>ウオリック伯「ロバート・リッチ」
- 1619年3月24日 00:00|イギリス| |||<就任>ウオリック伯「ロバート・リッチ」先代の息子(~16580419死去)
- 1619年3月28日-09:00|日本|島根県浜田市|元和5年2月13日|<移封>伊勢松阪藩55000石「古田重治」⇒石見浜田藩54000石(⇒元和9(1623)年5月隠居)

1620迄 (2404件)

- 1619年4月1日-01:00|サンマリノ | ||<就任>サンマリノ共和国執政「フランチェスコ・ジヤンニニ」「アンニバレ・ゴジ」
- 1619年4月5日 00:00|イギリス | ||<死去>初代ヒュム伯「アレクサンダー・ヒュム」
- 1619年4月5日 00:00|イギリス | ||<就任>2代ヒュム伯「ジェームズ・ヒュム」(~1633年死去)
- 1619年4月15日-09:00|日本|長野県長野市|元和5年3月|<加増移封>越後高田藩10万石「酒井忠勝」⇒信濃松代藩10万石(⇒元和8(1622)年6月7日出羽庄内藩13万8000石に加増移封)
- 1619年4月17日-08:00|中国| ||金・天命4年;明・万曆47年3月4日|明軍がサルの戦いで後金軍に大敗
- 1619年4月26日-09:00|韓国/朝鮮 | ||<就任>朝鮮国領議政「朴承宗」(~16230413)
- 1619年5月-01:00|オランダ/インドネシア | ||バタヴィア王国はイギリスと結び、ケン総督率いるVOC商館を攻撃したが、失敗/イギリスはジャバトラ全体を領有し「バタヴィア」と名付けた(現ジャカルタ)
- 1619年5月1日-09:00|日本|熊本県八代市|元和5年3月17日|肥後(熊本)八代で地震(M6.0)卯の刻と牛刻の2回の地震で旧八代城(麦島城)が倒壊、竹田城(大分県)が破損
- 1619年5月2日-01:00|イタリヤ | ||<就任>ヴェネチア共和国ドージェ「ピエトロ・テュラッツ」(~16210502)
- 1619年5月2日-09:00|日本|茨城県つくば市|元和5年3月18日|<死去>常陸谷田部藩16200石「細川興元」⇒長男「細川興昌」が継ぐ(⇒寛永20(1643)年3月22日死去)
- 1619年5月10日 00:00|ポルトガル/スペイン | ||<就任>スペインのポルトガル副王「デ・イコ・デ・シルバ・エ・メントンカ、サリナス伯、アレンクル侯」(~16210901)
- 1619年5月28日-08:00|インドネシア/オランダ | ||ジャカルタはほとんど燃え、残部はバタヴィアと改名
- 1619年6月1日 04:00|ポルトガル/スペイン | ||<就任>ポルトガル知事兼提督「Juan de Vargas Asejas」(~1625年)
- 1619年6月5日-01:00|チェコ/スロバキア/スイス | ||トウルン伯が、ホヘンシュタイン新教軍を率いてウィーンに侵攻
- 1619年6月14日-04:00|ロシア | ||<即位>ロシア皇帝「モスクワと全ルーシ総主教フィラレット・ニキティッチ」ミハイルの父/共同統治(~16310101没)
- 1619年6月16日 00:00|イギリス | ||<就任>初代ケンプリッジ伯「ジェームズ・ハミルトン」2代ハミルトン侯・4代アラン伯(~16250302死去)
- 1619年6月20日-01:00|イタリヤ | ||バタヴィアでアッティリオ・ザノビに新式時計の特許
- 1619年6月23日-07:00|ベトナム | ||大越黎朝・弘定20年5月12日|<死去>後黎朝(大越)後期第5代皇帝「敬宗黎維新」
- 1619年6月23日-07:00|ベトナム | ||大越黎朝・弘定20年5月12日|<即位>後黎朝(大越)後期第6代皇帝「神宗黎維祺」(1期目~1643.11讓位)
- 1619年6月26日-09:00|日本| ||元和5年5月15日|幕府が、町人や浪人が武家の宅地に居住することを禁じる
- 1619年6月27日-09:00|日本|愛知県名古屋市|元和5年5月16日|<加増>尾張名古屋藩47万2344石「徳川義俊」⇒56万3206石(⇒元和7(1621)年6月18日、名を義直と改める)
- 1619年6月27日-09:00|日本|岐阜県海津市|元和5年5月16日|<拝領>美濃今尾藩3万8000石「竹腰正信」徳川義直の異父兄(徳川義直の附家老となる⇒正保2年4月30日(16450525)死去)
- 1619年7月-02:00|エストニア/スウェーデン | ||<就任>スウェーデン・エストニア総督「ヤコブ・ポントゥソン・テ・ラ・ガルト・イ」(~1622年)
- 1619年7月 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル | ||<就任>カチエ管理者「アントニオ・フロレンサ」(~1620年7月)
- 1619年7月1日 03:00|ブラジル | ||トウピナンバ族の反乱部隊、ベレンの要塞を攻撃。この戦いで指導者のグアイミバが戦死
- 1619年7月2日-01:00|ドイツ | ||<死去>ザクセン＝ラウエンブルク公「フランツ2世」
- 1619年7月2日-01:00|ドイツ | ||<即位>ザクセン＝ラウエンブルク公「アウグスト」(~16560118死去)
- 1619年7月6日 05:00|キューバ/スペイン | ||<就任>スペイン植民地キューバ 総督・総司令官代行「デ・イコ・バシエホ/シエロモ・デ・ケロ」(~16200814)
- 1619年7月11日-07:00|ベトナム | ||大越黎朝・永祚1年6月|後黎朝(大越)後期第6代皇帝「神宗黎維祺」永祚と改元(~1629年旧3月)
- 1619年7月12日-09:00|日本|長野県上高井郡高山村|元和5年6月2日|<減移封>安芸広島藩49万8223石「福島正則」⇒信濃高井野藩45000石隠居⇒嫡男「福島忠勝」が継ぐ(~元和6年9月14日(16201009)死去)
- 1619年7月17日-08:00|インドネシア/イギリス | ||<就任>バタヴィア大統領代理「ジョン・パウエル」(~同年)⇒「ガブリエル・Towerson」(~1620年)
- 1619年7月19日 00:00|イギリス | ||<就任>デズモンド伯「Richard Preston」(~16281010死去)
- 1619年7月30日 06:00|アメリカ | ||ヴァージニア植民地議会が創設される
- 1619年7月31日-01:00|チェコ | ||統合領邦議会において、ホヘンシュタイン国家(ホヘンシュタイン・ア・ツルツァ・上下ラウツツ)からなる連邦)の新しい憲法が承認され、貴族の国王に対する優位・非カトリック多数派のカトリック少数派に対する優位が保証された
- 1619年8月7日-01:00|フランス | ||マリー・ド・メディシス軍がアンジエルでルイ13世軍に敗れる
- 1619年8月17日-01:00|イタリヤ | ||バタヴィア、貧困貴族の教育のために、ジュテッカに貴族アカデミーを設置
- 1619年8月19日-01:00|チェコ | ||<即位>ホヘンシュタイン王「ルドルフ・ヴァツラフ・カイルム・ルーフスキー」取締役会議長(~11.4)
- 1619年8月19日-01:00|チェコ | ||<廃位>ホヘンシュタイン王「フェルディナント2世」
- 1619年8月21日-09:00|日本|大阪府大阪市|元和5年7月12日|<移封>伏見城代(摂津国内)5万石「内藤信正」⇒大坂城代(新設~寛永3年4月6日)(⇒寛永2(1625)年知行を近江・山城・紀伊5万石に移される⇒寛永3年4月28日(16260523)死去)
- 1619年8月27日-09:00|日本|広島県広島市|元和5年7月18日|<加増移封>紀伊和歌山藩37万6560石「浅野長晟」⇒安芸広島藩42万6500石(⇒寛永9(1632)年9月3日死去)
- 1619年8月28日-01:00|ドイツ/オーストリア/イタリヤ/フランス | ||<即位>神聖ローマ皇帝・イタリヤ王「フェルディナント2世」フェルディナント1世の孫(ハンガリー王・オーストリア・シチリア・マルク大公~16370215死去58歳)、ケルテン公領は再び他のハプスブルク家領と統合された/以

1620迄 (2404件)

後神聖ローマ皇帝がケルテン公を兼ねた

- 1619年8月28日-09:00|日本|大阪府岸和田市|元和5年7月19日|<移封>丹波篠山藩50020石「松平(松井)康重」⇒和泉岸和田藩6万石(⇒寛永17(1640)年6月27日死去)
- 1619年8月28日-09:00|日本|京都府南丹市|元和5年7月19日|<移封>但馬出石藩29700石「小出吉親」⇒丹波園部藩28000石(⇒寛文2(1662)年、養子「吉直」に3千石を分知し25000石)
- 1619年8月28日-09:00|日本|静岡県掛川市|元和5年7月19日|<移封>常陸下妻藩3万石「(松平)久松定綱」⇒遠江掛川藩3万石(⇒元和9(1623)年閏8月20日山城淀藩35000石)
- 1619年8月28日-09:00|日本|静岡県袋井市|元和5年7月19日以降|<移封>下野富田藩1万石「北条氏重」⇒遠江久野藩1万石(⇒寛永17(1640)年9月28日下総関宿2万石)
- 1619年8月28日-09:00|日本|兵庫県豊岡市|元和5年7月19日|<移封>和泉岸和田藩5万石「小出吉英」⇒但馬出石藩5万石(⇒寛文6年3月9日(16660413)死去)
- 1619年8月28日-09:00|日本|和歌山県新宮市|元和5年7月19日|<移封>遠江浜松藩25000石「水野重仲(重央)」⇒紀伊新宮藩35000石(紀州藩附家老⇒元和7(1621)年11月12日死去)
- 1619年8月28日-09:00|日本|和歌山県田辺市|元和5年7月19日|<拝領>紀伊田辺藩38000石(紀州藩附家老)「安藤直次」(⇒寛永12(1635)年5月13日死去)
- 1619年8月28日-09:00|日本|和歌山県和歌山市|元和5年7月19日|<加増移封>駿河府中藩50万石「徳川頼宣」⇒紀伊和歌山藩55万5千石(⇒寛文7(1667)年、隠居)
- 1619年8月30日-09:00|日本|鹿児島県|元和5年7月21日|<死去>島津義弘、前薩摩藩主(85、生年1535年)
- 1619年8月31日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|元和5年7月22日|<加増移封>摂津大坂藩10万石「松平(奥平)忠明」⇒大和郡山藩12万292石(⇒寛永16(1639)年3月3日、播磨姫路藩18万石に加増移封)
- 1619年8月31日-09:00|日本|広島県福山市|元和5年7月22日|<加増移封>大和郡山藩6万石「水野勝成」⇒備後福山藩10万石(⇒寛永3(1626)年1000石加増)
- 1619年9月8日-08:00|中国| ||明・万曆47年8月|後金軍がイェ族を討ち遼東以東の地を支配下に入れる
- 1619年9月10日-02:00|ロシア| ||<就任>ロシア大元帥(首相)「ヨナス・スタニスワフ・パシ・エカ」(16211114まで代行~16350410)
- 1619年9月22日-09:00|日本|島根県鹿足郡津和野町|元和5年8月15日|<死去>石見津和野藩43468石「亀井政矩」(生年1590年)⇒「亀井茲政」が継ぐ(⇒延宝8(1680)年12月18日死去)
- 1619年9月23日-09:00|日本|埼玉県北足立郡伊奈町|元和5年8月16日|<死去>武蔵小室藩13000石「伊奈忠勝」無嗣断絶/弟忠隆が名跡を継ぎ1100石
- 1619年9月28日-01:00|チコ/スロバキア| ||フリート・リヒ5世が、ホ・ヘミ7王位を受諾
- 1619年9月29日-09:00|日本|大阪府大阪市|元和5年8月22日|大坂町奉行を置く
- 1619年10月 04:00|バミュータ/イギリス| ||<就任>イギリス領バミュータ 総督「サニエル・ボトラ」(~16221025)
- 1619年10月1日-01:00|サマリノ| ||<就任>サマリノ共和国執政「オラツィオ・ベルツィ」「アント・レア・ジ・ヤニニ」
- 1619年10月4日-09:00|日本|滋賀県高島市|元和5年8月27日|<移封>伊勢上野藩2万石「分部光信」⇒近江大溝藩2万石(⇒寛永20年2月22日(16430410)死去)
- 1619年10月6日-09:00|日本|京都府京都市|元和5年8月29日|幕府、キリスト教徒60人余りを四条河原で火刑に処す
- 1619年10月8日 06:00|カタ/フランス| ||<就任>第5代フランス領カタ 副王「アンリ2世・ド・モンモラン」(~1625年)
- 1619年10月8日-09:00|日本|大阪府高槻市|元和5年9月|<加増移封>三河形原藩1万石「松平家信」⇒摂津高槻藩2万石(⇒寛永12(1635)年2月下総佐倉へ)
- 1619年10月8日-09:00|日本|神奈川県小田原市|元和5年9月|<加増移封>上総大多喜藩3万石「阿部正次」⇒相模小田原藩5万石(⇒元和9(1623)年10月武蔵岩槻56000石へ加増移封)
- 1619年10月8日-09:00|日本|京都府京都市|元和5年9月|<交替>山城国内16600石余(京都所司代)「板倉勝重」隠居⇒子の「板倉重宗」が27000石で継ぐ(⇒明暦2(1656)年8月5日下総関宿5万石)
- 1619年10月8日-09:00|日本|滋賀県長浜市|元和5年9月|<移封>備中松山藩12460石「小堀政一」⇒近江小室藩12460石(⇒正保4年2月6日(16470312)死去)
- 1619年10月8日-09:00|日本|静岡県浜松市|元和5年9月|<加増移封>武蔵岩槻2万石「高力忠房」⇒遠江浜松35000石(⇒寛永15(1638)年4月13日肥前島原4万石へ)
- 1619年10月19日-09:00|日本|京都府京都市|元和5年9月12日|<死去>藤原惺窩(朱子学の祖)(生年1561年)
- 1619年10月21日-09:00|日本|京都府京都市|元和5年9月14日|<就任>関白「九条忠栄」(~元和9年閏8月16日)
- 1619年10月24日-09:00|日本|愛知県名古屋市中区|元和5年9月17日|<創建>名古屋東照宮(愛知県)
- 1619年11月3日-01:00|ドイツ/ポーランド| ||<就任>ブランデンブルク選帝侯「ゲオルク・ヴィルヘルム」ヨハン・ジギスムントの息子(~16401201死去)
- 1619年11月3日-01:00|ドイツ/ポーランド| ||<退任>ブランデンブルク選帝侯「ヨハン・ジギスムント」
- 1619年11月3日-09:00|日本|静岡県浜松市|元和5年9月27日|<移封>上野青柳(近藤)藩1万石「近藤秀用」⇒遠江井伊谷15000石(⇒元和7(1621)年2000石加増⇒同年長男「季用」に3059石、次男「用可」に5300石を分知し旗本に降格)
- 1619年11月4日-01:00|チコ| ||<即位>ホ・ヘミ7王「フリート・リヒ1世(冬王)」フ・ファルツ選帝侯(~16201108退位)
- 1619年11月5日-09:00|日本|三重県亀山市|元和5年9月29日|<移封>三河拳母藩1万石(桜城)「三宅康信」⇒伊勢亀山藩1万石(⇒元和6(1620)年8月、2000石の加増を受けて1万2000石)
- 1619年11月6日-09:00|日本|群馬県前橋市|元和5年10月|<加増>上野厩橋藩85000石「酒井忠世」+上野国碓氷郡里見領1万石⇒95000石(⇒元和8(1622)年12月、上野国緑野郡藤岡・武蔵国榛沢郡26000石加増され、後に新田と併せて12万2500石)

1620迄 (2404件)

- 1619年11月11日-05:30|インド/ポルトガル |||<死去>ポルトガル領インド 総督「ジョアン・コウチニョ、コンデ・デ・レトンド」  
1619年11月11日-05:30|インド/ポルトガル |||<就任>ポルトガル領インド 総督「フェルナン・デ・アルカキ」(~16221219)  
1619年11月13日-01:00|イタリヤ |||<死去>トウ・ヴィコ・カラッチ、イタリヤの画家、版画家(生年1555年)  
1619年11月18日-09:00|日本|茨城県古河市|元和5年10月13日|<移封>下野宇都宮藩10万石「奥平忠昌」⇒下総古河藩11万石(⇒元和8(1622)年10月下野宇都宮11万石)  
1619年11月18日-09:00|日本|栃木県宇都宮市|元和5年10月13日|<加増移封>下野小山53000石「本多正純」⇒下野宇都宮15万5千石(⇒元和8(1622)年10月改易)  
1619年11月18日-09:00|日本|長崎県長崎市|元和5年10月13日|木村ヲカト、村山徳安アト、スラ5人が長崎で火刑にされる  
1619年11月25日-09:00|日本|神奈川県横須賀市|元和5年10月20日|<移封>下総関宿藩26000石「松平重勝」⇒遠江横須賀藩26000石(⇒元和6年12月14日(16210106)死去)  
1619年11月25日-09:00|日本|千葉県野田市|元和5年10月20日|<移封>下総古河藩2万石「小笠原政信」⇒下総関宿2700石(⇒寛永17年7月2日(16400818)死去)  
1619年11月26日-09:00|日本|群馬県高崎市|元和5年10月21日|<加増移封>下総小見川藩16600石「安藤重信」⇒上野高崎藩56000石(⇒元和7(1621)年6月29日死去)  
1619年11月26日-09:00|日本|兵庫県丹波篠山市|元和5年10月21日|<加増移封>上野高崎藩5万石「松平(藤井)信吉」⇒丹波篠山藩5万石(⇒元和6年8月1日(16200828)死去)  
1619年11月30日-08:00|フィリピン |||フィリピン・ルソン島北部で地震(M8.0)、死者多数  
1619年12月6日-09:00|日本|千葉県富津市|元和5年11月|<加増>上総佐貫藩4万石「内藤政長」+5千石⇒45000石(⇒元和8(1622)年9月28日陸奥磐城平7万石)  
1619年12月12日 05:00|パナマ/スペイン |||<就任>パナマ大審問院暫定総督・長官「ファン・デ・ラ・カス・リハ・デ・ネラ」(~16210502没)  
1619年12月18日-09:00|日本|長崎県大村市|元和5年11月13日|<死去>肥前大村藩21427石「大村純頼」⇒長男「大村純信」が継ぐ(⇒慶安3年5月26日(16500624)死去)  
1619年12月19日-01:00|トイ | |||世界最初義務教育チューリンガンの首都ワイマルで実施  
1619年12月23日-02:00|トルコ |||<就任>オスマン帝国大宰相「キェルツェ・アリ・パシャ」(~16210309)  
1619年12月23日-01:00|トイ | |||<死去>プロイセン公(ホーエンツォレルン朝)・ブランドンブルク選帝侯兼マルク伯・ラーヴ・エンズ・ルク伯「ヨハン・ジギスムント」47歳  
1619年12月23日-01:00|トイ | |||<就任>ブランドンブルク選帝侯兼マルク伯「ゲオルク・ヴィルヘルム」(~16401201死去)  
1619年12月24日-02:00|シリア/アラブ/トルコ |||<就任>アレクホ・ワリス(総督)「Okuz Mehmed Pashaj」(1620年)  
1620年-08:00|インド/ネパール |||<就任>パトナム大統領「Thomas Brockedon」(1期目~同年)⇒「Richard Fursland」(~16231016)  
1620年-08:00|インド/ネパール |||<就任>モルッカ諸島スペイン総督代理「Luis de Bracamonte」(~1623年)  
1620年-07:00|タイ |||<死去>アユタヤ王朝第22代国王「サンハット3世エーカートツァロット」  
1620年-07:00|タイ |||<即位>アユタヤ王朝第23代国王「サンハット4世シーサウハーク」(~同年死去)⇒第24代国王「ホー・ロマーチャー1世ソタム」(~16281212死去)  
1620年-07:00|タイ |||<即位>ソクラー・スルタン「スレイマン・シャー」(~1668年)  
1620年-05:45|ネパール |||<即位>マラ(Kantipur)国王「Lakshminarasimha Malla」(~1641年)  
1620年-05:45|ネパール |||<即位>マラ(Lalitpur)国王「Siddhi Narasimha」(~1661年)  
1620年-05:30|インド | |||<建国>ラージコット国  
1620年-05:30|インド/オランダ | |||<就任>オランダ 領インド 総督「アントニス・スリー」(1回目~1622年)  
1620年-05:30|インド | |||<就任>シブム・ヒル国(後にセイクラ国)統治者(クワール)「ヒークラム・シン1世」建国(~不明)⇒「スルシ」(~不明)  
1620年-03:30|イラン |||<就任>サファヴィー朝大宰相「サルマン・カン・ウスタジユル」(~1623年)  
1620年-03:30|イラン |||アルデヒール、ホイ、マクはペルシャの一部  
1620年-03:00|ベラルーシ |||<即位>スルツク公「ボグスワフ・ラジウ」(~1669年)  
1620年-03:00|ジブチ |||<即位>タジュラ・スルタン国スルタン「フルハン・ビン・ムハンマド」  
1620年-02:00|ギリシャ/トルコ |||<死去>ナクス公「カスパー・ゲラツィアニ」  
1620年-02:00|シリア/アラブ/トルコ |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Suleyman Pasha1世」(~1621年)  
1620年-01:00|ベナン |||<就任>サウィ・フェタ 国統治者「カセ」(~1640年)  
1620年-01:00|スペイン |||<就任>スペイン領メリャ総督「Francisco Rodriguez de Sanabria」(~1622年)  
1620年-01:00|ポズニア/ヘルツェゴビナ/トルコ |||<就任>ポズニア総督「メフメド・パシャ」(~1621年)  
1620年-01:00|クロアチア |||<即位>ポルビツァ大公「イワン・シキッチ」  
1620年-01:00|デンマーク/インド | |||デンマークがインドのトランクバルに商館を設置  
1620年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル |||<死去>サントメ植民地総督「Miguel Correia Baharem」  
1620年 00:00|カナ/オランダ | |||<就任>オランダ 領ゴールト=コースト将軍「アンソニー・ファン・リーデケルケ」(~1621年)  
1620年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル |||<就任>サントメ植民地総督「Frei Pedro da Cunha Lobo」(~16211026死去)  
1620年 00:00|フェロ-諸島 |||<就任>フェロ-諸島領土執達吏(トースハウ)「Mads Christenson Gullandsfar」(~1644年死去)  
1620年 00:00|イギリス |||フランス・ペーロンが「ノム・オルガヌ」を刊  
1620年 03:00|仏領ギアナ/イギリス |||<就任>オヤホック知事「Roger North」

1620迄 (2404件)

- 1620年 03:00|仏領ギナ/イギリス| |||ヤバック川でイギリスは入植を試みた(同年)
- 1620年 05:00|ジャマイカ/スペイン| |||<就任>スペイン領サンティアゴ 総督「セバスチャン・ロレンソ・ロマーノ」(~1625年)
- 1620年 06:00|ホンジュラス/スペイン| |||<就任>コマヤグア県総督「ファン・デ・ミランダ」(~1625年)
- 1620年 06:00|エルサルバドル/スペイン| |||<就任>サンサルバドル、サンミゲル州市長「ペドロ・デ・アギラル・ラソ・デ・ラ・ベガ」(副総督)
- 1620年 06:00|アメリカ| |||マサチューセッツ州プリマス植民地建設
- 1620年1月5日-09:00|日本|千葉県市原市|元和5年12月|<加増移封>越前木本藩1万石「松平直政」⇒上総姉崎藩2万石(⇒寛永元(1624)年6月、越前大野藩5万石に加増移封)
- 1620年1月6日-09:00|日本|奈良県奈良市|元和5年12月2日|<奈良元和5年の大火「新町焼け」>南新町から高島町にいたる一円を焼き尽くし、奈良の街の南側のほとんどが焦土と化した/灰じんとなった町家や寺社は1000軒~4000軒とも
- 1620年1月23日-09:00|日本|岐阜県中津川市|元和5年12月19日|<死去>美濃苗木藩10521石「遠山友政」⇒翌年5月、長男「遠山秀友」が継ぐ(⇒寛永19(1642)年正月7日、死去)
- 1620年1月23日-09:00|日本|山形県米沢市|元和5年12月19日|<死去>上杉家家老・直江兼続(60)
- 1620年1月30日-09:00|日本| |||元和5年12月26日|徳川幕府が人身売買禁止令布告
- 1620年2月4日-09:00|日本|長崎県長崎市|元和6年|明国江西省の僧・真円が航海の安全を祈願して興福寺創建
- 1620年2月4日-09:00|日本|広島県広島市中区|元和6年|広島藩主浅野長晟が縮景園築庭
- 1620年2月17日-09:00|日本|茨城県土浦市|元和6年1月14日|<死去>常陸土浦藩2万石「西尾忠永」⇒長男「西尾忠昭」が継ぐ(⇒慶安2(1649)年2月11日、駿河国田中藩25000石に加増転封)
- 1620年2月19日-03:00|イェメン| |||<死去>ラッシー朝イマム「アルムスール・アルカジム・ヒン・ムハンマド」
- 1620年2月19日-03:00|イェメン| |||<即位>ラッシー朝イマム「アルムアイト・ムハンマド1世」アルムスール・アルカジムの息子(~16440929死去)
- 1620年3月29日-09:00|日本|徳島県徳島市|元和6年2月26日|<死去>阿波徳島藩25万7千石「蜂須賀至鎮」⇒長男「蜂須賀忠英」が継ぐ(⇒慶安5年4月4日(16520511)死去)
- 1620年3月30日-09:00|日本|京都府京都市|元和6年2月27日|上京出火、数千戸焼失
- 1620年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジュリアーノ・ベルツィ」 「テオド・ロレオナルディ」
- 1620年4月2日-09:00|日本|京都府京都市|元和6年2月30日|京都、放火による大火、1000家以上が焼けた/相国寺などが焼ける
- 1620年4月6日-09:00|日本|京都府京都市|元和6年3月4日|京都、又放火による大火、1000家以上が焼けた
- 1620年4月9日-09:00|日本|新潟県長岡市|元和6年3月7日|<加増>越後長岡藩64000石「牧野忠成」⇒74000石(⇒承応3(1654)年12月16日、死去)
- 1620年4月19日-09:00|日本|新潟県燕市|元和6年3月17日|<死去>越後三条藩41300石「市橋長勝」病死無嗣改易
- 1620年5月17日-02:00|トルコ| |||トルコの博覧会で世界初のメーゴ-ラント設置
- 1620年5月17日-09:00|日本|愛知県新城市|元和6年4月15日|<交替>三河新城藩15000石「水野分長」水戸藩「徳川頼房」附家老となる⇒長男「水野元綱」が継ぐ(⇒正保2(1645)年6月28日、上野安中藩2万石)
- 1620年5月26日-09:00|日本/イギリス|神奈川県三浦市|元和6年4月24日|<死去>三浦按針(英人ウィリアム・アダムス)/家康の外交顧問として三浦半島に領地を得た
- 1620年5月31日-01:00|オランダ| |||<就任>フロンネン州総督オラニエ公マウリッツ[オラニエ公ウィレム1世の次男](~16250423)
- 1620年6月 00:00|イギリス| |||<死去>12代クロフォード 伯「デヴィッド・リンジー」
- 1620年6月 00:00|イギリス| |||<就任>13代クロフォード 伯「ヘンリー・リンジー」(~1623年死去)
- 1620年6月15日-09:00|日本|滋賀県蒲生郡日野町|元和6年5月15日|<拝領>近江仁正寺藩2万石「市橋長政」(3月17日死去した越後三条藩主「市橋長勝」の甥⇒元和8(1622)年1月、「市橋長吉」に2000石を分与し18000石)
- 1620年6月24日 00:00|アイスランド/デンマーク| |||<就任>アイスランド支配者「ホルガー・ローゼンクランツ・フレリンゲ」(~16330623)
- 1620年6月27日-09:00|日本|新潟県燕市|元和6年5月27日|<加増移転>越後藤井藩2万石「稻垣重綱」⇒越後三条藩23000石(⇒慶安4(1651)年9月19日、三河刈谷藩23000石に移封)
- 1620年6月30日-09:00|日本|東京都千代田区|元和6年6月1日|<就任>老中「阿倍正次」(~寛永4年4月15日)
- 1620年7月-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「マフセイム・パシャ」(~1622年4月、解雇)
- 1620年7月-01:00|フランス| |||マリオ・ド・メイスを支持する大貴族、フランス王ルイ13世に反乱を起こす
- 1620年7月 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>カチュー管理者「フランシスコ・デ・モウ」(~同年)⇒「フランシスコ・デ・カウ」(~1623年9月)
- 1620年7月1日 00:00|チャンネル諸島/イギリス| |||<就任>イギリス王領ジャージー-島知事「Henry Danvers」(~16440120死去)
- 1620年7月25日-01:00|ドイツ| |||ハイン公マクシミリアンが、リッスを占領
- 1620年7月28日-09:00|日本|愛媛県宇和島市|元和6年6月29日|宇和島藩家老山家清兵衛公頼およびその一族が殺される
- 1620年8月-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワキア総督・領主「ラトウ10世ミフア」(4回目~1623年8月)
- 1620年8月10日-01:00|フランス| |||フランス王ルイ13世と母マリオ・ド・メイスの争いは、リッリュの調停による「アンジエ協定」(アンジエはフランス西部)により、マリオ・ド・メイスがパリへの帰還を約束することで一応終結
- 1620年8月14日 05:00|キューバ/スペイン| |||<就任>スペイン植民地キューバ 総督・総司令官「フランシスコ・デ・ベカス」(~16240416没)
- 1620年8月17日-08:00|中国| |||明・万暦48年7月20日|<死去>明第14代皇帝「神宗万暦帝(朱翊鈞)」
- 1620年8月18日-09:00|日本|奈良県御所市|元和6年7月20日|<死去>大和御所藩2万6380石「桑山元晴」⇒子の「桑山貞晴」が継ぐ(⇒寛永6年9月29日(16291114)死去無嗣廃絶)

1620迄 (2404件)

- 1620年8月25日-05:30|インド/デンマーク| |||<就任>デンマーク領東インド諸島(トロンバル)司令官「オーヴェゲテ」(~16210531)
- 1620年8月25日-01:00|ハンガリー| |||<即位>ハンガリー対立王「ガボール」(~16211231)
- 1620年8月28日-09:00|日本|三重県亀山市|元和6年8月|<加増>伊勢亀山藩1万石「三宅康信」+2000石⇒12000石(⇒寛永9(1632)年9月27日、死去)
- 1620年8月28日-09:00|日本|兵庫県丹波篠山市|元和6年8月1日|<死去>丹波篠山藩5万石「松平(藤井)信吉」⇒長男「松平忠国」が継ぐ(⇒慶安2(1649)年7月4日、播磨明石藩7万石に加増転封)
- 1620年8月28日-08:00|中国| |||<即位>明第15代皇帝「光宗泰昌帝(朱常洛)」万曆帝の子(~泰昌元年9月1日(9.28))/<改元>泰昌(~12月)
- 1620年9月3日-09:00|日本|福岡県柳川市|元和6年8月7日|<死去改易>筑後柳川藩32万5000石「田中忠政」無嗣/兄に2万石安堵
- 1620年9月10日-02:00|ルーマニア| |||<死去>モルダヴィア総督「ナクス公爵ガスパロ・グラーティアニ」
- 1620年9月10日-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア総督「アレクサンドル・イリヤ」(1回目~16211015)
- 1620年9月23日-09:00|日本|宮城県仙台市|元和6年8月26日|伊達政宗の遣欧使節支倉常長ら帰国
- 1620年9月26日-09:00|日本|千葉県鴨川市|元和6年9月|<加増立藩>下総生実5千石「西郷正員」⇒安房東条藩1万石(⇒寛永15年11月14日(16381219)死去)
- 1620年9月26日-08:00|中国| ||明・泰昌1年9月1日|<死去>明第15代皇帝「光宗泰昌帝(朱常洛)」紅丸を飲んで急死(紅丸の案)/32歳(誕生1588年)
- 1620年10月1日-01:00|サマリヤ| |||<就任>サマリヤ共和国執政「ガミロ・ホネリ」「ヘルツォ・ヘルツィ」
- 1620年10月1日-08:00|中国| ||明・泰昌1年9月6日|<即位>明第16代皇帝「熹宗天啓帝(朱由校)」泰昌帝の子、15歳/李妃の干渉を避けるため別宮に移される(~天啓7年8月21日(16270930))
- 1620年10月9日-09:00|日本|長野県上高井郡高山村|元和6年9月14日|<死去>信濃高井野藩45000石「福島忠勝」⇒父「福島正則」が再任(越後国魚沼郡25000石を幕府に返上し2万石⇒寛永元年7月13日(16240826)死去改易)
- 1620年10月14日-09:00|日本|沖縄県|元和6年9月19日|<死去>琉球王尚寧(57)(誕生:永祿7(1564))
- 1620年10月20日-08:00|インドネシア/イギリス| |||<死去>バング諸島司令官「Nathaniel Courthope」
- 1620年10月20日-01:00|アントワープ/フランス| |||フォアとハラ王国はフランス王領の一部となり、アントワープ共同大公の称号は後フランス王が保持(~1792年9月21日)
- 1620年10月26日 00:00|イギリス| |||<就任>初代ヨーク伯「リチャード・ホイル」(~16430915死去)
- 1620年10月31日-09:00|日本|茨城県結城市|元和6年10月6日|<死去>下総山川藩35000石「水野忠元」老中⇒家督は長男「水野忠善」が嗣ぐ(~寛永12(1635)年8月4日駿河田中藩45000石へ)
- 1620年11月-05:30|インド| |||ムガル軍がカミール地方のカーンガラ城を攻略
- 1620年11月6日-01:00|ドイツ| |||<死去>ハートンバートン辺境伯「フィリップ3世」
- 1620年11月8日-01:00|ドイツ| |||<即位>ザクセン＝ヴァイマル公「ヨハン・エルンスト1世」の弟(~16620517死去)
- 1620年11月8日-01:00|チェコ| |||<退位>ホーヘンシュタイン王「フリードリヒ1世(冬王)」フアルク選帝侯
- 1620年11月8日-01:00|ドイツ| |||<廃位>ザクセン＝ヴァイマル公「ヨハン・エルンスト1世」
- 1620年11月8日-01:00|チェコ/ドイツ/スロバキア| |||ホーヘンシュタイン貴族の選んだフリードリヒ5世と神聖ローマ皇帝フェルディナント2世の決戦がブラハ近くのヴァイパーベルクで行われ、皇帝側が勝利する(白山の戦い)
- 1620年11月10日-01:00|チェコ| |||<復位>ホーヘンシュタイン王「フェルディナント2世」(~16370215死去)神聖ローマ皇帝
- 1620年11月11日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領ブラジル植民地総督「ジョン・カーヴァー」(~16210415死去)
- 1620年11月13日-09:00|日本|長野県下高井郡木島平村|元和6年10月19日|<死去>信濃中村藩1万石「岩城貞隆」⇒長男「岩城吉隆」が嗣ぐ(⇒元和8(1622)年10月、出羽由利郡内1万石加増で2万石)
- 1620年11月14日-09:00|日本|茨城県稲敷市|元和6年10月20日|<加増移封>常陸古渡藩1万石「丹羽長重」⇒常陸江戸崎藩2万石(⇒元和8(1622)年1月11日陸奥棚倉藩5万石)
- 1620年11月14日-09:00|日本|埼玉県さいたま市岩槻区|元和6年10月20日|<加増移封>常陸江戸崎藩25000石「青山忠俊」⇒武蔵岩槻藩55000石(⇒元和9(1623)年10月19日、上総大多喜藩2万石に減転封)
- 1620年11月19日-05:30|インド/デンマーク| |||デンマーク領インド/タムルカンパネイがタンジヨールの支配者によってデンマーク東インド会社に譲渡され、トロンバル(トロンバル)と名付けられ、タンスポーが建設される
- 1620年11月19日 06:00|アメリカ/イギリス| ||ユリウス暦:1620/11/9|メイフラワー号に乗り込んだ清教徒の一派ピルグリム・ファーザーズの一行102名、ブラジル北方のコット岬に到着
- 1620年11月27日-01:00|ポーランド/ドイツ| |||<死去>ポズナニ＝シュテッティン公「フランツ」
- 1620年11月27日-01:00|ポーランド/ドイツ| |||<就任>ポズナニ＝シュテッティン公「ホーギスラフ12世社交公」(⇒1625年ポズナニ公)
- 1620年12月4日-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>アレクサンドリア(総督)「Yusuf Pasha」(~1622年)
- 1620年12月8日 04:00|チリ/スペイン| |||<死去>チリ総督「ロペ・デ・ウジヨア・イ・レオス」
- 1620年12月8日 04:00|チリ/スペイン| |||<就任>チリ総督「クリストファー・デ・ラ・セルタ・イ・ソトマヨール」(~1621年11月)
- 1620年12月12日 00:00|イギリス| |||<就任>初代アトリン伯「ランダル・マクトネル」(~16361210死去)
- 1620年12月14日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド王国大蔵卿兼首席アドバイザー「マンテヴァイル子爵ヘンリー・モンタギュー」(~16210929)
- 1620年12月17日-09:00|日本|石川県金沢市|元和6年11月24日|加賀藩の金沢城が焼失
- 1620年12月18日-09:00|日本|東京都|元和6年11月25日|<江戸神田山開削工事完成>神田山を開削して、平川の流れを水道橋あたりで付け替えて東へと隅田川に流し、開削した土砂で日比谷入江を埋め立てて土地を広げ、その地も含めた江戸城南東側に広がる低地を水害から守る所に主眼がおかれていた/神田山を開削し、水道橋あたりで付け替えられ隅田川へと流れる川は、後に神田川と呼ばれている
- 1620年12月20日-09:00|日本|福岡県柳川市|元和6年11月27日|<移封>陸奥棚倉藩35000石「立花宗茂」⇒筑後柳河

1620迄 (2404件)

藩109200石 (⇒寛永14 (1637) 年4月3日隠居)

1620年12月24日-09:00 | 日本 | 愛媛県新居浜市 | 元和6年12月 | <再建>新居郡金子村の一宮神社

1620年12月29日-01:00 | 竹ノ葉 | 国勢調査を五年ごとに更新

1620年12月31日-09:00 | 日本 | 福岡県久留米市 | 元和6年12月8日 | <加増転封>丹波国福知山藩8万石「有馬豊氏」⇒筑後久留米藩21万石 (⇒寛永19年閏9月29日 (16421121) 死去)